

マイナビ 2021年卒 大学生 Uターン・地元就職に関する調査



2020年5月

- 調査期間: 2020年3月18日(水)～4月6日(月)
- 調査方法: 3月18日時点のマイナビ2021会員にWEBDMで配信。
- 有効回答数: 7,263名

■ 設問項目 【SA】=単一選択、【MA】=複数選択、【FA】=自由記述

《本誌》

- (1) あなたの現在の住まいは実家ですか、一人暮らしですか。【SA】
- (2) 卒業した高校の所在地を都道府県から一つ選択してください。【SA】
- (3) 現在、在学中の学校の所在地を都道府県から一つ選択してください。【SA】
- (4) あなたが「地元(Uターン先含む)」だと認識する範囲の都道府県を選択してください。【MA】
- (5) 就職活動の際、利用する交通手段をすべて選択してください。【MA】
- (6) 現在あなたが最も働きたいと思う勤務地を1つ選択してください。【SA】
- (7) 就職活動を始めた時点で、第一志望だった業界をお選び下さい。【SA】
- (8) あなたの地元の特長について、当てはまるものをすべて選択してください。【MA】
- (9) 地元(Uターン含む)就職を希望する場合、志望する企業の地域的範囲はどこまでになりますか。【SA】
- (10) 地元以外に進学している方: 地元企業への就職活動で最も障害に感じていることはどのようなことですか。【SA】
- (11) これまでに両親や親族に就職の相談をしたことはありますか。【SA】
- (12) 主に親族の誰に相談しましたか。【SA】
- (13) 両親や親族からアドバイスを受けたことが、あなたの就職活動に影響すると思いますか。【SA】
- (14) 両親や親族からのアドバイスを受けて地元(Uターン含む)就職に対する考え方はどう変わりましたか。【SA】
- (15) あなたが帰省しやすいタイミングを教えてください。【MA】
- (16) 現在在学中の学校に進学した際に、卒業後の地元(Uターン含む)就職を希望していましたか。【SA】
- (17) 現時点で地元(Uターン含む)就職を希望しますか。【SA】
- (18) 地元企業(Uターン先企業含む)がWEBセミナーやWEB面接を実施している場合、その企業への志望度は上がりますか。
あてはまるものすべてを選択してください。【MA】
- (19) 地元(Uターン含む)就職を希望する理由は何ですか。【MA】
- (20) どのような方法で地元(Uターン先含む)の企業情報を得ましたか(得る予定ですか)。【MA】
- (21) 地元(Uターン先含む)企業の催しに参加したいと思いますか。参加したいと思うものをすべて選択してください。【MA】
- (22) 地元(Uターン先)就職の就職活動をいつから始めましたか(始める予定ですか)。【SA】
- (23) 地元就職を「希望しない／(どちらかといえば)希望しない」と答えた方: 地元(Uターン含む)就職を希望しない理由は何ですか。【MA】
- (24) 地元就職を「希望しない／(どちらかといえば)希望しない」と答えた方: 実現すれば地元就職するかもしれないものを選択してください。【MA】
- (25) 地元就職を「希望しない／(どちらかといえば)希望しない」と答えた方: 将来的に地元(Uターン含む)就職を考えていますか。【SA】
- (26) 前問で「考えている」と答えた方: 将来、どのような機会にUターンを考えるといますか。当てはまるものをすべて選択してください。【MA】
- (27) 地元(Uターン含む)就職以外に、Iターン就職のように地元以外の自然が豊かな地方で働いてみたいと思いますか。【SA】
- (28) 何故、Iターン就職を希望するのですか。当てはまるものをすべて選択してください。【MA】
- (29) テレワークやリモートワークが推進されております。働く場所が自由になった際に、
勤務先・居住地域の理想として当てはまるものをお選びください。【SA】

《別紙》

- (30) あなたの地元で、地元(Uターン含む)就職を希望する人を増やすためのアイデアがあれば、自由にお書きください。【FA】

■ 口本資料について ■

本資料に掲載のデータ、図版等の無断転載を禁じます。資料のご利用やご質問等に関しては下記までご連絡ください。

株式会社 マイナビ 社長室 HRリサーチ部

TEL : 03(6267)4571 / E-mail : myrm@mynavi.jp

基本データと集計方法

■ 学生の属性データ

	回答数	比率
男子	2,480	34.1%
女子	4,783	65.9%
総計	7,263	100.0%

	回答数	比率
地元進学男子	1,095	15.1%
地元進学女子	2,272	31.3%
地元外進学男子	1,385	19.1%
地元外進学女子	2,511	34.6%
総計	7,263	100.0%

	回答数	比率
文系男子	1,320	18.2%
理系男子	1,160	16.0%
文系女子	3,408	46.9%
理系女子	1,375	18.9%
総計	7,263	100.0%

■ 卒業高校の所在都道府県別データ

地域 区分	都道府県	回答数	比率	地元 進学男子	地元 進学女子	地元外 進学男子	地元外 進学女子
北海道	北海道	223	3.1%	29.6%	13.0%	42.2%	15.2%
東北	青森県	71	1.0%	14.1%	16.9%	31.0%	38.0%
	岩手県	76	1.0%	18.4%	28.9%	17.1%	35.5%
	宮城県	155	2.1%	18.7%	16.1%	39.4%	25.8%
	秋田県	48	0.7%	8.3%	41.7%	14.6%	35.4%
	山形県	51	0.7%	9.8%	29.4%	15.7%	45.1%
	福島県	80	1.1%	8.8%	26.3%	12.5%	52.5%
関東	茨城県	167	2.3%	6.0%	26.3%	19.8%	47.9%
	栃木県	93	1.3%	7.5%	21.5%	12.9%	58.1%
	群馬県	106	1.5%	10.4%	27.4%	21.7%	40.6%
	埼玉県	346	4.8%	9.2%	26.3%	14.7%	49.7%
	千葉県	293	4.0%	12.6%	20.8%	19.5%	47.1%
	東京都	702	9.7%	20.5%	8.5%	54.8%	16.1%
	神奈川県	469	6.5%	15.1%	19.4%	23.5%	42.0%
	甲信越	新潟県	126	1.7%	21.4%	28.6%	25.4%
	山梨県	43	0.6%	16.3%	20.9%	20.9%	41.9%
	長野県	103	1.4%	8.7%	33.0%	7.8%	50.5%
東海	岐阜県	135	1.9%	7.4%	29.6%	11.1%	51.9%
	静岡県	229	3.2%	9.6%	25.3%	22.3%	42.8%
	愛知県	641	8.8%	18.9%	9.2%	57.4%	14.5%
	三重県	113	1.6%	7.1%	22.1%	10.6%	60.2%
北陸	富山県	82	1.1%	7.3%	29.3%	20.7%	42.7%
	石川県	64	0.9%	23.4%	17.2%	34.4%	25.0%
	福井県	58	0.8%	13.8%	17.2%	15.5%	53.4%
関西	滋賀県	109	1.5%	13.8%	25.7%	15.6%	45.0%
	京都府	236	3.3%	14.4%	19.9%	35.6%	30.1%
	大阪府	533	7.3%	21.2%	13.3%	33.8%	31.7%
	兵庫県	352	4.9%	14.8%	22.2%	35.2%	27.8%
	奈良県	97	1.3%	5.2%	19.6%	14.4%	60.8%
	和歌山県	50	0.7%	16.0%	24.0%	8.0%	52.0%
中国	鳥取県	22	0.3%	4.5%	31.8%	4.5%	59.1%
	島根県	30	0.4%	—	60.0%	6.7%	33.3%
	岡山県	113	1.6%	16.8%	19.5%	31.0%	32.7%
	広島県	202	2.8%	16.8%	16.3%	37.1%	29.7%
	山口県	72	1.0%	8.3%	16.7%	19.4%	55.6%
四国	徳島県	32	0.4%	9.4%	15.6%	34.4%	40.6%
	香川県	53	0.7%	1.9%	22.6%	11.3%	64.2%
	愛媛県	101	1.4%	19.8%	17.8%	22.8%	39.6%
	高知県	29	0.4%	10.3%	20.7%	24.1%	44.8%
九州	福岡県	262	3.6%	20.6%	13.7%	41.6%	24.0%
	佐賀県	40	0.6%	5.0%	25.0%	12.5%	57.5%
	長崎県	71	1.0%	9.9%	26.8%	39.4%	23.9%
	熊本県	87	1.2%	10.3%	19.5%	43.7%	26.4%
	大分県	60	0.8%	6.7%	25.0%	16.7%	51.7%
	宮崎県	56	0.8%	7.1%	21.4%	25.0%	46.4%
	鹿児島県	79	1.1%	13.9%	21.5%	20.3%	44.3%
	沖縄県	64	0.9%	15.6%	14.1%	39.1%	31.3%
海外	海外	33	0.5%	—	36.4%	3.0%	60.6%

【集計に際しての定義】

- ・ 地元進学＝卒業した高校の都道府県と進学した大学の都道府県が一致
- ・ 地元外進学＝卒業した高校の都道府県と進学した大学の都道府県が不一致

※いわゆる「Ｕターン就職希望者」は今回の定義では「地元外進学者」に含まれる。

【ウエイトバック集計について】

数値の算出にあたり、2021年3月卒業予定の大学生・大学院生の構成比と等しくする為、文部科学省の学校基本調査を基に、ウエイトバック集計を行っている。

データ集の基準数値は、2019年12月公表の令和元年度学校基本調査より、大学3年生・院1年生の在籍数から男女比を参照している。

※ウエイトバック集計とは
アンケート回答者の属性構成比率が実際の属性比率と乖離している場合、構成比に合わせるように重み付けして集計すること。

【TOPICS】

■最も就職したい都道府県と卒業高校都道府県の一致率による地元就職希望割合

□地元就職希望割合は前年比1.1pt減の48.7%、10年で14.6pt減少

卒業した高校の所在地と最も働きたい都道府県の一致率(以後、地元就職希望割合)は48.7%(前年比1.1pt減)と、前年をやや下回った。12年卒から経年でみると、14.6ptの減少となっている(12年卒63.3%→21年卒48.7%)。卒業高校エリア別にみると、12年卒からの10年で最も地元就職希望割合に変化がないエリアは関東(12年卒95.8%→21年卒94.3%、1.5pt減)であった。地元就職希望割合の減少幅が大きかった上位3エリアは東北(12年卒76.7%→21年卒52.0%、24.7pt減)、甲信越(12年卒60.5%→21年卒39.7%、20.8pt減)、中国(12年卒72.0%→21年卒51.5%、20.5pt減)となった。

進学状況別でみると、地元大学に進学した学生(以後、地元進学者)の地元就職希望割合は69.7%(前年比0.3pt増)、地元外の大学に進学した学生(以後、地元外進学者)は30.9%(前年比2.5pt減)となった。地元外に進学した学生は地元就職希望割合が低いことがわかる。いずれにおいても、この10年で減少傾向にある。(P.13~15)なお、最も働きたいと思う勤務地の上位3位には「東京都(34.5%)」、「大阪府(13.3%)」、「愛知県(8.9%)」と大都市のある都道府県が挙げられた。(P.11)

地元就職を希望する人を増やすための学生のアイデアは「企業を知る機会をつくること」、「金銭的な支援」、「働く環境・交通環境」の3つに大きく分類された。(P.52~80)

■(P.24~26) 地元外進学者が地元企業への就職活動で最も障害に感じていること

□最も困っていることは『地元までの交通費』次いで『地元までの距離・時間』『やりたい仕事がない』。

地元外進学者のうち、地元就職で現在最も障害に感じていることを聞いたところ、3年連続で「地元までの交通費(26.0%)」が最も高かった。次点には「地元までの距離・時間(18.1%)」、「やりたい仕事がない(12.4%)」、「地元企業の数が少ない(11.3%)」が続いた。

■(P.27) 両親や親族への就職相談

□「両親や親族に就職の相談をしたことがある」学生は年々増加し、79.1%と過去最多の8割に。

両親や親族に就職の相談をしたことがある学生は79.1%と前年比で1.0pt増加し、16年卒と比較して7.3pt増加した。相談相手の上位には母親(62.9%、前年比0.6pt減)、父親(26.5%、前年比0.6pt増)が挙げられた。相談をする割合が増加傾向にある一方で、「両親や親族からアドバイスを受けたことが就職活動に影響すると思う」割合は減少傾向にあり、21年卒では影響すると思う割合は73.5%(大きく影響すると思う18.3%+多少影響すると思う55.2%)と前年比で4.8pt減少した。就職活動において親が最も身近な相談相手であるという状況は変わらないが、より自分の意志を尊重するようになってきているといえる。

■(P.33~35) WEB面接・WEBセミナー

□地元企業が「WEBセミナーを実施していると志望度が上がる」と回答した学生は53.3%と13.0pt増加。

地元企業(Uターン先企業含む)がWEBセミナーやWEB面接を実施している場合、その企業への志望度は高まるかどうか聞いたところ、「WEBセミナーを実施していると志望度が上がる」と回答した学生は53.3%と前年比で13.0pt増加した。地元進学・地元外進学によらず同様の回答傾向がみられた。今年は新型コロナウイルス感染拡大を抑止するため、合同企業説明会など対面の機会が制限されていたことから、WEBセミナーの実施有無が『企業認知の機会を与えてくれる企業かどうか』を判断することにつながり、志望度向上に影響したのではないかと推察される。

■(P.48~51) テレワークやリモートワークの推進が進み、働く場所が自由になった際の

勤務地・居住地域の理想

□勤務地、居住地ともに2人に1人が地方を希望。

日本企業におけるテレワーク導入率は2018年時点で19.1%であったが(「令和元年版 情報通信白書(総務省)」)、新型コロナウイルスの感染拡大を契機として各企業がテレワークおよびリモートワークを推進している状況にある。そんな中、働く場所が自由になった際に、勤務地・居住地域の理想として当てはまるものを学生に聞いたところ、「地方の企業に勤め、地方に住みたい」と回答する割合が34.1%と最も高かった。次いで、「都市(東京以外)の企業に勤め、地方に住みたい(15.1%)」、「都市(東京以外)の企業に勤め、都市(東京以外)に住みたい(15.0%)」が続いた。勤務地の理想についてみると、「地方(47.2%)」、「都市(東京以外)(32.6%)」、「東京(20.2%)」となった。居住地域の理想についてみると、「地方(54.8%)」、「都市(東京以外)(30.1%)」、「東京(15.1%)」となった。『働く場所が自由になる』という条件の下では、学生の2人に1人が地方での勤務や居住に希望を抱いていることから、地方における人口減少の問

※【定義】卒業した高校の都道府県と進学した大学の都道府県が一致＝地元進学、不一致＝地元外進学。

【SA】は単一選択、【MA】は複数選択

(1) あなたの現在の住まいは実家ですか、一人暮らしですか。【SA】

	全体	地元進学男子	地元進学女子	地元外進学男子	地元外進学女子	20年卒全体
回答数	7,263	1,095	2,272	1,385	2,511	7,734
実家で暮らしている	60.4%	84.8%	89.0%	34.4%	43.1%	61.1%
実家を離れ一人暮らし(寮生活・ルームシェア含む)	38.7%	14.8%	10.6%	64.3%	55.9%	37.9%
その他	0.8%	0.4%	0.4%	1.4%	1.0%	1.0%

→横軸100%で表示

＊あなたの現在の住まい【SA】

◎卒業高校都道府県別

* あなたの現在の住まい【SA】		回答数	実家で暮らしている	実家を離れ一人暮らし(寮生活・ルームシェア含む)	その他
◎卒業高校都道府県別					
北海道	北海道	223	44.4%	53.8%	1.8%
東北	青森県	71	33.8%	63.4%	2.8%
	岩手県	76	31.6%	67.1%	1.3%
	宮城県	155	58.1%	40.6%	1.3%
	秋田県	48	12.5%	85.4%	2.1%
	山形県	51	13.7%	86.3%	－
	福島県	80	22.5%	76.3%	1.3%
	関東	茨城県	167	59.9%	39.5%
	栃木県	93	36.6%	62.4%	1.1%
	群馬県	106	38.7%	60.4%	0.9%
	埼玉県	346	87.0%	13.0%	－
	千葉県	293	82.9%	16.4%	0.7%
	東京都	702	87.7%	11.7%	0.6%
	神奈川県	469	89.1%	10.9%	－
	甲信越	新潟県	126	37.3%	61.9%
	山梨県	43	44.2%	53.5%	2.3%
	長野県	103	12.6%	86.4%	1.0%
	東海	岐阜県	135	58.5%	40.7%
	静岡県	229	35.4%	63.3%	1.3%
	愛知県	641	77.2%	22.2%	0.6%
	三重県	113	46.0%	53.1%	0.9%
北陸	富山県	82	26.8%	73.2%	－
	石川県	64	50.0%	50.0%	－
	福井県	58	27.6%	69.0%	3.4%
関西	滋賀県	109	80.7%	16.5%	2.8%
	京都府	236	72.5%	27.5%	－
	大阪府	533	86.1%	13.5%	0.4%
	兵庫県	352	66.5%	33.2%	0.3%
	奈良県	97	78.4%	20.6%	1.0%
	和歌山県	50	52.0%	44.0%	4.0%
中国	鳥取県	22	13.6%	86.4%	－
	島根県	30	3.3%	96.7%	－
	岡山県	113	51.3%	48.7%	－
	広島県	202	48.0%	51.5%	0.5%
	山口県	72	30.6%	69.4%	－
四国	徳島県	32	34.4%	62.5%	3.1%
	香川県	53	13.2%	84.9%	1.9%
	愛媛県	101	36.6%	61.4%	2.0%
	高知県	29	41.4%	58.6%	－
九州	福岡県	262	58.0%	40.8%	1.1%
	佐賀県	40	40.0%	60.0%	－
	長崎県	71	40.8%	59.2%	－
	熊本県	87	50.6%	48.3%	1.1%
	大分県	60	21.7%	76.7%	1.7%
	宮崎県	56	23.2%	76.8%	－
	鹿児島県	79	29.1%	69.6%	1.3%
	沖縄県	64	50.0%	46.9%	3.1%
海外	海外	33	12.1%	84.8%	3.0%

※回答数30未満は参考値とする。

(2) 卒業した高校の所在地を都道府県一覧から一つ選択してください。【SA】

		全体	地元進学男子	地元進学女子	地元外進学男子	地元外進学女子
回答数		7,257	1,095	2,272	1,381	2,509
北海道	北海道	3.3%	6.0%	4.1%	2.1%	1.4%
東北	青森県	0.9%	0.9%	1.0%	0.9%	1.1%
	岩手県	1.2%	1.3%	0.6%	1.6%	1.1%
	宮城県	2.2%	2.6%	2.7%	1.8%	1.6%
	秋田県	0.8%	0.4%	0.3%	1.4%	0.7%
	山形県	0.7%	0.5%	0.4%	1.1%	0.9%
	福島県	1.1%	0.6%	0.4%	1.5%	1.7%
関東	茨城県	2.3%	0.9%	1.5%	3.2%	3.2%
	栃木県	1.2%	0.6%	0.5%	1.4%	2.2%
	群馬県	1.5%	1.0%	1.0%	2.1%	1.7%
	埼玉県	4.8%	2.9%	2.2%	6.6%	6.9%
	千葉県	4.0%	3.4%	2.5%	4.4%	5.5%
	東京都	9.2%	13.2%	16.9%	4.3%	4.5%
	神奈川県	6.5%	6.5%	4.8%	6.6%	7.9%
甲信越	新潟県	2.0%	2.5%	1.4%	2.6%	1.2%
	山梨県	0.6%	0.6%	0.4%	0.7%	0.7%
	長野県	1.5%	0.8%	0.4%	2.5%	2.1%
東海	岐阜県	1.9%	0.9%	0.7%	2.9%	2.8%
	静岡県	3.2%	2.0%	2.2%	4.2%	3.9%
	愛知県	8.3%	11.1%	16.2%	4.3%	3.7%
	三重県	1.5%	0.7%	0.5%	1.8%	2.7%
北陸	富山県	1.2%	0.5%	0.7%	1.7%	1.4%
	石川県	0.9%	1.4%	1.0%	0.8%	0.6%
	福井県	0.8%	0.7%	0.4%	0.7%	1.2%
関西	滋賀県	1.6%	1.4%	0.7%	2.0%	2.0%
	京都府	3.3%	3.1%	3.7%	3.4%	2.8%
	大阪府	7.4%	10.3%	7.9%	5.1%	6.7%
	兵庫県	5.0%	4.7%	5.5%	5.6%	3.9%
	奈良県	1.2%	0.5%	0.6%	1.4%	2.4%
	和歌山県	0.7%	0.7%	0.2%	0.9%	1.0%
中国	鳥取県	0.3%	0.1%	0.0%	0.5%	0.5%
	島根県	0.5%	—	0.1%	1.3%	0.4%
	岡山県	1.6%	1.7%	1.5%	1.6%	1.5%
	広島県	2.8%	3.1%	3.3%	2.4%	2.4%
	山口県	0.9%	0.5%	0.6%	0.9%	1.6%
四国	徳島県	0.4%	0.3%	0.5%	0.4%	0.5%
	香川県	0.7%	0.1%	0.3%	0.9%	1.4%
	愛媛県	1.4%	1.8%	1.0%	1.3%	1.6%
	高知県	0.4%	0.3%	0.3%	0.4%	0.5%
九州	福岡県	3.6%	4.9%	4.8%	2.6%	2.5%
	佐賀県	0.5%	0.2%	0.2%	0.7%	0.9%
	長崎県	1.0%	0.6%	1.2%	1.4%	0.7%
	熊本県	1.1%	0.8%	1.7%	1.2%	0.9%
	大分県	0.8%	0.4%	0.4%	1.1%	1.2%
	宮崎県	0.7%	0.4%	0.6%	0.9%	1.0%
	鹿児島県	1.1%	1.0%	0.7%	1.2%	1.4%
	沖縄県	0.8%	0.9%	1.1%	0.7%	0.8%
海外	海外	0.5%	—	0.0%	0.9%	0.8%

(3) 現在、在学中の学校の所在地を都道府県一覧から一つ選択してください。【SA】

		全体	地元進学男子	地元進学女子	地元外進学男子	地元外進学女子
回答数		7,263	1,095	2,272	1,385	2,511
北海道	北海道	3.8%	6.0%	4.1%	3.4%	1.6%
東北	青森県	0.9%	0.9%	1.0%	0.8%	0.8%
	岩手県	0.8%	1.3%	0.6%	0.9%	0.5%
	宮城県	2.2%	2.6%	2.7%	2.1%	1.4%
	秋田県	0.4%	0.4%	0.3%	0.5%	0.3%
	山形県	0.6%	0.5%	0.4%	0.8%	0.8%
関東	福島県	0.6%	0.6%	0.4%	0.6%	0.5%
	茨城県	1.2%	0.9%	1.5%	1.4%	1.0%
	栃木県	0.7%	0.6%	0.5%	0.9%	0.5%
	群馬県	1.0%	1.0%	1.0%	1.2%	0.7%
	埼玉県	2.9%	2.9%	2.2%	2.7%	3.6%
	千葉県	3.1%	3.4%	2.5%	3.2%	3.2%
	東京都	21.0%	13.2%	16.9%	24.5%	28.2%
	神奈川県	5.2%	6.5%	4.8%	4.5%	5.2%
甲信越	新潟県	1.7%	2.5%	1.4%	1.8%	1.0%
	山梨県	0.7%	0.6%	0.4%	0.8%	1.0%
	長野県	0.6%	0.8%	0.4%	0.7%	0.5%
東海	岐阜県	0.8%	0.9%	0.7%	0.6%	0.8%
	静岡県	1.7%	2.0%	2.2%	1.4%	1.3%
	愛知県	9.3%	11.1%	16.2%	5.8%	5.9%
	三重県	0.6%	0.7%	0.5%	0.6%	0.4%
北陸	富山県	0.7%	0.5%	0.7%	1.0%	0.6%
	石川県	1.4%	1.4%	1.0%	2.2%	0.9%
	福井県	0.5%	0.7%	0.4%	0.6%	0.2%
関西	滋賀県	1.5%	1.4%	0.7%	1.8%	1.8%
	京都府	5.9%	3.1%	3.7%	7.0%	9.3%
	大阪府	8.1%	10.3%	7.9%	7.5%	6.5%
	兵庫県	4.6%	4.7%	5.5%	3.2%	5.5%
	奈良県	1.0%	0.5%	0.6%	1.1%	1.8%
	和歌山県	0.5%	0.7%	0.2%	0.5%	0.4%
中国	鳥取県	0.3%	0.1%	0.0%	0.7%	0.4%
	島根県	0.3%	—	0.1%	0.5%	0.6%
	岡山県	1.4%	1.7%	1.5%	1.1%	1.5%
	広島県	2.6%	3.1%	3.3%	2.5%	1.6%
	山口県	0.8%	0.5%	0.6%	0.9%	1.2%
四国	徳島県	0.5%	0.3%	0.5%	0.9%	0.3%
	香川県	0.5%	0.1%	0.3%	0.7%	0.7%
	愛媛県	1.0%	1.8%	1.0%	0.9%	0.4%
	高知県	0.4%	0.3%	0.3%	0.5%	0.6%
九州	福岡県	3.7%	4.9%	4.8%	2.7%	2.9%
	佐賀県	0.3%	0.2%	0.2%	0.4%	0.5%
	長崎県	0.9%	0.6%	1.2%	1.0%	0.8%
	熊本県	0.9%	0.8%	1.7%	0.6%	0.8%
	大分県	0.4%	0.4%	0.4%	0.5%	0.3%
	宮崎県	0.5%	0.4%	0.6%	0.5%	0.6%
	鹿児島県	0.7%	1.0%	0.7%	0.7%	0.4%
	沖縄県	0.6%	0.9%	1.1%	0.4%	0.1%
海外	海外	0.0%	—	0.0%	0.1%	0.0%

(4) あなたが「地元(Uターン先含む)」だと認識する範囲の都道府県を選択してください。【MA】

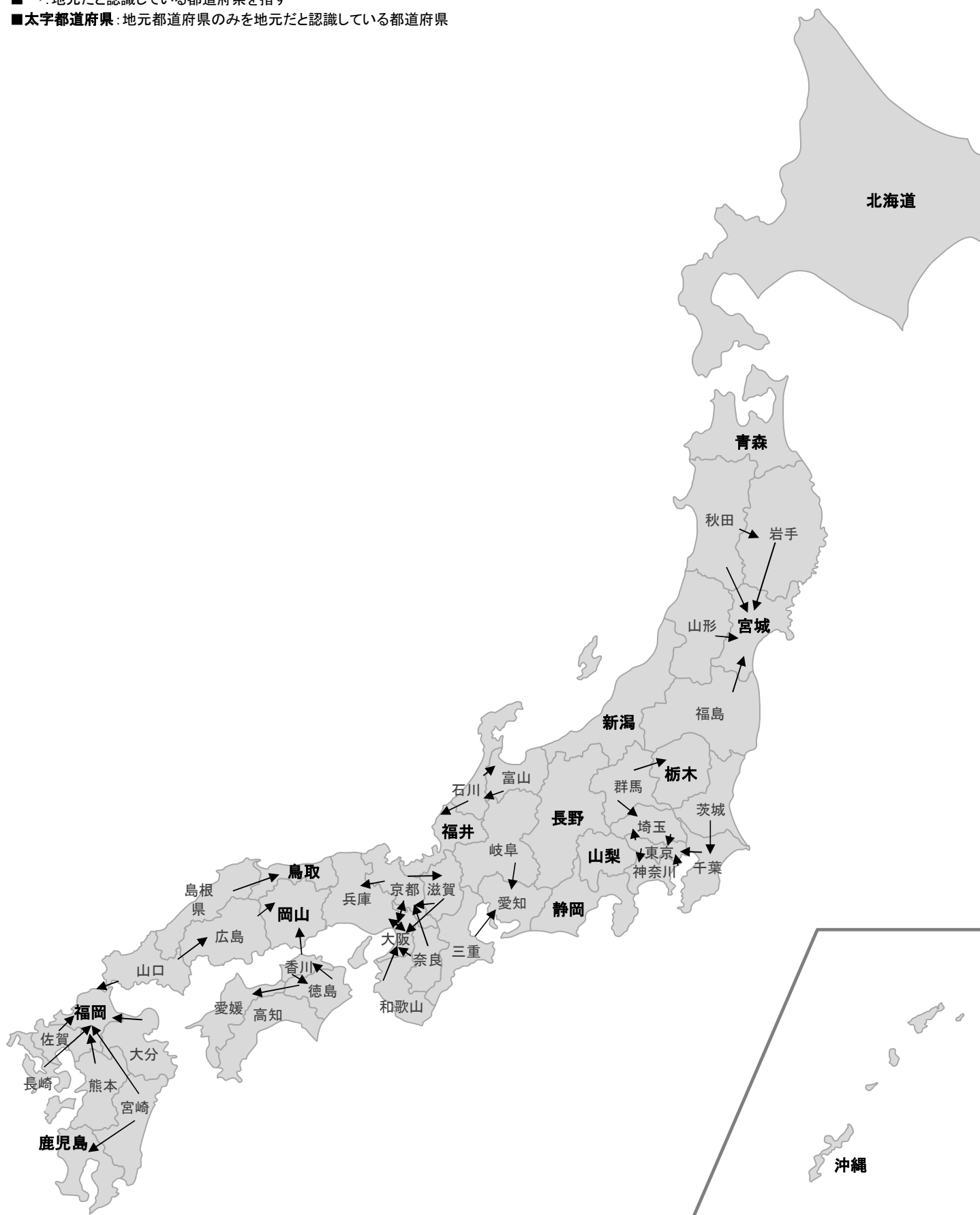
◎卒業高校都道府県別		回答数	卒業高校都道府県との一致率	地元地域1	地元地域2	地元地域3	地元地域4
北海道	北海道	223	96.0%				
東北	青森県	71	98.6%				
	岩手県	76	93.4%	宮城県:39.5%			
	宮城県	155	98.1%				
	秋田県	48	93.8%	岩手県:27.1%	宮城県:25.0%		
	山形県	51	96.1%	宮城県:39.2%			
	福島県	80	97.5%	宮城県:37.5%			
関東	茨城県	167	91.0%	千葉県:27.5%			
	栃木県	93	95.7%				
	群馬県	106	98.1%	埼玉県:33.0%	栃木県:22.6%		
	埼玉県	346	91.6%	東京都:32.7%			
	千葉県	293	94.5%	東京都:25.6%			
	東京都	702	85.3%	神奈川県:28.2%	埼玉県:22.1%		
	神奈川県	469	94.7%	東京都:39.7%			
甲信越	新潟県	126	96.8%				
	山梨県	43	93.0%				
	長野県	103	97.1%				
東海	岐阜県	135	97.8%	愛知県:66.7%			
	静岡県	229	99.1%				
	愛知県	641	98.6%	岐阜県:25.7%			
	三重県	113	96.5%	愛知県:58.4%			
北陸	富山県	82	97.6%	石川県:46.3%			
	石川県	64	98.4%	富山県:34.4%	福井県:29.7%		
	福井県	58	98.3%				
関西	滋賀県	109	95.4%	京都府:45.9%	大阪府:22.9%		
	京都府	236	94.1%	大阪府:50.8%	滋賀県:25.4%	兵庫県:22.9%	
	大阪府	533	95.7%	京都府:37.9%	兵庫県:36.2%		
	兵庫県	352	97.7%	大阪府:52.6%			
	奈良県	97	93.8%	大阪府:48.5%	京都府:30.9%		
	和歌山県	50	90.0%	大阪府:32.0%			
中国	鳥取県	22	100.0%				
	島根県	30	96.7%	鳥取県:26.7%			
	岡山県	113	97.3%				
	広島県	202	98.5%	岡山県:22.3%			
	山口県	72	95.8%	広島県:27.8%	福岡県:22.2%		
四国	徳島県	32	100.0%	香川県:34.4%	愛媛県:21.9%		
	香川県	53	94.3%	岡山県:22.6%	徳島県:20.8%		
	愛媛県	101	98.0%	香川県:22.8%			
	高知県	29	86.2%	徳島県:20.7%			
九州	福岡県	262	98.5%				
	佐賀県	40	97.5%	福岡県:57.5%			
	長崎県	71	97.2%	福岡県:26.8%			
	熊本県	87	95.4%	福岡県:25.3%			
	大分県	60	100.0%	福岡県:33.3%			
	宮崎県	56	98.2%	鹿児島県:30.4%	福岡県:21.4%		
	鹿児島県	79	92.4%				
	沖縄県	64	100.0%				
海外	海外	33	57.6%	東京都:27.3%	神奈川県:24.2%		

※地元地域1～4は、その都道府県を地元と認識している割合が20%以上を示した都道府県を割合が高い順に列挙したもの。

※回答数30未満は参考値とする。

■ →: 地元だと認識している都道府県を指す

■ **太字都道府県**: 地元都道府県のみを地元だと認識している都道府県



(5) 就職活動の際、利用する交通手段をすべて選択してください。【MA】

→横軸で複数回答の比率を表示

◎現在の学校の所在都道府県別

		回答数	新幹線	新幹線以外の 鉄道	地下鉄	長距離バス	路線バス
全体	全体	4,062	26.9%	75.0%	63.2%	21.2%	32.8%
北海道	北海道	137	11.7%	50.4%	85.4%	20.4%	41.6%
東北	青森県	31	38.7%	51.6%	32.3%	38.7%	25.8%
	岩手県	30	53.3%	66.7%	40.0%	63.3%	23.3%
	宮城県	86	41.9%	53.5%	72.1%	31.4%	43.0%
	秋田県	13	46.2%	38.5%	38.5%	53.8%	15.4%
	山形県	27	51.9%	59.3%	29.6%	63.0%	40.7%
	福島県	20	50.0%	80.0%	45.0%	45.0%	45.0%
関東	茨城県	47	12.8%	78.7%	38.3%	31.9%	51.1%
	栃木県	22	40.9%	86.4%	18.2%	4.5%	22.7%
	群馬県	43	18.6%	69.8%	20.9%	14.0%	20.9%
	埼玉県	106	10.4%	91.5%	69.8%	6.6%	33.0%
	千葉県	104	11.5%	78.8%	68.3%	5.8%	29.8%
	東京都	723	9.5%	80.1%	80.8%	5.7%	29.5%
	神奈川県	216	16.2%	87.0%	65.3%	5.6%	37.5%
甲信越	新潟県	67	44.8%	62.7%	16.4%	41.8%	37.3%
	山梨県	30	30.0%	96.7%	50.0%	40.0%	30.0%
	長野県	25	28.0%	80.0%	44.0%	52.0%	28.0%
東海	岐阜県	37	27.0%	83.8%	59.5%	29.7%	48.6%
	静岡県	83	45.8%	83.1%	27.7%	19.3%	32.5%
	愛知県	483	30.2%	73.5%	88.6%	19.3%	26.1%
	三重県	20	40.0%	90.0%	60.0%	25.0%	45.0%
北陸	富山県	32	31.3%	78.1%	25.0%	31.3%	34.4%
	石川県	52	30.8%	55.8%	13.5%	32.7%	42.3%
	福井県	23	13.0%	39.1%	17.4%	8.7%	13.0%
関西	滋賀県	52	30.8%	92.3%	82.7%	23.1%	44.2%
	京都府	255	36.1%	83.5%	82.4%	21.2%	42.4%
	大阪府	338	25.7%	79.6%	80.5%	20.1%	21.6%
	兵庫県	200	22.5%	88.5%	70.5%	21.5%	31.0%
	奈良県	46	28.3%	84.8%	65.2%	17.4%	37.0%
中国	和歌山県	18	38.9%	94.4%	66.7%	16.7%	27.8%
	鳥取県	14	21.4%	64.3%	35.7%	50.0%	28.6%
	島根県	15	33.3%	100.0%	46.7%	80.0%	53.3%
	岡山県	63	49.2%	74.6%	23.8%	34.9%	55.6%
	広島県	115	36.5%	71.3%	20.0%	34.8%	58.3%
四国	山口県	40	55.0%	80.0%	47.5%	32.5%	32.5%
	徳島県	18	11.1%	55.6%	22.2%	61.1%	50.0%
	香川県	21	28.6%	85.7%	38.1%	52.4%	47.6%
	愛媛県	44	22.7%	52.3%	20.5%	40.9%	36.4%
	高知県	18	16.7%	22.2%	11.1%	72.2%	11.1%
九州	福岡県	155	32.9%	69.0%	74.2%	20.6%	48.4%
	佐賀県	15	33.3%	80.0%	40.0%	33.3%	53.3%
	長崎県	45	20.0%	66.7%	22.2%	68.9%	55.6%
	熊本県	46	39.1%	47.8%	19.6%	43.5%	45.7%
	大分県	15	46.7%	73.3%	40.0%	60.0%	33.3%
	宮崎県	19	31.6%	36.8%	31.6%	47.4%	47.4%
	鹿児島県	27	40.7%	55.6%	25.9%	29.6%	44.4%
	沖縄県	26	11.5%	23.1%	23.1%	7.7%	19.2%

※回答数30未満は参考値とする。

▼就職活動の際、利用する交通手段をすべて選択してください。【MA】

→横軸で複数回答の比率を表示

◎現在の学校の所在都道府県別		回答数	飛行機 (JAL・ANA)	飛行機(その 他LCCなど)	タクシー	自家用車	レンタカー
全体	全体	4,062	4.8%	5.9%	3.9%	19.7%	0.3%
北海道	北海道	137	33.6%	35.0%	4.4%	8.8%	—
東北	青森県	31	9.7%	6.5%	6.5%	58.1%	—
	岩手県	30	—	3.3%	10.0%	40.0%	—
	宮城県	86	3.5%	1.2%	4.7%	29.1%	—
	秋田県	13	15.4%	7.7%	—	30.8%	—
	山形県	27	—	3.7%	7.4%	33.3%	—
	福島県	20	—	—	5.0%	25.0%	—
関東	茨城県	47	2.1%	2.1%	6.4%	46.8%	—
	栃木県	22	—	4.5%	9.1%	50.0%	—
	群馬県	43	—	—	2.3%	65.1%	—
	埼玉県	106	0.9%	0.9%	4.7%	13.2%	—
	千葉県	104	1.0%	1.9%	3.8%	13.5%	—
	東京都	723	1.8%	1.8%	3.3%	5.9%	0.1%
	神奈川県	216	0.9%	1.9%	3.7%	11.1%	0.5%
甲信越	新潟県	67	—	—	1.5%	47.8%	—
	山梨県	30	3.3%	—	3.3%	23.3%	—
	長野県	25	—	4.0%	4.0%	28.0%	—
東海	岐阜県	37	2.7%	2.7%	2.7%	43.2%	—
	静岡県	83	1.2%	1.2%	7.2%	15.7%	1.2%
	愛知県	483	1.9%	1.4%	2.7%	19.9%	0.2%
	三重県	20	—	—	15.0%	25.0%	—
北陸	富山県	32	3.1%	—	6.3%	56.3%	3.1%
	石川県	52	—	—	3.8%	51.9%	—
	福井県	23	—	—	—	91.3%	—
関西	滋賀県	52	1.9%	1.9%	5.8%	17.3%	—
	京都府	255	2.7%	2.4%	3.9%	7.5%	—
	大阪府	338	4.7%	4.1%	3.3%	5.9%	—
	兵庫県	200	4.5%	7.0%	2.0%	12.0%	0.5%
	奈良県	46	—	—	2.2%	17.4%	—
	和歌山県	18	5.6%	11.1%	—	5.6%	—
中国	鳥取県	14	7.1%	—	—	35.7%	—
	島根県	15	6.7%	20.0%	13.3%	—	—
	岡山県	63	—	—	3.2%	22.2%	—
	広島県	115	7.0%	5.2%	4.3%	21.7%	0.9%
	山口県	40	7.5%	15.0%	7.5%	32.5%	—
四国	徳島県	18	5.6%	—	5.6%	22.2%	—
	香川県	21	—	19.0%	4.8%	33.3%	4.8%
	愛媛県	44	18.2%	13.6%	4.5%	25.0%	—
	高知県	18	11.1%	16.7%	—	22.2%	—
九州	福岡県	155	18.1%	18.7%	3.2%	15.5%	—
	佐賀県	15	13.3%	20.0%	—	33.3%	—
	長崎県	45	11.1%	24.4%	4.4%	24.4%	—
	熊本県	46	10.9%	19.6%	2.2%	28.3%	2.2%
	大分県	15	13.3%	13.3%	6.7%	46.7%	6.7%
	宮崎県	19	26.3%	47.4%	5.3%	63.2%	—
	鹿児島県	27	14.8%	29.6%	7.4%	40.7%	—
	沖縄県	26	19.2%	30.8%	7.7%	84.6%	—

※回答数30未満は参考値とする。

(6) 現在あなたが最も働きたいと思う勤務地を1つ選択してください。【SA】

		全体	地元進学男子	地元進学女子	地元外進学男子	地元外進学女子
回答数		7,263	1,095	2,272	1,385	2,511
北海道	北海道	2.6%	5.0%	3.3%	1.4%	0.8%
東北	青森県	0.4%	0.7%	0.4%	0.2%	0.2%
	岩手県	0.6%	0.8%	0.4%	0.6%	0.4%
	宮城県	2.0%	2.9%	2.2%	1.7%	1.4%
	秋田県	0.3%	0.3%	0.2%	0.4%	0.1%
	山形県	0.3%	0.3%	0.3%	0.4%	0.3%
	福島県	0.4%	0.3%	0.4%	0.4%	0.5%
関東	茨城県	0.9%	0.6%	1.1%	1.2%	0.6%
	栃木県	0.6%	0.5%	0.3%	0.7%	0.7%
	群馬県	0.7%	0.5%	0.8%	0.8%	0.7%
	埼玉県	1.8%	1.6%	1.1%	2.2%	2.1%
	千葉県	1.8%	2.4%	1.3%	1.7%	1.9%
	東京都	34.5%	26.7%	30.6%	38.5%	40.9%
	神奈川県	4.6%	5.9%	4.0%	4.6%	4.0%
甲信越	新潟県	1.0%	1.4%	1.1%	0.9%	0.5%
	山梨県	0.2%	0.3%	0.3%	0.2%	0.2%
	長野県	0.9%	0.8%	0.4%	1.2%	0.9%
東海	岐阜県	0.6%	0.5%	0.6%	0.5%	0.8%
	静岡県	2.1%	1.9%	2.2%	2.5%	1.6%
	愛知県	8.9%	10.7%	14.2%	6.3%	5.6%
	三重県	0.5%	0.4%	0.3%	0.7%	0.5%
北陸	富山県	0.6%	0.5%	0.5%	0.9%	0.7%
	石川県	0.8%	1.1%	0.8%	0.8%	0.5%
	福井県	0.4%	0.5%	0.4%	0.3%	0.3%
関西	滋賀県	0.6%	0.2%	0.4%	0.8%	0.7%
	京都府	2.9%	2.6%	2.1%	3.2%	3.5%
	大阪府	13.3%	13.7%	12.1%	12.5%	14.8%
	兵庫県	2.5%	2.6%	3.3%	1.9%	2.4%
	奈良県	0.3%	0.5%	0.3%	0.1%	0.3%
	和歌山県	0.3%	0.4%	0.1%	0.3%	0.2%
中国	鳥取県	0.1%	0.1%	—	0.1%	0.2%
	島根県	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.2%
	岡山県	1.0%	1.5%	1.1%	0.8%	0.7%
	広島県	2.0%	1.6%	2.6%	2.0%	1.8%
	山口県	0.3%	0.4%	0.4%	0.1%	0.3%
四国	徳島県	0.2%	0.2%	0.3%	0.3%	0.1%
	香川県	0.3%	0.2%	0.2%	0.3%	0.6%
	愛媛県	0.8%	1.2%	0.7%	0.9%	0.6%
	高知県	0.1%	0.2%	0.2%	0.1%	0.2%
九州	福岡県	4.4%	4.7%	5.0%	3.8%	4.3%
	佐賀県	0.2%	—	0.2%	0.3%	0.3%
	長崎県	0.3%	0.4%	0.7%	0.1%	0.2%
	熊本県	0.5%	0.4%	0.9%	0.4%	0.5%
	大分県	0.3%	0.3%	0.2%	0.5%	0.3%
	宮崎県	0.2%	0.1%	0.4%	0.2%	0.3%
	鹿児島県	0.5%	0.7%	0.5%	0.4%	0.2%
	沖縄県	0.5%	0.6%	0.7%	0.4%	0.2%
海外	海外	1.0%	1.0%	0.7%	1.5%	0.7%

* 地元就職希望(最も就職したい都道府県が卒業高校都道府県に一致)の割合

【地元進学】現在の学校所在都道府県が卒業高校都道府県に一致

【地元外進学】現在の学校所在都道府県が卒業高校都道府県に不一致

◎卒業高校都道府県別		全体		地元進学		地元外進学		地元進学と地元外進学の差 (pt)
		回答数	地元就職希望	回答数	地元就職希望	回答数	地元就職希望	
全体		7,224	48.7%	3,367	69.7%	3,890	30.9%	+38.8pt
北海道		223	61.4%	160	75.0%	63	27.0%	+48.0pt
東北	青森県	71	31.0%	32	46.9%	39	17.9%	+29.0pt
	岩手県	76	36.8%	27	55.6%	49	26.5%	+29.1pt
	宮城県	155	54.8%	90	71.1%	65	32.3%	+38.8pt
	秋田県	48	31.3%	11	63.6%	37	21.6%	+42.0pt
	山形県	51	33.3%	13	69.2%	38	21.1%	+48.1pt
	福島県	80	26.3%	17	41.2%	63	22.2%	+19.0pt
関東	茨城県	167	29.3%	43	62.8%	124	17.7%	+45.1pt
	栃木県	93	30.1%	19	52.6%	74	24.3%	+28.3pt
	群馬県	106	36.8%	34	64.7%	72	23.6%	+41.1pt
	埼玉県	346	22.3%	83	36.1%	263	17.9%	+18.2pt
	千葉県	293	26.6%	94	41.5%	199	19.6%	+21.9pt
	東京都	702	86.3%	529	90.4%	173	74.0%	+16.4pt
	神奈川県	469	39.4%	181	58.6%	288	27.4%	+31.2pt
	甲信越	126	43.7%	59	64.4%	67	25.4%	+39.0pt
東海	山梨県	43	23.3%	16	43.8%	27	11.1%	+32.7pt
	長野県	103	41.7%	17	82.4%	86	33.7%	+48.7pt
	岐阜県	135	26.7%	25	48.0%	110	21.8%	+26.2pt
	静岡県	229	49.3%	73	76.7%	156	36.5%	+40.2pt
北陸	愛知県	641	75.5%	489	83.2%	152	50.7%	+32.5pt
	三重県	113	22.1%	20	45.0%	93	17.2%	+27.8pt
	富山県	82	47.6%	23	73.9%	59	37.3%	+36.6pt
関西	石川県	64	60.9%	37	73.0%	27	44.4%	+28.6pt
	福井県	58	39.7%	17	76.5%	41	24.4%	+52.1pt
	滋賀県	109	22.9%	32	21.9%	77	23.4%	-1.5pt
中国	京都府	236	40.3%	118	48.3%	118	32.2%	+16.1pt
	大阪府	533	76.9%	293	85.3%	240	66.7%	+18.6pt
	兵庫県	352	38.9%	176	50.6%	176	27.3%	+23.3pt
	奈良県	97	17.5%	19	47.4%	78	10.3%	+37.1pt
	和歌山県	50	28.0%	12	41.7%	38	23.7%	+18.0pt
	鳥取県	22	36.4%	2	50.0%	20	35.0%	+15.0pt
四国	島根県	30	20.0%	2	100.0%	28	14.3%	+85.7pt
	岡山県	113	49.6%	54	72.2%	59	28.8%	+43.4pt
	広島県	202	55.4%	109	67.9%	93	40.9%	+27.0pt
	山口県	72	27.8%	20	60.0%	52	15.4%	+44.6pt
	徳島県	32	37.5%	14	57.1%	18	22.2%	+34.9pt
九州	香川県	53	35.8%	7	71.4%	46	30.4%	+41.0pt
	愛媛県	101	50.5%	43	67.4%	58	37.9%	+29.5pt
	高知県	29	27.6%	10	50.0%	19	15.8%	+34.2pt
	福岡県	262	64.9%	163	74.2%	99	49.5%	+24.7pt
	佐賀県	40	32.5%	7	42.9%	33	30.3%	+12.6pt
	長崎県	71	26.8%	35	48.6%	36	5.6%	+43.0pt
	熊本県	87	37.9%	47	53.2%	40	20.0%	+33.2pt
	大分県	60	33.3%	14	50.0%	46	28.3%	+21.7pt
	宮崎県	56	25.0%	18	44.4%	38	15.8%	+28.6pt
沖縄	鹿児島県	79	32.9%	27	63.0%	52	17.3%	+45.7pt
	沖縄県	64	40.6%	35	60.0%	29	17.2%	+42.8pt

※回答数30未満は参考値とする。

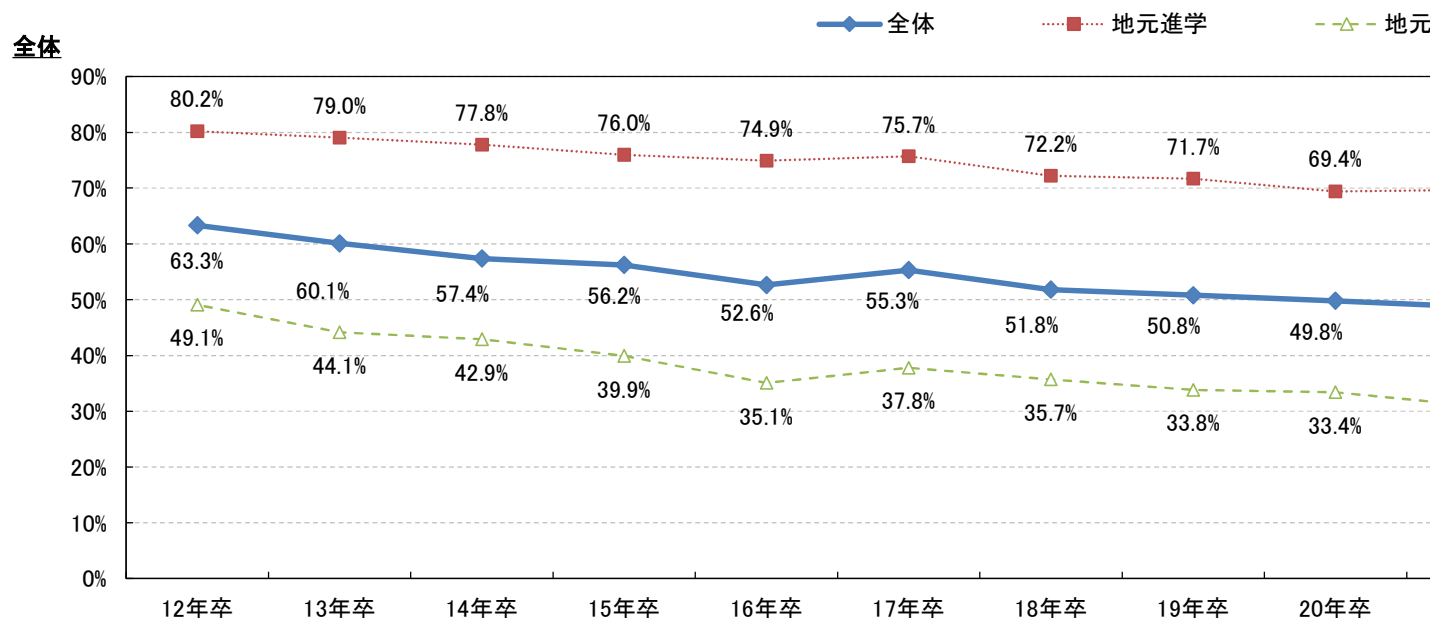
* 地元就職希望(最も就職したい都道府県が卒業高校都道府県に一致)の割合【時系列】

【地元進学】現在の学校所在都道府県が卒業高校都道府県に一致

【地元外進学】現在の学校所在都道府県が卒業高校都道府県に不一致

	全体		地元進学		地元外進学		地元進学と地元外進学との差	全回答者に占める地元進学比率
	回答数	地元就職希望	回答数	地元就職希望	回答数	地元就職希望		
21年卒	7,224	48.7%	3,367	69.7%	3,890	30.9%	+38.8pt	46.6%
20年卒	7,734	49.8%	3,563	69.4%	4,171	33.4%	+36.0pt	46.1%
19年卒	7,127	50.8%	3,175	71.7%	3,952	33.8%	+37.9pt	44.5%
18年卒	6,969	51.8%	3,075	72.2%	3,894	35.7%	+36.5pt	44.1%
17年卒	6,717	55.3%	3,101	75.7%	3,616	37.8%	+37.9pt	46.2%
16年卒	7,058	52.6%	3,102	74.9%	3,956	35.1%	+39.8pt	44.0%
15年卒	4,964	56.2%	2,243	76.0%	2,721	39.9%	+36.1pt	45.2%
14年卒	4,320	57.4%	1,874	77.8%	2,446	42.9%	+34.9pt	43.4%
13年卒	3,136	60.1%	1,317	79.0%	1,819	44.1%	+34.9pt	42.0%
12年卒	4,346	63.3%	1,994	80.2%	2,352	49.1%	+31.1pt	45.9%

【地元就職希望割合】



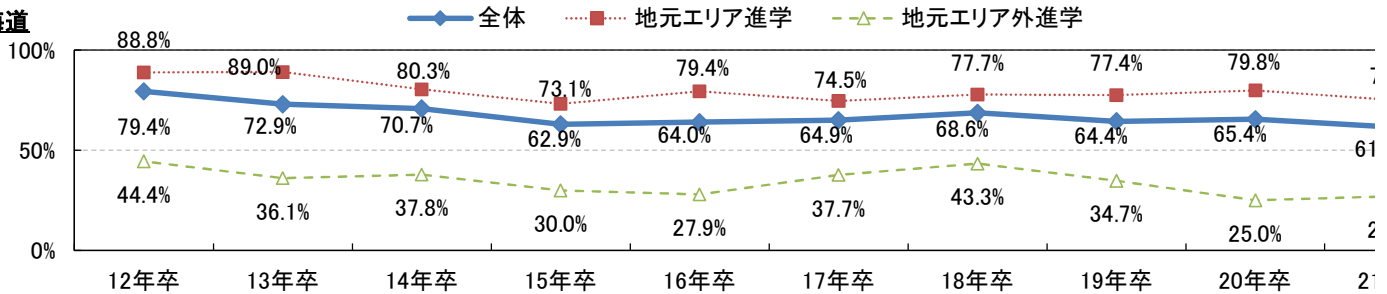
* 地元エリア就職希望(最も就職したいエリアが卒業高校エリアに一致)の割合【時系列】

各エリアに関しては①出身高校エリア、②進学先大学エリア、③最も就職したいエリアで集計している。※希望就職先「海外」を除いて集計
例: 東北6県いずれかの高校を卒業し、同じく6県のいずれかの大学に進学した学生は地元進学学生として集計。

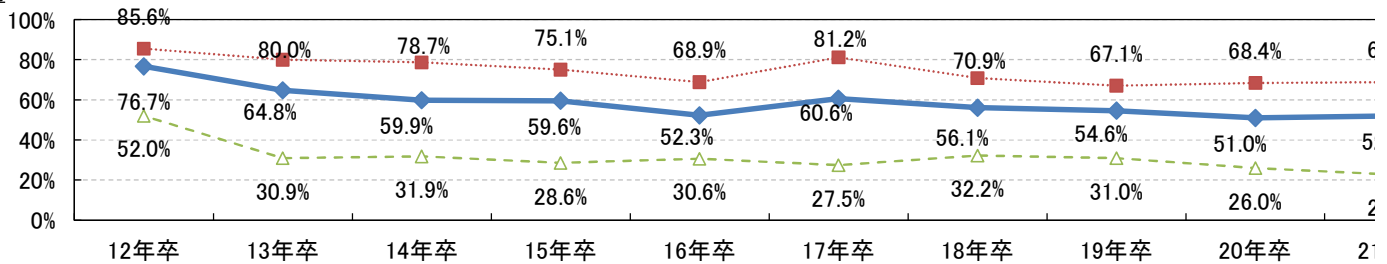
山形県の高校を卒業し、福島県の大学に進学、宮城県が最も働きたい県の場合→地元エリア進学の地元エリア就職希望

山形県の高校を卒業し、東京都の大学に進学、宮城県が最も働きたい県の場合→地元エリア外進学の地元エリア就職希望

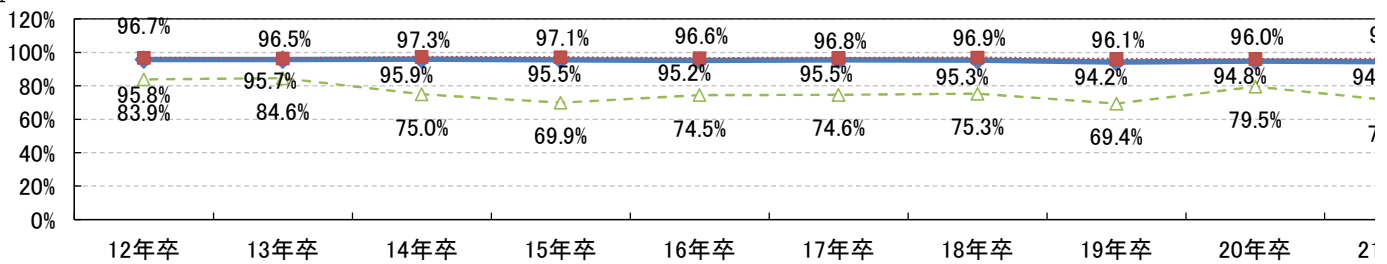
北海道



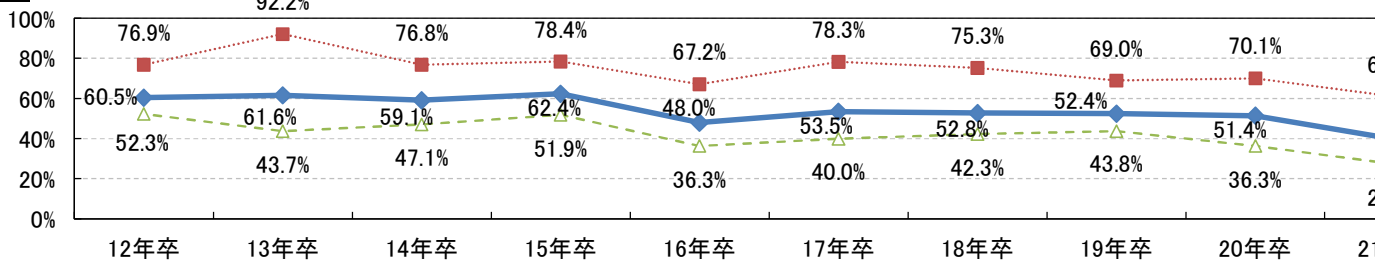
東北



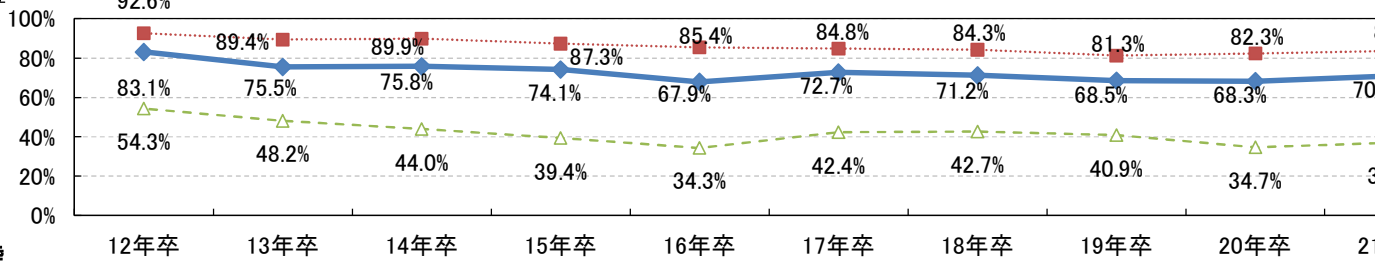
関東



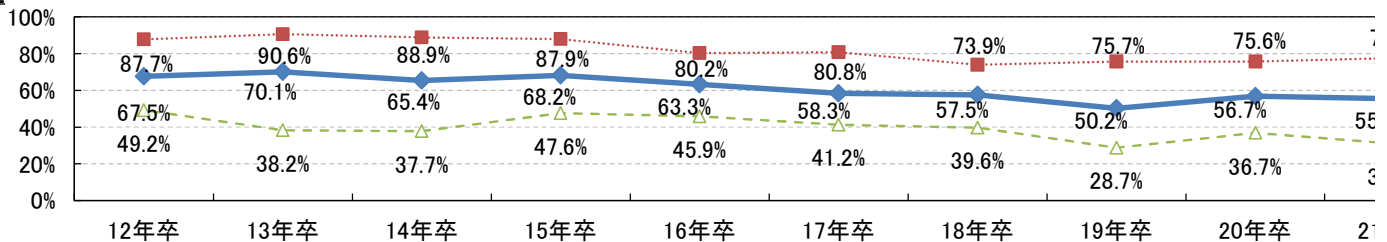
甲信越



東海



北陸

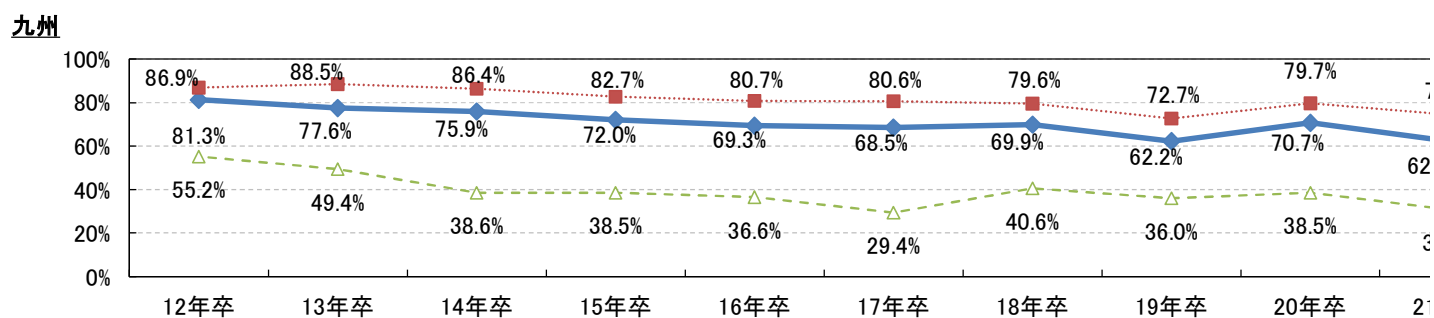
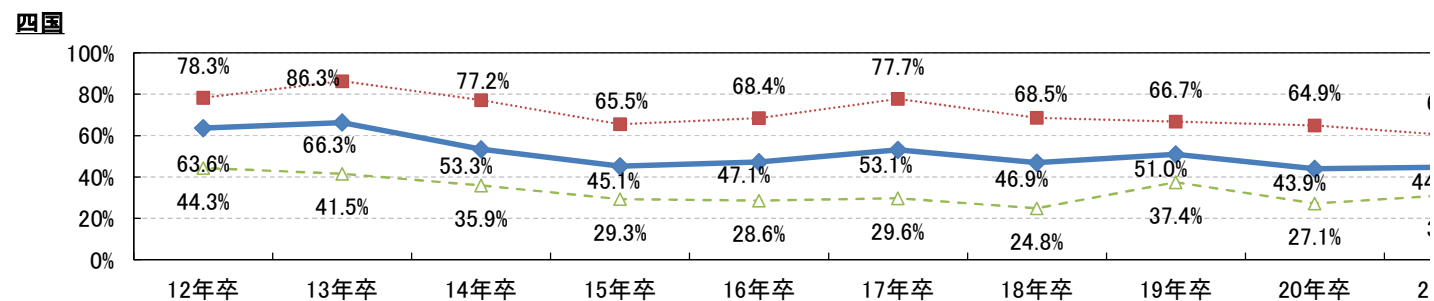
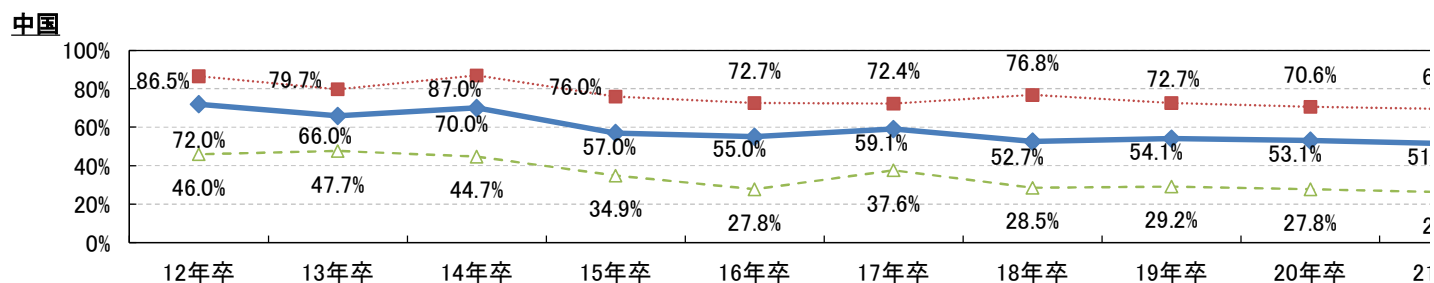
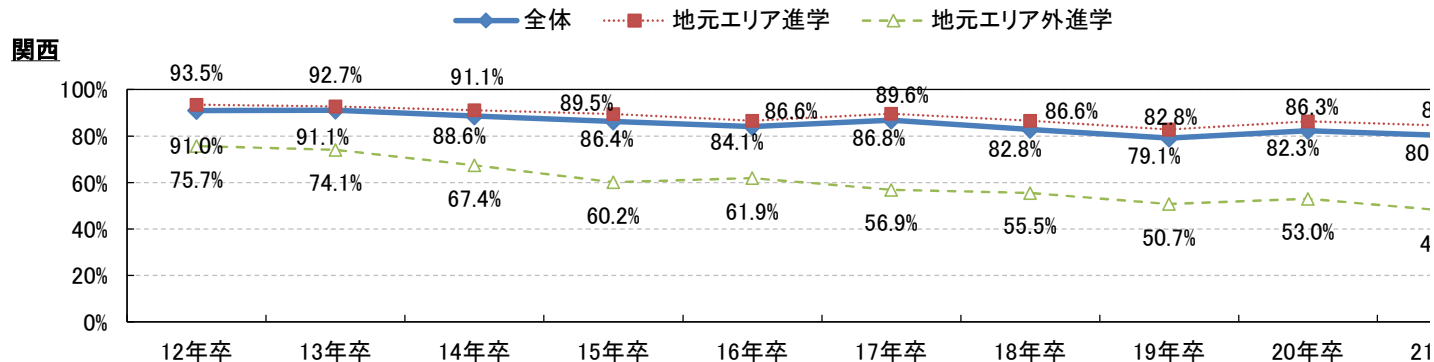


* 地元エリア就職希望(最も就職したいエリアが卒業高校エリアに一致)の割合【時系列】

各エリアに関しては①出身高校エリア、②進学先大学エリア、③最も就職したいエリアで集計している。※希望就職先「海外」を除いて集計
例: 東北6県いずれかの高校を卒業し、同じく6県のいずれかの大学に進学した学生は地元進学学生として集計。

山形県の高校を卒業し、福島県の大学に進学、宮城県が最も働きたい県の場合→地元エリア進学の地元エリア就職希望

山形県の高校を卒業し、東京都の大学に進学、宮城県が最も働きたい県の場合→地元エリア外進学の地元エリア就職希望



(7) 就職活動を始めた時点で、第一志望だった業界を選び下さい。【SA】

		全体	地元進学男子	地元進学女子	地元外進学男子	地元外進学女子
回答数		7,263	1,095	2,272	1,385	2,511
建設	建設・設備工事	3.8%	5.2%	2.4%	5.2%	1.8%
	住宅・インテリア	3.7%	3.6%	4.6%	3.1%	3.9%
製造(建設除く)	食品・農林・水産	10.8%	8.0%	13.1%	8.7%	14.4%
	アパレル・服飾関連	1.4%	0.8%	1.9%	0.6%	2.7%
	繊維・化学・ゴム・ガラス・セラミック	3.5%	4.1%	1.9%	5.1%	2.3%
	薬品・化粧品	4.0%	2.6%	5.5%	2.7%	5.8%
	鉄鋼・金属・鉱業	0.6%	0.7%	0.3%	1.1%	0.2%
	機械・プラント	2.2%	4.1%	0.6%	2.8%	1.0%
	電子・電気機器	2.7%	4.0%	0.7%	4.7%	0.9%
	自動車・輸送用機器	3.0%	4.6%	1.7%	4.3%	0.8%
	精密・医療機器	1.1%	1.0%	0.8%	1.6%	1.0%
	印刷・事務機器・日用品	1.3%	0.7%	1.8%	0.8%	2.1%
	スポーツ・玩具・ゲーム製品	2.1%	2.1%	1.3%	2.7%	2.0%
	その他メーカー	0.9%	0.6%	1.1%	1.1%	1.0%
商社	総合商社	2.0%	1.8%	2.8%	1.8%	1.5%
	専門商社	1.7%	1.5%	1.5%	1.9%	1.7%
小売	百貨店・スーパー・コンビニ	1.2%	1.6%	1.4%	0.9%	0.9%
	専門店	0.5%	0.4%	0.9%	0.2%	0.5%
金融	銀行・証券	4.5%	5.0%	4.5%	4.0%	4.3%
	クレジット・信販・リース・その他金融	0.7%	0.9%	0.8%	0.4%	0.7%
マスコミ	生保・損保	1.3%	1.2%	1.2%	1.1%	1.6%
	放送・新聞・出版	3.2%	2.0%	2.9%	3.2%	4.7%
ソフトウェア・通信	広告・芸能	3.2%	2.8%	4.7%	1.7%	4.2%
	ソフトウェア・情報処理・ネット関連	8.0%	11.7%	4.3%	10.0%	5.4%
インフラ	ゲームソフト	0.4%	0.5%	0.4%	0.4%	0.5%
	通信	0.9%	1.5%	0.5%	1.2%	0.4%
サービス	鉄道・航空	4.2%	3.6%	4.0%	4.7%	4.4%
	陸運・海運・物流	1.5%	1.6%	1.5%	1.6%	1.4%
サービス	電力・ガス・エネルギー	1.4%	1.6%	1.0%	1.9%	0.9%
	不動産	1.6%	1.8%	1.4%	2.0%	0.9%
	給食・フードサービス	0.8%	0.4%	1.6%	0.1%	1.5%
	ホテル・旅行	3.4%	2.1%	5.8%	1.7%	5.0%
	医療・調剤薬局	2.9%	1.6%	4.8%	1.5%	4.3%
	介護・福祉サービス	1.2%	1.0%	2.2%	0.4%	1.5%
	アミューズメント・レジャー	0.9%	0.5%	1.3%	1.1%	0.7%
	コンサルティング・調査	2.3%	2.1%	0.7%	3.9%	1.8%
	人材サービス(派遣・紹介)	1.0%	1.1%	0.8%	0.9%	0.9%
	教育	2.4%	1.7%	2.6%	2.0%	3.3%
	エステ・理美容・フィットネス	0.5%	0.5%	0.3%	0.4%	0.8%
	冠婚葬祭	0.6%	0.1%	1.0%	0.2%	1.1%
	その他サービス	1.3%	1.0%	2.0%	1.1%	1.4%
	官公庁・公社・団体	5.3%	6.3%	5.3%	5.2%	4.2%
建設		7.5%	8.8%	7.0%	8.3%	5.7%
製造(建設除く)		33.6%	33.3%	30.7%	36.2%	34.2%
商社		3.7%	3.3%	4.3%	3.7%	3.2%
小売		1.7%	2.0%	2.3%	1.1%	1.4%
金融		6.5%	7.1%	6.5%	5.5%	6.6%
マスコミ		6.4%	4.8%	7.6%	4.9%	8.9%
ソフトウェア・通信		9.3%	13.7%	5.2%	11.6%	6.3%
インフラ		7.1%	6.8%	6.5%	8.2%	6.7%
サービス		18.9%	13.9%	24.5%	15.3%	23.2%
官公庁・公社・団体		5.3%	6.3%	5.3%	5.2%	4.2%

◎卒業高校エリア別

		全体	北海道	東北	関東	甲信越
回答数		5,328	137	250	2,052	108
建設	建設・設備工事	3.6%	5.8%	4.4%	3.5%	4.6%
	住宅・インテリア	3.7%	2.9%	7.2%	2.9%	2.8%
製造(建設除く)	食品・農林・水産	10.9%	11.7%	10.8%	11.6%	14.8%
	アパレル・服飾関連	1.4%	—	2.4%	1.9%	0.9%
	繊維・化学・ゴム・ガラス・セラミック	3.2%	1.5%	2.4%	2.4%	2.8%
	薬品・化粧品	3.6%	2.9%	1.2%	4.5%	2.8%
	鉄鋼・金属・鉱業	0.6%	—	0.4%	0.4%	0.9%
	機械・プラント	2.0%	0.7%	1.2%	1.3%	3.7%
	電子・電気機器	2.6%	1.5%	1.2%	1.8%	6.5%
	自動車・輸送用機器	3.2%	1.5%	2.0%	1.2%	1.9%
	精密・医療機器	0.9%	—	0.8%	0.8%	0.9%
	印刷・事務機器・日用品	1.3%	0.7%	0.4%	1.7%	0.9%
	スポーツ・玩具・ゲーム製品	1.9%	0.7%	1.2%	2.2%	—
	その他メーカー	0.9%	—	0.4%	1.0%	0.9%
商社	総合商社	2.1%	5.8%	2.0%	2.0%	2.8%
	専門商社	1.6%	—	0.8%	1.7%	1.9%
小売	百貨店・スーパー・コンビニ	1.3%	2.2%	1.6%	1.1%	4.6%
	専門店	0.6%	1.5%	0.8%	0.7%	0.9%
金融	銀行・証券	5.2%	4.4%	6.0%	4.6%	5.6%
	クレジット・信販・リース・その他金融	0.8%	—	—	1.4%	—
	生保・損保	1.3%	2.9%	1.6%	1.4%	1.9%
マスコミ	放送・新聞・出版	2.7%	1.5%	4.0%	3.1%	3.7%
	広告・芸能	3.0%	3.6%	3.6%	4.6%	2.8%
ソフトウェア・通信	ソフトウェア・情報処理・ネット関連	8.0%	10.2%	6.0%	7.2%	7.4%
	ゲームソフト	0.4%	0.7%	0.8%	0.5%	—
	通信	1.1%	—	0.8%	0.9%	—
インフラ	鉄道・航空	3.7%	—	2.8%	4.4%	0.9%
	陸運・海運・物流	1.4%	1.5%	0.8%	1.5%	—
	電力・ガス・エネルギー	1.6%	5.1%	2.8%	0.9%	1.9%
サービス	不動産	1.7%	2.2%	0.4%	2.2%	—
	給食・フードサービス	0.9%	0.7%	3.2%	0.9%	2.8%
	ホテル・旅行	3.6%	2.9%	2.8%	4.6%	3.7%
	医療・調剤薬局	3.1%	2.9%	4.8%	2.8%	1.9%
	介護・福祉サービス	1.5%	0.7%	0.8%	1.4%	0.9%
	アミューズメント・レジャー	0.8%	0.7%	—	1.2%	—
	コンサルティング・調査	2.0%	0.7%	1.6%	2.5%	1.9%
	人材サービス(派遣・紹介)	0.9%	1.5%	0.4%	0.8%	—
	教育	2.3%	4.4%	0.8%	2.5%	2.8%
	エステ・理美容・フィットネス	0.5%	0.7%	—	0.8%	—
	冠婚葬祭	0.6%	0.7%	—	0.8%	—
	その他サービス	1.4%	1.5%	2.8%	1.8%	—
官公庁・公社・団体	官公庁・公社・団体	6.1%	10.9%	12.0%	4.4%	7.4%
建設		7.3%	8.7%	11.6%	6.4%	7.4%
製造(建設除く)		32.5%	21.2%	24.4%	30.8%	37.0%
商社		3.7%	5.8%	2.8%	3.7%	4.7%
小売		1.9%	3.7%	2.4%	1.8%	5.5%
金融		7.3%	7.3%	7.6%	7.4%	7.5%
マスコミ		5.7%	5.1%	7.6%	7.7%	6.5%
ソフトウェア・通信		9.5%	10.9%	7.6%	8.6%	7.4%
インフラ		6.7%	6.6%	6.4%	6.8%	2.8%
サービス		19.3%	19.6%	17.6%	22.3%	14.0%
官公庁・公社・団体		6.1%	10.9%	12.0%	4.4%	7.4%

▼地元外進学で地元エリア就職希望者の志望業種

* 地元エリア就職希望(最も就職したいエリアが卒業高校エリアに一致)の割合

◎卒業高校エリア別

		全体	北陸	関西	中国	四国
回答数		5,328	113	1105	226	96
建設	建設・設備工事	3.6%	3.5%	2.2%	2.7%	3.1%
	住宅・インテリア	3.7%	4.4%	5.2%	3.1%	2.1%
製造(建設除く)	食品・農林・水産	10.9%	6.2%	12.3%	17.3%	18.8%
	アパレル・服飾関連	1.4%	—	2.1%	—	—
	繊維・化学・ゴム・ガラス・セラミック	3.2%	7.1%	3.6%	2.7%	4.2%
	薬品・化粧品	3.6%	10.6%	5.3%	1.8%	4.2%
	鉄鋼・金属・鋳業	0.6%	0.9%	0.4%	1.3%	—
	機械・プラント	2.0%	5.3%	1.9%	2.7%	—
	電子・電気機器	2.6%	4.4%	2.4%	1.8%	2.1%
	自動車・輸送用機器	3.2%	—	1.4%	2.7%	2.1%
	精密・医療機器	0.9%	0.9%	0.8%	1.3%	1.0%
	印刷・事務機器・日用品	1.3%	0.9%	2.3%	2.2%	2.1%
	スポーツ・玩具・ゲーム製品	1.9%	—	2.4%	0.9%	1.0%
	その他メーカー	0.9%	0.9%	1.2%	0.4%	1.0%
商社	総合商社	2.1%	—	1.5%	2.7%	5.2%
	専門商社	1.6%	0.9%	2.0%	1.3%	1.0%
小売	百貨店・スーパー・コンビニ	1.3%	—	1.5%	0.4%	—
	専門店	0.6%	0.9%	0.7%	0.4%	—
金融	銀行・証券	5.2%	3.5%	4.9%	5.3%	6.3%
	クレジット・信販・リース・その他金融	0.8%	—	0.7%	0.4%	—
	生保・損保	1.3%	0.9%	1.0%	0.9%	—
マスコミ	放送・新聞・出版	2.7%	1.8%	3.4%	3.5%	3.1%
	広告・芸能	3.0%	0.9%	2.3%	1.8%	1.0%
ソフトウェア・通信	ソフトウェア・情報処理・ネット関連	8.0%	14.2%	5.8%	6.2%	6.3%
	ゲームソフト	0.4%	0.9%	0.4%	—	—
	通信	1.1%	—	0.8%	1.3%	2.1%
インフラ	鉄道・航空	3.7%	0.9%	4.7%	0.9%	1.0%
	陸運・海運・物流	1.4%	1.8%	1.3%	—	1.0%
	電力・ガス・エネルギー	1.6%	4.4%	0.5%	2.7%	4.2%
サービス	不動産	1.7%	2.7%	1.5%	0.9%	—
	給食・フードサービス	0.9%	—	1.1%	1.8%	1.0%
	ホテル・旅行	3.6%	2.7%	4.2%	3.5%	1.0%
	医療・調剤薬局	3.1%	2.7%	3.8%	6.2%	5.2%
	介護・福祉サービス	1.5%	3.5%	1.8%	2.7%	3.1%
	アミューズメント・レジャー	0.8%	—	0.5%	0.4%	—
	コンサルティング・調査	2.0%	4.4%	1.4%	0.9%	—
	人材サービス(派遣・紹介)	0.9%	—	1.4%	1.3%	1.0%
	教育	2.3%	—	2.6%	2.7%	2.1%
	エステ・理美容・フィットネス	0.5%	—	0.5%	—	—
	冠婚葬祭	0.6%	—	0.8%	1.3%	—
	その他サービス	1.4%	—	1.5%	2.2%	—
官公庁・公社・団体	官公庁・公社・団体	6.1%	8.0%	4.0%	7.5%	13.5%
建設		7.3%	7.9%	7.4%	5.8%	5.2%
製造(建設除く)		32.5%	37.2%	36.1%	35.1%	36.5%
商社		3.7%	0.9%	3.5%	4.0%	6.2%
小売		1.9%	0.9%	2.2%	0.8%	0.0%
金融		7.3%	4.4%	6.6%	6.6%	6.3%
マスコミ		5.7%	2.7%	5.7%	5.3%	4.1%
ソフトウェア・通信		9.5%	15.1%	7.0%	7.5%	8.4%
インフラ		6.7%	7.1%	6.5%	3.6%	6.2%
サービス		19.3%	16.0%	21.1%	23.9%	13.4%
官公庁・公社・団体		6.1%	8.0%	4.0%	7.5%	13.5%

(8) あなたの地元の特長について、当てはまるものをすべて選択してください。【MA】

	全体	地元進学男子	地元進学女子	地元外進学男子	地元外進学女子	20年卒全体
回答数	7,263	1,095	2,272	1,385	2,511	7,734
郷土愛の強い人が多い	35.7%	36.6%	33.8%	38.2%	33.0%	34.9%
人間関係が濃い	10.5%	13.2%	7.5%	10.8%	10.0%	22.1%
子供の数が多い	4.0%	3.6%	4.8%	3.5%	4.4%	6.9%
自然が豊かで空気が綺麗だ	21.3%	18.4%	19.1%	22.1%	25.4%	42.4%
お金持ちが多い	2.9%	2.6%	3.6%	2.9%	2.6%	6.2%
家広い	1.2%	1.1%	1.1%	1.3%	1.2%	12.5%
教育に力を入れている	2.7%	2.3%	3.3%	2.8%	2.5%	9.6%
外国人観光客が集まる観光地がある	5.7%	5.4%	7.5%	4.1%	6.3%	22.0%
リゾート施設が充実している	0.6%	0.7%	0.4%	0.7%	0.4%	5.2%
全国的に知名度の高い特産物や名産品がある	2.5%	2.9%	2.5%	2.5%	2.2%	24.9%
様々な買い物をするのに便利	6.1%	4.9%	8.6%	4.9%	6.8%	30.4%
有名な祭りがある	1.1%	1.4%	1.4%	0.9%	0.9%	18.0%
郷土の歴史や文化財を大切にしている	0.9%	1.2%	1.1%	0.9%	0.6%	24.3%
皆で助け合って生活している	0.5%	0.6%	0.4%	0.6%	0.4%	11.4%
喧騒が少ない	1.7%	2.4%	1.5%	1.6%	1.5%	21.8%
自分専用の車を持っている人が多い	2.6%	2.6%	3.5%	2.4%	2.0%	41.9%

◎卒業高校エリア別

	全体	北海道	東北	関東	甲信越	東海
回答数	7,257	223	481	2176	272	1118
郷土愛の強い人が多い	35.7%	57.0%	41.6%	17.1%	46.0%	40.0%
人間関係が濃い	10.5%	8.1%	12.5%	8.2%	9.9%	8.9%
子供の数が多い	4.0%	1.8%	1.5%	8.4%	0.7%	2.3%
自然が豊かで空気が綺麗だ	21.3%	25.6%	31.4%	20.3%	30.9%	20.2%
お金持ちが多い	2.9%	0.4%	—	6.4%	0.4%	1.8%
家広い	1.2%	0.9%	0.8%	1.5%	1.8%	0.9%
教育に力を入れている	2.7%	0.4%	0.6%	5.9%	0.4%	1.2%
外国人観光客が集まる観光地がある	5.7%	0.9%	1.0%	8.0%	1.1%	3.1%
リゾート施設が充実している	0.6%	0.4%	0.4%	0.9%	—	0.8%
全国的に知名度の高い特産物や名産品がある	2.5%	1.3%	3.3%	1.9%	2.2%	5.2%
様々な買い物をするのに便利	6.1%	—	1.7%	13.1%	1.1%	7.2%
有名な祭りがある	1.1%	0.4%	1.7%	0.9%	—	1.6%
郷土の歴史や文化財を大切にしている	0.9%	—	—	0.7%	0.7%	1.3%
皆で助け合って生活している	0.5%	0.4%	0.4%	0.7%	0.4%	0.2%
喧騒が少ない	1.7%	0.4%	0.6%	3.1%	0.4%	1.0%
自分専用の車を持っている人が多い	2.6%	1.8%	2.5%	2.8%	4.0%	4.4%

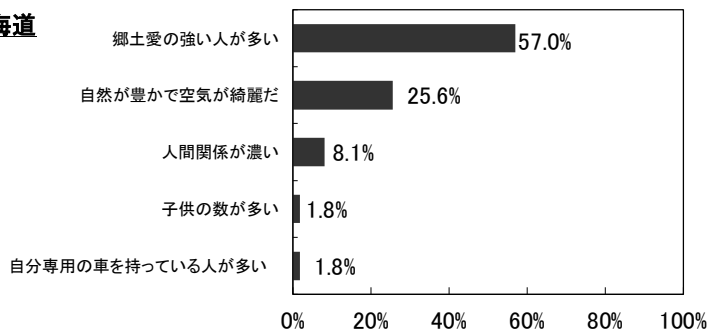
◎卒業高校エリア別

	北陸	関西	中国	四国	九州	海外
回答数	204	1377	439	215	719	33
郷土愛の強い人が多い	45.6%	28.9%	44.6%	49.3%	63.0%	15.2%
人間関係が濃い	10.3%	13.4%	9.3%	9.8%	7.8%	30.3%
子供の数が多い	1.0%	5.4%	0.9%	0.5%	0.6%	—
自然が豊かで空気が綺麗だ	30.4%	19.2%	26.7%	26.5%	15.9%	15.2%
お金持ちが多い	1.0%	3.6%	0.2%	—	—	6.1%
家広い	2.0%	0.9%	0.9%	0.9%	0.8%	3.0%
教育に力を入れている	1.0%	2.9%	1.1%	—	0.7%	6.1%
外国人観光客が集まる観光地がある	2.5%	11.2%	5.7%	6.5%	3.1%	9.1%
リゾート施設が充実している	—	0.4%	—	—	0.1%	—
全国的に知名度の高い特産物や名産品がある	0.5%	1.7%	1.8%	1.4%	2.4%	3.0%
様々な買い物をするのに便利	—	6.2%	1.1%	0.9%	2.4%	—
有名な祭りがある	0.5%	1.7%	0.9%	0.5%	0.8%	—
郷土の歴史や文化財を大切にしている	1.0%	1.5%	1.4%	0.5%	0.7%	—
皆で助け合って生活している	1.0%	0.4%	0.2%	0.5%	—	3.0%
喧騒が少ない	0.5%	1.5%	1.1%	0.9%	0.8%	3.0%
自分専用の車を持っている人が多い	2.9%	1.2%	3.9%	1.9%	1.0%	6.1%

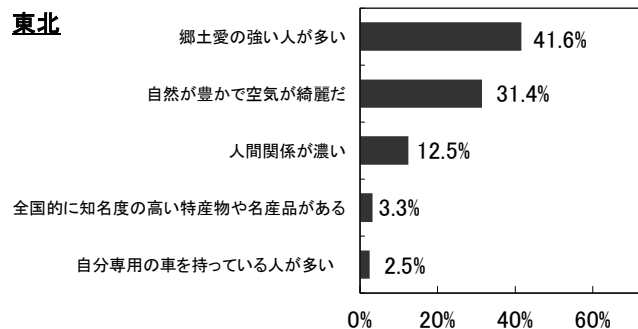
▼あなたの地元の特長について、当てはまるものをすべて選択してください。【MA】

【地元の特長について 上位5位抜粋(エリア別)】※海外除く

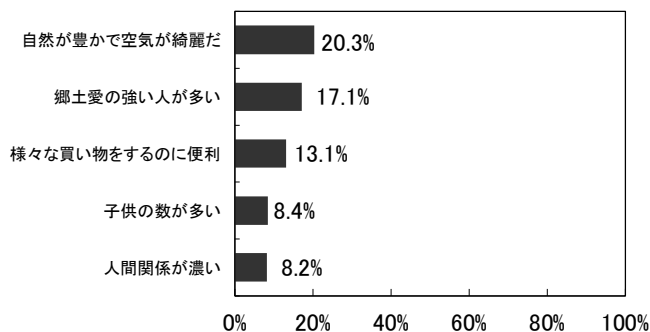
北海道



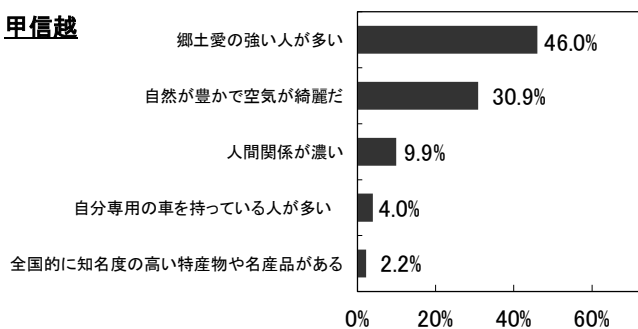
東北



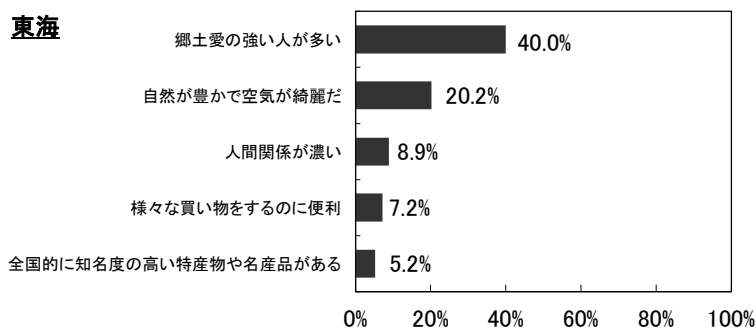
関東



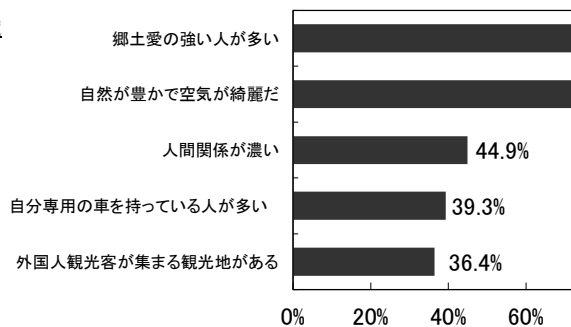
甲信越



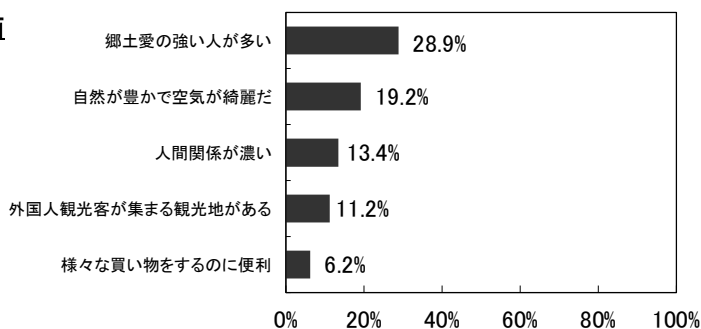
東海



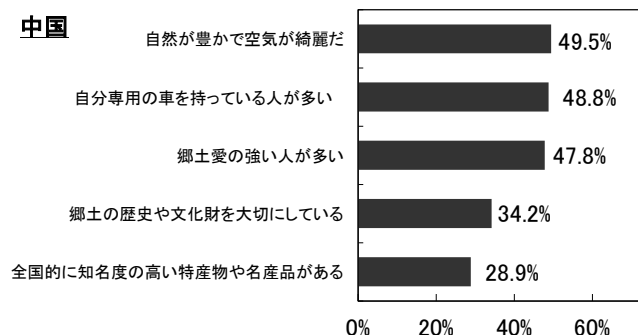
北陸



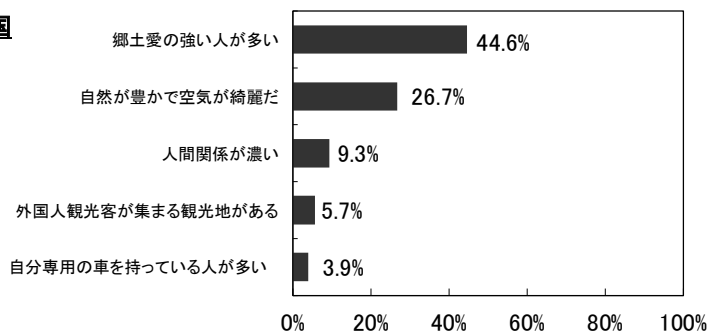
関西



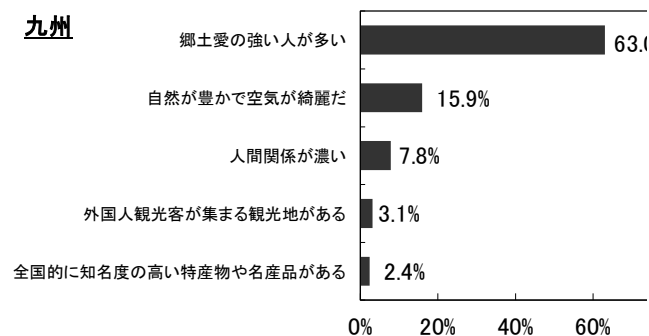
中国



四国



九州



▼あなたの地元の特長について、当てはまるものをすべて選択してください。【MA】

→横軸で複数回答の比率を表示

◎卒業高校都道府県別	回答数	郷土愛の強い 人が多い	人間関係 が濃い	子供の数 が多い	自然が豊かで 空気が綺麗だ	お金持ち が多い	家広い	教育に力を 入れている
全体	7257.0	35.7%	10.5%	4.0%	21.3%	2.9%	1.2%	2.7%
北海道	223	57.0%	8.1%	1.8%	25.6%	0.4%	0.9%	0.4%
青森県	71	43.7%	12.7%	1.4%	33.8%	—	2.8%	—
岩手県	76	42.1%	18.4%	—	28.9%	—	—	—
宮城県	155	35.5%	9.7%	1.3%	34.2%	—	0.6%	—
秋田県	48	41.7%	10.4%	2.1%	37.5%	—	—	2.1%
山形県	51	54.9%	7.8%	2.0%	25.5%	—	2.0%	2.0%
福島県	80	42.5%	16.3%	2.5%	26.3%	—	—	1.3%
茨城県	167	30.5%	10.8%	3.0%	37.7%	0.6%	2.4%	3.0%
栃木県	93	20.4%	11.8%	2.2%	46.2%	2.2%	4.3%	—
群馬県	106	34.9%	8.5%	2.8%	38.7%	—	0.9%	—
埼玉県	346	13.6%	7.8%	6.9%	19.7%	2.3%	2.3%	6.1%
千葉県	293	20.5%	7.8%	6.8%	19.1%	2.4%	1.7%	4.8%
東京都	702	10.0%	8.5%	11.4%	12.7%	12.0%	1.3%	8.8%
神奈川県	469	19.0%	6.4%	10.4%	17.5%	7.9%	0.4%	5.8%
新潟県	126	40.5%	10.3%	—	31.0%	—	1.6%	0.8%
山梨県	43	41.9%	11.6%	—	27.9%	2.3%	2.3%	—
長野県	103	54.4%	8.7%	1.9%	32.0%	—	1.9%	—
岐阜県	135	32.6%	12.6%	3.0%	40.0%	—	1.5%	0.7%
静岡県	229	49.3%	9.2%	0.9%	25.3%	—	0.4%	0.4%
愛知県	641	40.6%	6.6%	3.1%	11.9%	3.1%	0.8%	1.6%
三重県	113	26.5%	16.8%	—	33.6%	—	1.8%	0.9%
富山県	82	53.7%	8.5%	1.2%	28.0%	1.2%	1.2%	1.2%
石川県	64	46.9%	7.8%	1.6%	21.9%	1.6%	—	1.6%
福井県	58	32.8%	15.5%	—	43.1%	—	5.2%	—
滋賀県	109	30.3%	18.3%	11.0%	30.3%	—	0.9%	0.9%
京都府	236	31.8%	11.0%	5.1%	12.7%	4.2%	1.7%	1.7%
大阪府	533	29.5%	15.8%	4.1%	10.9%	3.6%	0.4%	2.4%
兵庫県	352	29.0%	10.2%	6.5%	23.3%	4.8%	0.9%	3.7%
奈良県	97	13.4%	11.3%	5.2%	43.3%	3.1%	2.1%	9.3%
和歌山県	50	36.0%	14.0%	—	38.0%	2.0%	—	—
鳥取県	22	31.8%	13.6%	—	40.9%	—	4.5%	—
島根県	30	56.7%	13.3%	—	23.3%	—	—	—
岡山県	113	25.7%	9.7%	1.8%	36.3%	—	1.8%	1.8%
広島県	202	59.4%	8.4%	0.5%	12.4%	0.5%	0.5%	1.5%
山口県	72	31.9%	8.3%	1.4%	48.6%	—	—	—
徳島県	32	34.4%	15.6%	—	46.9%	—	—	—
香川県	53	41.5%	9.4%	1.9%	30.2%	—	—	—
愛媛県	101	52.5%	6.9%	—	22.8%	—	1.0%	—
高知県	29	69.0%	13.8%	—	10.3%	—	3.4%	—
福岡県	262	61.1%	5.3%	0.4%	12.6%	—	1.1%	1.1%
佐賀県	40	52.5%	17.5%	—	20.0%	—	2.5%	—
長崎県	71	52.1%	8.5%	—	22.5%	—	1.4%	—
熊本県	87	56.3%	10.3%	—	21.8%	—	—	1.1%
大分県	60	48.3%	8.3%	—	28.3%	—	1.7%	1.7%
宮崎県	56	67.9%	12.5%	—	19.6%	—	—	—
鹿児島県	79	78.5%	6.3%	2.5%	8.9%	—	—	—
沖縄県	64	89.1%	4.7%	1.6%	4.7%	—	—	—
海外	33	15.2%	30.3%	—	15.2%	6.1%	3.0%	6.1%

※回答数30未満は参考値とする。

▼あなたの地元の特長について、当てはまるものをすべて選択してください。【MA】

→横軸で複数回答の比率を表示

◎卒業高校都道府県別	回答数	リゾート施設 が充実 している	全国的に 知名度の高い 特産物や 名産品がある	様々な買い物 をするのに 便利	有名な祭り がある	郷土の歴史や 文化財を大切 にしている	皆で 助け合って 生活している	喧騒が少ない
全体	7,257	0.6%	2.5%	6.1%	1.1%	0.9%	0.5%	1.7%
北海道	223	0.4%	1.3%	—	0.4%	—	0.4%	0.4%
青森県	71	—	—	—	4.2%	—	—	1.4%
岩手県	76	1.3%	1.3%	1.3%	2.6%	—	—	—
宮城県	155	—	7.7%	4.5%	1.3%	—	0.6%	—
秋田県	48	—	2.1%	—	—	—	2.1%	—
山形県	51	—	—	—	—	—	—	2.0%
福島県	80	1.3%	2.5%	—	1.3%	—	—	1.3%
茨城県	167	—	—	3.6%	—	0.6%	0.6%	1.8%
栃木県	93	—	2.2%	3.2%	—	—	1.1%	—
群馬県	106	—	0.9%	—	—	—	0.9%	0.9%
埼玉県	346	—	2.0%	22.5%	1.7%	0.9%	1.4%	5.2%
千葉県	293	4.1%	2.0%	11.9%	0.3%	0.3%	—	4.1%
東京都	702	0.4%	1.7%	15.8%	1.1%	1.1%	0.7%	3.3%
神奈川県	469	1.1%	2.8%	11.1%	0.9%	0.4%	0.6%	2.1%
新潟県	126	—	4.8%	2.4%	—	0.8%	0.8%	—
山梨県	43	—	—	—	—	2.3%	—	—
長野県	103	—	—	—	—	—	—	1.0%
岐阜県	135	—	—	3.0%	0.7%	—	—	0.7%
静岡県	229	0.4%	6.6%	1.7%	0.9%	0.9%	—	0.9%
愛知県	641	0.6%	6.1%	11.2%	2.2%	1.4%	0.2%	0.9%
三重県	113	3.5%	3.5%	0.9%	0.9%	2.7%	0.9%	1.8%
富山県	82	—	—	—	1.2%	—	—	—
石川県	64	—	1.6%	—	—	3.1%	1.6%	1.6%
福井県	58	—	—	—	—	—	1.7%	—
滋賀県	109	—	0.9%	—	0.9%	1.8%	—	0.9%
京都府	236	0.4%	1.3%	3.0%	1.3%	3.4%	1.3%	1.3%
大阪府	533	0.8%	2.1%	9.4%	2.4%	1.1%	0.2%	2.3%
兵庫県	352	0.3%	2.6%	7.4%	1.4%	1.1%	0.3%	1.1%
奈良県	97	—	—	2.1%	—	—	—	1.0%
和歌山県	50	—	—	2.0%	2.0%	—	—	—
鳥取県	22	—	—	—	—	—	—	—
島根県	30	—	—	—	—	3.3%	—	—
岡山県	113	—	2.7%	2.7%	1.8%	0.9%	0.9%	1.8%
広島県	202	—	2.5%	1.0%	1.0%	1.0%	—	1.0%
山口県	72	—	—	—	—	2.8%	—	1.4%
徳島県	32	—	—	—	—	—	—	—
香川県	53	—	1.9%	1.9%	—	—	—	—
愛媛県	101	—	2.0%	1.0%	—	1.0%	1.0%	2.0%
高知県	29	—	—	—	3.4%	—	—	—
福岡県	262	0.4%	5.0%	5.7%	1.1%	0.4%	—	0.8%
佐賀県	40	—	2.5%	2.5%	—	—	—	—
長崎県	71	—	—	—	1.4%	2.8%	—	1.4%
熊本県	87	—	2.3%	1.1%	2.3%	1.1%	—	—
大分県	60	—	—	—	—	—	—	3.3%
宮崎県	56	—	—	—	—	—	—	—
鹿児島県	79	—	1.3%	—	—	1.3%	—	1.3%
沖縄県	64	—	—	—	—	—	—	—
海外	33	—	3.0%	—	—	—	3.0%	3.0%

※回答数30未満は参考値とする。

データ集(地元・地元外進学男女別)

(9) 地元(Uターン含む)就職を希望する場合、志望する企業の地域的範囲はどこまでになりますか。【SA】

※自宅を中心に(本社・支社・支店等)勤務可能な地域の範囲を選択。

	全体	地元進学男子	地元進学女子	地元外進学男子	地元外進学女子	20年卒全体
回答数	3,019	461	1,182	455	921	4,601
同じ市区内	15.0%	18.0%	15.7%	12.1%	13.7%	14.1%
同じ都道府県内	39.4%	39.5%	46.0%	36.9%	33.6%	41.1%
隣接する都道府県まで	36.0%	33.6%	32.3%	36.9%	42.6%	36.2%
同じ地域内(ex.関東、北陸など)	9.7%	8.9%	6.0%	14.1%	10.2%	8.6%

* 志望する企業の地域的範囲【SA】

→横軸100%で表示

		回答数	同じ市区内	同じ都道府県内	隣接する 都道府県まで	同じ地域内 (ex.関東、 北陸など)
◎卒業高校都道府県別						
全体	全体	3,015	15.0%	39.4%	36.0%	9.7%
北海道	北海道	84	45.2%	50.0%	2.4%	2.4%
東北	青森県	26	34.6%	38.5%	11.5%	15.4%
	岩手県	24	25.0%	29.2%	37.5%	8.3%
	宮城県	72	29.2%	45.8%	12.5%	12.5%
	秋田県	18	33.3%	38.9%	22.2%	5.6%
	山形県	20	30.0%	20.0%	40.0%	10.0%
	福島県	26	11.5%	46.2%	38.5%	3.8%
関東	茨城県	49	6.1%	51.0%	32.7%	10.2%
	栃木県	31	12.9%	35.5%	32.3%	19.4%
	群馬県	39	7.7%	41.0%	35.9%	15.4%
	埼玉県	104	6.7%	24.0%	59.6%	9.6%
	千葉県	83	9.6%	34.9%	48.2%	7.2%
	東京都	336	6.5%	44.3%	41.4%	7.7%
	神奈川県	206	9.2%	25.7%	56.8%	8.3%
甲信越	新潟県	51	29.4%	56.9%	7.8%	5.9%
	山梨県	9	11.1%	77.8%	11.1%	-
	長野県	38	28.9%	47.4%	10.5%	13.2%
東海	岐阜県	51	5.9%	21.6%	58.8%	13.7%
	静岡県	98	22.4%	52.0%	21.4%	4.1%
	愛知県	344	8.4%	61.9%	25.3%	4.4%
	三重県	35	8.6%	22.9%	57.1%	11.4%
北陸	富山県	39	10.3%	61.5%	23.1%	5.1%
	石川県	28	28.6%	35.7%	28.6%	7.1%
	福井県	24	16.7%	62.5%	16.7%	4.2%
関西	滋賀県	34	5.9%	23.5%	52.9%	17.6%
	京都府	99	10.1%	18.2%	55.6%	16.2%
	大阪府	279	6.8%	27.2%	53.0%	12.9%
	兵庫県	168	9.5%	24.4%	55.4%	10.7%
	奈良県	39	5.1%	7.7%	69.2%	17.9%
	和歌山県	13	30.8%	23.1%	38.5%	7.7%
中国	鳥取県	5	80.0%	20.0%	-	-
	島根県	7	-	57.1%	42.9%	-
	岡山県	45	17.8%	46.7%	24.4%	11.1%
	広島県	93	31.2%	41.9%	23.7%	3.2%
	山口県	24	29.2%	29.2%	41.7%	-
四国	徳島県	12	16.7%	50.0%	25.0%	8.3%
	香川県	24	8.3%	54.2%	25.0%	12.5%
	愛媛県	40	37.5%	42.5%	17.5%	2.5%
	高知県	6	33.3%	50.0%	-	16.7%
九州	福岡県	129	22.5%	45.0%	22.5%	10.1%
	佐賀県	16	25.0%	25.0%	37.5%	12.5%
	長崎県	25	32.0%	32.0%	4.0%	32.0%
	熊本県	34	26.5%	44.1%	20.6%	8.8%
	大分県	17	35.3%	41.2%	17.6%	5.9%
	宮崎県	14	35.7%	35.7%	14.3%	14.3%
	鹿児島県	27	22.2%	48.1%	22.2%	7.4%
	沖縄県	24	12.5%	87.5%	-	-
海外	海外	6	16.7%	33.3%	33.3%	16.7%

※回答数30未満は参考値とする。

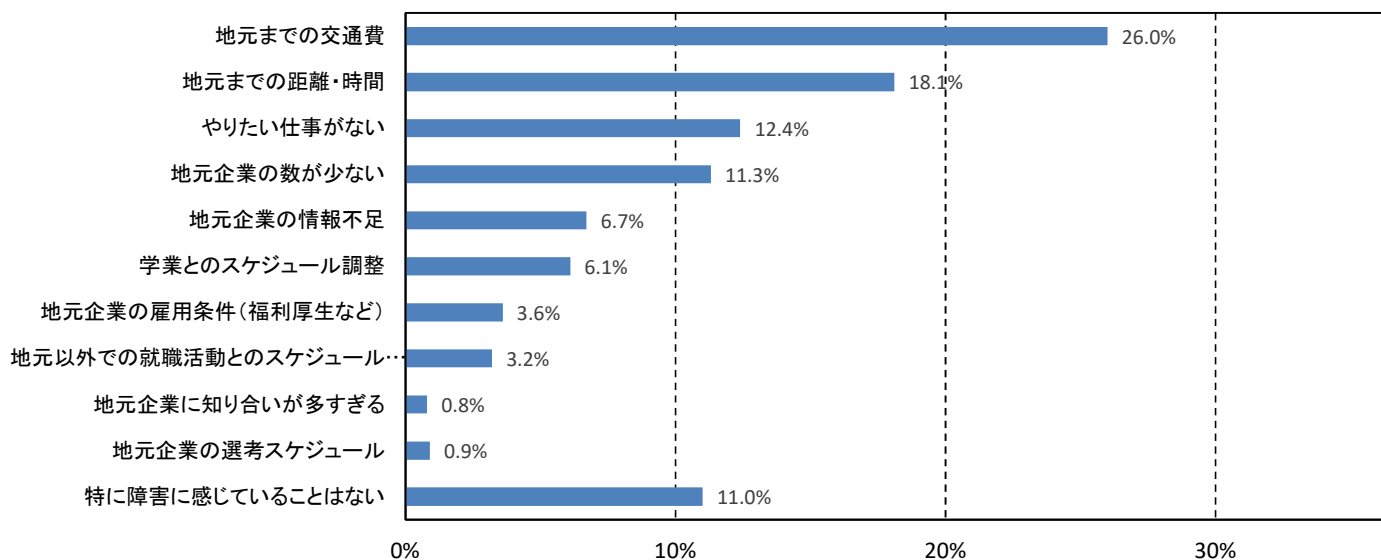
(10) 地元以外に進学している方: 地元企業への就職活動で最も障害に感じていることはどのようなことですか。【SA】

	地元外進学全体	地元外進学男子	地元外進学女子	20年卒 地元外進学全体	19年卒 地元外進学全体
回答数	2,964	1,123	1,841	3,348	3,104
地元までの交通費	26.0%	26.0%	25.9%	26.0%	29.5%
地元までの距離・時間	18.1%	19.2%	16.3%	14.4%	14.5%
やりたい仕事がない	12.4%	12.0%	13.0%	13.3%	—
地元企業数が少ない	11.3%	10.3%	12.7%	10.8%	17.9%
地元企業の情報不足	6.7%	6.3%	7.1%	6.2%	6.2%
学業とのスケジュール調整	6.1%	6.2%	5.9%	5.2%	6.9%
地元企業の雇用条件(福利厚生など)	3.6%	3.9%	3.2%	4.5%	5.7%
地元以外での就職活動とのスケジュール調整	3.2%	3.1%	3.4%	3.0%	3.5%
地元企業に知り合いが多すぎる	0.8%	0.8%	0.8%	1.3%	1.2%
地元企業の選考スケジュール	0.9%	0.9%	0.9%	0.9%	1.1%
特に障害に感じていることはない	11.0%	11.1%	10.8%	11.3%	—

◎卒業高校エリア別	地元外進学全体	北海道	東北	関東	甲信越	東海
回答数	2,964	58	271	757	167	427
地元までの交通費	26.0%	32.8%	19.9%	21.4%	30.5%	30.0%
地元までの距離・時間	18.1%	32.8%	19.6%	19.0%	15.0%	15.9%
やりたい仕事がない	12.4%	8.6%	15.5%	13.1%	19.2%	13.3%
地元企業数が少ない	11.3%	8.6%	14.4%	7.9%	9.0%	10.3%
地元企業の情報不足	6.7%	5.2%	9.2%	6.6%	4.2%	8.9%
学業とのスケジュール調整	6.1%	3.4%	4.1%	6.5%	10.2%	7.3%
地元企業の雇用条件(福利厚生など)	3.6%	1.7%	6.6%	4.5%	1.2%	2.1%
地元以外での就職活動とのスケジュール調整	3.2%	3.4%	4.4%	1.8%	4.2%	2.8%
地元企業に知り合いが多すぎる	0.8%	—	—	0.9%	1.8%	0.7%
地元企業の選考スケジュール	0.9%	—	1.5%	0.9%	0.6%	0.5%
特に障害に感じていることはない	11.0%	3.4%	4.8%	17.3%	4.2%	8.2%

◎卒業高校エリア別	地元外進学全体	関西	中国	四国	九州	海外
回答数	2,964	451	229	129	334	24
地元までの交通費	26.0%	24.6%	29.7%	25.6%	30.8%	20.8%
地元までの距離・時間	18.1%	15.1%	15.3%	16.3%	17.4%	29.2%
やりたい仕事がない	12.4%	10.4%	10.9%	10.9%	11.7%	4.2%
地元企業数が少ない	11.3%	14.0%	14.4%	20.9%	13.2%	4.2%
地元企業の情報不足	6.7%	6.4%	6.1%	5.4%	5.7%	12.5%
学業とのスケジュール調整	6.1%	6.2%	5.7%	4.7%	5.1%	—
地元企業の雇用条件(福利厚生など)	3.6%	1.1%	3.9%	3.9%	3.6%	20.8%
地元以外での就職活動とのスケジュール調整	3.2%	2.7%	6.1%	6.2%	3.3%	—
地元企業に知り合いが多すぎる	0.8%	1.3%	0.9%	—	0.3%	—
地元企業の選考スケジュール	0.9%	0.9%	0.4%	2.3%	0.3%	4.2%
特に障害に感じていることはない	11.0%	17.3%	6.6%	3.9%	8.7%	4.2%

【地元企業への就職活動で最も障害に感じていること】



▼地元以外に進学している方: 地元企業への就職活動で最も障害に感じていることはどのようなことですか。【SA】

→横軸100%で表示

◎卒業高校都道府県別

		回答数	地元までの 交通費	地元までの 距離・時間	やりたい仕事 がない	地元企業の 数が少ない	地元企業の 情報不足	学業とのスケ ジュール調整
全体		2,964	26.0%	18.1%	12.4%	11.3%	6.7%	6.1%
北海道	北海道	58	32.8%	32.8%	8.6%	8.6%	5.2%	3.4%
東北	青森県	38	15.8%	28.9%	21.1%	18.4%	5.3%	—
	岩手県	46	26.1%	19.6%	13.0%	13.0%	4.3%	4.3%
	宮城県	58	27.6%	13.8%	10.3%	13.8%	6.9%	8.6%
	秋田県	35	22.9%	11.4%	22.9%	11.4%	11.4%	2.9%
	山形県	36	19.4%	19.4%	16.7%	11.1%	19.4%	2.8%
	福島県	58	8.6%	24.1%	13.8%	17.2%	10.3%	3.4%
関東	茨城県	101	23.8%	17.8%	21.8%	7.9%	8.9%	6.9%
	栃木県	69	18.8%	10.1%	14.5%	23.2%	10.1%	5.8%
	群馬県	65	16.9%	21.5%	15.4%	15.4%	9.2%	9.2%
	埼玉県	154	16.9%	20.1%	15.6%	5.2%	3.9%	2.6%
	千葉県	134	12.7%	20.9%	9.0%	10.4%	7.5%	6.7%
	東京都	96	39.6%	21.9%	8.3%	—	4.2%	8.3%
甲信越	神奈川県	138	23.9%	18.1%	9.4%	2.9%	5.8%	8.0%
	新潟県	63	34.9%	14.3%	20.6%	4.8%	3.2%	7.9%
	山梨県	24	25.0%	4.2%	16.7%	20.8%	—	8.3%
	長野県	80	28.7%	18.8%	18.8%	8.8%	6.3%	12.5%
東海	岐阜県	79	19.0%	20.3%	11.4%	15.2%	11.4%	7.6%
	静岡県	141	32.6%	14.2%	13.5%	9.9%	9.2%	9.9%
	愛知県	133	39.1%	15.0%	11.3%	3.0%	6.8%	6.0%
	三重県	74	20.3%	16.2%	18.9%	18.9%	9.5%	4.1%
北陸	富山県	51	25.5%	25.5%	9.8%	13.7%	5.9%	5.9%
	石川県	27	33.3%	11.1%	11.1%	14.8%	3.7%	—
	福井県	39	33.3%	5.1%	15.4%	17.9%	5.1%	5.1%
関西	滋賀県	51	21.6%	7.8%	13.7%	27.5%	5.9%	3.9%
	京都府	73	34.2%	8.2%	12.3%	19.2%	2.7%	5.5%
	大阪府	118	16.9%	25.4%	5.9%	3.4%	6.8%	8.5%
	兵庫県	125	32.0%	11.2%	8.8%	13.6%	8.8%	5.6%
	奈良県	51	17.6%	17.6%	11.8%	17.6%	7.8%	3.9%
中国	和歌山県	33	18.2%	15.2%	21.2%	15.2%	3.0%	9.1%
	鳥取県	18	16.7%	22.2%	—	22.2%	16.7%	5.6%
	島根県	26	11.5%	11.5%	23.1%	23.1%	3.8%	7.7%
	岡山県	49	30.6%	22.4%	8.2%	8.2%	10.2%	2.0%
	広島県	89	37.1%	13.5%	5.6%	11.2%	4.5%	6.7%
四国	山口県	47	29.8%	10.6%	21.3%	19.1%	2.1%	6.4%
	徳島県	17	5.9%	23.5%	—	58.8%	—	11.8%
	香川県	44	36.4%	4.5%	11.4%	15.9%	6.8%	4.5%
	愛媛県	51	25.5%	21.6%	13.7%	11.8%	5.9%	3.9%
	高知県	17	17.6%	23.5%	11.8%	23.5%	5.9%	—
九州	福岡県	84	42.9%	20.2%	6.0%	8.3%	2.4%	8.3%
	佐賀県	25	32.0%	16.0%	4.0%	8.0%	16.0%	—
	長崎県	36	30.6%	19.4%	2.8%	25.0%	2.8%	2.8%
	熊本県	38	23.7%	15.8%	13.2%	7.9%	10.5%	5.3%
	大分県	42	21.4%	9.5%	23.8%	21.4%	7.1%	4.8%
	宮崎県	36	25.0%	25.0%	8.3%	13.9%	—	2.8%
	鹿児島県	45	20.0%	8.9%	26.7%	13.3%	6.7%	6.7%
	沖縄県	28	42.9%	25.0%	7.1%	10.7%	7.1%	3.6%
海外	海外	24	20.8%	29.2%	4.2%	4.2%	12.5%	—

※回答数30未満は参考値とする。

▼地元以外に進学している方:地元企業への就職活動で最も障害に感じていることはどのようなことですか。【SA】

→横軸100%で表示

◎卒業高校都道府県別

		回答数	地元企業の雇用条件(福利厚生など)	地元以外での就職活動とのスケジュール調整	地元企業に知り合いが多すぎる	地元企業の選考スケジュール	特に障害に感じていることはない
全体		2,964	3.6%	3.2%	0.8%	0.9%	11.0%
北海道	北海道	58	1.7%	3.4%	—	—	3.4%
東北	青森県	38	10.5%	—	—	—	—
	岩手県	46	6.5%	2.2%	—	2.2%	8.7%
	宮城県	58	3.4%	6.9%	—	1.7%	6.9%
	秋田県	35	2.9%	5.7%	—	2.9%	5.7%
	山形県	36	5.6%	2.8%	—	—	2.8%
	福島県	58	10.3%	6.9%	—	1.7%	3.4%
関東	茨城県	101	2.0%	5.0%	—	—	5.9%
	栃木県	69	4.3%	2.9%	—	1.4%	8.7%
	群馬県	65	1.5%	3.1%	1.5%	3.1%	3.1%
	埼玉県	154	8.4%	1.3%	1.3%	0.6%	24.0%
	千葉県	134	6.7%	—	1.5%	1.5%	23.1%
	東京都	96	1.0%	2.1%	—	1.0%	13.5%
	神奈川県	138	3.6%	0.7%	1.4%	—	26.1%
甲信越	新潟県	63	1.6%	3.2%	1.6%	1.6%	6.3%
	山梨県	24	—	12.5%	8.3%	—	4.2%
	長野県	80	1.3%	2.5%	—	—	2.5%
東海	岐阜県	79	3.8%	1.3%	—	1.3%	8.9%
	静岡県	141	2.1%	2.8%	0.7%	—	5.0%
	愛知県	133	0.8%	3.8%	0.8%	0.8%	12.8%
	三重県	74	2.7%	2.7%	1.4%	—	5.4%
北陸	富山県	51	3.9%	2.0%	—	—	7.8%
	石川県	27	3.7%	7.4%	3.7%	3.7%	7.4%
	福井県	39	—	5.1%	2.6%	5.1%	5.1%
関西	滋賀県	51	2.0%	2.0%	—	—	15.7%
	京都府	73	—	4.1%	2.7%	1.4%	9.6%
	大阪府	118	—	3.4%	1.7%	1.7%	26.3%
	兵庫県	125	1.6%	1.6%	1.6%	0.8%	14.4%
	奈良県	51	2.0%	—	—	—	21.6%
	和歌山県	33	3.0%	6.1%	—	—	9.1%
中国	鳥取県	18	—	16.7%	—	—	—
	島根県	26	7.7%	7.7%	—	—	3.8%
	岡山県	49	4.1%	6.1%	4.1%	—	4.1%
	広島県	89	3.4%	6.7%	—	1.1%	10.1%
	山口県	47	4.3%	—	—	—	6.4%
四国	徳島県	17	—	—	—	—	—
	香川県	44	2.3%	6.8%	—	2.3%	9.1%
	愛媛県	51	3.9%	7.8%	—	3.9%	2.0%
	高知県	17	11.8%	5.9%	—	—	—
九州	福岡県	84	—	1.2%	—	—	10.7%
	佐賀県	25	4.0%	8.0%	—	—	12.0%
	長崎県	36	8.3%	2.8%	—	—	5.6%
	熊本県	38	2.6%	7.9%	—	—	13.2%
	大分県	42	2.4%	2.4%	2.4%	2.4%	2.4%
	宮崎県	36	8.3%	5.6%	—	—	11.1%
	鹿児島県	45	4.4%	2.2%	—	—	11.1%
	沖縄県	28	3.6%	—	—	—	—
海外	海外	24	20.8%	—	—	4.2%	4.2%

※回答数30未満は参考値とする。

(11) これまでに両親や親族に就職の相談をしたことはありますか。【SA】

	全体	地元進学男子	地元進学女子	地元外進学男子	地元外進学女子	20年卒全体
回答数	7,263	1,095	2,272	1,385	2,511	7,734
相談したことがある	79.1%	75.0%	85.3%	74.2%	84.2%	78.1%
相談したことがない	20.9%	25.0%	14.7%	25.8%	15.8%	21.9%

▼(11)で両親や親族に就職の相談をしたことがある方のみ回答

(12) 主に親族の誰に相談しましたか。【SA】

	全体	地元進学男子	地元進学女子	地元外進学男子	地元外進学女子	20年卒全体
回答数	5,900	821	1,937	1,027	2,115	6,209
父親	26.5%	33.4%	16.0%	36.2%	18.4%	25.9%
母親	62.9%	58.2%	73.1%	52.9%	69.6%	63.5%
兄弟姉妹	8.4%	5.6%	9.4%	8.6%	10.0%	8.1%
祖父母	1.1%	1.6%	0.8%	1.2%	0.9%	1.2%
祖父母以外の親戚	1.1%	1.2%	0.7%	1.2%	1.1%	1.4%

(13) 両親や親族からアドバイスを受けたことが、あなたの就職活動に影響すると思いますか。【SA】

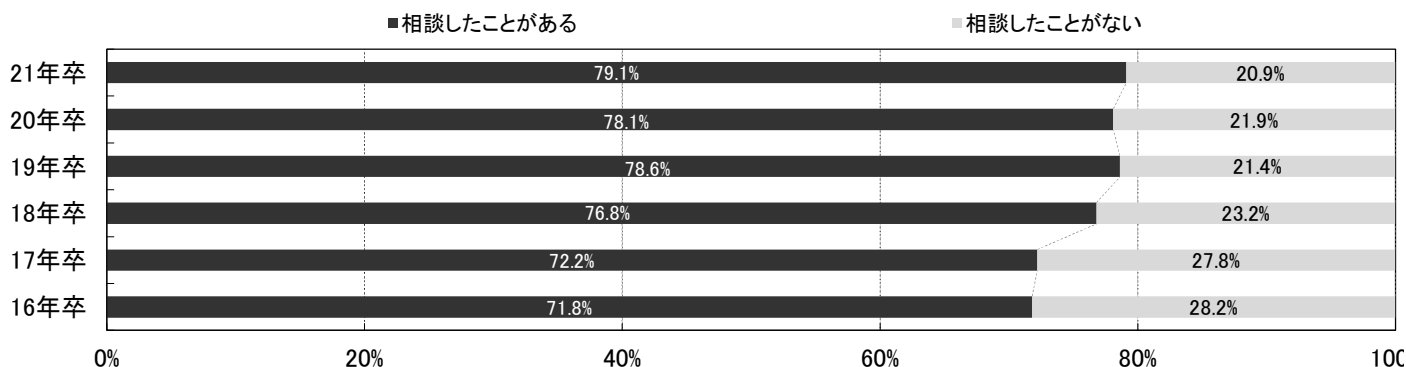
	全体	地元進学男子	地元進学女子	地元外進学男子	地元外進学女子	20年卒全体
回答数	5,882	816	1,931	1,023	2,112	6,183
大きく影響と思う	18.3%	15.8%	21.7%	15.2%	21.1%	20.6%
多少影響と思う	55.2%	53.7%	56.4%	53.9%	56.8%	57.7%
あまり影響しないと思う	20.7%	21.8%	17.9%	24.3%	18.0%	19.5%
全く影響しないと思う	5.9%	8.7%	4.0%	6.6%	4.1%	2.2%

▼(13)で「大きく影響と思う」「多少影響と思う」と回答した方のみ

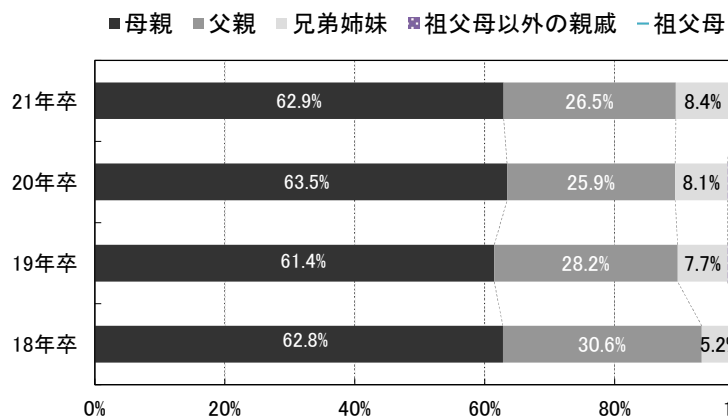
(14) 両親や親族からのアドバイスを受けて地元(Uターン含む)就職に対する考え方はどう変わりましたか。【SA】

	全体	地元進学男子	地元進学女子	地元外進学男子	地元外進学女子	20年卒全体
回答数	1,650	200	511	286	653	4,788
強く地元就職を意識するようになった	20.3%	23.5%	29.0%	13.3%	18.7%	20.2%
多少地元就職を意識するようになった	37.6%	40.5%	36.0%	36.4%	37.8%	44.5%
あまり地元就職を意識しなくなった	26.4%	24.0%	24.9%	31.5%	24.0%	24.3%
全く地元就職を意識しなくなった	15.7%	12.0%	10.2%	18.9%	19.4%	11.0%

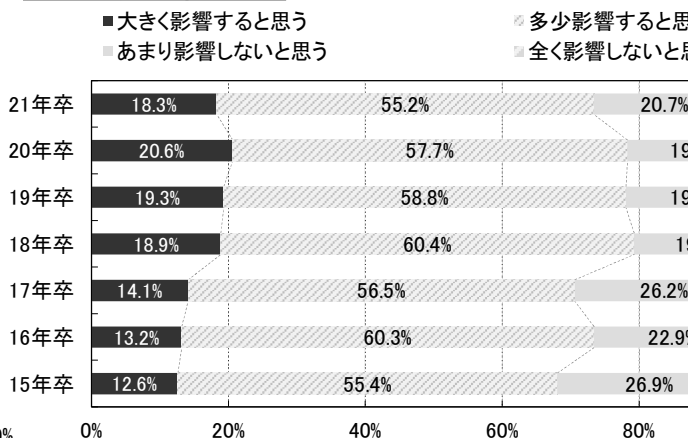
【両親や親族に就職の相談をしたことはあるか】



【主に親族の誰に相談したか】



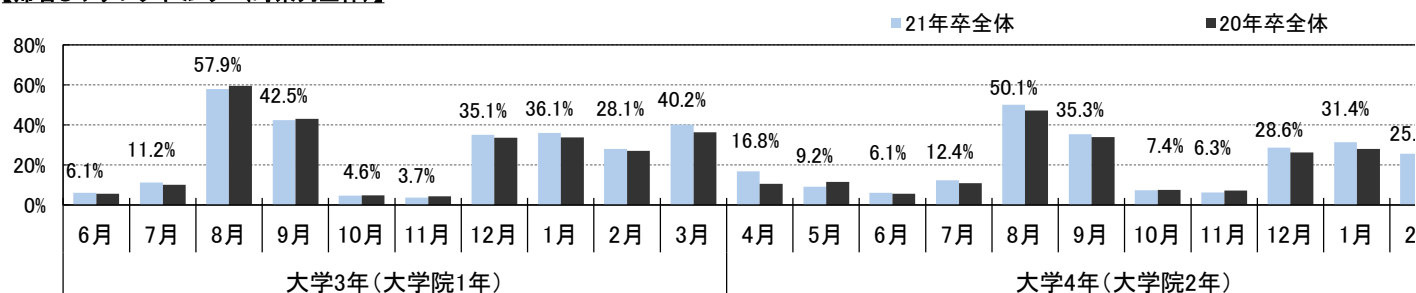
【就職活動に影響するか】



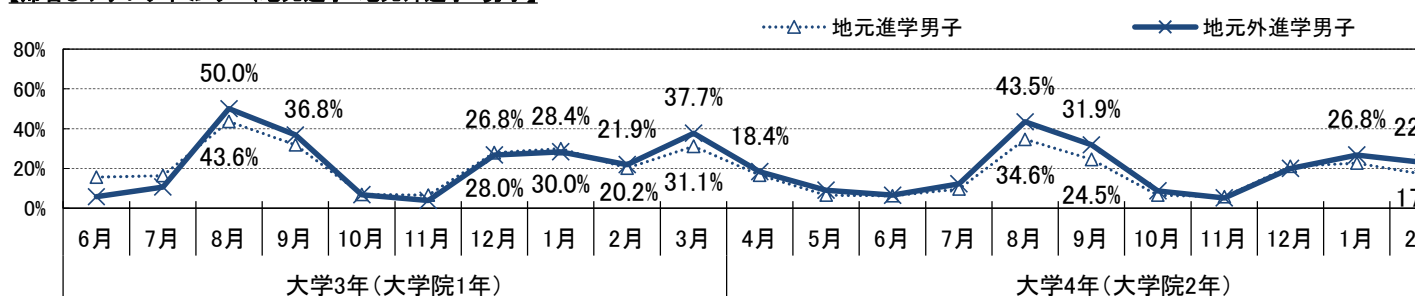
(15) あなたが帰省しやすいタイミングを教えてください。【MA】 ※「実家なので帰省自体がない」を除いて集計

	全体	地元進学男子	地元進学女子	地元外進学男子	地元外進学女子	20年卒全体
回答数	3,026	257	967	310	1,492	3,209
大学3年(大学院1年)の6月	6.1%	15.6%	4.8%	5.8%	4.4%	5.6%
大学3年(大学院1年)の7月	11.2%	16.3%	10.2%	10.6%	10.9%	10.1%
大学3年(大学院1年)の8月	57.9%	43.6%	58.0%	50.0%	65.7%	59.5%
大学3年(大学院1年)の9月	42.5%	31.9%	42.0%	36.8%	49.1%	43.0%
大学3年(大学院1年)の10月	4.6%	7.0%	3.8%	6.8%	4.4%	4.8%
大学3年(大学院1年)の11月	3.7%	6.6%	3.0%	3.9%	3.6%	4.3%
大学3年(大学院1年)の12月	35.1%	28.0%	37.7%	26.8%	35.6%	33.6%
大学3年(大学院1年)の1月	36.1%	30.0%	37.6%	28.4%	38.0%	33.8%
大学3年(大学院1年)の2月	28.1%	20.2%	27.8%	21.9%	33.0%	27.1%
大学3年(大学院1年)の3月	40.2%	31.1%	40.4%	37.7%	44.3%	36.4%
大学4年(大学院2年)の4月	16.8%	16.7%	16.5%	18.4%	16.8%	10.6%
大学4年(大学院2年)の5月	9.2%	6.6%	9.8%	9.0%	9.4%	11.5%
大学4年(大学院2年)の6月	6.1%	6.2%	6.6%	6.5%	5.2%	5.7%
大学4年(大学院2年)の7月	12.4%	9.7%	12.6%	12.3%	13.0%	10.9%
大学4年(大学院2年)の8月	50.1%	34.6%	52.0%	43.5%	54.8%	47.1%
大学4年(大学院2年)の9月	35.3%	24.5%	35.6%	31.9%	39.9%	33.9%
大学4年(大学院2年)の10月	7.4%	6.6%	6.7%	8.7%	8.4%	7.6%
大学4年(大学院2年)の11月	6.3%	5.8%	5.8%	5.2%	7.2%	7.2%
大学4年(大学院2年)の12月	28.6%	21.0%	30.8%	20.0%	30.0%	26.2%
大学4年(大学院2年)の1月	31.4%	22.6%	32.9%	26.8%	33.5%	28.1%
大学4年(大学院2年)の2月	25.6%	17.1%	24.7%	22.9%	30.6%	23.0%
大学4年(大学院2年)の3月	35.4%	28.8%	35.2%	35.2%	38.5%	32.2%

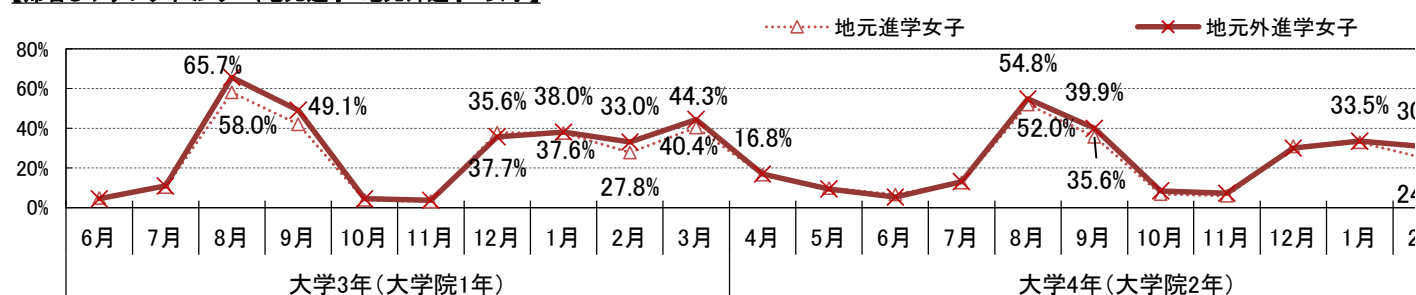
【帰省しやすいタイミング(時系列全体)】



【帰省しやすいタイミング(地元進学・地元外進学 男子)】



【帰省しやすいタイミング(地元進学・地元外進学 女子)】



(16) 現在在学中の学校に進学した際に、卒業後の地元(Uターン含む)就職を希望していましたか。【SA】

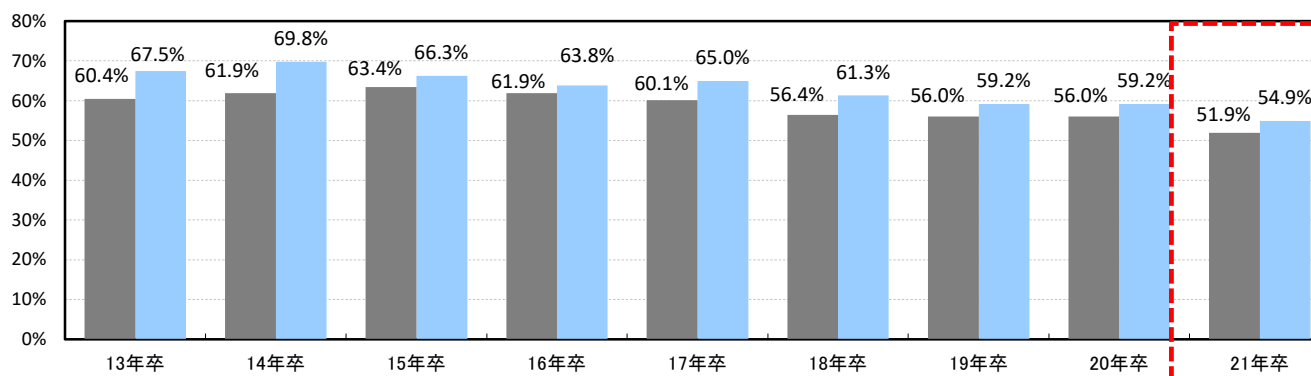
	全体	地元進学男子	地元進学女子	地元外進学男子	地元外進学女子	20年卒全体
回答数	7,263	1,095	2,272	1,385	2,511	7,734
希望していた	27.2%	30.0%	41.7%	19.1%	21.7%	31.1%
どちらかという他希望していた	24.7%	27.3%	24.0%	24.9%	22.2%	24.9%
どちらかという他希望していなかった	17.9%	15.7%	13.0%	21.4%	20.2%	17.4%
希望していなかった	30.2%	27.0%	21.3%	34.6%	35.9%	26.6%

(17) 現時点で地元(Uターン含む)就職を希望しますか。【SA】

	全体	地元進学男子	地元進学女子	地元外進学男子	地元外進学女子	20年卒全体
回答数	7,263	1,095	2,272	1,385	2,511	7,734
希望する	30.6%	35.3%	46.2%	20.8%	24.5%	34.4%
どちらかという他希望する	24.3%	27.2%	22.5%	23.9%	23.3%	24.8%
どちらかという他希望しない	18.8%	15.1%	13.1%	24.0%	20.9%	19.5%
全く希望しない	26.3%	22.4%	18.2%	31.3%	31.4%	21.3%

「希望する(していた)」+「どちらかという他希望する(していた)」の割合

■ 現時点 ■ 大学(大学院)に進学した



▼現時点で地元(Uターン含む)就職を希望しますか。【SA】

→横軸100%で表示

卒業高校エリア別	回答数	希望する	どちらかという他希望する	どちらかという他希望しない	全く希望しない	希望する+どちらかという
北海道	223	33.2%	20.2%	17.0%	29.6%	53.4%
東北	481	27.2%	20.8%	21.0%	31.0%	48.0%
関東	2,176	30.1%	24.4%	16.5%	29.1%	54.5%
甲信越	272	29.8%	17.6%	23.5%	29.0%	47.4%
東海	1,118	39.4%	22.3%	18.1%	20.2%	61.7%
北陸	204	36.8%	20.6%	18.6%	24.0%	57.4%
関西	1,377	32.7%	29.4%	16.9%	21.0%	62.1%
中国	439	31.7%	22.6%	20.0%	25.7%	54.3%
四国	215	29.3%	18.1%	16.7%	35.8%	47.4%
九州	719	31.2%	22.1%	21.1%	25.6%	53.3%
海外	33	6.1%	24.2%	27.3%	42.4%	30.3%

→横軸100%で表示

卒業高校エリア別(19年卒)	回答数	希望する	どちらかという他希望する	どちらかという他希望しない	全く希望しない	希望する+どちらかという
北海道	228	39.5%	19.3%	20.2%	21.1%	58.8%
東北	488	28.7%	22.3%	25.0%	24.0%	51.0%
関東	2,305	30.1%	25.2%	18.6%	26.2%	55.3%
甲信越	323	42.1%	16.7%	18.3%	22.9%	58.8%
東海	1,124	41.7%	25.4%	16.3%	16.6%	67.1%
北陸	247	48.2%	15.0%	21.9%	15.0%	63.2%
関西	1,490	37.7%	29.1%	16.6%	16.6%	66.8%
中国	529	34.8%	23.3%	21.0%	21.0%	58.1%
四国	212	34.4%	18.4%	19.8%	27.4%	52.8%
九州	736	38.9%	21.5%	21.3%	18.3%	60.4%
海外	52	26.9%	25.0%	23.1%	25.0%	51.9%

＜全体＞現時点で地元(Uターン含む)就職を希望しますか。【SA】

→横軸100%で表示

◎卒業高校都道府県別		回答数	希望する	どちらかという と希望する	どちらかという と希望しない	全く希望しない	希望する+ どちらかという
北海道	北海道	223	33.2%	20.2%	17.0%	29.6%	53.4%
東北	青森県	71	25.4%	15.5%	26.8%	32.4%	40.9%
	岩手県	76	27.6%	18.4%	27.6%	26.3%	46.0%
	宮城県	155	31.0%	27.7%	12.9%	28.4%	58.7%
	秋田県	48	22.9%	16.7%	25.0%	35.4%	39.6%
	山形県	51	23.5%	21.6%	23.5%	31.4%	45.1%
	福島県	80	26.3%	16.3%	21.3%	36.3%	42.6%
関東	茨城県	167	21.0%	20.4%	18.6%	40.1%	41.4%
	栃木県	93	22.6%	18.3%	29.0%	30.1%	40.9%
	群馬県	106	31.1%	17.9%	26.4%	24.5%	49.0%
	埼玉県	346	17.3%	26.9%	20.2%	35.5%	44.2%
	千葉県	293	19.5%	23.9%	19.1%	37.5%	43.4%
	東京都	702	41.6%	22.6%	11.1%	24.6%	64.2%
	神奈川県	469	33.3%	29.4%	14.7%	22.6%	62.7%
甲信越	新潟県	126	32.5%	15.1%	26.2%	26.2%	47.6%
	山梨県	43	16.3%	18.6%	30.2%	34.9%	34.9%
	長野県	103	32.0%	20.4%	17.5%	30.1%	52.4%
東海	岐阜県	135	30.4%	22.2%	25.9%	21.5%	52.6%
	静岡県	229	33.2%	20.5%	21.0%	25.3%	53.7%
	愛知県	641	47.4%	22.8%	13.7%	16.1%	70.2%
	三重県	113	17.7%	23.0%	27.4%	31.9%	40.7%
北陸	富山県	82	36.6%	20.7%	22.0%	20.7%	57.3%
	石川県	64	40.6%	23.4%	15.6%	20.3%	64.0%
	福井県	58	32.8%	17.2%	17.2%	32.8%	50.0%
関西	滋賀県	109	22.0%	23.9%	26.6%	27.5%	45.9%
	京都府	236	28.0%	29.7%	19.1%	23.3%	57.7%
	大阪府	533	40.3%	31.0%	14.1%	14.6%	71.3%
	兵庫県	352	32.4%	29.8%	16.2%	21.6%	62.2%
	奈良県	97	19.6%	30.9%	16.5%	33.0%	50.5%
	和歌山県	50	24.0%	18.0%	22.0%	36.0%	42.0%
中国	鳥取県	22	31.8%	9.1%	18.2%	40.9%	40.9%
	島根県	30	23.3%	10.0%	30.0%	36.7%	33.3%
	岡山県	113	33.6%	25.7%	18.6%	22.1%	59.3%
	広島県	202	35.1%	25.7%	17.3%	21.8%	60.8%
	山口県	72	22.2%	18.1%	26.4%	33.3%	40.3%
四国	徳島県	32	31.3%	15.6%	15.6%	37.5%	46.9%
	香川県	53	30.2%	24.5%	15.1%	30.2%	54.7%
	愛媛県	101	28.7%	20.8%	18.8%	31.7%	49.5%
	高知県	29	27.6%	-	13.8%	58.6%	27.6%
九州	福岡県	262	39.3%	26.7%	19.5%	14.5%	66.0%
	佐賀県	40	22.5%	32.5%	22.5%	22.5%	55.0%
	長崎県	71	23.9%	23.9%	12.7%	39.4%	47.8%
	熊本県	87	27.6%	23.0%	21.8%	27.6%	50.6%
	大分県	60	28.3%	11.7%	20.0%	40.0%	40.0%
	宮崎県	56	21.4%	16.1%	25.0%	37.5%	37.5%
	鹿児島県	79	27.8%	15.2%	21.5%	35.4%	43.0%
	沖縄県	64	31.3%	17.2%	32.8%	18.8%	48.5%
海外	海外	33	6.1%	24.2%	27.3%	42.4%	30.3%

※回答数30未満は参考値とする。

＜地元進学＞現時点で地元(Uターン含む)就職を希望しますか。【SA】

→横軸100%で表示

◎卒業高校都道府県別		回答数	希望する	どちらかという と希望する	どちらかという と希望しない	全く希望しない	希望する＋ どちらかという
北海道	北海道	160	38.8%	21.9%	13.8%	25.6%	60.7%
東北	青森県	32	40.6%	9.4%	25.0%	25.0%	50.0%
	岩手県	27	44.4%	22.2%	29.6%	3.7%	66.6%
	宮城県	90	40.0%	27.8%	11.1%	21.1%	67.8%
	秋田県	11	54.5%	18.2%	9.1%	18.2%	72.7%
	山形県	13	53.8%	23.1%	15.4%	7.7%	76.9%
	福島県	17	41.2%	11.8%	29.4%	17.6%	53.0%
関東	茨城県	43	48.8%	23.3%	9.3%	18.6%	72.1%
	栃木県	19	47.4%	15.8%	26.3%	10.5%	63.2%
	群馬県	34	50.0%	20.6%	14.7%	14.7%	70.6%
	埼玉県	83	22.9%	26.5%	26.5%	24.1%	49.4%
	千葉県	94	26.6%	25.5%	19.1%	28.7%	52.1%
	東京都	529	42.5%	20.0%	10.6%	26.8%	62.5%
	神奈川県	181	37.6%	33.7%	11.6%	17.1%	71.3%
甲信越	新潟県	59	47.5%	18.6%	16.9%	16.9%	66.1%
	山梨県	16	25.0%	31.3%	25.0%	18.8%	56.3%
	長野県	17	47.1%	35.3%	—	17.6%	82.4%
東海	岐阜県	25	52.0%	12.0%	24.0%	12.0%	64.0%
	静岡県	73	54.8%	20.5%	11.0%	13.7%	75.3%
	愛知県	489	54.0%	22.3%	11.0%	12.7%	76.3%
	三重県	20	30.0%	5.0%	30.0%	35.0%	35.0%
	富山県	23	56.5%	17.4%	13.0%	13.0%	73.9%
北陸	石川県	37	43.2%	24.3%	5.4%	27.0%	67.5%
	福井県	17	76.5%	5.9%	5.9%	11.8%	82.4%
	滋賀県	32	21.9%	18.8%	28.1%	31.3%	40.7%
関西	京都府	118	31.4%	31.4%	16.9%	20.3%	62.8%
	大阪府	293	43.0%	29.4%	13.7%	14.0%	72.4%
	兵庫県	176	35.8%	27.8%	14.2%	22.2%	63.6%
	奈良県	19	26.3%	52.6%	5.3%	15.8%	78.9%
	和歌山県	12	33.3%	16.7%	16.7%	33.3%	50.0%
中国	鳥取県	2	50.0%	—	50.0%	—	50.0%
	島根県	2	100.0%	—	—	—	100.0%
	岡山県	54	48.1%	24.1%	9.3%	18.5%	72.2%
	広島県	109	44.0%	26.6%	12.8%	16.5%	70.6%
	山口県	20	50.0%	20.0%	20.0%	10.0%	70.0%
四国	徳島県	14	42.9%	14.3%	21.4%	21.4%	57.2%
	香川県	7	85.7%	14.3%	—	—	100.0%
	愛媛県	43	39.5%	23.3%	16.3%	20.9%	62.8%
	高知県	10	50.0%	—	—	50.0%	50.0%
九州	福岡県	163	42.9%	27.0%	15.3%	14.7%	69.9%
	佐賀県	7	28.6%	28.6%	14.3%	28.6%	57.2%
	長崎県	35	37.1%	25.7%	8.6%	28.6%	62.8%
	熊本県	47	36.2%	27.7%	12.8%	23.4%	63.9%
	大分県	14	42.9%	7.1%	14.3%	35.7%	50.0%
	宮崎県	18	33.3%	16.7%	27.8%	22.2%	50.0%
	鹿児島県	27	40.7%	25.9%	3.7%	29.6%	66.6%
	沖縄県	35	45.7%	22.9%	20.0%	11.4%	68.6%
海外	海外	1	—	—	100.0%	—	0.0%

※回答数30未満は参考値とする。

＜地元外進学＞現時点で地元(Uターン含む)就職を希望しますか。【SA】

→横軸100%で表示

◎卒業高校都道府県別		回答数	希望する	どちらかという と希望する	どちらかという と希望しない	全く希望しない	希望する＋ どちらかという
北海道	北海道	63	19.0%	15.9%	25.4%	39.7%	34.9%
東北	青森県	39	12.8%	20.5%	28.2%	38.5%	33.3%
	岩手県	49	18.4%	16.3%	26.5%	38.8%	34.7%
	宮城県	65	18.5%	27.7%	15.4%	38.5%	46.2%
	秋田県	37	13.5%	16.2%	29.7%	40.5%	29.7%
	山形県	38	13.2%	21.1%	26.3%	39.5%	34.3%
	福島県	63	22.2%	17.5%	19.0%	41.3%	39.7%
関東	茨城県	124	11.3%	19.4%	21.8%	47.6%	30.7%
	栃木県	74	16.2%	18.9%	29.7%	35.1%	35.1%
	群馬県	72	22.2%	16.7%	31.9%	29.2%	38.9%
	埼玉県	263	15.6%	27.0%	18.3%	39.2%	42.6%
	千葉県	199	16.1%	23.1%	19.1%	41.7%	39.2%
	東京都	173	38.7%	30.6%	12.7%	17.9%	69.3%
	神奈川県	288	30.6%	26.7%	16.7%	26.0%	57.3%
甲信越	新潟県	67	19.4%	11.9%	34.3%	34.3%	31.3%
	山梨県	27	11.1%	11.1%	33.3%	44.4%	22.2%
	長野県	86	29.1%	17.4%	20.9%	32.6%	46.5%
東海	岐阜県	110	25.5%	24.5%	26.4%	23.6%	50.0%
	静岡県	156	23.1%	20.5%	25.6%	30.8%	43.6%
	愛知県	152	26.3%	24.3%	22.4%	27.0%	50.6%
	三重県	93	15.1%	26.9%	26.9%	31.2%	42.0%
北陸	富山県	59	28.8%	22.0%	25.4%	23.7%	50.8%
	石川県	27	37.0%	22.2%	29.6%	11.1%	59.2%
	福井県	41	14.6%	22.0%	22.0%	41.5%	36.6%
関西	滋賀県	77	22.1%	26.0%	26.0%	26.0%	48.1%
	京都府	118	24.6%	28.0%	21.2%	26.3%	52.6%
	大阪府	240	37.1%	32.9%	14.6%	15.4%	70.0%
	兵庫県	176	29.0%	31.8%	18.2%	21.0%	60.8%
	奈良県	78	17.9%	25.6%	19.2%	37.2%	43.5%
中国	和歌山県	38	21.1%	18.4%	23.7%	36.8%	39.5%
	鳥取県	20	30.0%	10.0%	15.0%	45.0%	40.0%
	島根県	28	17.9%	10.7%	32.1%	39.3%	28.6%
	岡山県	59	20.3%	27.1%	27.1%	25.4%	47.4%
	広島県	93	24.7%	24.7%	22.6%	28.0%	49.4%
四国	山口県	52	11.5%	17.3%	28.8%	42.3%	28.8%
	徳島県	18	22.2%	16.7%	11.1%	50.0%	38.9%
	香川県	46	21.7%	26.1%	17.4%	34.8%	47.8%
	愛媛県	58	20.7%	19.0%	20.7%	39.7%	39.7%
	高知県	19	15.8%	-	21.1%	63.2%	15.8%
九州	福岡県	99	33.3%	26.3%	26.3%	14.1%	59.6%
	佐賀県	33	21.2%	33.3%	24.2%	21.2%	54.5%
	長崎県	36	11.1%	22.2%	16.7%	50.0%	33.3%
	熊本県	40	17.5%	17.5%	32.5%	32.5%	35.0%
	大分県	46	23.9%	13.0%	21.7%	41.3%	36.9%
	宮崎県	38	15.8%	15.8%	23.7%	44.7%	31.6%
	鹿児島県	52	21.2%	9.6%	30.8%	38.5%	30.8%
	沖縄県	29	13.8%	10.3%	48.3%	27.6%	24.1%
海外	海外	32	6.3%	25.0%	25.0%	43.8%	31.3%

※回答数30未満は参考値とする。

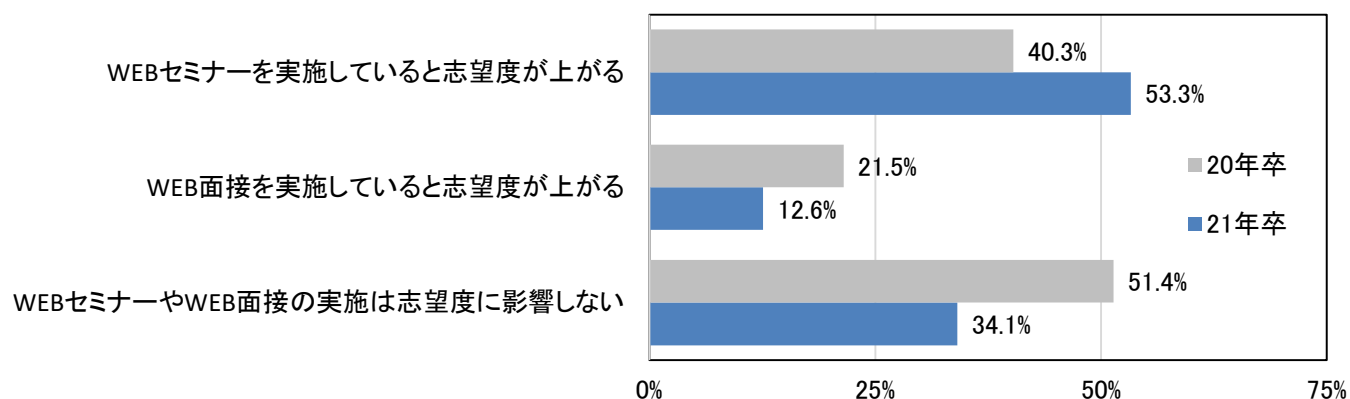
(18) 地元企業(Uターン先企業含む)がWEBセミナーやWEB面接を実施している場合、その企業への志望度は上がりますか。

あてはまるものすべてを選択してください。【MA】

	全体	地元進学男子	地元進学女子	地元外進学男子	地元外進学女子
回答数	6,243	983	1,170	2,064	2,026
WEBセミナーを実施していると志望度が上がる	53.3%	55.6%	49.1%	55.9%	53.3%
WEB面接を実施していると志望度が上がる	12.6%	11.7%	13.9%	10.2%	14.2%
WEBセミナーやWEB面接の実施は志望度に影響しない	34.1%	32.7%	36.9%	33.9%	32.6%

＜20年卒＞	全体	地元進学男子	地元進学女子	地元外進学男子	地元外進学女子
回答数	6,451	1,006	1,983	1,242	2,220
WEBセミナーを実施していると志望度が上がる	40.3%	37.8%	38.3%	42.7%	41.6%
WEB面接を実施していると志望度が上がる	21.5%	21.6%	19.7%	22.0%	22.1%
WEBセミナーやWEB面接の実施は志望度に影響しない	51.4%	53.6%	53.1%	49.5%	50.1%

【地元企業(Uターン先企業含む)がWEBセミナーやWEB面接を実施している場合、その企業への志望度は上がりますか】



▼地元企業(Uターン先企業含む)がWEBセミナーやWEB面接を実施している場合、その企業への志望度は上がりますか。【SA】

<20年卒>

◎卒業高校都道府県別

		回答数	WEBセミナー を実施してい ると志望度が 上がる	WEB面接を 実施していると 志望度が上がる	WEBセミナー やWEB面接の 実施は志望度 に影響しない	WEBセミナー を実施してい ると志望度が 上がる	WEB面接を 実施していると 志望度が上がる	WEBセミナー やWEB面接の 実施は志望度 に影響しない
北海道	北海道	191	62.3%	15.2%	22.5%	39.4%	23.2%	51.0%
東北	青森県	58	55.2%	29.3%	15.5%	29.2%	12.5%	60.4%
	岩手県	67	62.7%	9.0%	28.4%	50.0%	18.1%	41.7%
	宮城県	135	57.0%	8.1%	34.8%	38.9%	20.6%	50.8%
	秋田県	37	59.5%	10.8%	29.7%	32.6%	23.9%	58.7%
	山形県	41	70.7%	12.2%	17.1%	41.4%	20.7%	55.2%
	福島県	60	56.7%	16.7%	26.7%	39.4%	22.7%	50.0%
関東	茨城県	126	50.0%	13.5%	36.5%	40.7%	23.6%	52.1%
	栃木県	75	52.0%	16.0%	32.0%	38.4%	20.5%	50.7%
	群馬県	90	56.7%	12.2%	31.1%	33.7%	28.8%	52.9%
	埼玉県	279	53.0%	8.6%	38.4%	38.6%	20.8%	53.2%
	千葉県	231	51.1%	13.4%	35.5%	38.9%	22.6%	52.8%
	東京都	618	54.2%	11.2%	34.6%	39.2%	19.1%	53.3%
	神奈川県	408	50.2%	10.0%	39.7%	45.3%	22.8%	47.5%
甲信越	新潟県	109	51.4%	20.2%	28.4%	42.6%	22.1%	48.4%
	山梨県	34	52.9%	23.5%	23.5%	40.5%	14.3%	52.4%
	長野県	86	55.8%	8.1%	36.0%	35.3%	22.5%	54.9%
東海	岐阜県	121	52.1%	9.9%	38.0%	35.2%	23.4%	53.9%
	静岡県	196	50.0%	9.2%	40.8%	35.5%	18.7%	57.8%
	愛知県	591	54.5%	11.3%	34.2%	38.3%	19.6%	52.7%
	三重県	92	50.0%	7.6%	42.4%	38.5%	14.4%	54.8%
北陸	富山県	74	36.5%	23.0%	40.5%	48.6%	28.4%	36.5%
	石川県	60	60.0%	10.0%	30.0%	40.7%	16.3%	53.5%
	福井県	40	57.5%	12.5%	30.0%	42.9%	30.4%	46.4%
関西	滋賀県	88	55.7%	10.2%	34.1%	44.2%	19.5%	50.6%
	京都府	203	51.7%	11.3%	36.9%	41.2%	23.1%	48.2%
	大阪府	500	52.8%	12.6%	34.6%	38.6%	19.7%	53.5%
	兵庫県	313	49.5%	15.0%	35.5%	38.9%	22.6%	51.6%
	奈良県	79	44.3%	11.4%	44.3%	44.3%	17.7%	51.9%
	和歌山県	42	61.9%	7.1%	31.0%	46.8%	23.4%	48.9%
中国	鳥取県	15	53.3%	13.3%	33.3%	29.4%	11.8%	58.8%
	島根県	20	35.0%	25.0%	40.0%	48.0%	32.0%	44.0%
	岡山県	102	50.0%	11.8%	38.2%	41.6%	24.0%	46.4%
	広島県	179	57.5%	10.6%	31.8%	37.8%	24.3%	53.2%
	山口県	57	50.9%	10.5%	38.6%	35.1%	14.0%	54.4%
四国	徳島県	24	50.0%	12.5%	37.5%	26.2%	16.7%	61.9%
	香川県	44	63.6%	9.1%	27.3%	42.2%	17.8%	55.6%
	愛媛県	90	53.3%	16.7%	30.0%	41.3%	20.6%	52.4%
	高知県	19	68.4%	-	31.6%	54.2%	20.8%	41.7%
	福岡県	241	56.8%	13.3%	29.9%	41.7%	20.7%	52.9%
九州	佐賀県	35	71.4%	11.4%	17.1%	52.6%	23.7%	39.5%
	長崎県	59	54.2%	18.6%	27.1%	55.4%	33.8%	36.5%
	熊本県	76	61.8%	7.9%	30.3%	47.2%	18.1%	47.2%
	大分県	44	61.4%	22.7%	15.9%	52.5%	22.5%	35.0%
	宮崎県	45	55.6%	11.1%	33.3%	42.2%	22.2%	51.1%
	鹿児島県	60	56.7%	16.7%	26.7%	38.3%	23.3%	53.3%
	沖縄県	58	50.0%	27.6%	22.4%	51.0%	15.7%	45.1%
	海外	26	46.2%	23.1%	30.8%	35.6%	20.0%	55.6%

※50%以上に色付け

※回答数30未満は参考値とする。

▼地元企業(Uターン先企業含む)がWEBセミナーやWEB面接を実施している場合、その企業への志望度は上がりますか。【SA】

◎現在の学校の所在都道府県別

		回答数	WEBセミナー を実施してい ると志望度が 上がる	WEB面接を実 施していると志 望度が上がる	WEBセミナー やWEB面接の 実施は志望度 に影響しない
北海道	北海道	218	56.9%	15.1%	28.0%
東北	青森県	53	58.5%	17.0%	24.5%
	岩手県	50	56.0%	8.0%	36.0%
	宮城県	130	59.2%	10.8%	30.0%
	秋田県	23	56.5%	8.7%	34.8%
	山形県	37	62.2%	10.8%	27.0%
	福島県	32	62.5%	12.5%	25.0%
関東	茨城県	62	50.0%	11.3%	38.7%
	栃木県	39	30.8%	30.8%	38.5%
	群馬県	58	53.4%	5.2%	41.4%
	埼玉県	178	51.7%	12.4%	36.0%
	千葉県	176	60.2%	9.1%	30.7%
	東京都	1,266	52.7%	12.8%	34.5%
	神奈川県	336	52.1%	14.0%	33.9%
甲信越	新潟県	97	56.7%	16.5%	26.8%
	山梨県	46	56.5%	17.4%	26.1%
	長野県	36	52.8%	13.9%	33.3%
東海	岐阜県	52	55.8%	15.4%	28.8%
	静岡県	112	48.2%	9.8%	42.0%
	愛知県	660	53.6%	10.3%	36.1%
	三重県	35	51.4%	5.7%	42.9%
北陸	富山県	45	44.4%	20.0%	35.6%
	石川県	81	51.9%	12.3%	35.8%
	福井県	28	60.7%	17.9%	21.4%
関西	滋賀県	83	54.2%	4.8%	41.0%
	京都府	389	53.2%	13.6%	33.2%
	大阪府	497	53.9%	10.7%	35.4%
	兵庫県	306	51.6%	13.4%	35.0%
	奈良県	66	53.0%	10.6%	36.4%
	和歌山県	27	44.4%	18.5%	37.0%
中国	鳥取県	18	27.8%	27.8%	44.4%
	島根県	19	63.2%	15.8%	21.1%
	岡山県	97	51.5%	13.4%	35.1%
	広島県	155	55.5%	12.9%	31.6%
	山口県	56	44.6%	8.9%	46.4%
四国	徳島県	30	56.7%	10.0%	33.3%
	香川県	29	55.2%	3.4%	41.4%
	愛媛県	63	52.4%	11.1%	36.5%
	高知県	25	44.0%	16.0%	40.0%
九州	福岡県	239	57.7%	11.3%	31.0%
	佐賀県	25	60.0%	20.0%	20.0%
	長崎県	63	54.0%	14.3%	31.7%
	熊本県	65	67.7%	6.2%	26.2%
	大分県	24	45.8%	20.8%	33.3%
	宮崎県	35	62.9%	17.1%	20.0%
	鹿児島県	41	61.0%	17.1%	22.0%
	沖縄県	38	52.6%	18.4%	28.9%

※50%以上に色付け

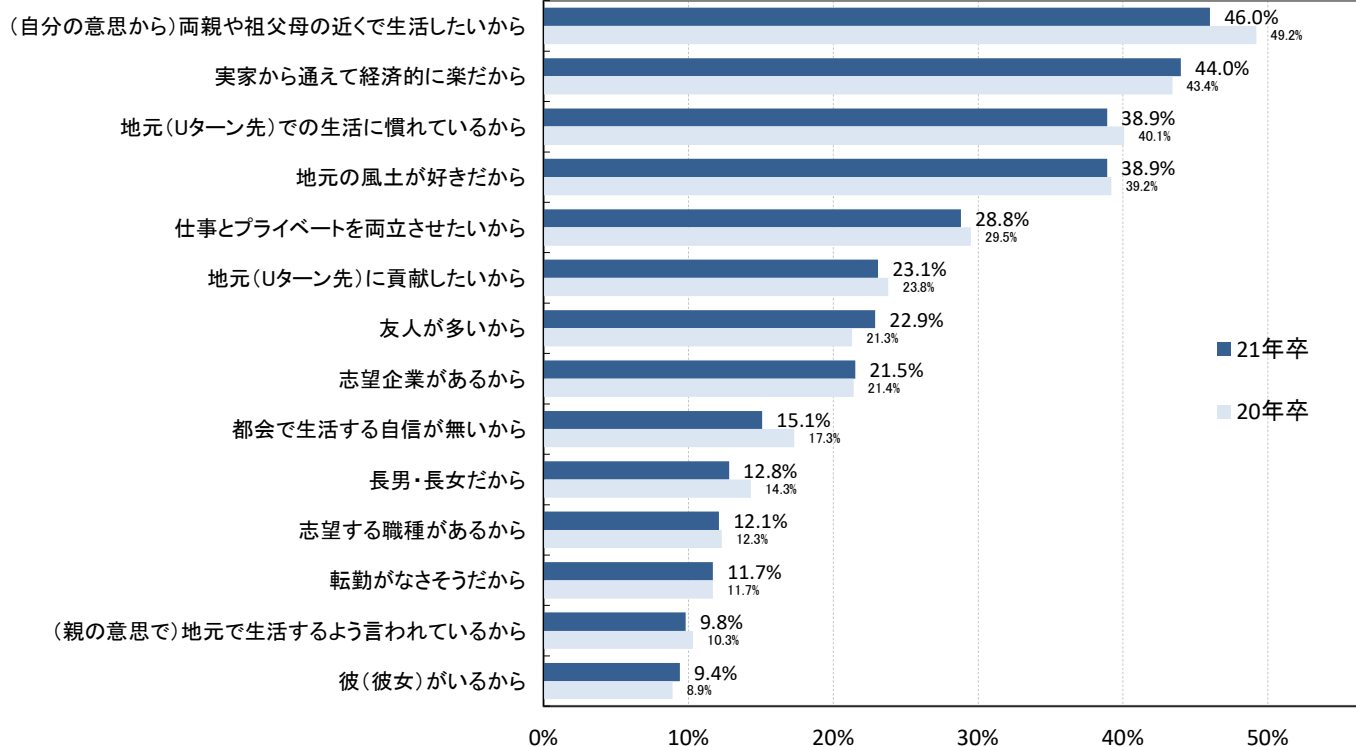
※回答数30未満は参考値とする。

(19) 地元(Uターン含む)就職を希望する理由は何ですか。【MA】

	全体	地元進学男子	地元進学女子	地元外進学男子	地元外進学女子	20年卒全体
回答数	4,063	685	1,560	619	1,199	4,634
(自分の意思から)両親や祖父母の近くで生活したいから	46.0%	35.9%	55.2%	40.2%	55.5%	49.2%
(親の意思で)地元で生活するよう言われているから	9.8%	8.6%	11.3%	9.4%	10.3%	10.3%
長男・長女だから	12.8%	15.5%	7.4%	18.6%	8.8%	14.3%
友人が多いから	22.9%	21.3%	27.0%	21.3%	21.5%	21.3%
彼(彼女)がいるから	9.4%	10.8%	11.2%	7.6%	7.4%	8.9%
実家から通えて経済的に楽だから	44.0%	39.9%	52.8%	35.2%	49.2%	43.4%
地元(Uターン先)での生活に慣れているから	38.9%	35.9%	42.8%	36.3%	41.1%	40.1%
地元の風土が好きだから	38.9%	36.4%	37.1%	41.7%	41.4%	39.2%
地元(Uターン先)に貢献したいから	23.1%	21.6%	21.6%	26.0%	23.1%	23.8%
志望企業があるから	21.5%	22.5%	18.6%	26.3%	18.1%	21.4%
志望する職種があるから	12.1%	10.2%	13.4%	13.2%	11.7%	12.3%
転勤がなさそうだから	11.7%	12.1%	14.6%	9.4%	10.2%	11.7%
仕事とプライベートを両立させたいから	28.8%	27.4%	36.5%	22.6%	28.0%	29.5%
都会で生活する自信が無いから	15.1%	12.6%	20.8%	11.1%	16.6%	17.3%

※上位3位に色付け

【地元就職を希望する理由】



→横軸で複数回答の比率を表示

		回答数	(自分の意思から)両親や祖父母の近くで生活したいから	(親の意思で)地元で生活するよう言われているから	長男・長女だから	友人が多いから	彼(彼女)がいるから	実家から通えて経済的に楽だから
◎卒業高校都道府県別								
全体	全体	4,058	46.0%	9.8%	12.8%	22.9%	9.4%	44.0%
北海道	北海道	119	43.7%	10.1%	5.9%	20.2%	10.9%	27.7%
東北	青森県	29	55.2%	20.7%	24.1%	17.2%	17.2%	37.9%
	岩手県	35	40.0%	11.4%	14.3%	20.0%	11.4%	22.9%
	宮城県	91	45.1%	17.6%	14.3%	13.2%	3.3%	45.1%
	秋田県	19	47.4%	5.3%	5.3%	21.1%	10.5%	31.6%
	山形県	23	39.1%	13.0%	17.4%	21.7%	8.7%	47.8%
	福島県	34	67.6%	14.7%	14.7%	17.6%	5.9%	32.4%
関東	茨城県	69	53.6%	14.5%	11.6%	17.4%	5.8%	39.1%
	栃木県	38	68.4%	10.5%	15.8%	10.5%	5.3%	34.2%
	群馬県	52	44.2%	15.4%	15.4%	19.2%	7.7%	46.2%
	埼玉県	153	48.4%	5.9%	9.8%	22.2%	5.2%	54.9%
	千葉県	127	37.0%	3.9%	9.4%	18.1%	6.3%	52.8%
	東京都	451	43.0%	5.5%	5.5%	27.5%	11.3%	50.6%
	神奈川県	294	42.2%	4.8%	8.5%	21.8%	5.1%	46.9%
甲信越	新潟県	60	56.7%	11.7%	11.7%	13.3%	8.3%	41.7%
	山梨県	15	33.3%	40.0%	20.0%	-	-	60.0%
	長野県	54	53.7%	11.1%	16.7%	20.4%	5.6%	31.5%
東海	岐阜県	71	57.7%	11.3%	15.5%	29.6%	14.1%	43.7%
	静岡県	123	56.9%	10.6%	11.4%	26.0%	9.8%	47.2%
	愛知県	450	53.8%	12.2%	11.3%	30.7%	11.3%	56.4%
	三重県	46	52.2%	8.7%	6.5%	28.3%	15.2%	39.1%
北陸	富山県	47	61.7%	10.6%	21.3%	34.0%	10.6%	38.3%
	石川県	41	48.8%	14.6%	17.1%	14.6%	4.9%	58.5%
	福井県	29	62.1%	6.9%	31.0%	10.3%	3.4%	44.8%
関西	滋賀県	50	54.0%	14.0%	8.0%	22.0%	12.0%	54.0%
	京都府	136	50.0%	11.8%	7.4%	19.9%	10.3%	52.2%
	大阪府	380	46.8%	6.6%	10.0%	27.9%	15.3%	55.0%
	兵庫県	219	50.7%	8.7%	8.2%	20.5%	6.4%	48.9%
	奈良県	49	49.0%	14.3%	6.1%	22.4%	14.3%	53.1%
	和歌山県	21	57.1%	9.5%	19.0%	28.6%	-	52.4%
中国	鳥取県	9	66.7%	22.2%	-	11.1%	-	55.6%
	島根県	10	50.0%	10.0%	10.0%	20.0%	-	50.0%
	岡山県	67	47.8%	13.4%	13.4%	17.9%	10.4%	47.8%
	広島県	123	58.5%	10.6%	13.8%	21.1%	8.1%	36.6%
	山口県	29	62.1%	24.1%	20.7%	3.4%	13.8%	44.8%
四国	徳島県	15	66.7%	33.3%	13.3%	20.0%	6.7%	53.3%
	香川県	29	51.7%	20.7%	13.8%	20.7%	6.9%	58.6%
	愛媛県	50	44.0%	12.0%	18.0%	34.0%	4.0%	36.0%
	高知県	8	50.0%	25.0%	-	25.0%	-	25.0%
九州	福岡県	173	53.8%	9.2%	11.6%	26.6%	11.6%	41.0%
	佐賀県	22	45.5%	18.2%	18.2%	27.3%	4.5%	18.2%
	長崎県	34	61.8%	8.8%	11.8%	20.6%	8.8%	29.4%
	熊本県	44	56.8%	20.5%	11.4%	15.9%	9.1%	31.8%
	大分県	24	70.8%	20.8%	25.0%	25.0%	4.2%	33.3%
	宮崎県	21	52.4%	19.0%	14.3%	33.3%	-	33.3%
	鹿児島県	34	52.9%	20.6%	11.8%	17.6%	11.8%	20.6%
	沖縄県	31	51.6%	19.4%	19.4%	32.3%	12.9%	54.8%
海外	海外	10	20.0%	20.0%	-	20.0%	10.0%	-

※回答数30未満は参考値とする。

▼地元(Uターン含む)就職を希望する理由【MA】

→横軸で複数回答の比率を表示

		回答数	地元の風土が 好きだから	地元 (Uターン先)に 貢献したい から	志望企業が あるから	志望する職種 があるから	転勤がなさそ うだから	仕事とプライ ベートを両立 させたいから	
◎卒業高校都道府県別									
全体	全体	4,058	23.1%	21.5%	12.1%	11.7%	28.8%	15.1%	
北海道	北海道	119	37.8%	30.3%	16.8%	10.1%	27.7%	22.7%	
東北	青森県	29	20.7%	13.8%	17.2%	10.3%	31.0%	13.8%	
	岩手県	35	48.6%	20.0%	5.7%	17.1%	28.6%	25.7%	
	宮城県	91	31.9%	16.5%	9.9%	6.6%	28.6%	17.6%	
	秋田県	19	47.4%	26.3%	15.8%	10.5%	31.6%	21.1%	
	山形県	23	43.5%	8.7%	4.3%	8.7%	21.7%	34.8%	
	福島県	34	41.2%	8.8%	11.8%	2.9%	17.6%	23.5%	
関東	茨城県	69	29.0%	14.5%	10.1%	11.6%	26.1%	30.4%	
	栃木県	38	34.2%	23.7%	18.4%	10.5%	21.1%	36.8%	
	群馬県	52	30.8%	11.5%	3.8%	5.8%	23.1%	32.7%	
	埼玉県	153	12.4%	19.6%	16.3%	12.4%	32.0%	9.8%	
	千葉県	127	10.2%	21.3%	8.7%	10.2%	24.4%	11.8%	
	東京都	451	6.4%	30.8%	18.0%	12.0%	31.3%	2.0%	
甲信越	神奈川県	294	10.2%	18.7%	12.6%	15.3%	34.4%	7.1%	
	新潟県	60	36.7%	25.0%	10.0%	6.7%	20.0%	33.3%	
	山梨県	15	26.7%	26.7%	6.7%	6.7%	6.7%	20.0%	
長野県	長野県	54	38.9%	18.5%	5.6%	7.4%	16.7%	27.8%	
	東海	岐阜県	71	28.2%	18.3%	12.7%	16.9%	23.9%	28.2%
		静岡県	123	40.7%	22.8%	11.4%	13.0%	33.3%	21.1%
愛知県		450	20.9%	20.9%	13.1%	14.0%	38.2%	14.7%	
三重県		46	19.6%	17.4%	8.7%	2.2%	19.6%	19.6%	
北陸	富山県	47	34.0%	21.3%	19.1%	14.9%	27.7%	42.6%	
	石川県	41	29.3%	17.1%	17.1%	19.5%	31.7%	26.8%	
	福井県	29	44.8%	17.2%	13.8%	20.7%	27.6%	37.9%	
関西	滋賀県	50	18.0%	20.0%	16.0%	18.0%	38.0%	30.0%	
	京都府	136	19.1%	14.7%	7.4%	8.8%	30.1%	6.6%	
	大阪府	380	10.3%	15.3%	8.9%	11.6%	34.7%	6.6%	
	兵庫県	219	16.9%	14.2%	11.9%	11.9%	30.6%	15.5%	
	奈良県	49	12.2%	16.3%	16.3%	12.2%	34.7%	24.5%	
	和歌山県	21	28.6%	14.3%	14.3%	33.3%	52.4%	14.3%	
中国	鳥取県	9	44.4%	22.2%	－	－	－	11.1%	
	島根県	10	50.0%	10.0%	－	10.0%	10.0%	40.0%	
	岡山県	67	19.4%	17.9%	3.0%	4.5%	22.4%	26.9%	
	広島県	123	37.4%	17.9%	13.0%	15.4%	27.6%	30.1%	
	山口県	29	17.2%	20.7%	20.7%	17.2%	24.1%	24.1%	
四国	徳島県	15	33.3%	6.7%	－	－	20.0%	46.7%	
	香川県	29	44.8%	20.7%	20.7%	6.9%	31.0%	13.8%	
	愛媛県	50	50.0%	26.0%	8.0%	16.0%	16.0%	24.0%	
	高知県	8	62.5%	50.0%	37.5%	－	12.5%	37.5%	
九州	福岡県	173	36.4%	23.7%	9.8%	12.7%	29.5%	22.5%	
	佐賀県	22	22.7%	27.3%	18.2%	18.2%	22.7%	27.3%	
	長崎県	34	41.2%	17.6%	17.6%	11.8%	26.5%	29.4%	
	熊本県	44	29.5%	25.0%	18.2%	20.5%	40.9%	22.7%	
	大分県	24	50.0%	20.8%	8.3%	12.5%	29.2%	37.5%	
	宮崎県	21	42.9%	19.0%	9.5%	9.5%	38.1%	33.3%	
	鹿児島県	34	47.1%	17.6%	8.8%	8.8%	23.5%	20.6%	
	沖縄県	31	45.2%	9.7%	3.2%	3.2%	32.3%	25.8%	
海外	海外	10	10.0%	10.0%	10.0%	－	10.0%	10.0%	

※回答数30未満は参考値とする。

(20) どのような方法で地元(Uターン先含む)の企業情報を得ましたか(得る予定ですか)。【MA】

	全体	地元進学男子	地元進学女子	地元外進学男子	地元外進学女子	20年卒全体
回答数	7,263	1,095	2,272	1,385	2,511	7,734
就職サイトのエリア特集ページを見て	47.3%	51.1%	52.4%	43.5%	43.8%	41.8%
地元の企業情報を集約した情報誌を見て	10.6%	12.6%	10.3%	10.0%	9.3%	9.0%
個別の企業から届いた郵便のDMを見て	6.2%	8.2%	4.9%	6.4%	4.9%	4.7%
個別の企業から届いたWeb-DMを見て	5.3%	6.4%	3.7%	5.8%	4.7%	3.6%
個別の企業のWEBセミナーを見て	12.9%	15.7%	14.7%	11.5%	10.4%	5.8%
個別の企業のHPを見て	17.8%	18.3%	18.3%	18.3%	16.3%	17.0%
学校近郊で行われる合同説明会に参加して	15.0%	20.9%	23.9%	8.7%	9.0%	18.9%
Uターン就職のための合同説明会に参加して	4.7%	3.3%	1.8%	7.2%	5.5%	5.5%
WEBの合同企業説明会に参加して*	11.0%	12.4%	14.5%	9.0%	9.2%	—
学内の企業セミナーに参加して	10.2%	14.7%	15.4%	6.4%	5.9%	14.3%
学校のキャリアセンターから紹介されて	6.8%	8.3%	10.7%	4.7%	4.4%	5.1%
所属している研究室、ゼミを通じて	3.4%	5.0%	4.1%	3.2%	1.6%	2.5%
地元で行われる合同説明会に参加して	11.0%	12.1%	15.4%	8.1%	9.8%	16.7%
親・親族から紹介されて	7.3%	5.6%	6.4%	8.0%	8.9%	5.9%
知人、先輩から紹介されて	5.7%	6.4%	5.3%	6.7%	4.1%	3.3%
ジョブカフェや新卒応援ハローワークを通じて	2.6%	1.6%	2.8%	2.8%	3.3%	2.3%
情報は得ていないし、得る予定もない	21.4%	14.8%	15.4%	25.6%	28.4%	24.4%

* 新規選択肢

(21) 地元(Uターン先含む)企業に会える機会に参加したいと思いますか。参加したいと思うものをすべて選択してください。【MA】

	全体	地元進学男子	地元進学女子	地元外進学男子	地元外進学女子
回答数	7,263	1,095	2,272	1,385	2,511
学校近郊開催の合同説明会	47.9%	55.1%	56.4%	42.2%	40.1%
地元企業(Uターン先含む)開催のインターンシップ	27.7%	32.1%	29.4%	26.1%	23.4%
地元企業(Uターン先含む)開催の合同説明会	37.0%	37.8%	45.4%	30.9%	36.7%
地元企業(Uターン先含む)の個別企業セミナー	25.0%	26.6%	30.1%	22.3%	22.0%
地元企業(Uターン先含む)開催のWEBセミナー	29.8%	26.6%	33.8%	27.9%	32.3%
学校近郊開催の個別企業の選考会	17.0%	17.9%	20.3%	15.0%	15.7%
どれも参加したくない	19.3%	15.9%	13.8%	22.5%	23.6%

【地元(Uターン先)就職の就職活動開始時期 (時系列全体)】



▼地元(Uターン先)就職の就職活動を2月以前に始める割合(海外を除くエリアで集計)

◎卒業高校エリア別	全体		地元進学		地元外進学	
	回答数	2月以前開始	回答数	2月以前開始	回答数	2月以前開始
北海道	223	52.4%	160	57.7%	63	39.7%
東北	481	49.2%	190	61.6%	291	41.2%
関東	2,176	52.5%	983	60.8%	1,193	45.6%
甲信越	272	55.8%	92	71.6%	180	47.7%
東海	1,118	62.1%	607	72.0%	511	50.5%
北陸	204	65.5%	77	71.5%	127	62.0%
関西	1,377	58.5%	650	63.0%	727	54.3%
中国	439	51.6%	187	65.8%	252	41.1%
四国	215	49.3%	74	66.4%	141	40.3%
九州	719	53.4%	346	60.7%	373	46.3%

▼地元(Uターン先)就職の就職活動を2月以前に始める割合(海外を除くエリアで集計)

◎卒業高校都道府県別		全体		地元進学		地元外進学	
		回答数	2月以前開始	回答数	2月以前開始	回答数	2月以前開始
北海道	北海道	223	52.4%	160	57.7%	63	39.7%
東北	青森県	71	39.3%	32	37.5%	39	41.1%
	岩手県	76	51.2%	27	74.0%	49	38.8%
	宮城県	155	57.3%	90	67.8%	65	43.1%
	秋田県	48	46.0%	11	54.6%	37	43.2%
	山形県	51	37.3%	13	61.6%	38	28.9%
	福島県	80	50.2%	17	58.8%	63	47.6%
関東	茨城県	167	39.0%	43	48.9%	124	35.3%
	栃木県	93	42.9%	19	79.0%	74	34.0%
	群馬県	106	54.7%	34	64.5%	72	50.1%
	埼玉県	346	42.9%	83	54.1%	263	39.2%
	千葉県	293	47.4%	94	61.8%	199	40.5%
	東京都	702	62.0%	529	61.8%	173	63.1%
	神奈川県	469	54.8%	181	61.4%	288	50.8%
甲信越	新潟県	126	54.0%	59	71.4%	67	38.9%
	山梨県	43	51.3%	16	69.0%	27	40.7%
	長野県	103	60.3%	17	76.4%	86	57.0%
東海	岐阜県	135	49.6%	25	52.0%	110	49.1%
	静岡県	229	59.9%	73	76.6%	156	52.0%
	愛知県	641	68.6%	489	73.3%	152	53.9%
	三重県	113	45.2%	20	50.0%	93	44.2%
北陸	富山県	82	69.6%	23	82.5%	59	64.6%
	石川県	64	64.2%	37	62.1%	27	66.6%
	福井県	58	62.0%	17	76.6%	41	56.0%
関西	滋賀県	109	47.9%	32	53.4%	77	45.5%
	京都府	236	57.9%	118	63.5%	118	52.4%
	大阪府	533	65.8%	293	65.8%	240	65.5%
	兵庫県	352	58.0%	176	60.1%	176	56.2%
	奈良県	97	41.3%	19	63.2%	78	35.8%
	和歌山県	50	40.0%	12	49.9%	38	36.9%
中国	鳥取県	22	40.7%	2	50.0%	20	40.0%
	島根県	30	23.2%	2	100.0%	28	17.9%
	岡山県	113	56.7%	54	77.9%	59	37.4%
	広島県	202	58.3%	109	63.3%	93	52.8%
	山口県	72	38.9%	20	45.0%	52	36.5%
四国	徳島県	32	50.1%	14	71.4%	18	33.4%
	香川県	53	53.0%	7	71.5%	46	49.9%
	愛媛県	101	53.6%	43	67.6%	58	43.0%
	高知県	29	27.3%	10	50.0%	19	15.9%
九州	福岡県	262	65.4%	163	66.3%	99	63.7%
	佐賀県	40	57.5%	7	57.2%	33	57.5%
	長崎県	71	44.9%	35	54.5%	36	36.3%
	熊本県	87	48.1%	47	53.4%	40	42.5%
	大分県	60	38.1%	14	35.7%	46	38.9%
	宮崎県	56	39.3%	18	55.8%	38	31.6%
	鹿児島県	79	46.9%	27	59.2%	52	40.2%
	沖縄県	64	51.7%	35	65.8%	29	34.3%

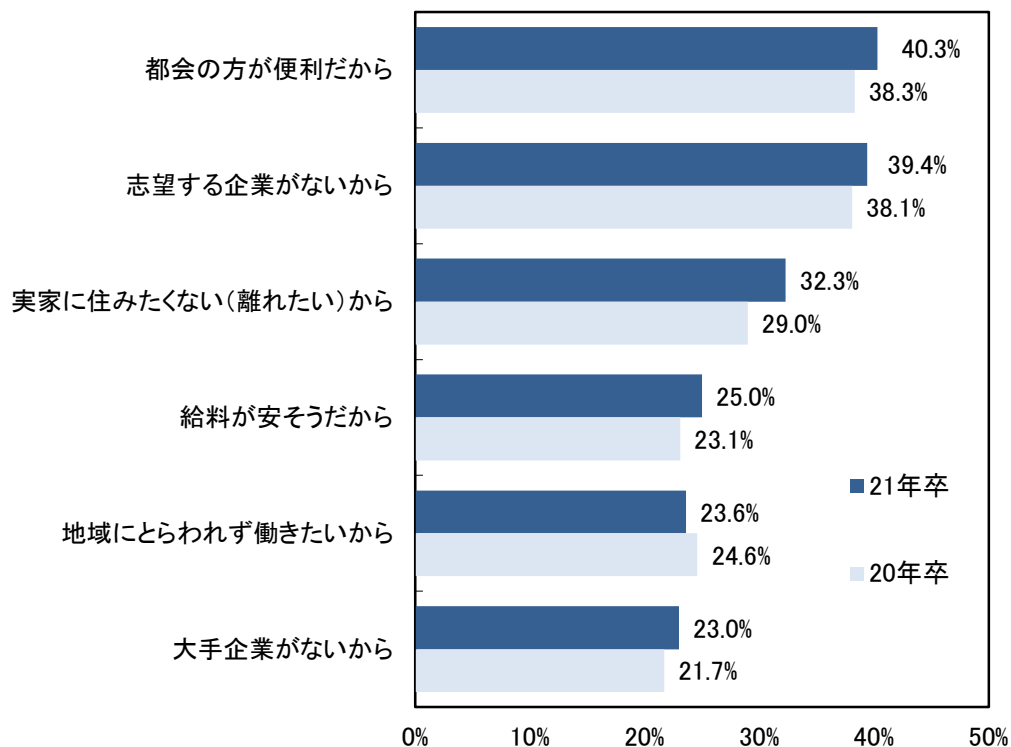
※回答数30未満は参考値とする。

(23) 地元就職を「希望しない」「どちらかといえば希望しない」と答えた方: 地元(Uターン含む)就職を希望しない理由は何ですか。【MA】

	全体	地元進学男子	地元進学女子	地元外進学男子	地元外進学女子	20年卒全体
回答数	1,851	204	405	454	788	2,753
実家に住みたくない(離れたい)から	32.3%	32.8%	43.7%	26.0%	34.6%	29.0%
地元友人が少ないから	5.4%	5.4%	5.9%	4.8%	5.8%	5.0%
地元以外に彼(彼女)がいるから	9.9%	8.3%	10.1%	8.4%	12.9%	8.0%
給料が安そうだから	25.0%	19.1%	14.1%	28.0%	30.1%	23.1%
都会の方が便利だから	40.3%	29.4%	35.1%	38.3%	52.7%	38.3%
大手企業がないから	23.0%	21.1%	17.3%	25.6%	23.7%	21.7%
志望する企業がないから	39.4%	35.3%	37.5%	39.0%	43.9%	38.1%
志望する職種がないから	21.7%	14.2%	21.2%	21.6%	27.3%	20.7%
地域にとらわれず働きたいから	23.6%	19.6%	30.4%	23.3%	23.2%	24.6%
希望するスキルを身につけられないから	9.5%	8.3%	11.6%	8.1%	11.0%	8.6%
地元の風土が好きではないから	6.1%	2.5%	6.7%	6.4%	7.9%	6.4%
特別に暮らしたい地域が他にあるから	8.0%	5.9%	11.6%	6.6%	9.4%	10.3%
(両親が転居するなど)既に地元拠点がないから	1.2%	-	1.7%	1.5%	1.1%	4.1%
地元企業を知る機会がないから*	9.4%	7.4%	5.9%	11.0%	10.3%	-

* 新規選択肢

【地元(Uターン含む)就職を希望しない理由(上位5位抜粋)】



→横軸の複数回答の比率を表示

◎卒業高校都道府県別

		回答数	都会の方が 便利だから	志望する企業 がないから	実家に住みた くない(離れた い)から	給料が安そう だから	地域にとらわ れず働きたい から	大手企業がない から
北海道	北海道	65	43.1%	36.9%	33.8%	23.1%	16.9%	29.2%
東北	青森県	26	50.0%	30.8%	38.5%	50.0%	15.4%	11.5%
	岩手県	24	41.7%	33.3%	29.2%	20.8%	25.0%	25.0%
	宮城県	45	42.2%	33.3%	40.0%	31.1%	42.2%	26.7%
	秋田県	14	50.0%	57.1%	35.7%	35.7%	28.6%	14.3%
	山形県	17	41.2%	47.1%	29.4%	52.9%	29.4%	35.3%
	福島県	34	52.9%	47.1%	47.1%	35.3%	29.4%	35.3%
関東	茨城県	54	46.3%	33.3%	44.4%	29.6%	22.2%	20.4%
	栃木県	39	48.7%	53.8%	20.5%	46.2%	28.2%	23.1%
	群馬県	32	50.0%	68.8%	21.9%	25.0%	6.3%	28.1%
	埼玉県	101	53.5%	35.6%	32.7%	25.7%	14.9%	27.7%
	千葉県	91	54.9%	31.9%	26.4%	23.1%	23.1%	20.9%
	東京都	113	31.9%	35.4%	29.2%	14.2%	17.7%	11.5%
	神奈川県	83	48.2%	37.3%	36.1%	13.3%	14.5%	19.3%
	新潟県	39	48.7%	38.5%	28.2%	41.0%	23.1%	20.5%
甲信越	山梨県	17	47.1%	23.5%	47.1%	35.3%	35.3%	23.5%
	長野県	28	28.6%	57.1%	28.6%	28.6%	17.9%	28.6%
	岐阜県	38	57.9%	44.7%	42.1%	36.8%	15.8%	23.7%
東海	静岡県	62	43.5%	46.8%	25.8%	24.2%	21.0%	17.7%
	愛知県	105	28.6%	41.0%	44.8%	6.7%	31.4%	8.6%
	三重県	41	26.8%	36.6%	29.3%	26.8%	39.0%	24.4%
	富山県	20	30.0%	25.0%	50.0%	25.0%	20.0%	30.0%
北陸	石川県	14	57.1%	42.9%	42.9%	21.4%	42.9%	28.6%
	福井県	13	61.5%	38.5%	53.8%	15.4%	15.4%	—
	滋賀県	30	56.7%	50.0%	46.7%	10.0%	33.3%	33.3%
関西	京都府	61	31.1%	36.1%	55.7%	16.4%	27.9%	14.8%
	大阪府	88	23.9%	33.0%	28.4%	9.1%	38.6%	14.8%
	兵庫県	80	30.0%	43.8%	31.3%	16.3%	30.0%	20.0%
	奈良県	28	46.4%	50.0%	35.7%	39.3%	28.6%	35.7%
	和歌山県	18	66.7%	61.1%	50.0%	33.3%	22.2%	33.3%
	鳥取県	12	75.0%	50.0%	41.7%	50.0%	8.3%	50.0%
中国	島根県	11	54.5%	27.3%	27.3%	45.5%	27.3%	9.1%
	岡山県	27	59.3%	44.4%	44.4%	37.0%	29.6%	40.7%
	広島県	45	33.3%	31.1%	35.6%	4.4%	20.0%	24.4%
	山口県	24	33.3%	37.5%	29.2%	12.5%	16.7%	20.8%
	徳島県	14	42.9%	64.3%	35.7%	21.4%	35.7%	35.7%
四国	香川県	17	58.8%	58.8%	35.3%	64.7%	11.8%	35.3%
	愛媛県	32	46.9%	40.6%	21.9%	34.4%	34.4%	34.4%
	高知県	14	71.4%	50.0%	42.9%	57.1%	28.6%	14.3%
	福岡県	50	30.0%	26.0%	22.0%	14.0%	30.0%	20.0%
九州	佐賀県	13	53.8%	46.2%	30.8%	30.8%	23.1%	38.5%
	長崎県	26	42.3%	53.8%	42.3%	38.5%	15.4%	26.9%
	熊本県	30	40.0%	60.0%	36.7%	30.0%	23.3%	23.3%
	大分県	24	62.5%	37.5%	20.8%	29.2%	12.5%	41.7%
	宮崎県	27	44.4%	40.7%	14.8%	44.4%	22.2%	22.2%
	鹿児島県	36	52.8%	52.8%	33.3%	33.3%	25.0%	27.8%
	沖縄県	18	22.2%	22.2%	38.9%	61.1%	50.0%	16.7%
海外	海外	10	50.0%	40.0%	20.0%	20.0%	—	20.0%

※回答数30未満は参考値とする。

(24) 地元就職を「希望しない」「どちらかといえば希望しない」と答えた方:実現すれば地元就職するかもしれないものを選択してください。【MA】

	全体	地元進学男子	地元進学女子	地元外進学男子	地元外進学女子
回答数	1,785	201	425	388	771
地元の経済が活性化する	24.4%	25.1%	27.1%	20.3%	22.4%
給料がよい就職先が多くできる	21.5%	24.6%	20.9%	16.4%	22.9%
地元就職をすることで地元都道府県から手当てがもらえる	9.8%	8.5%	10.2%	8.5%	10.9%
地元で結婚したいと思う相手ができる	11.2%	10.1%	11.8%	7.2%	13.0%
働きたいと思うような企業が多くできる	8.6%	10.1%	8.7%	8.3%	7.8%
地元就職のための情報が大幅に充実する	23.8%	14.6%	22.1%	27.4%	30.0%
地元企業の説明会にWEBで参加できるようになる*	11.9%	12.0%	9.8%	11.4%	14.8%
友人の多くが地元に戻ってくる	9.2%	9.5%	6.5%	11.1%	11.6%
地元都道府県の子育て支援が充実する	6.1%	6.0%	5.8%	6.7%	6.3%
地元企業の育児休暇に関する制度が充実する *	5.2%	5.0%	4.9%	6.2%	5.1%
地元都道府県の介護支援が充実する*	41.7%	35.3%	43.0%	36.6%	46.5%
地元企業の介護休暇に関する制度が充実する*	17.6%	10.3%	16.7%	15.0%	24.7%
地元までの交通手段が大幅に改善する	23.7%	19.5%	24.3%	22.1%	26.5%
志望する企業の支社や研究所ができる	41.9%	29.8%	39.2%	43.3%	52.4%
志望する職種に就けるようになる	26.5%	26.2%	23.0%	27.7%	30.9%
希望するスキルが身につけられるようになる	13.8%	12.9%	13.3%	18.3%	12.9%
地元の風土が好きになる	5.3%	5.1%	5.4%	6.9%	4.4%
引越しや住居の費用負担をしてもらえる	13.1%	9.5%	13.7%	13.4%	14.6%
奨学金の返済を肩代わりしてくれる	15.8%	8.9%	17.3%	16.0%	18.0%
税金が多少免除される	13.8%	13.0%	13.9%	14.5%	14.0%
リモートワークができるようになる*	11.4%	8.5%	12.1%	10.3%	12.8%
副業が可能になる*	7.5%	6.6%	9.2%	6.4%	6.5%

* 新規選択肢

▼実現すれば地元就職するかもしれないもの【MA】 ※上位回答抜粋

→横軸の複数回答の比率を表示

		回答数	地元の経済が 活性化する	給料がよい 就職先が多く できる	地元就職をす ることで地元 都道府県から 手当てがもら える	地元 に 結 婚 し た い と 思 う 相 手 が で き る	働きたいと思 うような企業 が多くできる
◎卒業高校都道府県別							
北海道	北海道	84	28.6%	16.7%	13.1%	9.5%	4.8%
東北	青森県	29	24.1%	10.3%	6.9%	17.2%	3.4%
	岩手県	35	40.0%	8.6%	20.0%	5.7%	5.7%
	宮城県	53	17.0%	22.6%	7.5%	15.1%	—
	秋田県	21	42.9%	4.8%	9.5%	4.8%	4.8%
	山形県	21	33.3%	9.5%	4.8%	9.5%	—
	福島県	43	34.9%	18.6%	14.0%	2.3%	2.3%
関東	茨城県	58	27.6%	17.2%	17.2%	3.4%	—
	栃木県	40	22.5%	20.0%	15.0%	12.5%	15.0%
	群馬県	42	21.4%	7.1%	19.0%	9.5%	4.8%
	埼玉県	133	24.8%	14.3%	14.3%	6.0%	6.8%
	千葉県	115	18.3%	14.8%	11.3%	8.7%	14.8%
	東京都	197	19.3%	12.7%	8.6%	8.6%	6.6%
	神奈川県	145	19.3%	12.4%	13.1%	4.1%	6.9%
甲信越	新潟県	55	32.7%	18.2%	14.5%	10.9%	5.5%
	山梨県	20	20.0%	20.0%	20.0%	5.0%	5.0%
	長野県	44	25.0%	9.1%	9.1%	11.4%	6.8%
東海	岐阜県	53	24.5%	15.1%	7.5%	7.5%	3.8%
	静岡県	79	26.6%	8.9%	10.1%	13.9%	7.6%
	愛知県	185	15.1%	10.8%	12.4%	13.5%	8.6%
	三重県	54	35.2%	13.0%	3.7%	9.3%	9.3%
北陸	富山県	28	25.0%	3.6%	25.0%	17.9%	—
	石川県	20	15.0%	5.0%	15.0%	10.0%	—
	福井県	19	36.8%	10.5%	15.8%	5.3%	5.3%
関西	滋賀県	46	15.2%	19.6%	10.9%	13.0%	8.7%
	京都府	79	12.7%	13.9%	15.2%	13.9%	5.1%
	大阪府	167	24.0%	6.6%	10.2%	12.6%	8.4%
	兵庫県	120	24.2%	5.8%	18.3%	11.7%	5.8%
	奈良県	34	14.7%	20.6%	14.7%	—	14.7%
中国	和歌山県	24	50.0%	8.3%	20.8%	4.2%	—
	鳥取県	12	66.7%	8.3%	8.3%	—	—
	島根県	12	16.7%	16.7%	8.3%	—	—
	岡山県	36	36.1%	13.9%	5.6%	8.3%	13.9%
	広島県	66	28.8%	7.6%	16.7%	15.2%	9.1%
四国	山口県	28	50.0%	—	10.7%	10.7%	3.6%
	徳島県	14	42.9%	7.1%	14.3%	14.3%	14.3%
	香川県	19	26.3%	10.5%	21.1%	15.8%	—
	愛媛県	41	34.1%	14.6%	4.9%	9.8%	—
九州	高知県	14	57.1%	14.3%	—	21.4%	7.1%
	福岡県	85	18.8%	11.8%	12.9%	7.1%	8.2%
	佐賀県	13	15.4%	15.4%	15.4%	—	7.7%
	長崎県	26	23.1%	11.5%	15.4%	7.7%	7.7%
	熊本県	36	30.6%	2.8%	11.1%	5.6%	8.3%
	大分県	23	21.7%	—	17.4%	43.5%	—
	宮崎県	26	26.9%	15.4%	7.7%	15.4%	—
	鹿児島県	36	30.6%	8.3%	13.9%	8.3%	8.3%
海外	海外	16	33.3%	14.3%	14.3%	4.8%	4.8%
海外		16	43.8%	12.5%	6.3%	12.5%	6.3%

※回答数30未満は参考値とする。

(25) 地元就職を「希望しない」「どちらかといえば希望しない」と答えた方: 将来的に地元(Uターン含む)就職を考えていますか。【SA】

	全体	地元進学男子	地元進学女子	地元外進学男子	地元外進学女子	20年卒全体
回答数	2,052	226	469	485	872	2,815
考えている	14.2%	17.3%	14.1%	14.6%	11.5%	11.2%
考えていない	44.6%	36.7%	40.3%	44.9%	51.7%	40.7%
分からない	41.2%	46.0%	45.6%	40.4%	36.8%	48.1%

◎卒業高校エリア別

	回答数	考えている	考えていない	分からない
全体	2,051	14.2%	44.6%	41.2%
北海道	74	25.7%	48.6%	25.7%
東北	167	20.4%	49.7%	29.9%
関東	568	9.0%	50.4%	40.7%
甲信越	105	16.2%	42.9%	41.0%
東海	274	8.0%	47.1%	44.9%
北陸	60	11.7%	53.3%	35.0%
関西	342	11.7%	40.1%	48.2%
中国	130	17.7%	40.8%	41.5%
四国	87	17.2%	51.7%	31.0%
九州	229	19.7%	38.9%	41.5%
海外	15	20.0%	33.3%	46.7%

※回答数50未満は参考値とする。

(26) 前問で「考えている」と答えた方: 将来、どのような機会にUターンを考えるといますか。当てはまるものをすべて選択してください。【MA】

	全体	地元進学男子	地元進学女子	地元外進学男子	地元外進学女子
回答数	271	39	64	70	98
結婚するとき	37.0%	53.8%	37.5%	30.0%	31.6%
出産するとき	18.9%	10.3%	34.4%	8.6%	34.7%
子育てを始めるとき	26.4%	23.1%	37.5%	20.0%	33.7%
子供が成長して環境を変えなくなったとき	17.4%	12.8%	18.8%	17.1%	21.4%
子育てが終わったあと	12.9%	20.5%	9.4%	8.6%	15.3%
家業を継ぐことになったとき	10.4%	5.1%	4.7%	18.6%	5.1%
両親や親族が病気になったとき	41.2%	28.2%	46.9%	41.4%	49.0%
両親や親族の介護が必要になったとき	41.3%	20.5%	45.3%	50.0%	43.9%
転職や起業を考えたとき	22.6%	10.3%	29.7%	22.9%	29.6%
都会の暮らしに疲れたと感じたとき	28.0%	17.9%	39.1%	25.7%	34.7%
都会の暮らしに満足したとき	21.0%	12.8%	28.1%	17.1%	30.6%
定年退職後	16.7%	15.4%	12.5%	17.1%	19.4%
地元が自分を必要としていると感じたとき	15.2%	17.9%	10.9%	15.7%	15.3%
その他	2.9%	5.1%	3.1%	1.4%	3.1%

(27) 地元(Uターン含む)就職以外に、Iターン就職のように地元以外の自然が豊かな地方で働いてみたいと思いますか。【SA】

	全体	地元進学男子	地元進学女子	地元外進学男子	地元外進学女子
回答数	7,263	1,095	2,272	1,385	2,511
働いてみたい	39.7%	44.7%	35.3%	43.0%	33.5%
働いてみたいとは思わない	60.3%	55.3%	64.7%	57.0%	66.5%

◎現在大学エリア別	回答数	働いてみたい	働いてみたいとは思わない
全体	7,260	39.7%	60.3%
北海道	246	46.7%	53.3%
東北	378	46.0%	54.0%
関東	2,583	35.9%	64.1%
甲信越	202	47.0%	53.0%
東海	936	33.8%	66.2%
北陸	173	41.0%	59.0%
関西	1,577	35.0%	65.0%
中国	397	36.3%	63.7%
四国	167	43.1%	56.9%
九州	601	43.6%	56.4%

(28) 何故、Iターン就職を希望するのですか。当てはまるものをすべて選択してください。【MA】

	全体	地元進学男子	地元進学女子	地元外進学男子	地元外進学女子
回答数	2,632	474	774	573	811
趣味と仕事のバランスをとりたいから	44.4%	54.0%	34.5%	46.6%	36.0%
住む場所には特にこだわりがないから	29.6%	28.7%	27.0%	33.0%	27.7%
自然の中で楽しめる時間を持てるから	48.8%	44.3%	50.0%	48.5%	54.6%
新たな人々との出会いが生まれるから	36.5%	32.9%	44.2%	32.1%	41.6%
見聞を広げたり、新たな発見が出来るから	32.2%	27.8%	37.0%	30.0%	37.5%
地域特有の文化や伝統工芸を活かす仕事がしたいから	9.7%	7.8%	12.5%	8.6%	11.8%
人ごみが苦手で、都会に住みたいと思わないから	22.4%	17.9%	24.8%	19.7%	31.3%
将来、子育てに良い環境を選びたいから	15.9%	12.0%	18.3%	14.0%	22.3%
工場や研究所は地方にあることが多いから	7.1%	6.5%	4.7%	9.4%	6.8%
地方創生に興味があるから	14.7%	12.9%	15.9%	15.2%	15.0%

◎現在大学エリア別	北海道	東北	関東	甲信越	東海	北陸
回答数	113	169	888	94	305	70
趣味と仕事のバランスをとりたいから	38.1%	37.3%	41.2%	38.3%	46.2%	38.6%
住む場所には特にこだわりがないから	39.8%	28.4%	28.5%	28.7%	27.9%	38.6%
自然の中で楽しめる時間を持てるから	35.4%	40.8%	54.5%	46.8%	44.3%	42.9%
新たな人々との出会いが生まれるから	38.1%	34.9%	36.6%	36.2%	37.4%	31.4%
見聞を広げたり、新たな発見が出来るから	38.9%	30.2%	36.3%	23.4%	31.1%	31.4%
地域特有の文化や伝統工芸を活かす仕事がしたいから	6.2%	9.5%	11.3%	6.4%	11.5%	11.4%
人ごみが苦手で、都会に住みたいと思わないから	21.2%	30.2%	23.3%	23.4%	25.9%	27.1%
将来、子育てに良い環境を選びたいから	8.8%	14.2%	17.0%	16.0%	17.0%	24.3%
工場や研究所は地方にあることが多いから	8.0%	8.3%	6.8%	9.6%	7.2%	5.7%
地方創生に興味があるから	14.2%	16.6%	14.9%	12.8%	11.5%	14.3%

	関西	中国	四国	九州
回答数	526	140	69	257
趣味と仕事のバランスをとりたいから	42.8%	32.1%	33.3%	44.0%
住む場所には特にこだわりがないから	30.4%	19.3%	29.0%	26.1%
自然の中で楽しめる時間を持てるから	53.2%	44.3%	55.1%	52.5%
新たな人々との出会いが生まれるから	43.5%	40.7%	42.0%	41.2%
見聞を広げたり、新たな発見が出来るから	34.6%	35.0%	37.7%	31.5%
地域特有の文化や伝統工芸を活かす仕事がしたいから	11.2%	7.1%	13.0%	11.3%
人ごみが苦手で、都会に住みたいと思わないから	22.6%	29.3%	20.3%	26.5%
将来、子育てに良い環境を選びたいから	22.2%	19.3%	14.5%	14.0%
工場や研究所は地方にあることが多いから	5.3%	4.3%	7.2%	7.4%
地方創生に興味があるから	17.3%	14.3%	23.2%	12.8%

(29) テレワークやリモートワークが推進されております。働く場所が自由になった際に、勤務先・居住地域の理想として当てはまるものをお選びください。|

	全体	地元進学男子	地元進学女子	地元外進学男子	地元外進学女子
回答数	7,263	1,095	2,272	1,385	2,511
地方の企業に勤め、地方に住みたい	34.1%	39.5%	37.7%	31.3%	28.5%
地方の企業に勤め、都市(東京以外)に住みたい	9.3%	10.1%	8.1%	9.9%	8.7%
地方の企業に勤め、東京に住みたい	3.8%	3.7%	3.9%	3.8%	3.5%
都市(東京以外)の企業に勤め、地方に住みたい	15.1%	13.5%	12.4%	18.2%	15.3%
都市(東京以外)の企業に勤め、都市(東京以外)に住みたい	15.0%	12.9%	15.0%	13.9%	19.0%
都市(東京以外)の企業に勤め、東京に住みたい	2.5%	3.1%	2.2%	2.4%	2.3%
東京の企業に勤め、地方に住みたい	5.6%	4.7%	4.8%	6.6%	6.1%
東京の企業に勤め、都市(東京以外)に住みたい	5.8%	4.5%	5.5%	5.7%	7.5%
東京の企業に勤め、東京に住みたい	8.8%	7.9%	10.4%	8.2%	9.0%
地方の企業に勤めたい	47.2%	53.3%	49.7%	45.0%	40.7%
都市(東京以外)の企業に勤めたい	32.6%	29.5%	29.6%	34.5%	36.6%
東京の企業に勤めたい	20.2%	17.1%	20.7%	20.5%	22.6%
地方に住みたい	54.8%	57.7%	54.9%	56.1%	49.9%
都市(東京以外)に住みたい	30.1%	27.5%	28.6%	29.5%	35.2%
東京に住みたい	15.1%	14.7%	16.5%	14.4%	14.8%

▼テレワークやリモートワークが推進されております。働く場所が自由になった際に、勤務先・居住地域の理想として当てはまるものをお選びください

◎卒業高校エリア別

	全体	北海道	東北	関東	甲信越	東海
回答数	7,257	223	481	2,176	272	1,118
地方の企業に勤め、地方に住みたい	34.1%	40.4%	40.1%	19.9%	40.8%	43.6%
地方の企業に勤め、都市(東京以外)に住みたい	9.3%	6.3%	10.2%	7.3%	10.7%	7.9%
地方の企業に勤め、東京に住みたい	3.8%	4.5%	4.0%	5.2%	2.9%	3.4%
都市(東京以外)の企業に勤め、地方に住みたい	15.2%	14.3%	15.4%	9.6%	16.2%	15.1%
都市(東京以外)の企業に勤め、都市(東京以外)に住みたい	15.0%	13.0%	11.9%	15.7%	9.9%	14.6%
都市(東京以外)の企業に勤め、東京に住みたい	2.5%	2.2%	1.5%	4.5%	2.2%	1.7%
東京の企業に勤め、地方に住みたい	5.7%	7.2%	6.4%	7.4%	5.9%	4.9%
東京の企業に勤め、都市(東京以外)に住みたい	5.8%	6.3%	5.2%	11.1%	6.6%	4.0%
東京の企業に勤め、東京に住みたい	8.8%	5.8%	5.4%	19.3%	4.8%	4.8%

※上位3項目に色付け

◎卒業高校エリア別

	全体	関西	中国	四国	九州	海外
回答数	7,257	1,377	439	215	719	33
地方の企業に勤め、地方に住みたい	34.1%	29.3%	49.7%	43.3%	42.1%	27.3%
地方の企業に勤め、都市(東京以外)に住みたい	9.3%	12.3%	8.2%	8.4%	9.0%	15.2%
地方の企業に勤め、東京に住みたい	3.8%	2.4%	1.6%	4.7%	3.2%	9.1%
都市(東京以外)の企業に勤め、地方に住みたい	15.2%	20.6%	13.0%	15.8%	18.5%	6.1%
都市(東京以外)の企業に勤め、都市(東京以外)に住みたい	15.0%	22.9%	15.5%	14.4%	12.2%	9.1%
都市(東京以外)の企業に勤め、東京に住みたい	2.5%	1.5%	0.2%	1.4%	1.3%	3.0%
東京の企業に勤め、地方に住みたい	5.7%	3.8%	5.0%	5.1%	4.2%	9.1%
東京の企業に勤め、都市(東京以外)に住みたい	5.8%	2.8%	2.7%	3.3%	4.2%	6.1%
東京の企業に勤め、東京に住みたい	8.8%	4.4%	4.1%	3.7%	5.3%	15.2%

※上位3項目に色付け

▼テレワークやリモートワークが推進されております。働く場所が自由になった際に、勤務先・居住地域の理想として当てはまるものをお選びください

◎現在の学校エリア別	全体	北海道	東北	関東	甲信越	東海
回答数	7,260	246	378	2,583	202	936
地方の企業に勤め、地方に住みたい	34.1%	37.4%	47.1%	20.4%	45.5%	45.7%
地方の企業に勤め、都市(東京以外)に住みたい	9.3%	8.5%	9.8%	7.1%	11.9%	9.5%
地方の企業に勤め、東京に住みたい	3.8%	4.1%	1.6%	5.6%	4.0%	3.4%
都市(東京以外)の企業に勤め、地方に住みたい	15.1%	19.9%	12.7%	10.3%	12.9%	14.7%
都市(東京以外)の企業に勤め、都市(東京以外)に住みたい	15.0%	12.2%	12.2%	14.9%	10.4%	14.6%
都市(東京以外)の企業に勤め、東京に住みたい	2.5%	2.8%	2.1%	4.2%	0.5%	1.2%
東京の企業に勤め、地方に住みたい	5.6%	6.5%	6.3%	7.8%	5.0%	4.3%
東京の企業に勤め、都市(東京以外)に住みたい	5.8%	4.1%	4.2%	10.8%	6.4%	3.5%
東京の企業に勤め、東京に住みたい	8.8%	4.5%	4.0%	18.8%	3.5%	3.0%

※上位3項目に色付け

◎現在の学校エリア別	全体	関西	中国	四国	九州
回答数	7,260	1,577	397	167	601
地方の企業に勤め、地方に住みたい	34.1%	29.1%	52.1%	56.3%	45.4%
地方の企業に勤め、都市(東京以外)に住みたい	9.3%	11.7%	7.6%	4.8%	10.8%
地方の企業に勤め、東京に住みたい	3.8%	2.3%	3.0%	3.6%	2.2%
都市(東京以外)の企業に勤め、地方に住みたい	15.1%	20.0%	14.6%	12.0%	18.1%
都市(東京以外)の企業に勤め、都市(東京以外)に住みたい	15.0%	23.8%	12.6%	11.4%	12.3%
都市(東京以外)の企業に勤め、東京に住みたい	2.5%	1.6%	1.0%	—	1.3%
東京の企業に勤め、地方に住みたい	5.6%	3.9%	4.3%	5.4%	3.2%
東京の企業に勤め、都市(東京以外)に住みたい	5.8%	3.2%	3.0%	2.4%	2.8%
東京の企業に勤め、東京に住みたい	8.8%	4.4%	1.8%	4.2%	3.8%

※上位3項目に色付け

データ集(地元・地元外進学男女別)

▼テレワークやリモートワークが推進されております。働く場所が自由になった際に、勤務先・居住地の理想として当てはまるものをお選びください。【SA】

◎卒業高校都道府県別

→横軸の複数回答の比率を表示

	回答数	地方の企業に勤め、地方に住みたい	地方の企業に勤め、都市(東京以外)に住みたい	地方の企業に勤め、東京に住みたい	都市(東京以外)の企業に勤め、地方に住みたい	都市(東京以外)の企業に勤め、都市(東京以外)に住みたい	都市(東京以外)の企業に勤め、東京に住みたい	東京の企業に勤め、地方に住みたい	東京の企業に勤め、都市(東京以外)に住みたい
全体	7,257	34.1%	9.3%	3.8%	15.2%	15.0%	2.5%	5.7%	5.8%
北海道	223	40.4%	6.3%	4.5%	14.3%	13.0%	2.2%	7.2%	6.3%
青森県	71	43.7%	9.9%	2.8%	16.9%	9.9%	—	7.0%	4.2%
岩手県	76	43.4%	7.9%	3.9%	13.2%	11.8%	2.6%	7.9%	3.9%
宮城県	155	38.7%	9.0%	1.9%	17.4%	14.2%	1.3%	7.7%	5.2%
秋田県	48	43.8%	10.4%	2.1%	16.7%	10.4%	—	4.2%	6.3%
山形県	51	49.0%	11.8%	5.9%	11.8%	7.8%	—	2.0%	7.8%
福島県	80	28.7%	13.8%	8.8%	13.8%	12.5%	3.8%	6.3%	5.0%
茨城県	167	38.9%	7.2%	4.8%	16.8%	7.8%	2.4%	7.2%	4.8%
栃木県	93	41.9%	7.5%	4.3%	10.8%	19.4%	1.1%	5.4%	7.5%
群馬県	106	39.6%	9.4%	3.8%	10.4%	5.7%	1.9%	10.4%	7.5%
埼玉県	346	19.7%	8.7%	2.9%	11.0%	16.8%	2.6%	9.0%	14.5%
千葉県	293	19.1%	6.5%	1.7%	10.2%	18.4%	4.1%	11.9%	13.3%
東京都	702	12.7%	5.1%	8.5%	7.8%	11.0%	6.8%	6.1%	8.5%
神奈川県	469	15.8%	9.4%	4.9%	7.7%	24.7%	4.5%	5.1%	14.9%
新潟県	126	38.9%	11.9%	1.6%	15.9%	11.9%	1.6%	3.2%	11.1%
山梨県	43	30.2%	16.3%	7.0%	14.0%	9.3%	2.3%	9.3%	2.3%
長野県	103	47.6%	6.8%	2.9%	17.5%	7.8%	2.9%	7.8%	2.9%
岐阜県	135	41.5%	5.9%	0.7%	22.2%	12.6%	0.7%	3.7%	5.9%
静岡県	229	49.8%	5.2%	4.8%	17.0%	10.9%	1.3%	4.8%	3.1%
愛知県	641	42.9%	9.2%	3.7%	13.1%	15.8%	1.9%	4.8%	3.6%
三重県	113	37.2%	8.0%	1.8%	14.2%	17.7%	2.7%	7.1%	6.2%
富山県	82	47.6%	8.5%	3.7%	12.2%	12.2%	2.4%	3.7%	3.7%
石川県	64	56.3%	12.5%	1.6%	10.9%	4.7%	4.7%	3.1%	4.7%
福井県	58	37.9%	8.6%	3.4%	20.7%	20.7%	—	3.4%	3.4%
滋賀県	109	38.5%	15.6%	—	18.3%	15.6%	1.8%	3.7%	0.9%
京都府	236	30.9%	9.7%	3.0%	22.5%	20.8%	0.8%	5.5%	3.0%
大阪府	533	23.6%	13.1%	3.2%	16.5%	28.9%	1.7%	3.8%	3.0%
兵庫県	352	31.8%	12.5%	1.7%	24.7%	19.6%	1.7%	2.8%	2.6%
奈良県	97	35.1%	9.3%	1.0%	25.8%	16.5%	1.0%	2.1%	6.2%
和歌山県	50	32.0%	12.0%	4.0%	22.0%	20.0%	2.0%	8.0%	—
鳥取県	22	40.9%	4.5%	—	9.1%	36.4%	—	4.5%	—
島根県	30	33.3%	16.7%	—	13.3%	23.3%	—	3.3%	3.3%
岡山県	113	50.4%	5.3%	1.8%	17.7%	12.4%	0.9%	2.7%	5.3%
広島県	202	54.5%	7.4%	2.5%	10.4%	13.4%	—	6.4%	1.5%
山口県	72	44.4%	12.5%	—	13.9%	16.7%	—	5.6%	2.8%
徳島県	32	46.9%	3.1%	—	9.4%	28.1%	—	6.3%	6.3%
香川県	53	39.6%	3.8%	3.8%	24.5%	13.2%	1.9%	9.4%	1.9%
愛媛県	101	47.5%	11.9%	5.9%	12.9%	9.9%	1.0%	3.0%	3.0%
高知県	29	31.0%	10.3%	6.9%	17.2%	17.2%	3.4%	3.4%	3.4%
福岡県	262	43.9%	8.4%	3.4%	19.8%	9.9%	1.1%	5.7%	3.4%
佐賀県	40	55.0%	5.0%	—	10.0%	20.0%	2.5%	—	2.5%
長崎県	71	45.1%	4.2%	4.2%	21.1%	8.5%	—	5.6%	7.0%
熊本県	87	40.2%	10.3%	1.1%	19.5%	16.1%	2.3%	1.1%	2.3%
大分県	60	36.7%	5.0%	3.3%	21.7%	16.7%	1.7%	—	3.3%
宮崎県	56	39.3%	10.7%	3.6%	16.1%	14.3%	1.8%	8.9%	1.8%
鹿児島県	79	34.2%	17.7%	2.5%	15.2%	13.9%	1.3%	3.8%	5.1%
沖縄県	64	43.8%	9.4%	6.3%	17.2%	7.8%	—	3.1%	9.4%
海外	33	27.3%	15.2%	9.1%	6.1%	9.1%	3.0%	9.1%	6.1%

※回答数30未満は参考値とする。

データ集(地元・地元外進学男女別)

▼テレワークやリモートワークが推進されております。働く場所が自由になった際に、勤務先・居住地の理想として当てはまるものをお選びください。【SA】

◎現在の学校所在都道府県別

→横軸の複数回答の比率を表示

	回答数	地方の企業に勤め、地方に住みたい	地方の企業に勤め、都市(東京以外)に住みたい	地方の企業に勤め、東京に住みたい	都市(東京以外)の企業に勤め、地方に住みたい	都市(東京以外)の企業に勤め、都市(東京以外)に住みたい	都市(東京以外)の企業に勤め、東京に住みたい	東京の企業に勤め、地方に住みたい	東京の企業に勤め、都市(東京以外)に住みたい
大学	7,260	34.1%	9.3%	3.8%	15.1%	15.0%	2.5%	5.6%	5.8%
北海道	246	37.4%	8.5%	4.1%	19.9%	12.2%	2.8%	6.5%	4.1%
青森県	62	48.4%	11.3%	3.2%	6.5%	9.7%	1.6%	8.1%	6.5%
岩手県	53	54.7%	7.5%	-	9.4%	13.2%	3.8%	5.7%	3.8%
宮城県	155	44.5%	10.3%	1.3%	15.5%	11.6%	2.6%	6.5%	3.9%
秋田県	25	52.0%	12.0%	-	12.0%	12.0%	-	4.0%	4.0%
山形県	44	47.7%	9.1%	-	15.9%	11.4%	-	6.8%	2.3%
福島県	39	41.0%	7.7%	5.1%	12.8%	17.9%	2.6%	5.1%	5.1%
茨城県	87	37.9%	6.9%	3.4%	14.9%	10.3%	3.4%	2.3%	10.3%
栃木県	45	46.7%	8.9%	6.7%	13.3%	11.1%	-	4.4%	6.7%
群馬県	68	48.5%	11.8%	2.9%	14.7%	10.3%	-	2.9%	4.4%
埼玉県	212	27.8%	9.0%	4.2%	9.9%	13.7%	3.3%	7.5%	9.9%
千葉県	219	24.2%	6.4%	4.6%	12.8%	13.2%	3.2%	6.4%	12.3%
東京都	1,577	16.4%	6.2%	6.2%	10.0%	14.0%	4.6%	9.1%	11.3%
神奈川県	375	18.7%	9.3%	5.6%	8.0%	23.2%	4.8%	5.9%	10.4%
新潟県	110	40.0%	11.8%	1.8%	15.5%	14.5%	0.9%	6.4%	7.3%
山梨県	53	45.3%	13.2%	5.7%	15.1%	5.7%	-	3.8%	5.7%
長野県	39	61.5%	10.3%	7.7%	2.6%	5.1%	-	2.6%	5.1%
岐阜県	55	49.1%	7.3%	3.6%	14.5%	12.7%	1.8%	3.6%	1.8%
静岡県	125	56.0%	8.8%	3.2%	20.0%	6.4%	-	2.4%	1.6%
愛知県	718	44.2%	9.7%	3.5%	13.4%	16.0%	1.4%	4.7%	3.9%
三重県	38	36.8%	10.5%	2.6%	23.7%	18.4%	-	2.6%	5.3%
富山県	52	50.0%	3.8%	1.9%	17.3%	9.6%	-	3.8%	5.8%
石川県	90	51.1%	7.8%	1.1%	18.9%	6.7%	3.3%	4.4%	3.3%
福井県	31	51.6%	6.5%	3.2%	29.0%	3.2%	-	3.2%	-
滋賀県	102	35.3%	9.8%	1.0%	20.6%	19.6%	2.0%	3.9%	1.0%
京都府	449	27.2%	12.7%	2.2%	21.2%	23.4%	1.6%	4.5%	3.6%
大阪府	561	27.6%	11.9%	3.0%	18.9%	25.1%	1.8%	3.7%	3.2%
兵庫県	358	29.9%	10.3%	2.0%	19.6%	25.4%	1.4%	3.6%	3.1%
奈良県	78	39.7%	12.8%	1.3%	20.5%	14.1%	1.3%	-	6.4%
和歌山県	29	27.6%	10.3%	-	27.6%	24.1%	-	10.3%	-
鳥取県	21	47.6%	4.8%	-	33.3%	9.5%	-	4.8%	-
島根県	23	47.8%	4.3%	4.3%	17.4%	13.0%	-	-	13.0%
岡山県	107	54.2%	6.5%	1.9%	15.9%	7.5%	1.9%	3.7%	5.6%
広島県	184	52.2%	7.6%	4.9%	10.9%	15.2%	0.5%	6.0%	1.1%
山口県	62	51.6%	11.3%	-	16.1%	14.5%	1.6%	1.6%	1.6%
徳島県	35	51.4%	2.9%	-	17.1%	17.1%	-	2.9%	5.7%
香川県	34	58.8%	-	2.9%	14.7%	14.7%	-	5.9%	-
愛媛県	67	61.2%	9.0%	4.5%	7.5%	6.0%	-	6.0%	1.5%
高知県	31	48.4%	3.2%	6.5%	12.9%	12.9%	-	6.5%	3.2%
福岡県	273	43.6%	11.4%	1.8%	17.9%	13.2%	1.1%	2.9%	3.7%
佐賀県	26	38.5%	19.2%	3.8%	15.4%	-	3.8%	11.5%	3.8%
長崎県	70	54.3%	8.6%	1.4%	15.7%	10.0%	1.4%	4.3%	4.3%
熊本県	76	39.5%	10.5%	1.3%	23.7%	17.1%	1.3%	1.3%	-
大分県	28	39.3%	7.1%	7.1%	17.9%	14.3%	-	3.6%	3.6%
宮崎県	39	48.7%	17.9%	5.1%	10.3%	7.7%	2.6%	5.1%	-
鹿児島県	46	45.7%	6.5%	2.2%	23.9%	13.0%	2.2%	2.2%	-
沖縄県	43	58.1%	7.0%	-	16.3%	11.6%	-	-	4.7%

※回答数30未満は参考値とする。

(30) あなたの地元で、地元(Uターン含む)就職を希望する人を増やすためのアイデアがあれば、自由にお書きください。【FA】

別紙参照









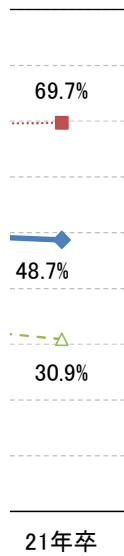


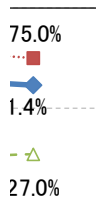
その他
3.9%
2.9%
—
3.3%
3.5%
7.7%
3.7%
—
2.1%
4.5%
2.3%
0.9%
2.9%
2.1%
4.6%
1.5%
—
4.0%
2.7%
6.0%
3.1%
—
6.3%
1.9%
—
3.8%
3.9%
2.1%
3.5%
6.5%
5.6%
7.1%
6.7%
14.3%
6.1%
—
27.8%
4.8%
20.5%
16.7%
5.2%
—
—
17.4%
6.7%
5.3%
7.4%
7.7%



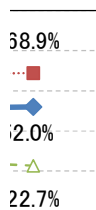


外進学

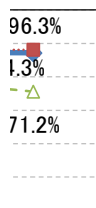




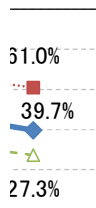
1年卒



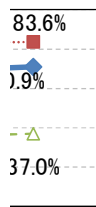
1年卒



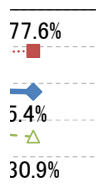
1年卒



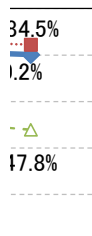
1年卒



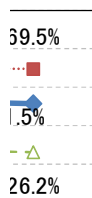
1年卒



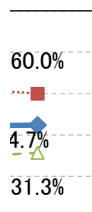
1年卒



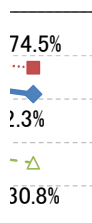
1年卒



1年卒



1年卒



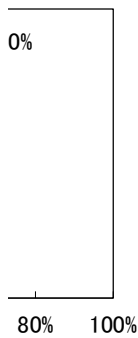
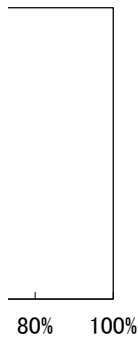
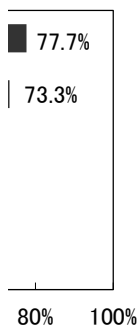
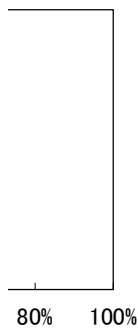
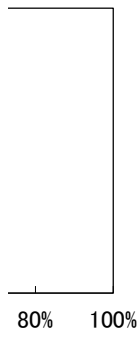
1年卒



東海
793
2.8%
4.3%
11.5%
1.1%
3.2%
3.3%
0.8%
0.9%
0.8%
9.3%
1.0%
1.4%
1.0%
1.6%
2.0%
2.0%
0.5%
1.0%
6.4%
0.4%
1.6%
1.4%
2.8%
5.9%
0.3%
1.0%
2.3%
2.1%
1.0%
0.6%
1.9%
5.2%
4.4%
2.4%
1.0%
1.1%
0.5%
2.3%
0.4%
0.6%
0.8%
5.2%
...
7.1%
35.9%
4.0%
1.5%
8.4%
4.2%
7.2%
5.4%
21.2%
5.2%

九州
448
1.8%
4.0%
12.7%
3.1%
1.6%
2.9%
—
1.6%
2.2%
1.1%
0.7%
1.1%
0.7%
—
2.5%
0.9%
1.8%
0.4%
5.1%
0.7%
2.2%
3.3%
2.0%
7.1%
0.4%
0.7%
4.2%
1.6%
2.5%
0.7%
0.7%
5.4%
5.8%
1.8%
1.1%
0.2%
0.7%
2.5%
0.4%
2.0%
1.8%
8.0%
...
5.8%
27.7%
3.4%
2.2%
8.0%
5.3%
8.2%
8.3%
23.1%
8.0%





外国人観光客 が集まる 観光地がある
5.7%
0.9%
—
—
3.2%
—
—
—
1.8%
3.2%
—
4.6%
10.9%
9.4%
11.5%
0.8%
4.7%
—
2.2%
2.2%
3.7%
2.7%
—
7.8%
—
0.9%
18.6%
14.4%
6.5%
8.2%
2.0%
4.5%
—
6.2%
7.9%
1.4%
—
11.3%
7.9%
—
4.2%
—
8.5%
1.1%
6.7%
—
—
—
9.1%

自分専用の車
を持っている
人が多い

2.6%
1.8%
—
3.9%
1.3%
2.1%
3.9%
5.0%
3.6%
3.2%
11.3%
2.9%
3.1%
1.7%
2.1%
6.3%
7.0%
—
3.0%
0.9%
6.1%
3.5%
3.7%
3.1%
1.7%
2.8%
1.3%
0.8%
0.9%
1.0%
4.0%
4.5%
3.3%
6.2%
2.5%
4.2%
3.1%
1.9%
2.0%
—
0.8%
2.5%
1.4%
2.3%
1.7%
—
—
—
6.1%



4.3%

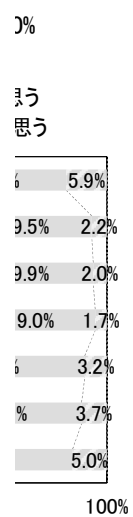
北陸
117
29.9%
15.4%
12.0%
15.4%
5.1%
4.3%
2.6%
4.3%
1.7%
2.6%
6.8%

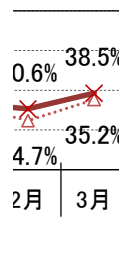
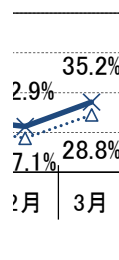
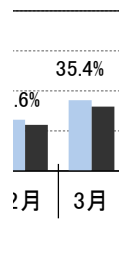


40%









際

「」













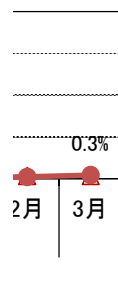
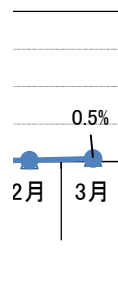
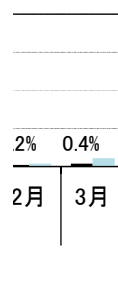
60%

地元(Uターン
先)での生活
に慣れて
いるから

38.9%
47.1%
41.4%
34.3%
33.0%
47.4%
30.4%
35.3%
44.9%
44.7%
34.6%
37.3%
37.0%
34.1%
36.7%
50.0%
33.3%
40.7%
43.7%
43.9%
43.3%
41.3%
55.3%
29.3%
31.0%
34.0%
36.8%
42.6%
35.6%
34.7%
47.6%
33.3%
60.0%
34.3%
47.2%
27.6%
46.7%
31.0%
42.0%
50.0%
48.0%
40.9%
38.2%
40.9%
37.5%
66.7%
44.1%
61.3%
30.0%

都会で生活 する自信が 無いから
1.2%
0.8%
3.4%
—
1.1%
—
—
—
1.4%
—
1.9%
0.7%
1.6%
2.2%
2.4%
1.7%
—
—
2.8%
—
0.4%
—
—
—
—
—
0.7%
0.5%
0.9%
—
—
—
10.0%
1.5%
0.8%
—
—
—
2.0%
—
0.6%
—
—
4.5%
—
—
—
—
—



















【SA】

。【SA】

北陸
204
47.5%
9.8%
2.9%
14.2%
12.3%
2.5%
3.4%
3.9%
3.4%

【SA】

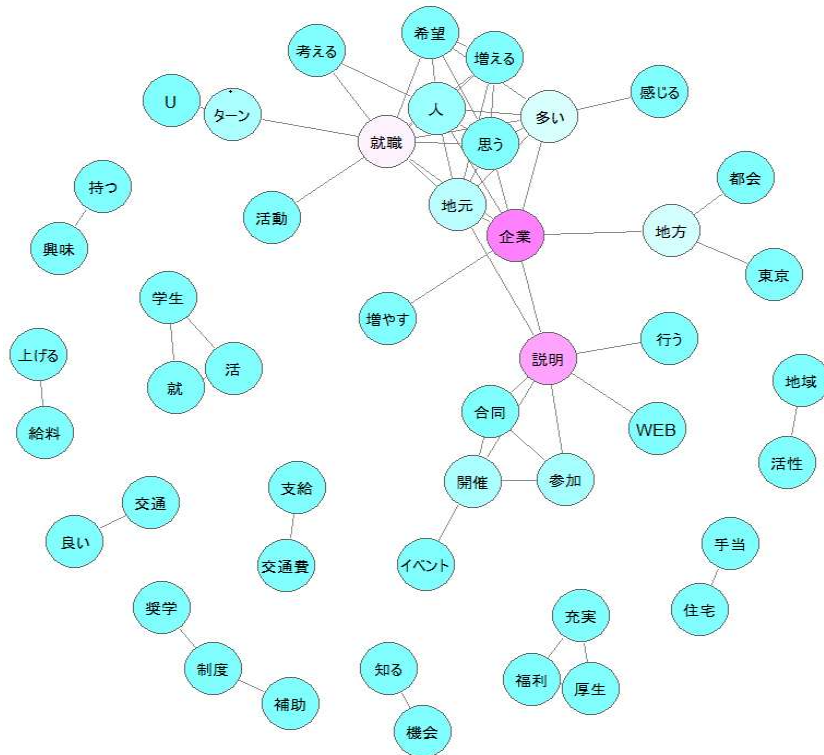
北陸
173
50.9%
6.4%
1.7%
20.2%
6.9%
1.7%
4.0%
3.5%
4.6%

東京の企業に 勤め、東京に 住みたい
8.8%
5.8%
5.6%
5.3%
4.5%
6.3%
3.9%
7.5%
10.2%
2.2%
11.3%
15.0%
14.7%
33.3%
13.0%
4.0%
9.3%
3.9%
6.7%
3.1%
5.0%
5.3%
6.1%
1.6%
1.7%
5.5%
3.8%
6.2%
2.6%
3.1%
—
4.5%
6.7%
3.5%
4.0%
4.2%
—
1.9%
5.0%
6.9%
4.2%
5.0%
4.2%
6.9%
11.7%
3.6%
6.3%
3.1%
15.2%

東京の企業に 勤め、東京に 住みたい
8.8%
4.5%
4.8%
1.9%
3.9%
4.0%
6.8%
2.6%
10.3%
2.2%
4.4%
14.6%
16.9%
22.3%
14.1%
1.8%
5.7%
5.1%
5.5%
1.6%
3.2%
—
7.7%
3.3%
3.2%
6.9%
3.8%
4.6%
4.7%
3.8%
—
—
—
2.8%
1.6%
1.6%
2.9%
2.9%
4.5%
6.5%
4.4%
3.8%
—
5.3%
7.1%
2.6%
4.3%
2.3%

＜頻出語間の共起ネットワーク図＞

※学生の自由記述をKH Corderを用いて分析。
共起ネットワークとは：自由記述内でよく一緒に出現する語を（共起する語を）線で結んだ図。強く結びついた部分ごとにグループ分け・色分けされる。
（出所：KH Corder「チュートリアル&ヒント」）



自由記述全2,026件のうち、40文字以上の記述753件を抜粋して記載。
上記共起ネットワーク図も参考に、学生の記述は大きく以下3つの分類に分けられた。

- 知る機会：330件（全件：700件）
合同企業説明会／WEB説明会・WEBセミナー／他、PR施策など
- 金銭的支援：185件（全件：687件）
給料／交通費支給／住宅手当／奨学金／福利厚生充実 など
- 働く環境・交通環境など”環境”：238件（全件：639件）
テレワーク・リモートワーク／交通の便 など

卒業高校 都道府県	現住所 都道府県	進学先大学	分類	あなたの地元で、地元（Uターン含む）就職を希望する人を増やすためのアイデア
北海道	北海道	函館大学	知る機会	地元企業について知る機会を増やす。地元で大きな合同説明会を開き、説明会をやることを周知するように努める。合同説明会を開いても、大学のキャリアセンターに伝わらなければ人が集まらないから。私の大学のキャリアセンターは全然動いてくれないため、自力で探すしかない。就活サイトに登録することでしか情報を得ることができないから、合同説明会の回数を増やすか、合同説明会を開催することが広く宣伝してほしい。
北海道	北海道	北海商科大学	知る機会	地元出身の就活生に対して、郵便やメールなどで地元にある会社の情報を提供してもらうと地元企業を調べてみようと考えてるのでそれで興味を引く可能性があるのでは地元就職を希望する人が増えてくると思います。
北海道	埼玉県	東洋大学	知る機会	北海道が地元のため、道内を移動するだけでも交通費がかかります。そのため、WEBセミナーや出張説明会なども行い、できる限り広範囲の人に企業の情報を届けることが大切だと思います。
北海道	岩手県	岩手大学	知る機会	説明会から面接などの選考を全て行う。そして、内定後直接会う機会を設ける。または最終面接は交通費支給。
北海道	神奈川県	青山学院大学	知る機会	まず情報が集めづらく、交通費などの懸念点がある。よってその地元の合同説明会をWebで行うべき。
北海道	北海道	札幌大谷大学	知る機会	選考に進むために、企業説明会を必須にしている企業はweb説明会などを積極的に取り入れてほしい。また、東京での就活を目指していたので、コロナの騒動が収まるまで、今年の就活時期を遅らせるもしくは二次募集などをかけることを検討してほしい。こらからの5.6月に面接などの日程を組んでいる企業が多いが、現在アルバイトに入っていない学生も多くいると思う。費用を調達するのに時間が必要である。費用を負担してくれる募集はあるが、少しでも元手がなくては始められない。
北海道	東京都	早稲田大学	知る機会	今年は特にコロナウイルスの影響で説明会などが多くキャンセルになりました。そういうときに、WEBなどで積極的に説明会を行なって欲しいと思いました。また、北海道まではとても交通費がかかるので、交通費を少し負担してもらえればもっと多くの人が活動しやすいと思います。
北海道	北海道	釧路公立大学	知る機会	まず、地元について知る必要があると思う。企業よりもまず、その地元の良さを広めるべきだと思う。それからはその地域の企業が集まる合同説明会を都会で開いたり、遠いところからは来づらいため、ウェブの説明会を増やすこと、企業特集として、地元の企業を集めたパンフレットを、学校や自宅に提供したりすることが必要だと思う。

北海道	北海道	北海道大学	金銭的支援	まず、企業が東京や大阪などの大都市に集中している問題を解決する必要がある。そのためには、北海道という土地柄を存分に活かしたアピールをしなければいけない。また、物流面でも北海道は優れていると考えられるので、そういう面もアピールすると良い。顧客の多い都市部に企業が集まると営業等もしやすいと考えられるが、今はWEB会議などオンラインでやりとりできるツールが発達しているため、そのようなツールを活用すればどの土地にいても顧客とのやりとりは可能になると考えている。さらに、地元就職をする人たちへの支援も厚くして欲しい。例えば、住宅費支援などの金銭面で。都市部の企業は給与面で非常に地方の企業と差があるため、そこに人が集まらないのだと感じている。さらに、彼（彼女）への待遇もあると非常に助かる（できれば）。
北海道	京都府	立命館大学	金銭的支援	高校生の時期から就職活動について意識させる。その際、地元自治体や地元企業の協力してもらう。そもそも知らなければ選択肢にならないので、将来的に選択肢に入るようにするために行うことに一定の効果があると思う。
北海道	北海道	北海道大学	金銭的支援	難しいが、地方と都市の待遇の差をなるべく少なくすることが必要であると思う。また地元の密な人付き合いも難しいところがあるので新しい企業である方が気が楽である。
北海道	北海道	北海道教育大学	金銭的支援	学歴に見合う待遇で働ける企業が増える。自分の地元は大卒も高卒もほとんど変わらない待遇、そしてその大卒といわゆるFラン卒なので、彼らと同じような待遇で働きたくない
北海道	北海道	北海道大学	金銭的支援	地元就職した際に、住居手当などの引っ越しなどに関わる費用を補填してもらえる制度があると良いと思います。
北海道	神奈川県	東京都立大学	金銭的支援	北海道へ行くにはほとんど飛行機を使わなければならないので、交通費が高い。なので交通費を少しでも援助して貰えると説明会等に行く機会が増えて良いと思う。
北海道	鹿児島県	鹿屋体育大学	環境	リモートワークなどがもっと簡単にいえるような環境になったり、特定の業界が特定の都道府県に集約するのではなく、全国に散らばるようになり、地域だけの合同説明会だけでなく、色々な地域の合同説明会に参加することで、地元から遠く離れた大学に通ってる人からするといいと思いました。
北海道	北海道	北海道大学	環境	有名大企業が本社を継続的に設けるのであれば、自分も含め地元就職を考えるかもしれない。
北海道	広島県	広島大学	環境	観光業が盛んなので、観光業の働き方が改善されれば給料もよく、人が集まると思われます。
北海道	北海道	北海道大学	環境	東京に様々な企業の本社が集中しすぎているため、地方だとめぼしい企業がないように感じてしまう。東京への一極集中を避けてほしい。
北海道	長野県	信州大学	環境	技術系が活躍できる企業の研究所を増やして欲しいです。地元だと選択肢が少なすぎて、就職が難しいかもしれません。
北海道	北海道	札幌大学	環境	地元が北海道で、広い土地のため勤務地も沢山ある企業があると思います。できるだけ、働く人の希望に合わせて勤務地を決めるのが良いと思いますし、転勤を伴わない勤務がベストだと思います。
北海道	宮城県	東北大学	環境	北海道自体、広いのでどこの市町村に企業が誘致されても地元からは遠いと思う。交通の便、またはテレワークが大いに推奨されないと私の希望のメーカー職は無料だと考える。
北海道	北海道	北海道大学	環境	道外企業の支社を北海道に置いて、希望がなければ転勤なしにする、またはテレワークを徹底する。
北海道	北海道	藤女子大学	環境	東京ばかりに活躍している企業が集結しているため、もう少し地方にもそのような企業を置けると良いだろう。つまり、地元でも活躍できる場所があるというのはとても大切。
北海道	北海道	北海道大学	環境	地元就職を希望する人は、転居を伴う転勤をあまり望んでいないと思うが、北海道だと道内での転勤でも、どうしても転居が必要になることがあるため、希望する人に向けて、もっと範囲を絞ったエリア職のような募集が増えるといいと思う。
北海道	北海道	藤女子大学	環境	結婚後、配偶者の都合に合わせて勤務地を特定できる制度があると助かる。北海道内の転勤は範囲が広すぎて、何も無い田舎に転勤になった時の影響が大きい
北海道	北海道	函館大学	環境	まずは、職種を増やすことだと思います。特に観光地なので観光業が盛んではあります。が今のご時世ですから、影響されやすいので偏った職種ばかりではなく幅広く在るべきです。さらに、地元ならではの娯楽施設を増やすことも大切だと思います。何も無いところは魅力を感じないし、仕事がない休みの時に地元で娯楽を楽しめないのは少し残念です。
北海道	北海道	北海道教育大学	環境	テレワーク、リモートワークの推進。それらに伴う知識をもっている人材の配置、もしくは人材育成
北海道	北海道	北星学園大学	環境	私の住む北海道では、人口や自然のバランスがとても良く非常に住みやすい地域だが、東京に比べて劣っているところといえば物流、人の移動のしやすさ、情報の遅さです。情報の遅さに関して言えば、5Gなどの新技術などにより改善されつつあるが、物流や人の移動のしやすさは問題で、北海道の地下鉄・バス運賃は東京などと比べて非常に高く、もっと交通インフラを整備することや、移動のための手当てなどが必要なのではないでしょうか。手軽な移動環境が整えば、北海道の自然豊かな環境は武器になり、UターンだけでなくIターンも増え、より北海道の経済は豊かになるのではないのでしょうか。
北海道	北海道	東京農業大学	環境	企業自体が少ないので、アドバイスも何もない。東京一極集中を失くして、企業が地方に分散するか、自身の地元で起業するしかないと思う。希望する人を増やすということは、地元が好きと思えるような街づくりから始める必要があって、私達がアドバイスできる立場にはないと感じる。
青森県	千葉県	和洋女子大学	知る機会	私は東北出身で現在関東の大学に通っていますが、あまりにも東北地方の企業の情報が少なすぎます。CMで放送したり、就職サイトのHPで大きく掲げる(地方の良いところも詳しく載せる)などしてくれないと都心に出ている学生は地方の良さが分からないと思います。
青森県	宮城県	仙台白百合女子大学	知る機会	希望する企業が同じ日もしくは、連日に説明会等を行うことで、金銭面でも予定を立てる上でかなり参加しやすくなると思う。
青森県	北海道	札幌市立大学	知る機会	説明会の会場をイベント会場で行うことも効率的で良いと思いますが、その企業の特徴や雰囲気がかかるような場所で開催すべきだと思う。例えばハウスメーカーなら、モデルハウスやショールームで行うなど。
青森県	青森県	青森公立大学	金銭的支援	給料を上げる。企業情報をもっと拡散させる。企業情報がアバウト過ぎて具体的な事(仕事内容等)がわからない点が多いから、そこを改善して学生に興味を持ってもらう。企業の認知度を上げる。

青森県	宮城県	東北医科薬科大学	環境	メーカーや商社の支社などがが増えないと大学で学んだことを活かせる企業がないと言っても過言ではない。また、地元の友人とは仲が良いがその友人と娯楽を楽しむような場所もない。大学でそこそこ都会に住んでいるため、不便でやりたいことも出来ず息抜きをするような娯楽施設もない、給与も高くない。このような現状では地元就職するのは難しいと思う。私自身地元は嫌いではないし、たまに帰ると安心する場所ではあるが、たまに帰るから良いのであって、都会で経験できることや得られることは地元の何倍もあると思う。都会の方が色々な面で刺激を受け、自分のキャリアアップに繋がる経験ができる、地元ではそれが出来ない。地方は家賃が安いので、そこに重きをおいている学生は地方就職でも良いと考えていると思う。現在地元就職を希望している人は地元への愛があり、地元でやりたいことができる人、または職種に特にこだわっていない人が多いと思う。理系で研究をしている人、院卒の人はその道に進みたいと考える人が多いため、そのような人たちが活躍できる場がもっと多くなると、給与も都会と同等の額もらえること、また地元自体が活性化することが求められると思う。
岩手県	岩手県	盛岡大学	知る機会	もっと地元企業にマイナビ等ナビサイトの活用を促すべきである。今の学生はマイナビ等ナビサイトをメインに活用して就職活動をしているにも関わらず、地元の企業ほどマイナビ等のサイトよりも地元の団体主催のイベントに力を入れている企業が多いと感じた。地元のマイナビ等のナビサイト主催の合同説明会でアリーナに行った際、ブースがアリーナの4分の1以下でしか開催されておらずがっかりし、その時は仙台や関東の活力に影響を受け、地元での一般企業の就職は考えられなかった。これはマイナビ等ナビサイト側にも問題があると感じる。今の学生はマイナビ等ナビサイトをメインに使っているということを企業に強く訴えるべきである。
岩手県	秋田県	秋田大学	知る機会	地元の特色あるような仕事はマイナビなどの就活応援する企業に登録してないように思える。職人などに憧れる人は少なくないと思うので、そういう職種でも職場体験や見学など積極的に関わられる機会があると良いと思う。
岩手県	岩手県	岩手大学	知る機会	地元企業を知る機会がなかなかないので、地元企業が集まる合同企業説明会を学内で開催して欲しい。
岩手県	山形県	東北公益文科大学	知る機会	・高校の時までに地元で活躍する若者と話す機会をたくさん設ける。(実際に私は山形県の実行委員としてこの活動を山形県庄内地域でしております。)・地方自治体で各種奨学金返済補助等の助成金制度がありますが、その種類や上限額を上げる。
岩手県	宮城県	東北大学	金銭的支援	地元でそのまま就職する女子を増やすならやはり子育て支援の充実かなと思います。Uターンを増やすなら職自体が希望するものでないと戻るまではしないだろうと思うので、工場ばかりでなく研究所など都市部に多いものが多少増えればと思います。
岩手県	岩手県	岩手大学	金銭的支援	私の地元は田舎で給料も比較的安めの設定なので、福利厚生などを充実させて生活しやすい環境を整える方が大事だと思う。
岩手県	新潟県	新潟大学	環境	自分の地元は広いが使われていない土地が多過ぎる。工場なり研究機関を設置すればもっと人を呼び込めると思う。
岩手県	岩手県	岩手大学	環境	大手企業のグループ会社や支社があると、地元へ貢献したい人が就職しやすくなると思います。
岩手県	岩手県	岩手大学	環境	安定した雇用や収入、子供が生まれた時にも確実に子育てできる環境があること。働くものが片親だけであっても十分に家族が生活出来る収入は地方は特に地縁や血縁重視である傾向のため、人の繋がりを作りやすい環境作りは新規参入や一度土地を出たものにとっては就職の足がかりになったり、帰ってきやすかったりするのではないかとと思う。
宮城県	宮城県	東北福祉大学	知る機会	各地域毎に合同企業説明会を開催する。自分の地元では職がなかなか見つからず、合同企業説明会を開催して欲しいと切に感じたため。
宮城県	宮城県	東北工業大学	知る機会	地元で働くメリットやイメージをわかりやすくすることが一番大切だと考えます。地元より都市部で働く方がイメージがものすごくよい(特に親世代)為何にかそのイメージを払拭していけることが大切。
宮城県	宮城県	宮城学院女子大学	金銭的支援	車支給や車購入の補助金など地方に合わせた必需品のサポート。また、テレワークの推奨を勧める。1日デスクワーク多いところはペーパーレスを推し進めながら対応。但し、アナログ派であったり、ペーパーレスの導入が難しい場合はその限りではない。
宮城県	北海道	酪農学園大学	金銭的支援	給与がいいか、待遇がよくなると増えると思います。何か目立つことがやりたいや大企業につきたい人は地方で働くにしては少し不利な気がします。
宮城県	神奈川県	専修大学	金銭的支援	なによりもまず給料を上げることだと思う。いくら生活にかかる費用が少ないと言っても低すぎる
宮城県	岩手県	岩手大学	金銭的支援	社宅制度や家賃補助制度を設ける。または給料を上げる。地元は車が必要となってくるため、家賃に加え車にかかる費用を払うとなると生活が苦しくなりそうだから。
宮城県	宮城県	東北学院大学	金銭的支援	福利厚生をもっと充実させて、田舎というイメージを払拭出来れば、就職希望の人が増加すると思います。
宮城県	宮城県	東北学院大学	金銭的支援	給料が安い。給料を上げるべき。地元就職(新卒以外)した人に対して減税や奨学金肩代わりなどがあると嬉しい。どこで働くにしても税金が高すぎる。生きるために働いているのになぜこんなにも搾取されないといけなのか。働いても働いても貯金ができない。
宮城県	新潟県	新潟大学	環境	人口現象を逆にとり、手当て等を出して港付近の土地を空け、コンビナートを形成して製造業の工場や研究所及び各種発電所等を誘致する。観光資源として温泉を利用するだけでなく、クリーンエネルギー源として利用し、地熱発電所を誘致する。
宮城県	東京都	一橋大学	環境	単純に産業を興して下さい。恐らく求職者の数に対して相応の給料が貰える民間企業が余りにも少なすぎると思います。
宮城県	東京都	電気通信大学	環境	メーカーの研究所、事業所を誘致する。それだけで全てが解決すると思います。これは、強く主張していきたいです。
宮城県	宮城県	東北学院大学	環境	大企業は大半が首都圏に集中しているため経済都市と主要都市、工業都市など海外と同じ都市計画をしたほうがいい。
宮城県	宮城県	東北生活文化大学	環境	生活はしやすいが、働きたい企業が少なく、どこにいくのも不便なので、就職は地元にして、住むところは限定しないと増える可能性はあるとおもいます。
宮城県	岩手県	岩手大学	環境	働ける業種を増やすことが第一だと考える。実際に私は仙台出身だが、地元である仙台で働こうとは思わなかった。理由としては仙台が基本的に支社が多いとしてあり、業務拠点にしている企業が少なく、特に自分の働きたいと思った化学・生物分野における募集が少ないからである。全く募集がない訳ではないが、特に仙台ではこの分野は東北大学が有利であり、一地方大学出身者としては積極的に採用していただけないだろうとも考えているためでもある。

宮城県	佐賀県	佐賀大学	環境	自分が地元から出たい理由としては趣味に関するものを購入したりとイベントに参加したいと考えた時に地元からイベント開催地(主に首都圏)へいどうすることに労力と時間をかけることに苦痛に感じるためです。仕事もきちんとこなしつつ成長しつつ趣味も大事にするためには余計な時間や労力をかけたくないという考えです。その意味では地方でも様々な趣味のコンテンツが地方でも受けられれば少しは自分の気は少しは変わります。
宮城県	宮城県	東北学院大学	環境	私は、地元を活性化させ地元に住みたいと思わせることにより、地元就職を希望する人を増やすことができると考えています。地元を離れて就職する人の多くは、都会への憧れがあるからです。そのため、地元を活性化することで、都会への憧れが薄まり、地元での就職を考えるきっかけになると考えます。
宮城県	宮城県	東北大学	環境	企業誘致を行う。中でも、成長産業であるIT系の企業を誘致する。また、シェアオフィスを建てて、大企業でテレワークをしている人々を呼び込むことも、一つの方法と考える。
宮城県	宮城県	東北学院大学	環境	再開発事業などがもっと活発になり、その地域に大きい仕事があること。地域が活発であること
宮城県	宮城県	東北学院大学	環境	仙台は住みやすい為、大手企業が支社などをたくさん出せば、わざわざ東京に行く人は減ると思う。
宮城県	宮城県	宮城大学	環境	都心の業務をリモートで地元で可能で、さらに勉強会やキャリア相談などを地元でできる。
秋田県	岩手県	岩手大学	金銭的支援	Uターン就職する、もしくはした学生に対して補助金制度など、何かしらの援助が必要であると思う。Uターン就職を希望しない理由の多くは就職先が少ない、賃金が低いということであると思うから。
秋田県	秋田県	秋田県立大学	環境	地元に関わり合い取り組みや若者が活躍できる場所ができる。若者が遊んだり集まったりする場所ができて欲しい。
秋田県	愛知県	名古屋大学	環境	私は特に勤務地にこだわりがなく、かつ志望するメーカーは比較的地方に拠点があることが多いです。しかし私の地元には希望する企業の拠点がないため、それらの企業が研究所などを建設すれば地元就職も前向きに考えるとと思います。地元では多くの商業施設(スーパーなど)が潰れていき、何もない土地が増えてきています。その土地を活用して拠点を作り、かつ中心市街地や駅へのアクセスを良くすればUターンもUターンも増え、経済も活発になるのではないかと思います。また、地方に住むことで成長機会を失わない取り組みも必要だと思っています。海外勤務も希望すれば出来て、かつ都心で行われる研修にも会社負担で参加させてもらえると良いと思います。地元で就職する人は一戸建ての家を買って家族と暮らすケースが都会より多いので、住宅補助などの費用面はもちろん、同じ会社に務める社員の家族間の交流もあると魅力的だと思います。
秋田県	岩手県	富士大学	環境	若者が住みやすい環境を整え、若者を呼び込む。空き家を利用し移住施設を充実させ都市部の人に売り込んでいく。
秋田県	神奈川県	神奈川大学	環境	働く企業の選択肢が少ないので、地元の企業が増えたと良い。また、関東で就職活動ができて、地元の支店で働けると地元に戻りやすい。
秋田県	秋田県	秋田大学	環境	幅広い企業が地元で展開する。営業所や窓口としてだけではなく、企画や運営、制作なども行えて、自分も会社の一員として働いている、力となれるような機能をもった支社を置く。
山形県	奈良県	奈良女子大学	知る機会	Uターン向けの情報をもっと大学に伝えるか、高校卒業のとき連絡手段を登録してメールなどしたほうがよい
山形県	神奈川県	横浜市立大学	環境	研究職が地元でも有れば就職すると思います。研究職は関東、関西に集中しているので、東北にも研究職があればいいと思います。
山形県	福島県	福島大学	環境	地方に仕事が少ないというのが印象的でした。やはり東京や都市に比べるとやりたい仕事が多く感じるので、もっと各地方にも支店を置いて欲しいなと思いました。あとは、地元就職でも社宅とかあるとありがたいです。地方を元気にしたい!という会社が東京にあることが疑問だったので、そういう会社が地方にもっと出来たら面白い仕事ができそうだなと感じました。
福島県	福島県	福島大学	知る機会	地元の良さを知る機会を増やすために、地元の商店街や企業がイベントを開催して人の良さや自然の良さなどを改めて実感できるものを設ける。
福島県	茨城県	茨城大学	知る機会	大学2年生など、早い段階から地元企業の合同説明会などを実施し、Uターンのイメージが具体的に出来るようにする。
福島県	埼玉県	埼玉大学	知る機会	選考会や説明会を東京やその他の都市で行う、お祭りや復興活動など地域貢献できる場を設ける、など。
福島県	宮城県	東北薬科大学	金銭的支援	地元であっても、就職を機に一人暮らしを始めたい学生がいると思います。そういった就活生に対して、実家が近いと社宅や家賃補助が出ないと言われるとどうしても地元から就職先を離してしまうように思います。
福島県	福島県	作新学院大学	金銭的支援	転勤は福島県内であること。Uターン歓迎の企業を増やす。一番思ったことは給料がどうしても全体的に福島は低い。1万円でもいいからあげて欲しい。同じ会社でも福島が関東では全然違う。
福島県	福島県	福島大学	金銭的支援	地元就職をした人に対して、何らかの手当てがあると地元就職を希望する人を増やせると思う。人は自分の住む場所を考える時、どちらかといえば自分に有益な情報やモノがある方を選ぶと考えるから。
福島県	千葉県	千葉大学	環境	やりたい仕事さえあれば働く場所は誰でもいいという考えを持つため単純に地元で働きたくないような業務を行う会社があればいいと思う。自分は該当しないがいわゆるウェイ系の若者は都会で遊ぶために都会就職を希望するというくだらない考えを持つ人間も一定数存在するためそういう類の人間を引き寄せたいのであれば東京23区内にあるような商業施設等を地元にも増やせばいいと思う。
福島県	福島県	郡山女子大学	環境	地元の発展と新幹線を値下げして東京まで行きやすくする。趣味があっても休日にそれを楽しめないのが地方のデメリットの為遊びに行きやすくすれば多少変わるはず。
福島県	福島県	福島大学	環境	地元で就職するにも転勤があると地元に行けるのか地元に住めるのか不安になるのでその辺をはっきり記載していただけるといいと思います。
福島県	千葉県	千葉大学	環境	リモートワークの推奨。企業の勤務地の中でも地方で働く人への給与を増やす(地方税)
福島県	千葉県	法政大学	環境	リモートワークはマストであると思います。僕は将来プロスポーツチームの経営や・地元者限定の合同説明会、インターンシップを行う・地元就職をすることで地元都道府県から手当てがもらえる・情報を充実させる・地元都道府県の子育て支援、育児休暇に関する制度を充実させる・支店や研究所ができる・地元がより好きになる・引越しや住居の費用負担をしてもらえる・奨学金の返済補助・税金免除・海外事業を行っている企業を増やす
茨城県	茨城県	東京国際大学	知る機会	圧倒的に情報の発信量が少ない気がする。積極的に就職サイトに広告を出すといいと思う。
茨城県	茨城県	麗澤大学	知る機会	地元就職のメリットを広める為に、地元就職した人と地元就職してない人のどちらも聴けるように、説明会などで人を選べばいいのではないかと思います。
茨城県	茨城県	女子栄養大学	知る機会	

茨城県	茨城県	帝京大学	知る機会	合同説明会やセミナーを増やしたり、大学に通っていながらも時間に囚われないよう時間を設定したり、気軽に参加できるようにする。一日限定開催ではなく、5日ほど開催する。
茨城県	千葉県	東京女子大学	知る機会	地元にある企業の募集のチラシなど、何かしらで地元の企業について知れる機会があったら増えると思います。自分が行きたい企業で調べるとほとんど東京になってしまっているので、千葉県の家の近くにどんな企業があるのか教えてもらったら、もう少し地元就職について考えたかもしれないです。
茨城県	茨城県	茨城キリスト教大学	知る機会	マイナビ等で開催する合同説明会などがあれば積極的に参加してみたかったです。ナビに載せられない会社は、地元にかくさんあると思うので。
茨城県	茨城県	法政大学	金銭的支援	奨学金の補助がされれば地元就職を希望する人が増えるのではないのでしょうか。また、地方と都市の生活の違いが映像等でわかれば就職場所の考え方が変わるのではないのでしょうか。
茨城県	茨城県	中央学院大学	環境	地元で就職する意欲を向上させる為には、東京からのアクセスをよくすること、また都市化を無くすために、地元へ企業を分散させることが重要だと考えます。
茨城県	千葉県	東洋大学	環境	新しくできたショッピングモールを活性化させ街全体の活性化に繋げて、街の認知度をあげる
茨城県	茨城県	筑波大学	環境	交通の便を良くすること。都市と比べた空気の綺麗さ、自然の良さ、地方だからこそアクティビティに社員の方が親しむ様子など伝える。メディアで取り上げられるくらい先進的な取り組みで企業や地域の魅力を増やす。子育て支援などへの投資。
茨城県	茨城県	常磐大学	環境	車が必要ない環境、公共交通機関の充実が必要だと思う。また、40年(定年まで)ほど公共交通機関が確保される保証も必要だと考える。自分も公共交通機関が十分にある(マイカー・免許がなくても生活できる環境)ならば、地元でも就職を考えたい。
茨城県	茨城県	茨城大学	環境	私は、転勤がない(ずっと地元で働くことができる)企業に絞って就職活動をしており、周りにも同じような考えの友達も多かったので、そのような企業が集まった合同企業説明会があれば良いのではないかと思います。
茨城県	茨城県	跡見学園女子大学	環境	東京のようにオシャレなカフェやお店、流行りのお店が増える。車社会のままで良いからNYのような街並みになる。
茨城県	千葉県	千葉大学	環境	交通手段が、自家用車を持っていないと生活に不便をきたすことが多いので、交通網の発達には重要だと思います。
茨城県	宮城県	東北大学	環境	東京就職する友達が多い中、地方に住むと周りに旧友がいなくなるのが嫌だから、都心に住みたいと思っている。新幹線や飛行機など時間がかからない移動手段の交通費がもっと安くなれば、その心配はなくなると思う。
茨城県	埼玉県	日本大学	環境	テレビ局が唯一関東でないので作っていただけたら嬉しいですが笑 個人的にですが…法律の問題などととても難しいというかほぼ無理なのは分かっているの、それぐらいがないと地元には帰らないと思います。
茨城県	茨城県	茨城キリスト教大学	環境	生活の利便性や、地元での就業者のプライベートの過ごし方などを取り上げた雑誌などで伝える
茨城県	東京都	日本大学	環境	地元だと出会いがないイメージがあるので、企業同士の街コンや出会いの交流などのイベントが開催されているような地元だったら就職希望の方も増えると思う。(東京や都市の方がやはり出会いが多そうなイメージがあります。東京や都市から地元就職を希望じゃない人は結婚が出来なさそうというイメージを地元に対して持っていそうです。特に女子学生。)
茨城県	茨城県	茨城大学	環境	茨城県には、大きな企業がないので、大きな会社ができれば地元就職を希望する人が増えると思う。
茨城県	茨城県	青山学院大学	環境	地元ならではの人間関係や、家族経営企業が減ると良いと思う。地元で就職すると世間体が狭いため、仕事がつらい。また、都会と違って高齢化が進んでいる場所であるとビジネスの幅が劇的に狭まってしまうためその点も改善できれば良いと思う。本末転倒ではあるが、そう言った社会問題などを解決するにはまず、東京で様々な経験をする必要があると思う。
栃木県	神奈川県	駒澤大学	知る機会	地方にある企業の情報をもっと発信できればいいと思う。自ら情報収集しないと、調べきれないところもある。地方でも有料企業は多くあるため。
栃木県	栃木県	慶應義塾大学	知る機会	東京よりも生活費が安く、通勤時間が短いところが強みなので、ライフワークバランスを売りにするために企業の取り組みを宣伝することで人を増やせるのではないかと考える。または、地域貢献ができる点で地元の就職を考える人が多いように感じるの、地元民に対するイベントを催すなどをすればいいのではないかと思います。
栃木県	神奈川県	駒澤大学	知る機会	そもそも情報入手するのが困難であると思います。また、今のイメージですと、地方は賃金が安くスキルが身につかない印象をどうしても持っています。なので、意欲、向上心がある方が都会就職を希望される確率が高いのだと、個人的に思います。
栃木県	東京都	駒沢女子大学	金銭的支援	奨学金を借りていた人に対し、Uターンした人には奨学金の返金額を少し免除することなど。
栃木県	栃木県	白鷗大学	環境	経済的な規模が小さく、物流も乏しく感じる。東京とまでは言わないがせめて埼玉南部レベルの都市が出来れば自ずと地元就職者が増えると思う
栃木県	群馬県	群馬県立女子大学	環境	リモートワークを増やすことによって、場所にとらわれずに自分がやりたいと思える仕事ができる可能性があると思います。
栃木県	東京都	東京理科大学	環境	地元で働くことが出来る有名企業を増やす。特に働く場所が全国に散らばっているのではなく、できるだけまとまっている方がよいと思う。地元勤務地がある企業に就職しても全国転勤が頻繁にあると生活基盤を築きにくいと感じるため。
栃木県	東京都	昭和女子大学	環境	東京に住みたい人向けにリモートワークが取り入れられ、月に1度くらい地元に出向く程度であれば地元で就職する人も増えると思います。
群馬県	東京都	法政大学	知る機会	私は東京(か大阪)で都市開発をしたいという明確な目的を持って就職活動に臨んでいるため、どうしても地元企業への就職活動を考えることができないことは前提にあることを述べておきます。その上で解決案を示したいと思います。私は、地元企業はそもそも都心の企業と異なり、採用活動を始めるタイミングが遅いと感じています。たいていの都心企業は、夏から業界研究を目的としたインターンシップや、働くことのイメージを上げるようなセミナーなどを開催するなど、(それはある意味で広報部の戦略なのかもしれないけど)早くから学生へのアプローチを始めている感覚にあります。一方で、私の地元の企業からはまったくアプローチが無い上、特に魅力的なインターンシップ等も春先まで実施していないのではないかと感じています。それでは地元企業に興味を持つきっかけにもならないことに加え、選択肢として魅力的と学生が感じるのには難しいのではないのでしょうか?広報部の戦略でもなんでも構いませんが、早いうちから学生にアプローチしたりしなければ?と感じています。お盆前に合わせて実施するとか、何らかやり方はあるはずです。東京から、地元企業にも期待しています。
群馬県	新潟県	新潟県立大学	知る機会	地元から遠い大学に進学した場合、移動する時間と手間が非常にかかるためwebセミナーを積極的に取り入れていくことが重要であると考えます。
群馬県	群馬県	群馬県立女子大学	知る機会	地域活性化に繋がる活動を積極的に取り入れること。例えば地元の祭りへの参加、会社主催の親子で参加できるイベントの開催など。小規模でも常に身近に感じられるようなイベントの開催。

群馬県	神奈川県	駒沢女子大学	知る機会	筆記試験や適性検査を受ける会場が少ないと地元で就職する友達から聞いた事があるので、その会場を増やしたり、車で結構時間のかかる場所の企業もあるので会社説明会に行かなくても会社情報を分かりやすく掲載するなど。
群馬県	群馬県	群馬県立女子大学	知る機会	地元の企業が集まった合同説明会等の場で、地元で働くメリットを強く伝えていくべきだと思います。理由は、私は元々地元で働く意志を持っていましたが、地元で働く良さを紹介してくださる企業様がいらっしゃって更に地元で働きたいと思うようになったからです。他の都道府県に比べて物価が安いけれど給与の平均額が高いという利点はその企業様のお話をお聞きして私は初めて知りました。地元でも合同説明会が開かれていましたが、あまり地元で働くメリットをお話してくださる場はなかったような気がします。現在地元で働く意思を持たない人も、知ることのなかった地元で働く良さをそう言った場で知ることができれば考えが変わっていくと思います。
群馬県	神奈川県	東京工業大学	金銭的支援	地元で10年以上住んでいた人がUターンした場合に年収を少なくするなど、給料面をカバーする必要があると思う。
群馬県	群馬県	高崎経済大学	金銭的支援	東京と地元で働くことが同じ経験値を、得られるということを提示する（給料が東京と同じくらいだとか、就職者が得られるスキル（研修制度）をアピールすること）
群馬県	群馬県	学習院女子大学	金銭的支援	新卒となると経済力が最もネックな問題になると思うので、住宅や家賃補助を積極的に取り入れるなどすると良いと思う。
群馬県	群馬県	高崎経済大学	金銭的支援	給料や福利厚生が都市部と比べると劣っている。その面を改善すれば地元就職を希望する人も増えると思う。
群馬県	群馬県	上武大学	環境	住んでいる場所から合同説明会が行われる場所まで遠かったりするので不便だと思った。わたしが住んでいる場所は車がなくては行動できないような場所なので、家から最寄りの駅まで遠かったり、電車が1時間に1本しかでていなかったりなどするので田舎から都会へ出ていく人が多いのだと思う。
群馬県	群馬県	群馬大学	環境	都心に集中している企業を地方にも分散させる。大学を地方に増やす。交通の便をよくする。
埼玉県	埼玉県	聖徳大学	知る機会	その地元で就職する事によるメリットを宣伝する。また市区町村と協力して結婚や子育てをしやすい環境を整える。あるいは一人暮らしがしやすい住居を用意したり、空き家を貸し出して活用する機会をつくる。地元の小学校などで企業がイベントなどをして、子供のうちから地元や企業の事を知り愛着を持ってもらえるようにする。
埼玉県	埼玉県	明星大学	知る機会	実際に足を運ぶのは最終面接のみでその他はネットや書類などでやり取りできるようにすると助かります。
埼玉県	埼玉県	日本大学	知る機会	手厚い福利厚生と、地元PR活動に力を入れる。住みやすいをアピールした広告など。スーパーや交通の利便を図る。地元就職の利点を増やす。市と県が協力して。
埼玉県	埼玉県	法政大学	知る機会	会社説明会の開催場所の選択肢が多いと、説明会に参加しやすく感じます。ウェブで説明会を開いてくださる企業も増えてきましたが、選考に直結するものではないと、再度足を運ぶ事になってしまう為、やや不便かと考えます。ウェブで説明会を行った後は、そのまま選考(可能であればWeb面接)に進めると、応募の数は低くなると思います。
埼玉県	埼玉県	東京未来大学	知る機会	私の地元は、とても文化を大切にしていると思います。仲間意識が強く、穏やかな人が多いので、落ち着いた暮らしをしたい人には向いています。そういった部分を上手くアピールしていけたら、私の地元に関心する方が集まるのではないかと思います。
埼玉県	埼玉県	成城大学	知る機会	1月とかに合説を地元で開催する方がいいと思う。今回3月に合説があり、コロナの影響で開催されなかったため早めの行動が必要だと思います。その方が人を増やせると思う。
埼玉県	東京都	慶應義塾大学	知る機会	都内や府内の大学で積極的に説明会を開く。また、Webセミナーを日時限定・人数限定ではなくいつでも見られるものにする。
埼玉県	埼玉県	大妻女子大学	知る機会	県ごとの説明会ではなく、県内でも南部、北部など区分けをして説明会を行う。県ごとの説明会だと、同じ県内と言っても交通の便が悪くて行けない方面があるから。
埼玉県	埼玉県	学習院大学	知る機会	説明会でなきゃエントリーできない会社はもっと柔軟性を持つべき。OBOG訪問のweb開催を行う企業が少なく残念です。
埼玉県	京都府	京都女子大学	知る機会	真夏日には最高気温で上位にあたる熊谷駅から2つ目の駅が私の地元である吹上駅（埼玉）です。 駅から飲食店、教育機関、遊び場がほど良い距離にあり、利便性においては文句なしだと思います。 子育てをするのにも適した環境だと言えるでしょう。ただ、地域活性化や就職活動のイベントにおいて、宣伝不足であるような気がしてなりません。 電子広告など目立つツールを用いてアピールすることが必要不可欠です。 現在、私自身は京都で過ごしておりますが、学校の掲示板やアプリを活用するも、埼玉県の企業情報が少ない中で主体的な行動が求められています。 情報を得られるか得られないか、また、情報提供される時期によって行動パターンは変わります。 吹上駅の階段部分にイベントや大学の広告が掲載されていたりしますが、それだけでは足りません。 小さくはありますがイルミネーションが駅前にあるので、そこが一番注目される部分ではないでしょうか。 写真撮影の邪魔にならない程度の位置に電子広告を人の目線上に設置するのがいいと思います。 将来的に留まるうえでのメリットとともに、企業の宣伝をするのがベストであると考えます。
埼玉県	埼玉県	女子栄養大学	知る機会	東京都カインシャハッセン伝のような情報誌や新聞の発行。本社だけでなく、勤務地が地元にある企業を紹介して欲しい。
埼玉県	埼玉県	立教大学	知る機会	ベッドタウンであるため、地元で就職するのは考えにくい。ほとんど地元感覚である都内で仕事を選ぶ方が選択肢がある。地元では農家が多いため、事業では流行りのオーガニックを売りにしたマーケティングなどを若者が担うなどが考えられる。そのためには、まず地元の若者に地元の農作の良さを知らせるためのコンテンツが必要なのではないか。
埼玉県	京都府	京都大学	金銭的支援	地元が関東で、関西の大学に行っているパターンもあるので、必ずしも地元が地方とは限りません。地方では、働きたい職種がない、同じ職種でも都市部の方が給与が高いなどがあるので、どの地域でも同じ仕事、同じ水準の給与であれば地元（Uターン含む）就職を希望する人は増えるかもしれません。
埼玉県	埼玉県	拓殖大学	金銭的支援	賃金を上げる。都心に出なくとも不自由なく暮らせる、また娯楽施設を増やして楽しめる環境を増やす
埼玉県	埼玉県	埼玉大学	金銭的支援	最低賃金が安くビジネスの中心地からも離れているので、どうしても給与が低くなりがちである。なので、福利厚生などで金銭的な負担（奨学金、社会保険等）を軽くする制度があると選択肢として良いと思う。

埼玉県	兵庫県	神戸薬科大学	金銭的支援	奨学金などの手当でより、プラス住宅を提供したりなど都市ではないプラスな部分が必要と思う。
埼玉県	埼玉県	明治大学	金銭的支援	自治体からの手当であったり、福利厚生面で今後快適に過ごすことができる魅力的な特典があることが必要であると考えます。
埼玉県	埼玉県	日本大学	金銭的支援	地元就職をする際に、お祝い金などの助成金を出したり、または空き家を利用してその物件を格安で提供するなどの助けがあると地元就職増加を期待できる。
埼玉県	東京都	星薬科大学	金銭的支援	大手の薬局の店舗が地元にないので、出店が増えたら考えたい。地元への交通費を全額負担してくれるインターンなどがあつたら参加を考えたいかもしれない。
埼玉県	埼玉県	東京理科大学	金銭的支援	給料アップ、家賃補助などの金銭面での補助。そもそも経験者歓迎の企業が多く、新卒を取ってないところが多かったりするので、新卒を育てられるような企業を目指すこと。学部学科で選別して採用するのではなく、全学部全学科で応募を出す。情報発信が弱い傾向にあるから広告を上手く使う。1ターンをしようとしている学生に対して、先輩社員が地元での生活をどのようにしているのかを詳しく伝える。1ターンをした学生のコラムを企業ごとではなく、地域ごとにかくさんだす。地方でしかできない部活動やサークル活動を行っている企業を探している人に対して、探している部活動やサークルを行っているかで検索できるようにする。長く勤めようとしていない人たちにに対して、リゾートなどに行くような感じの旅・就活のような雇用形態を作ってしまう、特設ページを開設する(例：旬なリゾート就活)。キャリアアップの手段を充実させる。地方の魅力的な企業や就職先があっても、移動費の面から躊躇することが多いので、行政や国がバックアップすることも必要であると思う。1ターンをする学生に対して、自動車免許の補助を出したり、車を無償or低価格で貸し出せるようにする。
埼玉県	埼玉県	東洋大学	金銭的支援	東京で有名な店を地元にも出店して、東京に行かなくても地元でプライベートを充実させることが出来るようにすれば、増えると思います。
埼玉県	埼玉県	女子栄養大学	金銭的支援	社宅制度があるといいと思います。アクセスが悪く、車社会なので補助があるといいと思います。
埼玉県	埼玉県	東洋大学	金銭的支援	福利厚生の充実。住宅手当や休暇制度の充実。仕事への熱量が、あるかどうか、地方の企業の方が成長や利益工場への熱量が少ない気がする。
埼玉県	埼玉県	青山学院大学	金銭的支援	大手企業の誘致。賃金の上昇。地元特産品を大手に売り込み、魅力ある地域をつくっていくこと。
埼玉県	埼玉県	武蔵野大学	金銭的支援	福利厚生は現状、どの企業も大差はないと考えています。それ以外で就職希望者にとってプラスになることを提供出来ると、個人的には志望度が高まると考えています。
埼玉県	埼玉県	大東文化大学	金銭的支援	地元で働くことで何か補償があるなどの待遇があれば地元で働きたくなる。また既にその補償があるならばもっとみんなに知ってもらえるようにSNSなど何か手段を使って、広めることに力を入れたら希望する人が増えるのではないかと思います。
埼玉県	埼玉県	文京学院大学	金銭的支援	私の地元には、ビル街のようなビジネスエリアが特に無いため“地元を就職する場と考えるよりも学生時代のアルバイトをする場”というイメージがあります。そこから都内(東京)に憧れや魅力を感じる人が多いと思います。少なくとも私はその中の1人です。
埼玉県	埼玉県	獨協大学	金銭的支援	もし、地元就職を考えるきっかけを作るなら何か魅力に感じる物が必要だと考えます。(地元貢献に対してのインセンティブなど)
埼玉県	埼玉県	共立女子大学	金銭的支援	給料を直接増やすのは難しい話だと思うので、福利厚生を充実させたり、地元から志望した人には手当てをだしたりする。
埼玉県	埼玉県	大妻女子大学	環境	地方企業のみを掲載した大手就活ナビサイトによるアプリ。地方企業情報だけに特化したサービスであまりなの知れていない企業が提供していても興味が湧かないが、マイナビなど大手が提供しているとなれば興味が湧く人は多いと感じる
埼玉県	埼玉県	多摩美術大学	環境	交通網を改善して都市部からアクセスしやすくするなど、利便性を高めて企業の誘致を図る。
埼玉県	東京都	明治大学	環境	東京に全ての技術や新しい情報が集まっているような感じがするのを、何処にいても同じ情報や技術が得られる環境を作る。在宅勤務などの働き方が出来るようにして、地元に住みたい人を増やす。
千葉県	千葉県	学習院大学	知る機会	農業をもっと快適にする！植物工場や大規模農場をつくって、植物をつくってくださいという方々の地位を高めます！！
千葉県	千葉県	法政大学	知る機会	若者にもっと責任感や、若者が「自分を地元は必要としている」という意識を与えることができれば、地元就職する人が増えると思います。また、私の地元はインフラが整備されていて、若者も楽しめるような施設や設備を持つ都道府県、住むのが楽し、引っ越したくないなと感じます。もっと地方を地元を持つ人は、都会に出たい思いを持った人が多いと感じるので、やはり地元に買い物の利便性や楽しめる施設が融合する都市であることで、地元就職を希望する人が増えるのではないかと感じます。
千葉県	千葉県	千葉工業大学	知る機会	地元企業のみを掲載した大手就活ナビサイトによるアプリ。地方企業情報だけに特化したサービスであまりなの知れていない企業が提供していても興味が湧かないが、マイナビなど大手が提供しているとなれば興味が湧く人は多いと感じる
千葉県	東京都	跡見学園女子大学	知る機会	地元となると規模も小さくあまり稼げないイメージが強いと思うので、企業のイメージをあげる活動をするべきだと思う。
千葉県	千葉県	帝京平成大学	知る機会	もっと合同説明会に参加して会社の存在をアピールして、インターンなどを受け入れて地方ならではの人の優しさなんかを伝えることがいいと思う。
千葉県	千葉県	拓殖大学	知る機会	小学校や中学校などの時期に地元の企業と連携したイベントを開催するなど、地域との繋がりをもちことで興味につながるのではないかと思います。
千葉県	千葉県	東邦大学	知る機会	例えば、バザーや運動会にて企業PRを兼ねて屋台や催し物を行う等
千葉県	千葉県	東邦大学	知る機会	就活イベントでの情報提供。ポスター掲示。地元企業に特化したサイト。絞り込み検索ができることと良い。
千葉県	千葉県	東邦大学	知る機会	福利厚生やお給料面やしごとのやりがいなどをインタビュー形式で展開するなど身近に感じてもらえるようなものが必要だと考えました。
千葉県	千葉県	東邦大学	知る機会	まず、地元が就職希望者を募っていることを宣伝するイベントをやる。そしてその理由を説明して欲しい。
千葉県	千葉県	東邦大学	知る機会	地元でどんな企業があるのか知らないから、もっと地元で就職したい人向けの説明会をやったら良いと思う。就職ナビ等で地元企業の情報がもっと検索しやすければ良いと思う。(私は職種的に実家から通える企業はなかったため、あまり検索しませんでした。)

千葉県	埼玉県	実践女子大学	知る機会	自分の地元である埼玉には、自動車工場や自動車販売の仕事、信用金庫や銀行などの金融機関での仕事が多いように思います。国家資格（医療系や美容師など）の必要な求人も多い気がします。それ以外の新卒向けの求人は少ないです。そのため、特別な資格を持たない新卒の学生にとっては、情報を仕入れて就活をすることが大変です。しかし、学生に知られていない隠れた優良企業数も、実はもっとあると思うので、それらについて積極的に東京や埼玉の学生に発信する機会を設けてみてはいいかでしようか。
千葉県	千葉県	学習院大学	知る機会	・マイナビに掲載する際県名と市町村、地区名を強調する。・マップから検索できる機能をつける
千葉県	千葉県	東京情報大学	知る機会	自分が就きたいと思える企業の選択肢を増やすには、きちんと情報が入ってくるのが重要であると考えるので、地元の企業求人情報が詳しく掲載されたWebサイトや説明会などを1つ2つではなく、複数用意するのが一番効果があると思います。
千葉県	千葉県	千葉大学	金銭的支援	暮らしやすさを充実させる。まずは少し観光化して、注目浴びたらそのお金で養育費、店舗などの検討をする。
千葉県	千葉県	駒澤大学	金銭的支援	地元で働きたくするようなキャンペーンを実施する。例えば、地元就職することで住宅費を安くする。
千葉県	福島県	東日本国際大学	金銭的支援	地元愛がある人が得をする福利厚生などサポートや待遇があると希望する人も増えると思う。
千葉県	埼玉県	獨協大学	金銭的支援	税金の免除。自家用車に関わる費用を企業が負担する。地元に戻って就職するとお祝い金がもらえる
千葉県	千葉県	法政大学	金銭的支援	衣食住関連で得をするようなサービスがあれば地元企業に就職してもいいと考える人が増えると思う。
千葉県	千葉県	日本大学	金銭的支援	まず、地元の企業に就職した際に享受・利用することができる手当やサービスを拡充する。学校を通して・SNSを通して・企業説明会を通してなど、あらゆる方法を駆使して宣伝する。実際に利用してもらってフィードバックを受け更に改善していく。
千葉県	千葉県	開智国際大学	金銭的支援	ジムなどの健康を維持する施設の割引だけでなく、子供ができた時のサポートが充実すればいいと思います。また、デパートやアミューズメント施設がもっと立てば僕の地元ももっと働く人が増えると思います。
千葉県	千葉県	千葉大学	環境	自然豊かで、都内へのアクセスもよく、空港もあるため住みやすい街であることをPRする。
千葉県	千葉県	立教大学	環境	地元といっても、大手企業の本社もたくさんあり、都会と言っても過言ではないので、就職希望者は多いと思います。千葉の人間は千葉に貢献したいという地元愛が強いと感じます。千葉でない人にも、千葉のよさをもっと知ってもらいたいと思います。が、地方から移って来て、千葉に住んでいる人は、あまり千葉を好きではない人が多い印象です。千葉県をもっと魅力的なところにするところからスタートする必要があると思います。
千葉県	千葉県	大妻女子大学	環境	Uターンで地域で働くとしても、都会との関わりがどこかであれば地方で働くことへの疎外感は減少し前向きに考えられるのではないかと。
千葉県	千葉県	神田外語大学	環境	観光客が集まるような大きな売りになるものが発見できれば魅力に感じて集まると思います。
東京都	東京都	東京大学	知る機会	地元が東京のため、むしろ地方への就職を奨励した方が良いと思われる。地方の自然豊かな場所で働く魅力を発信するなど。
東京都	東京都	昭和大学	知る機会	東京の人は冷たい、温かさが無い、忙しそうというイメージが多いと思うので、ウェブセミナーや合同企業説明会でコソコソとオフィスの明るい雰囲気や福利厚生の充実度を訴えてもらえると良いと思う。
東京都	東京都	日本大学	知る機会	地元の特産や地域をしっかりとすることも大切で、セミナーのときに食品の土産を渡すのも一つの手かだと思います。
東京都	東京都	明治大学	知る機会	大学と地方公共団体、民間企業の連携が必要ではないか。例えば、大学側が1・2年生の長期休みなど、学生にとって時間とりやすい時期に、地元開催のインターンシップへの参加を募る。そして、インターンシップ自体に単位付与などのインセンティブがなされれば、学生にとっても参加しやすいのではないだろうか。また、宿泊費に補助が出ればだいぶ行きやすくなり、地域の活性化・地元就職が増えると考え
東京都	東京都	東洋学園大学	知る機会	地元に対する愛情を芽生えさせるために、平日頃から地域での活動を積極的に行っていく。そのために、地域活動で人との縁を大切にしたり、地域に対して気に入るようにメリットを与えてあげることが地元就職を増やす結果に繋がると考える。また、地元就職を嫌う方に対して記述式のアンケートを求め、嫌っている理由をきちんと知ることで解決への糸口を見つける。さらに、高齢化が進んでいるため、今を生きる人たちへの経済的、精神的な支援を行うなど、住みやすい「まちづくり」を行う。
東京都	東京都	学習院大学	知る機会	大学生は基本的にUターンについて情報不足。Uターンの方が、都心よりも好条件の仕事があることをアピール出来れば、もっと増えると思う。
東京都	東京都	東洋大学	知る機会	情報が伝わってくるまでにタイムラグが出てきてしまうと思うので、フレッシュな情報を得るために、県ごとの情報収集ができるサイトやアプリなどがあったら良いのではないかと思います。
東京都	東京都	学習院大学	知る機会	小学校や中学校の時点で地元の企業と関わる機会がもっと増えれば(私の地元の中学校ではチャレンジザドリームといって一定期間興味のある幼稚園やコンビニ等地元にある企業で仕事を教わり実際に働くということを体験する期間があります)で知ること
東京都	静岡県	東海大学	知る機会	まず地元の良さを再認識してもらうことが一番だと思います。そのためには地元ならでわの祭りやイベントを積極的に開催したり、PRすることが必要だと思います。また、その地元が運営しているTwitterなどから呼びかけるのもありだと思います。
東京都	東京都	実践女子大学	知る機会	地元でどう育ったかや、良さを振り返って貰うことから始めるべきだと思います。これは当たり前のことだと思うけれど、当たり前のことが出来ていない人は本当に多いと思います。どうこの地元で親に育てられて貰い、友達と過ごし、成長した人の方を振り返る時間を設ければきっと、地元が恋しくなる時間が増えます。私の上京してきた友達を見ていると、よりそう思います。地元は本当にないし不便と言いつつも、親との連絡を大事にしたりたまに実家の事をふと思い出したかのような発言をしていたり、頑張って東京に染まろうと必死なのが見え見えな時があります。その姿を見ていて、東京には東京の良さもあるけれど、よほどその子の地元が輝かしく私には見えます。そんな素敵な地元のことを振り返れば、少しでも帰ろうかなとか考え方は変わるはず。友達が離れるのが寂しいので私は何も言いませんが、この質問を受けて、すみません、地元が東京なので、東京に来させるアイデアではなく、東京に上京している人が地元就職を希望するアイデアが咄嗟に浮かびましたので書かせていただきました。
東京都	神奈川県	明治学院大学	知る機会	地元の名前で検索して、地元の企業一覧が出てきたら見つけやすいので増えると思う。今は都道府県別でしか、条件付けができないので探しにくい。また、会社の最寄り駅なども書いてあると良いと思う。

東京都	神奈川県	東洋大学	知る機会	私の地元は東京の島です。少子高齢化に伴い若い人はどんどん出て行き、帰ってきて給料の良い仕事はあまりありません。就活生にもっと地元の会社などがアピールするべきだと思います。大学でも島嶼求人を見たことがありません。また面接などもウェブでやれば船、飛行機を使わなくて済みます。
東京都	東京都	東洋大学	知る機会	求人情報をもっと出してほしい。大手の就職支援サイトでは掲載されない情報を知りたい。
東京都	東京都	東海大学	知る機会	地方には就農している世帯も多いので、農家の民泊といったイベントを自治体でも企画してみると良いと考える。
東京都	東京都	駒澤大学	金銭的支援	インターンなどの交通費支給とかがもっとしっかりすれば、多少遠くの企業でも見てみたいと思います。
東京都	東京都	東洋大学	金銭的支援	Uターン就職であれば、支援金など多少少なからずお金が出れば気持ちが変わるのではないかな。地元での事業拡大や福利厚生の充実、働きたいと思う会社の制度や体制がある、もしくはもっと地元を活気づけられればその気も変わるのではないかな。
東京都	東京都	獨協大学	金銭的支援	もっと地元企業の採用活動が活発であり、福利厚生がしっかりしていないと希望する人は少ないと思うからそこから何とかしたいです。私も出来れば地元企業がいいけど福利厚生が悪かったり、残業が多くて割りに合わなかったり等。その地元企業の代わりに貴社が会社説明会を担当したりするサービスがあればもっと目を向ける人が増えると思います。
東京都	神奈川県	早稲田大学	金銭的支援	地元で働くことで、自分を含む家族へのメリットを示してもらうこと。地元でありながらも、全国における知名度や社会貢献度を高めていただくといいかと思います。
東京都	埼玉県	芝浦工業大学	金銭的支援	私の地元は有名な観光地なので、観光名所を売りにして、かつ地元勤務の方への割引などの福利厚生を提供すれば良いと思います。
東京都	埼玉県	東京工科大学	金銭的支援	地方（地元）を希望する人にサポートとして、補助金などがあると助かる。自然など都市にないものを売りにすると魅力的に感じます。
東京都	東京都	立正大学	金銭的支援	家族と過ごす時間を増やすための有給を作る。地方企業だからこそ地域に密着したイベントを開催しそれを記事として取り上げPRする。
東京都	埼玉県	日本大学	金銭的支援	東京にも劣らず、有名企業やその有名企業の支部がたくさんあったり商業施設なども豊富にしたら希望する人も増えるのではないかな。また手当てなども出すなど。
東京都	埼玉県	東京工科大学	金銭的支援	実家に住んでいる分の家賃補助分のお金を生活補助金として支給する企業があればいいかと思います。
東京都	東京都	帝京大学	金銭的支援	「ふるさと福利厚生制度(仮名)」(大都市除く)のような、地方出身者が地元で働くことで、メリットを感じられるような、特設の福利厚生を設置する。そうすることで、他県からの人々と比べてお得感を感じさせられ、地元就職の動機となり得るから。
東京都	青森県	北里大学	金銭的支援	大企業の本社や省庁を地方都市へ移転させる。地方勤務者の賃金、待遇を上げる。地元大学卒の採用枠を設ける。
東京都	神奈川県	東京工業大学	環境	地元の駅は、各駅停車でしか止まらないのと乗り換えてくる人からすると不便なので、急行が止まるようになれば良いと思う。また大学が多いので、大学生のあまり電車に乗らない時間帯に通勤できるフレックス製だと良いと思う。
東京都	神奈川県	中央大学	環境	東京に近いので、リモートワークなどが進めばある程度会社に近くて、家賃が東京のオフィス街ほど高くないことがメリットになると考える。
東京都	東京都	上智大学	環境	子供のうちから人との繋がりを大切に思えるような環境であることが大切であると考えます。
東京都	埼玉県	早稲田大学	環境	どこで就職するか、よりどの企業に就職するかが大事だと思う。現状の問題点は、大手企業の多くが都内に本社を構えていること。その結果として東京で就職したい人が多い気もする。地元就職=中小企業みたいなイメージを払拭できたら良い気がします。
東京都	東京都	日本獣医生命科学大学	環境	私は東京出身なので、特別なことをしなくても東京での就職希望の人は多いと思います。強いて言うなら研究所を東京に増やすと、Uターンを希望する人が増えると思います。
東京都	東京都	明治大学	環境	テレワークを増やすなどの、働き方の種類を増やすことであったり、企業の柔軟な姿勢が求められると思います。
東京都	東京都	東京農業大学	環境	東京に住んでいるので、詳しくは分かりませんが、働きやすい環境であったり、会社の方から車を支給してくれたら、少しは増えるのではないかな、と思います。
東京都	東京都	東洋大学	環境	より多くの職種や魅力的な会社を増やして、地元で就職できるようにしたり、支援を行うなど。
東京都	東京都	法政大学	環境	地元地域自体の活性化。単身上京し就職することに勝る利点を生み出す(福利厚生など)。
東京都	埼玉県	学習院大学	環境	地域への貢献を一つの目的としている企業であれば、地元(その都道府県)に住んでいる期間が〇年以上の人は第一次選考免除といったような、採用選考内での優遇があれば、就活生としては応募しやすいと思いました。
東京都	東京都	明治大学	環境	各市区町村で、若者が地元を好きになるようなPR、イベントを行う。(お祭りや花火大会など)
東京都	東京都	慶應義塾大学	環境	今後地元に住みたいと思えるような手厚い福祉・行政サービス。
東京都	東京都	慶應義塾大学	環境	場所ではなく、企業で決めているので、地方でも企業が実績を上げればその地に行くと思う
東京都	千葉県	中央大学	環境	地元の活性化が目に見えるようなシステムを作ったり、地元での交友関係などが仕事に影響したりする仕組みが備わっていれば、地元での縁を有効活用する人が増えると思います。
東京都	山形県	山形大学	環境	・都市部との交通の便がよくなる・地元の経済が活性化する・若者視点での地元の魅力を増やす
東京都	東京都	日本大学	環境	テレワークやどこでも働ける環境が今より整えばもっと、地元に残る人も多くなると思う。
東京都	東京都	文京学院大学	環境	私は地元が東京で渋谷も近いので交通の便を気にする方だったら地元から働きたいという人が多いと思います。現に私の友人もほぼ地元を出たくないと言っていたので、交通の便を整えたり落ち着くカフェなどの魅力が溢れる街にすれば自然と出たくなると思います。
東京都	東京都	筑波大学	環境	地元は東京の23区なので元々地域内で就職を希望する人は多いです。ただ、地方が地元であれば、そこに魅力(若い社会人が暮らしやすい、面白い施設がある等)を増やすことで就職を希望する人も増えると思います。
東京都	神奈川県	関東学院大学	環境	シンプルに都市を増やすまたは、広くすることが大切だと思います。都市の範囲が広がれば広いほど密集地帯が薄まり広がっていき、密集都市が多少良くなると感じます。また、大手企業、会社などを都市から少し離れたところに置くことでそこに人が集まるのではないかなと思いました。
東京都	東京都	玉川大学	環境	家族が住みやすい街への配慮があるというアピールをする。例えば、公園が多かったりスーパーがすぐ近くにあるなど。将来的に住みやすい事を重視すれば人が増えると考えます。
神奈川県	神奈川県	慶應義塾大学	知る機会	地元が横浜市ですが、みなとみらいにオフィスのある企業に魅力を感じるので、それらのまとまった合同説明会などがあればいいと思います。

神奈川県	神奈川県	明星大学	知る機会	地元企業を知る機会が欲しいので、合同説明会だけでなくWEB会社説明会など、気軽に知れる機会が欲しいです。
神奈川県	神奈川県	東洋大学	知る機会	地元ならではの働き方や社会貢献度を伝えることができる、職業体験の場を増やす。職業体験を行うことで、地元で働く人々の話を直接伺う機会になると感じるため。
神奈川県	神奈川県	成城大学	知る機会	地元企業についての具体的な詳しい情報、メリットデメリットや実際に就職した人の情報が無いというか目につかなすぎるので、例えば神奈川県西部なら西部の地元企業で新卒募集企業まとめた紙などを該当する学生のいる家に郵送するなど。
神奈川県	神奈川県	東京都市大学	知る機会	地元に関心がある人が増えること、地元の生活環境改善・経済発展・暮らしの質に貢献できるなら、働きたいと思えるのではないかと考え、そこをPRしてみる。
神奈川県	神奈川県	津田塾大学	知る機会	個人的に満員電車で乗らずに済むことが1番のメリットであると考えているので、メリットをかき集めて就活生に訴えてみるのもいいアイデアだと思います。
神奈川県	神奈川県	東京工芸大学	知る機会	地元ならではのメリット、例えばレジャースポットの割引や支援などが増えると就職したくなると思う。あまり地元企業を知る機会が少ないため、もっとイベントがあれば良いと思う。
神奈川県	神奈川県	神奈川大学	知る機会	値段的に手頃な住居を用意するなどの住みやすさを全面にアピールすることで魅力を感じ、地元での就職を希望する人が増えると思います。
神奈川県	神奈川県	鎌倉女子大学	知る機会	就活をしてみて、自分の住んでいる県にこんな会社があったのかとなるが多かった。地域密着型の企業なら、幼稚園や小学校など子どもの頃から企業のことを知って慣れ親しむ機会があると、地元就職に対してここで働きたいと意欲が湧いたり、良いイメージがつくのではないかと思います。
神奈川県	神奈川県	法政大学	知る機会	中学の先輩等の身近な人から勧誘を受ける。祭りの運営等の地域に根づいた仕事ができるようにする
神奈川県	神奈川県	芝浦工業大学	知る機会	WEB説明会での地元企業(支社)と東京在住企業(本社)との討論会やディスカッションを配信することが面白いと思います。 なぜなら、私のイメージだと東京で働きたい人は地元企業に興味を持っていないと思うからです。対比させることでそれぞれのメリット、デメリットが明らかになり、魅力を感じる人が居るかもしれないからです。実際にそれぞれで働いている人の言葉を同時に聞くことで説得力が多いかと思えます。 例えば、東京だから地元より給料が安いと言うわけではなく、やっている仕事の違いから差は生まれるみないなことはアピールした方がいいと思います。 地方活性化を頑張ってください。応援しています。
神奈川県	神奈川県	鎌倉女子大学	知る機会	まずどんな企業があるのかが把握出来ていないため、情報が自動的に入ってくるような機会があれば興味が増えると思う。例えばマイナビからあなたの地元のこんな企業からスカウトされる、など
神奈川県	神奈川県	明治大学	知る機会	Web説明会など直接地元に行かずとも参加できる催しを増やす。地方自治体と協力してUターン・Iターン支援事業を行う(貸与型奨学金の免除・減免補助や住宅の補助など)。
神奈川県	神奈川県	東海大学	知る機会	小さな町なので、自営の人しか町に残らないイメージがあります。まず、情報が少ないので知らせることから始めることだと思います。
神奈川県	神奈川県	法政大学	知る機会	実家からかかる通勤時間ごとに新卒採用を行っている企業を調べることが出来るしくみ、テレワークを行っている地方企業の紹介など
神奈川県	神奈川県	神奈川大学	知る機会	今回のようにコロナウイルスによって合同説明会というものほとんどなくなっていますが、その代わりにwebセミナーが開催されています。合同説明会に行き、情報を集める予定だった就活生が、webセミナーの予約が満員で観れないという実態があります。実際に私もそうです。1日の開催だけでなく、複数日程での開催にすることで、このような問題がなくなると思っています。
神奈川県	神奈川県	日本女子大学	知る機会	地元の会社を知る機会や環境を小さい頃から作り、憧れを持つような、身近な存在であるということ意識してもらおう。
神奈川県	兵庫県	神戸大学	知る機会	私の地元は交通機関が発展していますが、そうでない地方では自家用車と運転免許がない限り移動が不便だと思います。そのため地方企業はwebセミナーなどを用い積極的に採用活動をされればいいと感じます。同時に地方で働く魅力や地方で働くキャリアプランなども紹介されると希望者が増えていくと思います。先輩社員などが発信していくことも重要だと思います。
神奈川県	神奈川県	相模女子大学	知る機会	地元で採用を積極的に行う企業の情報が少なすぎる。もう少し知れる機会がたくさんあるといいと思う。(チラシ、ワークショップなど)
神奈川県	神奈川県	法政大学	知る機会	地元の魅力と地元の良さをこの時代だからこそSNSで発信し、より多くの人に知ってもらう事が1番早い手段ではないかと考えています。
神奈川県	神奈川県	鎌倉女子大学	知る機会	地元就職による説明会を行ってほしいです。新聞の広告等で情報が収集できたら良いと感じます。
神奈川県	神奈川県	立正大学	知る機会	Uターンの就活イベントをもっと積極的に行う。ナビサイトでは見つけにくい優良企業の参加も多くなる。
神奈川県	神奈川県	多摩大学	知る機会	もっとwebでの説明会を増やすことで交通費もかからず何回も足を運ぶ必要がないのいいと思います。
神奈川県	神奈川県	放送大学	知る機会	企業と市区町層の連携してアピールが必要だと思う。現状大手のアピールリョクにまわっている。
神奈川県	神奈川県	東京女子大学	知る機会	実際に地元就職した方の経歴や生活スケジュールなどを公開する(家賃や交通の便など)。東京に勤めるよりもメリットが多いことをアピールし、それにマッチする学生を見つける。どこの地元の人もアクセスしやすいような場所で合道説明会を行う。
神奈川県	神奈川県	都留文科大学	金銭的支援	地方の賃金・情報・流通格差が無くなれば、首都圏以外の地方でもUターン・Iターンが増えると思う。
神奈川県	東京都	白百合女子大学	金銭的支援	私の地元は東京なので、特に増やすために何かをした方がいいとは思いません。ですが、もし私が地方出身の場合、特に人数が少ない地元に住んでる場合、Uターン就職できたらふるさと納税の返礼品のような、地元の特産品を定期的に送るなどすればいいと思いました。やはり、特典がついていると希望する人は多少なりとも増えると思います。
神奈川県	神奈川県	日本大学	金銭的支援	私は、自宅から通いたいという思いが強いので、なんともいえないのですが、その他に地元割など、何かサービスがあると、嬉しいですね。
神奈川県	神奈川県	法政大学	金銭的支援	東京のような、有名な企業を集める。補助金で暮らしを支える。地元就職すると、地元の人々に還元される制度(子供たちのスポーツを支援するなど)を作る
神奈川県	神奈川県	日本大学	金銭的支援	交通費の全額支給や住宅取得支援があれば、地方に住み地方でも東京でも勤めることはよいと思う。地方に職種や仕事内容が東京並みにあれば地方でも困らないと思う。
神奈川県	神奈川県	学習院大学	金銭的支援	企業の本社を東京以外に置く。地元就職した人には地元から奨励金が出るようにする。地元就職した人に企業が特別賞与を出す。結婚資金や子供の養育費を地元や企業が補助する。

神奈川県	神奈川県	駒澤大学	金銭的支援	地元出身者限定で福利厚生をさらに充実させることです。地元出身者は実家に暮らす割合が多いことを生かし、親孝行するための有給休暇制度や地元従業員の手当を充実させれば、地元出身者にとって働く上で安定性が確保され、地元就職を希望する人が増えるのではないのでしょうか。
神奈川県	神奈川県	法政大学	金銭的支援	家賃を下げるのが一番早い話だと思います。他にも、子育てのしやすさをうたったり、行政として生活しやすさに力を入れていると、もっと増えるのではないかと思います。
神奈川県	青森県	北里大学	金銭的支援	交通費や日程など地元が遠いと問題点があるため、交通費支給や日程を幅広くするなどする。
神奈川県	神奈川県	横浜国立大学	金銭的支援	結婚した人に対しての支援をする事で結婚する人が増え、家族と協力するメリットに目を向けやすくなる。
神奈川県	神奈川県	関東学院大学	金銭的支援	就職先の地元に住んでいる人は、住宅手当や給料もあがるという大胆な仕組みがあれば、地元就職を希望する人がとても増えると思います。やりすぎだと思うぐらいがちょうどいいのではないかと思います。そのくらい周りには地元就職を希望してる人は少ないです。しかし、移動はしたくないという人が多いため、そう言った点で、地元に住続けてもらう理由で住宅手当があれば離れないのではないかと考えました。
神奈川県	神奈川県	日本大学	金銭的支援	○地方に貢献すればインセンティブが入る。○地方で定期的に人との出会いの場がある（実質合コンのような）。○定期的に東京に行ける交通費が支給される。○住宅補助が手厚い。○地元の特産品が定期便のような形で送られてくる。
神奈川県	神奈川県	駒澤大学	金銭的支援	もっとそういったイベントを開くのと交通費を経費で落としてくれるなら考えてもいいかもしれない。交通費がネックでどうしても都市部で探してしまう
神奈川県	兵庫県	関西学院大学	金銭的支援	近年、女性の社会進出が進められているという状況を鑑みて地元、独自の福利厚生面でサポートをしてくれる制度を設ける事でUターン制度を利用する人が多くなると思う。
神奈川県	神奈川県	関東学院大学	環境	地元で貢献できて、移動時間も少ない分自分の時間もしっかりと作れることをアピールする。
神奈川県	神奈川県	上智大学	環境	オフィスワークをテレワークに切り替えれば、東京の会社に勤務している場合であっても、世界中のどこでも勤務できるのではないかと。
神奈川県	神奈川県	横浜国立大学	環境	首都圏なので地元就職している人は既に一定数いると思うが、今以上に増やすのであれば大企業の本社や研究所などを県内に誘致することなどが挙げられると思う。
神奈川県	神奈川県	明治大学	環境	私は都心に近いところに住んでいるので、Uターン就職には該当ませんが、友人でUターンを考えている人には「やはり地元の友達がいるところで働きたい」「両親が心配」「地方創生に関わりたい」という声がありました。その一方、地方に戻りたくないという人は「東京に友達に住んでいるから」「都会に慣れてしまったので地元に戻って生活できない」「東京で働きたいと考えて東京の大学に来たから」という声もありました。しかし、そう言っている人も地方創生には興味がある、と話しており、地方創生に興味があるが東京から離れるのが嫌、という結論に至ったといえます。なので、そのような人には東京と地方をつなぐ役割が適任なのではないかと思っています。東京で働きたいと言いながら地元友達、両親にも会いたいということなのであれば、「頻繁に地元に出張、または地方の視点到期間的に配属される東京の企業（主な勤務は東京）」または「東京の企業だが勤務地は地方にもあり、頻繁に東京への出張がある（主な勤務は地元）」のような形で、どちらにも訪れる機会があるのが理想だと思います。どちらかに勤務地が固定されると、決めきれないという人も多いようです。
神奈川県	広島県	広島大学	環境	満員電車を改善し、通勤ストレスを軽減すれば地元で就職したい人が増えるのではないかと思います。企業の数や規模では、比較的魅力的なので、改善は必要ないかと思っています。
神奈川県	神奈川県	明治学院大学	環境	都会と同じように交通の利便性を増やしたら、都会の雰囲気よりも自然の雰囲気が好きな人は地元就職が増えると思う。
神奈川県	神奈川県	明治大学	環境	現在住んでいる場所からあまり離れずに就職ができるようにする。福利厚生の充実をはかる。
神奈川県	神奈川県	相模女子大学	環境	私の友人は保育士や栄養士を希望する人が多く、地元には子供や高齢者が多いのでそういった施設を増やすと共に新卒者採用枠を拡げていくべきだと考える。
神奈川県	神奈川県	東京理科大学	環境	もっとテレワークを増やし、通勤時間をなくすことで満員電車に乗らなくてもよくなるため地方でも働きやすくなると思う
神奈川県	神奈川県	フェリス学院大学	環境	地元の人以外を都会の人だからと排斥しないような意識的な環境づくりが必要だと思われる。
神奈川県	神奈川県	帝京大学	環境	仕事先を増やし、魅力的なオフィスを作る。ABWなどを取り入れている。大企業の本社がある。
神奈川県	神奈川県	立教大学	環境	地元愛のようなものがあまり地域住民に根付いていないので、若者、特に中学生以上の人が地元を好きになれるようなイベントを開くなどして欲しい。都会でベッドタウンになる街ほど自分の地域の事をよく分かっていない人が多いと思う。
神奈川県	神奈川県	産業能率大学	環境	東京ほどゴチャゴチャしていないことを売りにする。特に厚木市は自然も豊かです交通の便も良い。高速道路も近くに沢山あるので、生活には困らないはず。また、優良な企業も数多く存在するのでアピールになるはず
神奈川県	神奈川県	東京農業大学	環境	地元が神奈川なのでUターン等はあまりないと思いますが、その分東京とどの程度違いがあるか伝わりにくいとも思います。特産などがもっとあるといいなと思いました。
新潟県	新潟県	新潟大学	知る機会	義務教育において、各地域の企業と経済について概要を学ぶことで、各々がより地元地域に興味を持てるのではないかと。
新潟県	石川県	金沢学院大学	知る機会	もっと地元の事をPRすべきだと思う。まだ全国には知られていない地元ならではの情報や観光地など沢山あるため、どんどん発信していくべき。
新潟県	山形県	山形大学	知る機会	地元での就職を有利にするシステムがあったら良いと思う。（地元枠を作ってもらうなど）。給料は明らかに都市より低いがその分生活費が安い(実家から通える、物価が安いなどの理由で)ため結果的に良い暮らしができる、という点をもっとアピールすれば良いと思う。
新潟県	新潟県	新潟国際情報大学	知る機会	地元は特に有名企業ぐらいいし認知されていないため、中小企業がもっとアピールするべきだと思う。SNSやYouTubeを使ったアピールなんかはTV CMを流すよりも安価で今の時代にあっている気がする。
新潟県	東京都	亜細亜大学	知る機会	都市の方が選択できる企業の幅が広く多いイメージがあり、そのために都市を選択していました。しかしもっと地元の企業を知る機会や、幅広い企業があることを知っていたらUターンで就職希望する学生も増えるのではないかなと思います。
新潟県	新潟県	長岡技術科学大学	知る機会	・地元の教育補助を充実させる・都市部で、地元の企業説明会を開催する・地元の企業のWebセミナーを開催する・都市部から地元へ、就活バスツアーを開催
新潟県	新潟県	新潟大学	知る機会	学校推薦や学内ガイダンスを増やす。地域別のイベントを開催する。交通費補助、完全支給のアピールをもっとする。

新潟県	新潟県	新潟経営大学	金銭的支援	地元から離れて進学した人は帰省するにも説明会に参加するにも交通費が結構かかる。だから企業ができれば交通費を何割か負担したり、地方の企業でも地元だけで説明会をするのではなくWEB説明会を積極的に取り入れたらいいと思う。地元から離れて就職活動をする人に対する説明会の機会が少なかったり負担が大きいのと思います。
新潟県	山形県	山形大学	金銭的支援	Uターン就職をした人に向けてアパート補助金制度を作る。地元が好きでUターンしたものの実家住まいが嫌な人も多いと思うため。
新潟県	埼玉県	東京農業大学	金銭的支援	私の地元は専門学校の人がたくさん地元で働くので大卒の人は好んで就職しようとは思わないと思います。大卒の人への優遇措置など就職したいと思えるきっかけをもらえたら自然も豊かで良い場所なので就職したいと思う人は増えると思います。
新潟県	新潟県	新潟県立大学	環境	都市部の大手企業、優良企業を地方へ分散させることです。都市部への就職を希望する人の多くは、「全国で通用する仕事の上での実力を身につけたい」と思っているのではないかと思います。そういった実力をつける場としては、しばしば情報や大きなビジネスチャンスとなる機会が多くなる都市部の企業に多いように思います。分散させることで経済効率は落ちるかもしれませんが、魅力的な企業が地方に分散すれば、地方を就職先として選ぶ人が増えるのではと考えます。
新潟県	新潟県	新潟大学	環境	就職先や職種が少なく偏りがあるので、リモートワークが当たり前になれば地元を出る人も減ると思う。地元にながら東京や都市の企業で働くことが可能になれば、就職活動の負担も減り地方がもっと活性化するのではないかと。
新潟県	神奈川県	神奈川大学	環境	住む地域、勤務地にこだわることなくリモートワークが可能となる働き方ができれば良いと思う。
新潟県	新潟県	新潟薬科大学	環境	そこですら魅力をアピールすることが重要だと思います。メリットがないとこないとおもうので！
新潟県	東京都	国士舘大学	環境	観光地を発展させたり、経済が活発になったりして、地元を多くの人が目に触れる機会増え、人が集まりたい、そこに行きたいと思える場所になればいいと思う。
新潟県	新潟県	新潟県立大学	環境	実際に新潟でメーカー希望で就活をしていて感じたのは、理系の割合、男性の割合が高い会社が多いことです。新潟はメーカーがとても多いぶん、文系女性が外に出ていくのも分かる気がすると思ってしまいました。説明会でも、文系でほんとに大丈夫か気にしている方々を多く見ます。文系向けのイベント等でメーカーでも活躍出来ることをアピールしていくのも一つの手かなと思います。
新潟県	新潟県	新潟大学	環境	私の地元は、公共交通網が貧弱で各家庭に車が一台ないと生活することができない。また、車で行ける最寄りのショッピングモールも品揃えが乏しく、隣接市町村に比べると劣っていると感じる。一方、地方であるから、自然が多いとの意見もあるが、自然の大部分が田んぼでありそれで何かりラックスできるわけでもない。よく東京は自然が少ないとは言われるものの、公園には大規模な緑地が存在している。地元にはそのような場所はなく、余暇を過ごすのは厳しい。昨今、働き方改革が行われ、余暇の過ごし方を考えようとは言われるが、地元には選択肢があまりにも少ない。就職先の点でも、月給が良いところは少なく、家賃の安さ以外物価も都会と比べて変わらないので生活も厳しいと思う。また、車がないと生活できないので通勤ラッシュの渋滞は激しい。勿論、地元にも一軒家を立てる際の土地代が安い等の良い点はある。しかし、なにか強みがなく、都会にも田舎にも成りきれていない私の地元にはUターンする価値が低いと思う。逆に言えば、そのような点を解決できれば地元就職の方が増えるのだと思う。
新潟県	東京都	東京大学	環境	自然環境とかの風土をプロモーションするよりもまず先に、人間関係のしがらみを無くして欲しいと切実に願っております。
新潟県	神奈川県	法政大学	環境	若者にとって、仕事と趣味の両立は大切なものであると考えます。つまり、その地域で経済的な発展と、文化的な発展がバランスよく行われるていることが理想だと思います。地方だと関東近郊に比べて、遊ぶ場所が少なかったり、つまらない生活がイメージされるように感じます。既存の資源のPRでも良いですし、新しい開発でも良いです。広告の仕方に課題がありだと感じます。
新潟県	神奈川県	神奈川大学	環境	私はライブイベントに行くのが好きでSSAや横浜アリーナ、幕張メッセに通える都市に住み、働きたいと思っています。そのため地元の近くにも会場が大きいライブホールができたり、都市のライブ会場に費用が少なく、移動時間も速い交通機関ができれば地元に戻ってもいいかなと思いました。
新潟県	新潟県	新潟青陵大学	環境	私の地元は、風情ある街並みや歴史のある建築物などが有名なため、若者の街というよりは高齢者向けの観光地が多いような気がする。したがって、地元就職者を増やすためには、若者をターゲットとした施設を作るべきだと思う。
山梨県	山梨県	山梨学院大学	知る機会	東京ビックサイトなどで行われる大きな就職活動イベントで「山梨県枠」など枠を作り、その県の複数の企業は参加しなければならないというルールを作って開催する。
山梨県	山梨県	拓殖大学	知る機会	事業内容を大々的に宣伝して、中小企業がどのような物をどのような仕事にしているのかを伝える。年功序列制度をなくす。会社の建物の外観を綺麗にする。(毎日のモチベーションのために外観や内装にこだわるべきだと思います。)
山梨県	東京都	東京家政大学	知る機会	web説明会や、セミナーがもっと増えれば良いと思います。また、合同説明会に県別でグループ分けされた説明会があったらいいと思います。
山梨県	神奈川県	桜美林大学	金銭的支援	余っている会社の土地を、規定の年数以上働いてた社員はその土地を安く買える制度。その費用は、ローンを組んで会社に払う。そうすることで、マイホームを望んでいる人が地方でマイホームを建てられ、ローンを組むことで土地を買った後も離職の心配もないのではないかと。
山梨県	山梨県	山梨学院大学	金銭的支援	Uターン者を対象とした学費免除などといった制度があればこれから先他県の大学に行って戻ってくる人が増えて行くのではないかと。
山梨県	愛知県	至学館大学	金銭的支援	福利厚生や人が暖かい町だともっと全国に知ってもらうために、何か流行になるものを発信する。
山梨県	東京都	お茶の水女子大学	環境	平日は地元で働き、休日はわざわざ東京に遊びに行くという友人の話から、エンタメ面を充実させる必要があると感じています。
山梨県	山梨県	山梨学院大学	環境	会社の仕事内容や理念にとらわれず、何事にも挑戦したり革命を起こしている企業があると良いと思う。
山梨県	山梨県	山梨県立大学	環境	伝統に囚われすぎない、新しい事業やサービスができる企業をつくる。また、企業のことを知る機会を増やすことが大事だと考える。
長野県	長野県	公立諏訪東京理科大学	知る機会	地元でしか実現しない、自然や暮らしやすさなどをアピール。実際に地元で就職している方からのメッセージ

長野県	岩手県	岩手大学	知る機会	・行きたい業種がないと思っても事務所があったりすることがあるので、エリア採用を行っている企業はぜひUターン説明会にも来ていただきたいです。 ・地方出身の学生は別の地方大学へ行くことも多いので、東京などで開催されるUターン説明会に行くのもかなりお金や時間がかかります。私はそれもあり、Uターンの就職活動をあまりプラスに捉えていません。説明会だけでもWeb化を進めていただければ、就活生の視野に入ってくるかと思います。 ・これは場所にもよりますが、地元の合同説明会の案内ページを覗いたり県主催の説明会に参加したりしても、文系向けの職種が工学系の職種が多くそれ以外の分野の窓口が狭いように感じます。小さい企業では就活のWeb化も難しいかもしれませんが、合同説明会を利用するなどしていただければ就活生の目につきやすいと思います。
長野県	東京都	中央大学	知る機会	将来を生きる上で都会の生活と比較して地元の暮らしがより魅力的であることをPRするべき。東京には全国から人が集まり、就職先はたくさんあるが、地元の企業は全国からその県に就職するような状況はない。そのため、そこで生まれ育った人がIターンをして、その地域を活性化させるしかない。
長野県	大阪府	関西大学	知る機会	もっと地元企業の合同セミナーなどを行う。地元企業が地元で面接を行う際、交通費を負担してもらおう。
長野県	愛媛県	愛媛大学	知る機会	実際にUターンした人や、地方へIターンした人へのインタビュー特集があるといいと思う。とくにIターンは、その地域の人が気づいていなかったような魅力を感じていたり、他者からの新鮮な視点を持っていそうなので、お話は聞く価値がかなりあると思う。
長野県	神奈川県	北里大学	金銭的支援	車を出動に使うひとが多いので、車を買う時に手当金などがすこしでも出ると通いやすいと思う。
長野県	長野県	日本大学	金銭的支援	地元就職すると地方の自治体から給付金があり、地元就職の為にかかる引越し代などを補助してくれる制度。
長野県	富山県	富山大学	環境	地域ごとにその地にあった業界があるのは当たり前であると思うが、働きたいと思える業界が何かしらの形で地元にもできる
長野県	岐阜県	岐阜女子大学	環境	交通の便を良くする。特に、バスが無く、自家用車がなければ買い物や病院などが遠いため不自由なことが多い。企業が少ないため就職して地元に入ってくる人が少ない。自然豊かで綺麗な水や空気を利用した工場や企業はあるが少ない。
岐阜県	岐阜県	釧路公立大学	知る機会	あまり大学の所在地に縛られず日本全国の企業の説明会が大学や大学近辺の施設で参加できるようにすると業界・企業研究に役立ち、地方の優良企業を知るきっかけともなるので地元就職を希望する人を増やすことになると考えます。実際、私の通う大学では所在地の地元企業や都市部の企業の説明会は充実していましたがその他地方の企業について知る機会があまりありませんでした。
岐阜県	岐阜県	金城学院大学	知る機会	地元企業の合同説明会が地元の会場であれば良いと思う。地方だと中小企業が多く、大手も参加する大きな合同説明会だと会える機会がとても少なく感じる。新聞などで掲載されているときもあるが、多く企業の集まる合同説明会の方が、学生にとっても一度にたくさん企業と会うことが可能となり、企業にとっても自社を多くの人に知ってもらう意味で良いのではないかとと思う。
岐阜県	岐阜県	岐阜大学	知る機会	小学校から高校までの教育の中で、地元の社会に貢献しているような企業であったり、地元根差した企業の紹介をする機会があれば興味が生まれる可能性もあると思います。また、学校の実習という形で、興味のある地元の企業の仕事を体験する機会をもっと増えていけば、就職の選択肢として地元の企業も含まれるようになると思います。小さい頃からの接点が増えれば増えるほど、地元企業への就職を希望する人も増えると思います。また、周りの大人達が生き生きと働いて生活している姿を見ることで地元への就職に意欲を持つ学生も多くなると思います。
岐阜県	岐阜県	下関市立大学	知る機会	地元の企業を知る場を設けること。大学に入ってからでなく、高校までにもっと多くの人が知っていることが大切だと思う。
岐阜県	岐阜県	名古屋工業大学	知る機会	大学生に知ってもらうことも大切ではあるが、高校生にも岐阜の企業の紹介する機会を増やしたほうが良いと思います。大学に入り、さあ就活するぞ!と思ったときによっぽど地元愛が強い限り、地元就職することは難しいと思われる。地元愛を学生に根付かせるためには、長い目で若いうちから地元企業を紹介する機会を作っていくべき。
岐阜県	岐阜県	岐阜大学	知る機会	まず地域の良さを知ること。そして自分の地域の課題を見つめ、私たちが貢献できることは何かを考える頭を身につけるためのセミナーを行うこと。
岐阜県	岐阜県	名古屋工業大学	知る機会	地元企業の合同説明会を開く。例えば東海の人間なら、愛知の数多くの企業に目があってしまい、地元の企業を知る機会が少ないと思う。地元にも優良企業があるということを説明会を開いて伝える。また、都会の企業でも自分の地元で働く場所があるかもしれないから、しっかりと企業側もアピールする。
岐阜県	愛知県	愛知淑徳大学	知る機会	地域活性化で企業が参加するイベントを増やすといいと思う。地元の魅力が改めて分かり、就職したくなるのではないかと考える。あとは給料や手当てが多少良くなると良いと思う。
岐阜県	大阪府	関西学院大学	知る機会	地元企業が地元の発展に貢献している、もしくは地元企業自体が活力があることをアピールすべき
岐阜県	徳島県	徳島大学	知る機会	地元から離れて大学に通っている人にも地元の就職情報が届くようにする。そのために、大学のキャリアセンターに地元（大学の所在地）以外の情報も提供してもらえるようにすると良いと思う。
岐阜県	三重県	三重大学	知る機会	業種別に全国にどんな会社があるか知れるようなマップを作成し、視覚的に調べやすくする。（地図のピン留めのようなもの）その土地の自然や公共交通機関、住む場所の参考になる。
岐阜県	神奈川県	東海大学	金銭的支援	奨学金の制度を充実させる。例えば、地元を離れて進学しても地元就職すれば、返還不要など。
岐阜県	岐阜県	愛知大学	金銭的支援	地元就職される方に対して住居の手配や補助、生活の仕方を具体的に説明することで地方へ行く抵抗が少なくなると思う
岐阜県	滋賀県	滋賀大学	金銭的支援	地元就職の人には入社時に謝礼金のようなものを渡す。中学生高校生時からもっと地元の企業を知る機会を作る
岐阜県	千葉県	明海大学	金銭的支援	地元に戻るまでに時間とお金がかかるため、ウェブ上で説明会や面接を行えたとたずかる。また、奨学金の肩代わりや、Uターン就職する事で補助が出ればありがたい。
岐阜県	岐阜県	名古屋大学	金銭的支援	都会までの公共交通機関の整備によって地方と都会の距離を短くする。地方における土地及び住宅購入の補助制度の拡充。地方のみの税金優遇策の実施などにより地方での買い物需要と仕事の供給を増やす。観光業の発展によって地方における仕事を増やす
岐阜県	滋賀県	立命館大学	環境	魅力的な企業や大きな企業の本社が、東京都、大阪になどに密集しているから、首都である必要のない企業の本社が地方に流れるようにして欲しい。
静岡県	京都府	立命館大学	知る機会	他の企業に負けないような特徴を知ってもらう、技術の導入や情報の処理など最新の技術や情報、社会の動きに敏感な経営を行う

静岡県	秋田県	秋田大学	知る機会	分野ごと（化学や電気など）に地元企業がまとめられていれば、企業研究を行いやすくなると思う。
静岡県	山梨県	山梨大学	知る機会	学内の合同企業説明会は地元の企業と触れる良い機会になりました。私は就職活動をするまで地元の企業に関して全く知らず学内の説明会で初めて知った企業が多かったです。説明会の中でとても親切に私の話を聞いて下さり、その中でその技術であれば会社で活かせるかも知れないということを教えて下さり、将来私が企業で働くイメージが具体的に掴むことができました。
静岡県	静岡県	愛知淑徳大学	知る機会	交通費支給（新幹線代も含む）の、ISや会社説明会があれば、地元就職のきっかけ作りになると思います。
静岡県	静岡県	静岡大学	知る機会	WEBを利用した説明会の機会が増えれば、より希望しやすいと思います。遠方に進学していると、地元や都心で開催される説明会になかなか参加できません。また、企業の紹介を積極的にすべきだと思います。地元の企業は見落としがちなので、知るきっかけが大切だと思います。
静岡県	山梨県	都留文科大学	知る機会	Web説明会を早い段階で行う。交通費補助または面接回数をwebなども駆使して減らす（面接などで毎度帰省すると交通費がかかるため。また学業や首都圏での就活との日程調整が難しいため）
静岡県	愛知県	名古屋文理大学	知る機会	WEB説明会があるのと無いのでは、Uターンの人にとって計画を立てやすいかどうか決まるためぜひ開催して欲しい
静岡県	静岡県	常葉大学	知る機会	もっと企業を合同説明会で出展すべきだと思います。3年の3月ギリギリに今まで話を聞いた事がない、興味のある会社が多く、全部の会社の説明を聞けるわけではないので、もっと早めに、いろんな企業の説明を聞きたい。
静岡県	静岡県	静岡文化芸術大学	知る機会	その地元で働くことの良さをアピールしたり、アクセスが悪い人に向けてWebでの説明会などを積極的に実施する。
静岡県	愛知県	名古屋外国語大学	知る機会	インターンや会社説明会の機会を多く設けてさまざまな業界の会社が学生とコミュニケーションできるように増やす。参加する企業の数が多ければ多いほど多くの学生が興味を持って参加するようになると思う。地元の企業について学生がもっと知ることによって地元就職を希望する人が増えると考えます。
静岡県	愛知県	東海学園大学	知る機会	私自身もUターンの合同企業説明会にて情報を得たため、そのような機会が多いと人が増えると思います。
静岡県	神奈川県	東京電機大学	金銭的支援	奨学金肩代わり。給与の向上。地域活性化。交通インフラの整備。情報を得やすい様に改善される（展示会など。現在は都心で開催される頻度が多い様に感じる。）
静岡県	静岡県	常葉大学	金銭的支援	新卒採用に対する費用を今の三倍くらいに増やす。就活生は、もちろん学生であるから、お金を利用しないと戻ってこない。その他にも、福利厚生面でもっとお金をかけ、働きやすい環境を作るべきだと思う。
静岡県	静岡県	常葉大学	金銭的支援	住宅補助などの福利厚生を充実させることができれば地元就職を希望する人が増えると思います。また、初任給やボーナス、昇給などの労働条件を好条件にすることも地元就職につながると思います。
静岡県	島根県	島根大学	金銭的支援	給料を全国統一にする。地元の人には手当てをつける。テレワークやドレスコードフリーを積極的に取り組む。
静岡県	愛知県	中京大学	金銭的支援	交通機関があまり発達していない場所であれば、自動車を購入するときのお金を一部負担などの制度があると嬉しい。
静岡県	長野県	公立諏訪東京理科大学	金銭的支援	Uターンを希望する方はどの方も説明会やインターンシップのための交通費がネックになることがあります。そのため、Uターン希望者の方には出来るだけ企業の方から交通費を出してもらえると会社の説明会に行きやすく興味が湧きやすくなり、Uターンを希望する方が増えると思います。
静岡県	愛知県	名古屋外国語大学	金銭的支援	交通費を援助。就活をして働いたとしても大学院への進学を可能としたり、今後の未来へと活躍できる制度をもうけその土地ならではの魅力を研究テーマや事例を通して伝える。合同説明会を土日または長期休暇中に行い、帰省中に参加しやすい制度をもうけ、他の地方から来た人に対し、ノベルティを充実させる。各企業のインターンシップが、平日に開催されていることが多く、学業中心で動いている学生にとっては参加しにくい休日に参加しやすい環境がほしい。
静岡県	静岡県	静岡大学	金銭的支援	東京でなくても、魅力的な会社が多くなってくれればいい。住む環境は、都会よりずっと良いと思うので、買い物だったり働きやすさだったりというところで都市部に劣るところが少なくなれば増えると思う。または、単純に地元就職したらお金がもらえるなど。
静岡県	静岡県	静岡理工科大学	金銭的支援	都会に比べ福祉厚生などの面を全面的に出しそこをアピールするべきだと考える。給与の面では圧倒的に負ける為そこ以外の面をもっとアピールし都会とのメリットデメリットをはっきり載せる必要がある。
静岡県	神奈川県	神奈川大学	金銭的支援	多少の賃金格差はしょうがないとは思いますが、でしたらもう少し福利厚生での差を見せつけべきだと思います。都会並みに賃金があると同じ業種の会社で悩んだ時最後はその辺が判断材料になるからです。
静岡県	大分県	立命館アジア太平洋大学	金銭的支援	地方となると車の所持が必然となるが、そこに対するサポート（免許取得や車両購入）を手厚く行くと学生にとってはメリットである。又、借り上げ社宅を完備して頂くなどの対応をしてもらえると考えやすくなる。
静岡県	静岡県	静岡県立大学	環境	企業の支店設置を誘致し、地元支店を増やす。なぜなら、地元は好きだが、自分の希望する職種は、都会に多いため。
静岡県	群馬県	高崎経済大学	環境	新幹線通勤やMaaSを取り入れた出勤スタイル。選考をwebや他県で積極的に行う。選考のための交通費を出す。
静岡県	兵庫県	関西学院大学	環境	交通の便を良くする。わたしの地元静岡県は、新幹線の車庫があるにも関わらずのぞみ1号が1つも止まりません。ひかりでも、1時間に1本しか止まりません。そしてバスが高くても時間通りでない。これは地元のバス会社が独占企業であるからというのが挙げられます。それが全ての原因ではありませんが、大きな強みにはなるのではないかと考えています。
静岡県	愛知県	名古屋女子大学	環境	転勤なし（転元で長く働ける環境があると嬉しいため）交通費あり・車通勤可（車保有者が多く、生活の一部として車があるため）など
静岡県	静岡県	静岡産業大学	環境	他県の学生に対し、地元の学生および、地元出身の学生を優先的に積極的に採用すると、表や数字を使い、明記して頂ければ嬉しいです。または、選考を少なくする、選考難易度を下げるなど、特典の様なものがあれば嬉しいです。
静岡県	神奈川県	鎌倉女子大学	環境	交通の便の改善（電車を通してほしい）。若い人が増えてほしい。奨学金の返済を肩代わり。働きやすい環境
静岡県	静岡県	常葉大学	環境	地元が住みやすい都市であれば、自然と人が増えると思うので、住みやすい都市づくりをしていくことが大事
静岡県	東京都	聖心女子大学	環境	事務職、研究職が地元では主なため、マスコミ系とかIT系の進出求む。元々人口は勝手に増えているので、スーパーマーケット以外の職の見つけにくさ。
愛知県	愛知県	中京大学	知る機会	本社が他都道府県でも「エリア限定職」がある企業を集めた合説開催やパンフレットなどを作る。
愛知県	愛知県	三重大学	知る機会	情報を発信しなければ伝わらないので、積極的に大学に出向いて宣伝をする。自発性を尊重し、何か参加型のイベントを組む。

愛知県	愛知県	名古屋大学	知る機会	自分は地元（名古屋）に優良企業があるからたまたまUターンになっただけで、もし地元が田舎で大した就職先が無ければ地元就職はしません。そのため、一般的な地方への就職を意味する地元就職をしてほしいなら、福利厚生、安定性のある企業が学生向けの広報活動をしてもらわないと目にも止まりません。そのため、マイナビのオファーやリスティング広告等で企業側からアピールしてくれたら視野に入れると思います。ただ、調べればその会社の良さ、悪さはすぐ分かるので相当自分に合っていると思える良い企業でなければ就職したい、とまではいきません
愛知県	愛知県	桜花学園大学	知る機会	実際私の大学では県外就職を希望する学生が多いため、Webセミナーやイベントなどを通してさらに地元企業が積極的にアピールする機会などを増やすと良いと思います。
愛知県	京都府	京都大学	知る機会	地元高校からどこの都道府県に多く進学しているかを調査し、進学率の高い都道府県にて就職説明会の開催、また、高校同窓会の会報に企業広告を掲載するといった活動をすれば、目にとまりやすくなると思う。地元に戻るタイミングでもある成人式で地元企業も協賛でイベント開催、成人に配られる記念品でアピールするといった取り組みはどうだろうか。
愛知県	愛知県	椋山女学園大学	知る機会	図書館など人が集まりやすいところに、掲示板などで新卒求人情報を公開して欲しいです。合同説明会だとその日に行かなければ情報が得られませんが、掲示板なら都合の良い時に自ら情報を得に行けるからです。
愛知県	愛知県	愛知淑徳大学	知る機会	地元就職希望者を選考の際に優遇する。一次選考免除や選考地方開催。社員を地方に迎えた広報活動。
愛知県	愛知県	名城大学	知る機会	地元で働くことで仕事とプライベートの両立ができるというメリットをしっかりと伝えることが必要だと考える。
愛知県	奈良県	奈良女子大学	知る機会	愛知県内の中小企業は愛知県内だけで企業説明会をやる人が多いです。そのため、大阪、東京、福岡、北海道などの大きな地区だけで良いと思うので、県外でも企業説明会を開くと良いと思います。また、地元就職者向けに情報を積極的に提供するネットワークを作ること、情報の少ない県外の人でも県内の人と同じだけの情報を得られるようにすると良いと思います。
愛知県	愛知県	大同大学	知る機会	地方でも都会と同じレベルの教育（学校の分校）を設立、地元自治体主催のセミナーを都市部と同等程度に開催する（現状では、都市部のセミナーのほうが参加企業数が圧倒的に多く、地方に選択肢がない）
愛知県	愛知県	南山大学	知る機会	地元の企業の情報を詳しく知る事ができる機会を増やす。また、その機会があることを知る手段を広く発信する。
愛知県	愛知県	椋山女学園大学	知る機会	就職説明会が東京と大阪にあり、名古屋がないことがあるので、もっと名古屋に説明会などを増やすと地元での就職を希望する人も増えるのではないかと思います。
愛知県	愛知県	愛知淑徳大学	知る機会	本社が愛知にあるだけでなく、支店や支社が地元にあるだけで、就職先としての候補となります。面接や説明会をさまざまな地域で行うことで、参加しやすくなると思います。エリア総合職などを積極的にアピールすると地元就職を考えている人には有効なのではないと思います。
愛知県	愛知県	名古屋工業大学	知る機会	地元企業が集まり、合同説明会をすべき。また、愛知県は地元の大学との関わりが強いいため、推薦制度や、ジョブマッチングなどの制度等を強く推すべき。
愛知県	愛知県	金城学院大学	知る機会	就職してからの会社展望や福利厚生を知る機会である合同説明会や単独の説明会をいろんな場所で行う。
愛知県	愛知県	岐阜聖徳学園大学	知る機会	一次産業のイメージが強いので、どんな業界・業種の企業があるのかまとめているWEBページを作成する。
愛知県	東京都	帝京大学	知る機会	面接はwebをたくさん取り入れたほうが良いと思います。現に説明会やインターン、面接なので交通費がかかっています。現段階でも6万円は超えてしまっています。なので、少しでも交通費や時間の削減ができれば良いと考えます。
愛知県	石川県	北陸大学	知る機会	やはり、地元の企業を知るインターンシップは大学の授業を受けながらだと授業を休むしかなく、気軽に帰れないので、夏休み春休みに集中してしまいます。そして、みんな同じ考えなので抽選から外れてしまうことも多いです。Uターン生用枠を取っておいでもらえたら、インターンシップに参加できてより会社を知り、地元就職を希望する人は増えるのではないのでしょうか。
愛知県	愛知県	椋山女学園大学	知る機会	webセミナーを増やすことで、より気楽に参加出来、実際に学生がその場に足を運ばなくても企業の魅力を知ることができる。
愛知県	滋賀県	京都大学	知る機会	夏休み等を利用しての長期ワーキングホリデー（給料あり、住み込み可）の増加、およびその広報の充実。また、ワーキングホリデーそのものの周知
愛知県	石川県	石川県立大学	知る機会	地元には探せば優良な企業があると思うので、就活生に見つけられるように促せば良いと思う。例えば、合同企業説明会へ出展し、そこで会社説明だけでなくちょっとしたワークなどを開催し、他社と違うブースを作れば少しは関心を持つと思う。
愛知県	岐阜県	岐阜大学	知る機会	就職活動で最も大切なことは情報だと思います。しっかりと志を持っている人は少なく、ほとんどの人がどうしようかな悩んでいると思います。「地元こんな会社があったんだ」等知ることでその後が大きく変わると考えられるため、まずは知ること情報を掴むことが大切だと思います。結論アイデアとしては情報をたくさん提供することが必要だと思います。
愛知県	京都府	同志社大学	知る機会	就職活動関連のサイトに地元企業の特集ページを充実させることが有効であると考えます。私の地元である愛知県は大手企業、または大手企業のグループ会社が数多くあります。企業グループごとに情報を掲載することで情報収集が容易になり、地元就職を希望する人を増やすことにつながると考えます。また、グループ企業ごとの事業内容の違いをまとめているサイトがあれば、企業選択の際、就活生の助けになると思います。
愛知県	愛知県	愛知大学	知る機会	愛知県はもともと地元就職が多いですが、その宣伝のために、大学での地元就職推奨フェア(セミナーとか、インターンシップ特集)が多いかなと感じます。
愛知県	愛知県	椋山女学園大学	知る機会	地元就職のメリットを取り上げて欲しいです。興味がない人にも合同説明会に出展し、積極的に呼びかけ、知ってもらう機会を作る。私自身実際興味のない職種も合同説明会でたまたま知って、選考を受けてみることもあったから。
愛知県	愛知県	名城大学	知る機会	自動車業界を志望している私にとってトヨタが県内にあるのはとても魅力的です。そこで愛知県の自動車業界を志望している就活生に限って言うことですが、トヨタ系の企業のみが参加するような合同説明会が開催されれば、自動車業界を志望する身としては地元で就職したいという思いが強くなると思います。現在、トヨタ系の企業に就職したいという思いが強くなるような機会や催しはあまりなく、どこでもいいから自動車業界に携わりたいと考えている就活生は少ないです。折角トヨタが愛知県にあるのならそのような機会があっても良いのかなと思います。
愛知県	大阪府	大阪市立大学	知る機会	地元企業の人手不足など現状を知ってもらう機会を増やす、都市の大学で地元の特化した就活イベントを増やす
愛知県	愛知県	星城大学	知る機会	地域の良さをもっとアピールし、知ってもらう。各企業の押しが弱いから、もっとアピールする。

愛知県	愛知県	愛知大学	知る機会	市や商工会議所などが力を入れて、合同企業説明会をやるべき。そうしたら絶対行くのに。大学が県内でも片道2時間かかるところだから、そっちの地方の企業の情報し かわからない
愛知県	愛知県	愛知学院大学	知る機会	地元に戻る期間を設け、その期間で地元で多くの説明会をし、知ってもらい地元就職 しやすい雰囲気を作る
愛知県	愛知県	中部大学	知る機会	・地元企業を紹介した動画を作成して就職活動前の学生に見せる・地元就職の良さを 訴えかける
愛知県	愛知県	名古屋学院大学	知る機会	地元で優良企業を増やしたり、就職を考える前の中学高校で地元の素晴らしい企業や 活躍している企業を紹介するような機会、地元で就職することによって得られるメ リットなどを授業などで行うと良いと思う。
愛知県	石川県	金沢大学	知る機会	Web セミナー、Web面接を積極的に使うことで遠方に住んでいる学生でも地元の企業を より知る、希望ことが可能になるのため、インターネットをより使ってほしい。
愛知県	愛知県	愛知工業大学	知る機会	トヨタグループで合同企業説明会を開催すること。私の地元は自動車産業に強く、ほ とんどの企業がトヨタの自動車産業に関連するものである。よってトヨタ主催で合同 企業説明会を開催することでトヨタグループの安定感、繋がりをアピールし、自動車 産業を県そのものの強みとして打ち出すことで、トヨタのブランドカラーに惹き寄せ られ地元就職を考える人が増えるのではないかと考える。そして、最近台頭してきて いるWEB合同説明会も行い、地元だけでなく、県外に行った人にもUターン就職を考え てもらう機会を提供する。
愛知県	京都府	京都先端科学大学	知る機会	Uターン生向けの説明会で、通常のインターンより長めの時間で多くの内容を知れる方 がUターン生にとってはとても有効な説明会、インターンとなると感じます。 1 回が短いと複数回参加することになり、交通費がかさんだり、日程調整が難しくな る場合があると感じました。
愛知県	愛知県	中京大学	知る機会	大学での企業説明会を行い、その大学を卒業し働いているOBに説明会をしていただ く事で、身近に感じ、入ってみようかなと思える。 地元を盛り上げるため、その地域にある会社が協力し合い、イベントをしたり、売り 上げを伸ばすような、注目される取り組みをするべきだと考える。
愛知県	千葉県	法政大学	金銭的支援	結局は地方との賃金格差が問題なのだから、行政が働きかけたりしてその差を縮めて いけばいいのでは？
愛知県	愛知県	名古屋外国語大学	金銭的支援	給料やキャリアアップなどの強みがないから、それらを改善できれば地元で就活する 学生が増えると思う。
愛知県	愛知県	名古屋市立大学	金銭的支援	都会の方が給金が高いことが多いため、そこの調整。また、リモートワークといえど 全く会社に行かなくていい訳では無いため、交通の便を良くすること。会社に行くだ けでお金や時間が大量に取られてしまうのはメンタルにくる。また、実家があっても 社宅や賃貸を使える制度があると良いと感じる。社会に出て一人暮らしをしたい、家 族に毎日文句を言われるのがいやだという人もいるため。近くに住んでいるため、何 かあったらすぐ駆けつけることが出来、でも普段は1人でゆったり暮らせるというのが 1番精神的にゆとりがでると思う。
愛知県	愛知県	愛知学院大学	金銭的支援	地元就職であっても通勤手当の他に住宅手当があればいいと思います。一人暮らしを したい人や同じ県内でも通うのは少し遠い場合に住宅手当があれば勤務地に地元で働 く人が増えるのではないかと思います。自分自身行きたい会社を見つけたが、自宅か ら通うのには距離が遠く、住宅手当は県外の営業所に行く場合のみであり、勤務地に よってその会社をあきらめるという選択になりました。一人暮らしをしたい人は、地 元を離れることが多いため、地元就職であっても住宅手当があれば地元就職を希望す る人が触れるのではないかと感じます。
愛知県	愛知県	金城学院大学	金銭的支援	実家からの就職の方の採用が盛んなため、一人暮らしでも採用があることのアピール と、車社会のため車の維持費の補助制度、大学から名古屋の方が多いのでその方たち の獲得のため尾張地方・三河地方の地理特性として全国的にも三河地方知多半島の 地価物価の安さと名古屋や県外へのアクセスが意外に良いことがあることなど生活の しやすさについてをアピールすること、また初年度は名古屋勤務など。
愛知県	愛知県	愛知大学	金銭的支援	1. 給料と待遇を都市部と同じ基準にすること 2. 保守的な風土を無くすこと 3. 会社 近辺に娯楽施設や子育て施設を充実させること
愛知県	富山県	富山大学	金銭的支援	鉄道、地下鉄、バス等の発達や自家用車購入の支援策、どうしても金銭的に自家用車 の購入が厳しいことが大きな要因と挙げられるため。
愛知県	愛知県	金城学院大学	金銭的支援	地元住宅支援金制度。実家を離れ一人暮らしを経験したいと考える学生も多い。その ため地元が近くても住宅手当が出る制度がよい。地域のよさを企業側がアピール。 都心に行かずとも、この地域だからできることを企業がアピールするとよい。
愛知県	愛知県	南山大学	金銭的支援	採用に優遇を付けたり、インターンに参加すると交通費や弁当が手当てされる。そな ようなきっかけを作り、説明会などに参加しやすくし、様々な情報を得ていく中で 徐々に志望度を上げていく。
愛知県	愛知県	名古屋外国語大学	金銭的支援	Uターン就活生の交通費支給や実際に地元就職された先輩からのアドバイスをいただけ たら分かりやすい
愛知県	京都府	同志社大学	金銭的支援	愛知県に関してですが、名古屋以外の市町村だと公共交通機関が整っておらず、車社 会なので、免許取得や車の所有に関して補助がでたらいいかもしれないです。
愛知県	千葉県	神田外語大学	金銭的支援	わたしは愛知から東京へ進学のため、上京し、就職も東京や東京付近の県で考えてい ます。やはり一人暮らしをしてみても、自立や新しい環境で過ごすことによって成長で きたと感じています。地元で就職となるとやはり自宅からの通勤が望ましいと感じま すが正直一人暮らしに慣れてしまい、実家に戻るという選択肢がない人もわたしを含 め、いると思います。そのため、もし地元で就職するのであれば一人暮らしできるよ うに住宅手当などの待遇があればいいと考えています。
愛知県	愛知県	金城学院大学	金銭的支援	給与アップや、福利厚生充実(産休育休手当より働きやすい時短勤務、介護手当、ア ニバーサリー休暇など)があるとよいと思います。
愛知県	愛知県	愛知学院大学	金銭的支援	・経済を活性化させる・全国にある事業所がある場合異動なし・給与水準を上げる・ マイホームを買う際や土地などの税金を下げる・自分の周りの友人なども皆んな地元 に残るなどなど
愛知県	愛知県	南山大学	金銭的支援	現代は、働くこととプライベートの両方大事にする人が多く感じる。なので、会社の 規模が小さくても基本的な福利厚生くらいは整えておく。休日日数、有給も十分にと る。働きやすい会社になるだけでも志望する学生が多くなるはずであると考え。
愛知県	愛知県	金城学院大学	金銭的支援	地方手当などがあるとその手当の発生する地方を選ぶ人が増えるのではないかと考 えました。
愛知県	愛知県	愛知県立大学	環境	私は広告業界のエンジニアを目指しているため、広告業界のエンジニアが活躍でき るような企業が地方においても発展して欲しい。東京本社で地方に営業所などはあ るが、エンジニア職は東京で働くことが多いと感じている。
愛知県	愛知県	名城大学	環境	地方のテレビ局がキー局の番組をもっと放送する。ジャニーズの番組は愛知県では全 然放送されません。
愛知県	愛知県	名古屋市立大学	環境	交通手段が便利だといい。商業施設のような買い物ができる場所が近くに欲しい。電 車+徒歩30分圏内で何でも済ませると良い

愛知県	愛知県	愛知県立大学	環境	地元で就職で転勤なしを希望する場合、どうしても総合職が難しくなることが多いため、総合職の中でもエリア限定ができるとありがたい。またエリア限定と全国転勤型でも業務内容が変わらないとより良い。
愛知県	愛知県	愛知大学	環境	地元学生を優遇すると明記すると記載があれば、地元企業の選考に参加する学生が増え、最終的に地元企業に就職を希望する学生が増えると思います。
愛知県	愛知県	中部大学	環境	公共交通機関の値段がもう少し下がれば、定期を使って通勤する人が増えるかもしれない。
愛知県	愛知県	愛知淑徳大学	環境	地元密着の小売の企業がもっと増えれば良いのになと思っています。物作りの盛んな地域だからこそ、それを売る企業も地域に密着した存在であるべきだと感じています。私も、就職活動をするにあたって、最初に感じたことは、自分の地元以小売の企業が少ないということです。そう思っている人は自分だけではないと思っているので、私は将来独立して地元で雑貨屋を営みたいと考えています。その為のノウハウを学ぶ為に、現在就職活動で他企業の選考を受けています。
愛知県	愛知県	愛知淑徳大学	環境	都会でしかできない仕事が地方でもすることができるようになったら、少し増えるかなと思います。
愛知県	愛知県	南山大学	環境	自家用車を持っていることが前提だったりするので、駅近に立地していれば増えるのではないのでしょうか。
愛知県	愛知県	愛知工業大学	環境	地元での就職先での選考が有利になる枠を作ればいいんじゃないかと思う。(1、2枠ぐらい)
愛知県	愛知県	名古屋学芸大学	環境	それか、社員に説明受けることで、少し免除されるやつみたいに、地元就職で少し免除されるというのがあったらいいなと思った。
愛知県	愛知県	愛知工業大学	環境	会社の中に施設をたくさん作り、都会のように便利にすると地元ならではの不便さが解消されるのではと思います。
愛知県	愛知県	愛知工業大学	環境	私が地元に住たくない理由は芸能人の追っかけがしにくいからなので、芸能人のイベントをいっぱいやってもらえばいいと思います。
愛知県	愛知県	長浜バイオ大学	環境	トヨタ系列でない、名古屋支社がある企業が少ないので、名古屋支社や、研究所があれば良いと思います。
愛知県	愛知県	大同大学	環境	都市の魅力(ライブの開催の都市が近い、好きなものの専門店が沢山あるなど)が就活生に満遍なく伝わる
愛知県	愛知県	大同大学	環境	地方に出ていく大きな原因として、私が住んでいる地域はコンビニに行くにも歩いては行けない田舎なので、地元から出ていく1番の原因は1人1台自動車がないと生活できない環境だからだと思う。そこを改善しない限り不便を感じ東京へ進出する人は減らないと思う。幸いこの地域の人は地元愛が異常に強く高校大学の進学で県内に残った人はほぼ地元での就職を希望している(説明会の質問で異常なほど転勤はないかが問われる)愛知県は名古屋まで簡単に出来る環境があれば住みやすい地域ではあると感じられるので名古屋鉄道の特急が停車する駅の駅前・周辺をもっと発展させ新社会人にも借りやすい環境のアパートを増やせば、名古屋や知多半島の工業地帯を東京に見立てた就職先とベッドタウンの関係が作れると思う。これが実現すれば休日は簡単に親族の元へ帰れて1つの県で完結した環境が出来上がるのではないだろうかと期待する。
三重県	愛知県	南山大学	知る機会	ママカフェやシニアサポートなど、地域活性化の活動を行っている企業の増加及び学生にもその情報が伝わってくことで地元就職を希望する人が増えると思います。
三重県	三重県	愛知大学	知る機会	都市の方が質の高い就活ができる、というイメージがあるのでその払拭が必要だと思います。
三重県	三重県	南山大学	知る機会	もっと中小企業を知る機会を増やす。会社ホームページを充実させて欲しい。まだ去年の採用ページの会社がある。
三重県	三重県	大阪工業大学	知る機会	回数を増やして欲しいのと、学歴で選ばれる企業の方はwebになりますます見える部分しか重視しなくなった。ので、救命処置のようなことをして欲しい
三重県	三重県	愛知淑徳大学	知る機会	地元の企業を知る機会がほとんどないので、合同企業説明会などがあればいいのになと思います。
三重県	高知県	高知工科大学	知る機会	地方にもっと支社を建てたりするともっと地元希望が増えると思います。また、地方の会社説明会をWebで配信すれば他の地方や遠方の学生も交通手段や日程に困ることなく、企業のことを知ることができ、地元で就職しやすくなると思います。
三重県	三重県	三重大学	金銭的支援	地元の企業が合併して、比較的大きな組織となり、大都市圏ほどではないまでもある一定水準の収入を担保する。
三重県	静岡県	静岡大学	金銭的支援	地元就職した際に、何かしらの報酬や対価があれば地元就職を考えるきっかけにはなると 생각합니다。希望するかどうかは別として。
三重県	愛知県	中部大学	金銭的支援	待遇をあげる。具体的には、給与を最低でも東京並みにし、年間休日を120日以上にすること。残業を無くし、実労働時間の短縮。リモートワークなど。これらを東京よりもより推進させる
三重県	三重県	皇學館大学	金銭的支援	個々の企業の生産性を高め、給料を上げる。また、現状維持ではなく新しいことへの取り組みを積極的に行う企業が地方には少ないと思うので、その点を見直していただきたい。
三重県	愛知県	愛知学院大学	金銭的支援	年功序列ではなく、能力で重要な役職に配属され、給料も決まる。また、ダイバーシティのある会社。
三重県	愛知県	藤田医科大学	金銭的支援	お給料がいいところ。暇が潰せるところがたくさんあるといい。趣味のボルダリングやジム施設があるところが増えたら嬉しい
三重県	愛知県	中部大学	環境	工業地帯で賃金の安い外国人の方々を採用しているため全体として働くところが少なく、給料も安い。そのため、給料は安くても地元で住むと両親がいるので地元に住んでいたいと言う人や高校卒業後働いている人以外は積極的に周りの都市(愛知、大阪、京都)などに移り働いている。地元から大阪や愛知といった都市へ行こうとすると、交通費がその都市に住んでいるよりも高くなる(不便なので私鉄などの値段が高い)ので若い方々は全体的に地元から通うこともなく、働いている都市へ移住してしまう傾向があると思う。そのため、より地元企業を増やして給料を上げ、交通も便利にして交通費よりもその働く先の都市にいた方が安いという現状を変えた方が良くと思う。さらに、どちらにせよ地元から都市へは2時間30分以上掛かるので残業をしてしまうと地元の交通機関はもう既に終わってしまっているのて歩いて帰るにしても駅から山を一つ超えないといけなないので帰れなくなってしまう。そのため、テレワークやリモートワークを取り入れたり、交通機関を充実させ、より早い電車が通ればより自分たちが育った地元が大好きな若者たちが地元で根付きながら働いてける環境が作れると思う
三重県	愛知県	名古屋工業大学	環境	理系の人が携われるような工場であつたりの誘致を行う。また、大手と呼ばれる企業であつたり、btob等の企業の誘致を行うことで理系の学生が増えると考えています。他には、積極的に出身地の企業についての特集であつたり、説明会や企業紹介と言った企業を知る機会を学生や就活生に対してアピールができると知る機会が増えるため、価値観が広がると考えています。

富山県	愛知県	南山大学	知る機会	難しいことかもしれませんが、地元から離れた大学に通う学生全員に強制的に地元の企業の紹介が行われるような機会があると、全く興味がなくても一度でも話を聞けばもしかしたら興味を持つことにつながるかもしれないので、あったらいいと思います。私自身も先入観から地元の企業を選ばずに就活してきたので、強制的に話を聞かなければいけない機会があったならよかったなと思いました。
富山県	兵庫県	神戸大学	知る機会	実際にUターン就職した人の話を聞く場所を積極的に設ける。地元のよさを謙遜せずにPRしていく。
富山県	京都府	同志社大学	知る機会	地元にある大手企業を紹介する。地元の活性化を推奨する。私の住んでいる富山県は住みやすい県と言われていますが若者にとってはつまらない県だと思います。高齢者にフォーカスした政策を取りすぎて私たち若者へのアプローチが疎かになっています。若者のための街づくりをもっとして欲しいです。
富山県	千葉県	千葉大学	知る機会	探せば魅力的な企業には出会えるので、もっと企業情報を得やすい環境を整えば良いと思う。
富山県	大阪府	神戸大学	知る機会	設問のひとつにありましたが、結婚したい人が地元にいると、帰ろうかと考えると思います。一見就活とは関係なさそうですが、そういうマッチング要素を取り入れた就活イベントがあると、興味をそそられるし、つながる部分があると思います。
富山県	愛知県	金城学院大学	知る機会	私が地元就職をしない理由は、やはり地元よりも便利であり、安定していると考えてしまうからです。実際にそのような状況ではないことを教えていただく機会があったり、さらにUターンに関する情報をもっと配信していただければ関心が深まるのではないかと思います。
富山県	愛知県	名古屋大学	金銭的支援	地元では共働きの夫婦が多いため、教育・保育制度を充実させれば積極的に希望すると思う。また、家の補償よりも車の補償をしてほしい。
富山県	富山県	高岡法科大学	金銭的支援	自家用車通勤を可能にしてくれ、駐車場などの契約を会社でしてくれる。もしくは、住宅手当を地元就職の人にも当ててほしい。県外からの人には手当があるというところが多い。
富山県	石川県	金沢大学	環境	大企業や急成長企業の地方支店設置を支援する制度を地方自治体が設け、積極的に企業誘致に取り組む。(ex和歌山県白浜市)
富山県	東京都	亜細亜大学	環境	老舗が多いので、若い企業やベンチャー、スタートアップの会社を増やすべき。またそのような企業を知ることがないので、宣伝にも県が力を入れるべき。
富山県	富山県	富山大学	環境	富山は車がないと不便な場所が多いため、公共交通機関の整備、駅前の活性化が求められると思う。また、富山について知らない人に、富山の魅力を知ってもらうため、特産品のPR、またはアニメの聖地としてやっていく。
石川県	富山県	北陸職業能力開発大学校（応用課程）	知る機会	地元に戻る交通費がかなりの負担になるため、ネットなどでもっと情報を受け取れるようにすればいいと思う。
石川県	富山県	富山大学	知る機会	地元で行われる合同企業説明会に参加さえしてもらえばいい企業が見つかって希望する人が増えると思うので、参加を促すようなキャンペーンとかを用意する
石川県	石川県	金沢星稜大学	知る機会	大企業でも地元採用がある事をもっと分かりやすく明記してもらいたい。また、将来的な生活(子育ての環境など)は都会よりも良いと感じる点があるので、そのような魅力を発信して行くといいと思う。
石川県	大阪府	神戸市外国語大学	知る機会	東京、大阪、名古屋などの都市で例えば北陸出身や石川県出身など地域を限定して就活生を集めて交流会の体で地元の企業説明を兼ねてカジュアルに話せる場を作る。離れた都市で就活に励む人たちにとって同じ出身地というだけで親近感や結束感が生まれるので単に交流目的の参加者が募りやすいと思う。漠然と周りに合わせて東京で働きたいと思っている地方出身者は多いので地元企業の情報を得る機会を増やすことで希望する人を増やせると思う。
石川県	石川県	金沢工業大学	金銭的支援	子育てをするさいに何か良くなるようなことのある政策などがあれば、一度地元を出て行った人たちが結婚後や出産後などに戻ってくることが多くなると思う。
石川県	滋賀県	立命館大学	金銭的支援	その地域独自の金銭的補助を出したり、地方でも給料を都会と同じぐらいにしたら地元に戻ってくる人が増えると思います。
石川県	石川県	金沢星稜大学	金銭的支援	・家賃補助や住宅補助の手当を厚くする。・地元だけではなく全国展開し、全国どこでも働ける環境を作る。・福利厚生を手厚くする。
石川県	奈良県	奈良大学	環境	交通網や街を活性化させ、住みたいと思わせる。例えば、電車の本数や急行列車を増設したり、大きなコンサート会場などを作り、人を集められるようにする。
石川県	東京都	亜細亜大学	環境	観光客が増加しているが、現状維持だと必ず減少すると思われるため、観光業にもっと力を入れるべき
福井県	滋賀県	滋賀大学	知る機会	田舎だと思い込みであまり企業がないと思っている人が多いので、もっと高校などでアピールすると良いと思う。
福井県	石川県	金沢大学	知る機会	さまざまなジャンルの仕事があることを、もっとアピールしたほうがいい。また、都会との生活と比べての良い点と悪い点を挙げて伝える。
福井県	愛知県	名古屋外国語大学	金銭的支援	・交通費の支給・地元に住んでる人以外にも企業の情報が発信出来る様にマイナビなどのナビに登録する・県外でも説明会を行う
福井県	福井県	福井県立大学	環境	テレワークやリモートワークが可能な仕事ならその仕事体系に移行すべきだと思うし、そうでなければ福利厚生などでUターン手当などを出して他企業などと差別化を図ることも重要となってくると思う。
福井県	福井県	福井県立大学	環境	買い物をする場所がもっと増えること。都市にあって地元にはない事業をもつ企業が増えること。
福井県	大阪府	大阪産業大学	環境	街を活性化させる。若者が集まってもらえるようななにかを作ったらいいと思う。また交通手段が車しかないので交通の便を良くする。
滋賀県	滋賀県	滋賀県立大学	知る機会	遠くで下宿している人も見られるように、大手ではない会社であっても会社説明会をWEBで行う。
滋賀県	滋賀県	京都産業大学	知る機会	私の場合、メールやDMなどで、自分の地元名を目立つようにプッシュしている案内があれば、目を通すと思います。(滋賀県で募集ではなく、例えばもっと具体的な地元の、市町村で募集している)理由としては、実際に住んでも地元のような企業があるのかを知らないためです。私の地元はどちらかと言えば田舎ですが、それでも企業数は多いと聞いたことがあります。そのため大きく自分の地元名が記載されている案内を見ると、好奇心や興味を惹かれ、メールに目を通すと思います。よく地方で台説などが開かれています、興味が無い方からすれば、行動力のある人でない限り、なかなか足を運ぶことは無いと思います。そのため、手軽なメールやDMを使い、興味のない人にも知ってもらうきっかけを作ること大切だと思います。
滋賀県	滋賀県	聖泉大学	知る機会	地元就職する利点をまとめ提示していく。なぜ、地元就職がいいのか。なぜ、地元就職の方がいいのか。都会の方が交通機関など便利で働きやすいという理由を越えるようなことを挙げる。
滋賀県	滋賀県	大阪産業大学	金銭的支援	田舎住みの人が都会へ出て就職したいと考える理由の一つとして、給料面があると思います。田舎で就職するとどうしても手取りが少ない。なので、県民だから得するような手当をつけてもらうとか、奨学金や税金を少しでも助けてくれるような制度があれば、わざわざ外に出る必要がないと考える人も出てくると思います。

滋賀県	京都府	同志社大学	金銭的支援	子育て支援制度(フレックスタイム、土日完全休み、子供が病気のときにはすぐ帰ることができる)を充実させることで、ワーママが増えると考ええる。
滋賀県	滋賀県	京都橋大学	環境	地方の方で交通の弁がよく、すみやすい場所でもっと人気の企業であつたらユニークな企業が支店を作つたらもっと可能性が広がる気がします
滋賀県	滋賀県	京都造形芸術大学	環境	地方だと希望職種も仕事量も少ない上、追っかけができないので全く考えていませんが、交通手段が今より安く早くなれば考えます。
滋賀県	滋賀県	京都文教大学	環境	仕事以外でプライベートなど息抜きやリフレッシュがしっかりできる施設などを作り、そういった魅力があれば、人は集まるのではないかと思います。そうすれば、ワークライフバランスも取りやすくなると想います。
京都府	京都府	京都産業大学	知る機会	例えば、私の地元が京都なので京都が本社の企業だけを集めた企業説明会をしたりすると良いと思います。そうすると、京都で就職したいと考える人がよりスムーズに活動を行えると考えました。また、インターンのための合同説明会を多く開催していたら、学生の視野も広がるしより、就職活動に対して早くから意識することができると考えます。企業にとっても、インターンに多くの学生が参加希望を出すことは将来的に考えて、デメリットではないと思っています。これからどんどん選考が早まってきて早くから活動したいけどどうすれば良いかわからないと考えている次年度3年生は多いのではないのでしょうか。
京都府	京都府	関西大学	知る機会	私の地元は京都なので地元愛が強い人が多くむしろ地方へ行きたい人は大学進学の際に地方へ行かない限りいいです。加えて地方の大学に行っても就職は京都に帰って来たいという人もいますので、その地元と人々との関係や、公共交通機関が主になると考えます。ただ都市に工場は少ないので理系の学生は都市がダメなら地元へ、と思うので勤務地をメインに出しておくに止まりやすいと思います。
京都府	大阪府	大阪府立大学	知る機会	もっと広く情報を公開すること。地元高校の進学実績がある大学等へのチラシや情報誌、学内セミナーがあればもう少し興味がわくと思う。
京都府	京都府	京都大学	知る機会	地元のどのようなことに貢献できるのか明確にする。観光業であればグローバルに活躍できることを押し出す。
京都府	東京都	国立音楽大学	知る機会	情報が不足していると考えます。その県の企業の情報がわかるwebサイト等があればもっと情報が収集しやすく就活生も興味を持つのではないかと考えます。
京都府	京都府	京都府立大学	知る機会	地元にとんな企業があつてどのような職種が募集されているのかが情報をまとめて収集できる機会があれば良いと考えます。
京都府	京都府	京都外国語大学	知る機会	京都には有名な大学が多いので、学生の人数も多い。大学のキャリアセンターなどで地元企業についてももっと知る機会がつけられることも大切だと思う。
京都府	京都府	京都府立大学	知る機会	マイナビなどの就活サイトで、細かい市町村等(又は、都道府県内の地域で)の指定をして検索できるとうれしいなと思います。私の場合、京都府出身ですが、京都府北部出身なので、地元の企業が探しにくいです。もしくは、地元の企業が登録してないだけでも…？
京都府	京都府	京都光華女子大学	知る機会	地元の新卒を求める企業さんでマイナビのようなサイトを作る。検索がしやすい環境作りがあればありがたいです。
京都府	京都府	京都橋大学	知る機会	マイナビなどの大手が、地方の自治体やジョブカフェなどと提携し、学生が地方の企業を知る機会を増やすと良いのではないのでしょうか。実際私はUターンを希望していますが、手軽に調べづらいつと感じることがあります。そのため、普段使い慣れているマイナビなどの就活支援アプリに、各地方の地元に関付いた企業を載せた特集を組み、学生に「地元にも就職可能な企業があるんだ」と思わせるところから始めるのが得策と考えます。
京都府	京都府	龍谷大学	知る機会	そもそも地元とはいえ、地元にとんな企業があるのかということすら知らないことが多い。まずはそれを知る機会を設けることが肝要であり、地元企業が協力して広報宣伝するべきではないか。また、選考過程についても、たとえばWEBセミナーの開催や、WEBによる選考の実施など、参加機会を増やすことと参加にかかる負担を減らすことが大切だと考えます。
京都府	京都府	追手門学院大学	知る機会	私は地方に住み、地方で働きたそうといった就活をしています。実体験を元に考えると、企業や業界など仕事面だけのアピールだけでは必ずしも「住みたい」には繋がらないと思います。どれだけ仕事面の情報が充実しても移住する不安は拭い切れないからです。移住込みの地元就職を推進するのであれば、居住面(不動産やその周辺の情報、その地域に関する様々な情報)も付属的に提供していただければ、より地元就職に積極性が生まれるかと思ひます。その地域限定の合説で、企業説明後にその地域自体の説明会を開催したり、相談スペースがあつたりするととても助かります。地元から離れた場所を希望するのであれば、会社説明会などのイベントに参加する度に交通費の負担が大きいです。ならば、いっそその地域でウィークリーマンションやマンズリーマンションを借りて住むことができれば就活の効率も上がる上にお試し移住もでき、一石二鳥です。それらの情報の提供や、不動産と連携した割引システムがあれば本当に嬉しいでうす。
京都府	京都府	京都工芸繊維大学	知る機会	地元では有名であつたり、知る人ぞ知る優良企業の様な会社が私の地元には多いと感じる。しかし、それらの会社との接点があるため志望しようと思ひない。なので、地元の大学などでもっとPRするべきだと考える。また、地元ならではの子育て支援や高齢者への支援があればぜひ地元で就職したいと思う。
京都府	東京都	東京農業大学	知る機会	地元の出身地の方はメールを送る。マイナビさんのメールは毎日確認するから、全員ちゃんと見ると思ひます。むしろ、そういう情報欲しいでうす。
京都府	京都府	帝塚山大学	知る機会	地元地域密着型(遠距離の転勤が有る・無いで分ける)の企業を集めた合説とインターン説明会を行う事だと思ひう。
京都府	京都府	京都橋大学	知る機会	地元で就職する人向けの参加しやすいイベント(〇〇フェアみたいな)を開催する。カフェのような感じで個別に気軽に話せたり。あとは、キャリアの方が個別に学生にあつてそんな地元会社を紹介するなど。
京都府	奈良県	立命館大学	金銭的支援	住宅に係る費用と、地元での給与のバランスが、都市部で住宅手当などをもらいながら住むことがあまり変わらないので、そもそもの給与が高いか、地元などで暮らした場合に家賃以外の維持費などにも助成があれば、働きやすく感じるのではないかと。
京都府	滋賀県	京都女子大学	金銭的支援	住居を会社がある近くに限定せず、それぞれの生活しやすい場所で住むことに対してでも住居の手当を出したりすれば、少しは増えるのではないのでしょうか。
京都府	東京都	成城大学	金銭的支援	やはり、希望する職種がある企業(そこそ規模が大きい)があれば帰りたいと思ひます。しかし、私のようにマスコミ志望だと東京が主要地域となりますので、Uターン就職は考えません。そんな中で帰りたくなるような制度を強いて挙げるとすれば、生活支援制度や給付が最も有効だと考えます。将来の生活の考えると育児支援金や介護補助金等があると、帰りたくなる要因となると考えます。
京都府	静岡県	東海大学	環境	文系大卒の人は京都に居続ける方が生活しやすいと思うが、理系大卒の自分のような人、特に生物系は企業自体が少ない気がする。
京都府	京都府	立命館大学	環境	地元の人がここにはない仕事があるということを正しく理解する。女性は事務という先入観をもう少し無くす。
京都府	京都府	龍谷大学	環境	地元の強みを作る。治安を良くしたり、地元で留まりたいと思ひる環境作りを心がける。ゴミ拾い活動など。

京都府	京都府	京都光華女子大学	環境	私の地元は、あまり会社が多くないので地元暮らしよりは離れた地域で志望される方がどうしても多くなってしまうと思います。また、子供や老人が多く、地元で働ける職種が少ないと思います。もし、地元で働ける方を希望する人を増やす方法を出すのであれば、地域に会社を増やすことだと思います。
大阪府	大阪府	大阪市立大学	知る機会	知らないところに企業があることが多く、まずは知ってもらうことが大きいと思います。私は化学系の企業を志望しているので、化学系の地元企業がまとまっていれば見やすいです。
大阪府	大阪府	甲南大学	知る機会	Uターン就職とは記載せず、都道府県名を記載すべき。都道府県別のイベントを開催し、今よりもっと多くの企業を集めるべき。
大阪府	兵庫県	立命館大学	知る機会	地元がいいなと感じる瞬間は、同窓会で昔の仲間にあたり母校を訪れたりする時かなと思うので、高校を借りて就職説明会をするなど、「縁」を感じられるような施策は良いかと思う。
大阪府	奈良県	関西大学	知る機会	地元企業の説明会などを増やしたり、マイナビから簡単に検索できるようにすると、より多くの人に情報が届き、希望する人が増加すると思います。
大阪府	大阪府	関西大学	知る機会	インスタグラムやTwitterを使用している人が殆どなので、就職サイトだけに限らず、SNSで企業が独自に会社の情報公開をすれば興味が沸き多くの人を知ってもらうきっかけになると思う。
大阪府	大阪府	京都外国語大学	知る機会	グローバル社会になってきているので、地方と海外の繋がりを明らかにすることで、外国との繋がりを大切にすると就活生は興味を持つと思う。他には、地方創生に興味がある就活生に対して、学校の授業で直接PRすることや、ボランティア団体への広報なども興味関心をそそるポイントかなと考えます。
大阪府	北海道	北海道大学	知る機会	地元企業を知る機会が少ないと感じるので、もっと機会を増やせば就職希望者が増えると思います。OB訪問やインターンシップなどで働くイメージを抱きやすくすると面白いと思います。
大阪府	大阪府	関西大学	知る機会	大学のキャリアセンターで知ってる人から話を聞いたり、本を読んで知識をつけたりと、セミナーに出席してみよう。
大阪府	大阪府	帝塚山学院大学	知る機会	学生が集まる時に地元企業にインターンシップに行った学生から話を聞き地元企業に就職したい人向けの時間を作る。
大阪府	大阪府	近畿大学	知る機会	地元の企業を知る機会が個人的にも少ないと感じているので、時期に合わせた合同説明会の様なものを開くことや市と連携した地元企業雑誌の様なものを学校で見れるようにすると気付きやすく、知ってみようと思う環境が出来るかと考える。また、自分が就きたいと考える業界を調べている時に感じましたが、地元の工務店であったり企業を大手のナビサイトでは分かりづらく見逃してしまうことが多く、人から聞き、このような会社が地元にあったんだと気づく事が多いと感じた。
大阪府	大阪府	摂南大学	知る機会	就活サイトの検索のエリアを選ぶ際に、都道府県を選ぶだけでなく、市町村まで選べるようにする。
大阪府	大阪府	京都女子大学	知る機会	私が就職時に重要視しているのは職種の面白さや魅力であり、地域はあまり重要視していません。ですので、その地域にしかないものをアピールしていき、またそれを広く宣伝することで多くの人が興味を持てると思います。
大阪府	大阪府	京都造形芸術大学	知る機会	地元就職に興味のない人でも、機会があれば企業自体に興味を持つこともあるし、企業に興味を持てば地元就職を考える人もいると考える。また、交通の弁が悪い程、就職活動が本格的に始まっていない余裕がある時期の学生は自ら負担してまで企業に向こうとは思わないと考える。
大阪府	大阪府	追手門学院大学	知る機会	機会を増やすという意味で、出来るだけ就活生が余裕のある時期の3年生の夏・秋頃に1日程度のインターンシップを開催すると良いと思う。その際、社員の方の話が聞ける時間だったり、交通手段を配慮して利便性の良い場所での開催だったり、就活生として交通費などの負担が大きくなければ参加しようと思う人は増えると思う。
大阪府	大阪府	追手門学院大学	知る機会	私はアプリケーションのようなお手軽に調べることのできるものが最も効果的だと考えています。おそらくですが、ほとんどの方が地元の企業について詳しくないと思います。ですがそれは当たり前のことで、地元にあるような中小企業の場合、近郊にある高校や大学をみの求人になっているはずで、最も就活生の目に止まる可能性の高い合同説明会への出展が資金面の問題から難しい為です。そのような場面であるとき、Webでの求人はとても強力で、求人関係のポータルサイトに登録されていない企業であっても検索ワード次第でヒットすることが多いからです。ですがこのままでは地元求人の活性化にはなりません。そこで、マイナビアプリのような求人アプリで地域検索のしやすい、中小企業限定の求人アプリを作れば就活生の目につきやすいのではと考えています。目につきやすくなるだけでも効果は有るはずでして現代ではかなりの効果があるはずです。
大阪府	大阪府	兵庫県立大学	知る機会	まず就活生は、数え切れないほどの企業がある中で、絞って絞って絞り倒さないと志望する企業をピックアップできません。そのため、まず地元というキーワードで絞った企業の情報を毎週何曜日という形でwebやYouTubeで配信していただければ、無理なく沢山の企業を知っていけると思います。あまり堅苦しくなくその企業の空気が伝わる動画を配信していただけると嬉しいなと就職活動開始初期に思いました。
大阪府	大阪府	大阪経済大学	知る機会	地元や地元の企業のPR的なものをもっとあればいいと思う。例えば、合同企業説明会やインターンシップなどの日程や場所を多く設けることがより多くの人を知ってもらえる、興味を持ってもらえるきっかけになると思う。そうすることで、もっと知りたいと自らの行動力にもつながり、就職を希望する人を増やすことに大きな影響を与えることができると思う。
大阪府	大阪府	関西大学	知る機会	Web配信で、登録とかせずいつでも配信を見れるようなものがあれば便利だと思っています。
大阪府	宮崎県	宮崎大学	知る機会	宿泊型インターンシップを開催する。インターンシップで仕事へのイメージをつかみ、宿泊することでその土地での生活を実感し、交通網や利便性などを知ることができる。
大阪府	大阪府	園田学園女子大学	知る機会	【地方創生】という言葉をこれまで以上に大々的にインターンシップやセミナーで使用する。主要駅のみでなく、各地域の駅にポスターを貼る。【地方だからできたこと】を知りたい
大阪府	大阪府	奈良大学	知る機会	地元を愛を持ってもらうために個人の自己実現と地元とのベクトルや脈が合う確率を上げる意識を向ける必要があると思う。積極的に学生と社員が意見交換話ができるラフな環境やイベントプログラムなどを設けてマッチング率が高まればと思う。ただ1回だけの関係ではなくどのように継続させていくかが、課題の1つであるが1人でも多く自分自身から行動できる能動的な人材を増やすまたはその意識を高めてもらうきっかけや場づくりが必要だと考える。

大阪府	大阪府	近畿大学	知る機会	アイデアはシンプルであります、 「より自由度の高い就活を」 と考えます。私らの世代の特徴として、地元 に固執している人や、日本での就職を強く願う人 は少なく感じています。理由と致しまして、日本経済に対して、良い印象を持つ学生が少ないことが現状として挙げられると考えます。昨今において、政治や企業の対応等から考えても、海外と比べ良い面もあるが、悪い面ばかりが目立ち嫌悪感を抱いている方が多いとかんじます。そうしたことから、対策として、第一歩として、その嫌悪感を払拭することから始めるべきだと考えます。具体的には、いま以上に自由度の高い就職活動を行えるように整備することであると考えます。そのように考えた理由として、まだ企業について、ほとんど知らない状態で就活をしなければいけない事だと考えます。海外では、新卒でなくてはならないなどという考えは毛頭ないように感じます。ですから、よく吟味することができるように、インターンシップの期間を長期的にすることであったり、既卒者においも、環境を整えることが先決であると考えます。地元ならではの良いところを伝える。また、就職する方たちが望むことを簡潔に伝える、伝える場所を明確にしておく、質問できるウェブ等をつくるなど、就職者に対しての対応があることを示し、安心できるようにする。（わたしの地元場合、京都に出るにも大阪に出るにも30分で行けるため、交通の便がよいことや、市の中でも栄えているところと落ち着いたところがあり、好きな方を選べるようにするなど）
大阪府	大阪府	佛教大学	知る機会	認知されていない企業が 多く存在しているのが現状 。企業側が就活サイトに積極的に掲載し、就活サイトに登録した地元の企業が閲覧できるような仕組みを作ると、学生に認知してもらいやすくなる。
大阪府	大阪府	関西大学	知る機会	私は1人で地元だと寂しいので、そこでみんなで(新入生)集まって研修をそこで行い仲間がいるよってことを共有する等、その地元での就職者が1人にしない。
大阪府	大阪府	関西外国語大学	知る機会	もしくは地元で就職する人には給料アップ
大阪府	大阪府	京都女子大学	金銭的支援	大手企業の子会社などは、東京しか会社がない場合が多いので、地元にも支社が増えたら、行きたいと思う人が増えそうです。また、地元で就職した人は、国や会社から補助が貰える制度があれば、みんな就職しそうだと思いました。
大阪府	大阪府	近畿大学	金銭的支援	一人暮らしでも家賃を安く済ませられたり、地元の施設の優待があればいいなと思います。
大阪府	奈良県	大阪樟蔭女子大学	金銭的支援	一人暮らしだと家賃や水道代などの光熱費がかかり食費にかかる時間手間もかかるため体を壊してしまうと思う。だから地元で実家から通える距離が妥当である。
大阪府	大阪府	追手門学院大学	金銭的支援	地域活性化を図るために地元就職をすると、貢献手当を増やすや、子供の保険料が免除される、扶養手当など、あれば嬉しいので地元に戻ってくる人が増えると思いま
大阪府	大阪府	関西学院大学	金銭的支援	す。
大阪府	大阪府	関西学院大学	金銭的支援	地元就職したひとに対してなんらかのサービスを提供する。(地元で使える食事券や、全国好きな場所を旅行できる旅行券など)
大阪府	兵庫県	関西大学	金銭的支援	東京で就職した友人の理由の多くが、「実家を離れて一人暮らしをしたい」だったので、地元で就職しても、会社のすぐそばに自宅などを準備すれば良いと思いました。
大阪府	大阪府	桃山学院大学	金銭的支援	その地方に住まわれている方限定にあるオプションをつけたりする。例えばその会社の商品が売られているお店が地元にある場合、社員割があるなど。
大阪府	大阪府	関西外国語大学	金銭的支援	ふるさと納税制度があるので、Uターン就職者にふるさと納税特典みたいなのをつけたら地域貢献しながら特典がもらえるので、働きがいがあると思います。
大阪府	大阪府	奈良県立大学	金銭的支援	社員寮や交通費などの福利厚生がどのように整備されているかをメリットとして考えるので、福利厚生をより充実させることが重要であると考えます。
大阪府	大阪府	神戸女子大学	金銭的支援	より福利厚生を充実させたり、フレックスタイム制を導入して出勤時間や帰宅時間に差をつけ混雑を避ける等
大阪府	大阪府	同志社女子大学	環境	就活生は何かのきっかけで魅力を感じた企業で就職を希望すると思います。そのきっかけを作ると良いと考えました。私の地元は観光客が集まる場所があるため、その場所やその付近の活気を、訪れた方へのサービスや、公共施設に設置する広告などでアピールし、その場所やそこで働く方々の魅力を発信すると良いと考えました。そして、その場所で働く方々に憧れを抱き、「自分もそうなりたい」「自分も一緒に地元を盛り上げたい」と考えるようになれば、地元就職を希望する人が増えるのではないかなと思いました。
大阪府	大阪府	大阪大学	環境	帰ってきたくなるような街作りが必要だと思います。若い人が活躍できる場の設置などが必要です。
大阪府	大阪府	京都産業大学	環境	魅力的なニュータウンや、交通網などを整えたら地元に住みたいと思う人が増えると感じます。
大阪府	大阪府	近畿大学	環境	勤務先が都会と比べて少ないように思えます。そのため、それ以上のメリットを語ることで地方の自治体にUターンする人も増えるのではないのでしょうか。
大阪府	大阪府	大阪芸術大学	環境	地元の都会化が進み、交通の便も良くなれば。働く時間が縛られない。地元の商業施設の割引が貰える。地元企業が普段から、学生との交流を持つ。地域貢献事業を増やす。
大阪府	大阪府	関西大学	環境	私の地元は人が多い、かつ、地方から大学で大阪に来た人たちがそのまま就職するので、何もなくても人は増えると思います。しかし、人が多すぎて嫌だという人には、通勤電車の対策が効果的だと思います。
大阪府	千葉県	東京理科大学	環境	ダブルワーカーを制度的に可能にすること。週3日大企業にいて週3日自分のやりたいことに近い仕事につきやすくなれば、2拠点生活ならぬ、二足の草鞋生活ができそうかと。
大阪府	大阪府	近畿大学	環境	テレワークやリモートワークが推奨され、場所を問わず働く事ができる働き方ができると地元就職をする人が増えると思います。
大阪府	大阪府	和歌山大学	環境	理系は工場勤務が多いが、都会には工場を作りにくいため必然的に地方勤務になってしまう。そのため、企業の工事移転を願うことが唯一の方法だと考えている。
大阪府	大阪府	大阪芸術大学	環境	在宅ワークを増やす。在宅で仕事ができるなら地元の人間関係が原因で地元での就職を倦厭する人は多少減ると思う。
大阪府	兵庫県	大阪芸術大学	環境	結局地元には誇れるものがないと働こうとかおもわないので、いかに小さな祭りや行事であっても宣伝し若者に伝わるまで有名になったら少しでも若者の興味をひけるし、人がよってくると思う。結果人も増えるはず。
大阪府	大阪府	関西外国語大学	環境	地元へ貢献したいと思えるような事業内容や、イベントを行う企業があれば少しは興味を持つと思う。
大阪府	大阪府	関西大学	環境	地元の特色にあった事業を展開する必要があると思います。私の地元は特に特産品等もなくこれといって特徴がないですが特徴作りから始めてそれに関連する事業を作り認知度を上げればいいのかと思います。認知度が上がれば観光客が増えてそれに伴い新たな事業の始まりなどで活性化し魅力的な街になり人も増え働きたい人の増加に繋がると思います。これは簡単なことではないと思いますが出来ることから始める、まずは動いてみる事が大切なのかなと思います。
兵庫県	和歌山県	近畿大学	知る機会	web面接やweb説明会は距離や金銭の面で考慮されているため、とても就職活動しやすい。

兵庫県	東京都	創価大学	知る機会	東京都心で、地元の就活セミナーの開催数を増やす。また、地元で就職するメリットや地元の魅力を伝える。私たちは就活の際、大手が目にとまりがちです。東京の大学に進学した人も、Uターン就活は時間や金銭的にデメリットが多いです。地元の中小企業の魅力を伝え、Uターン就活の支援を増やしてほしいです。そうすれば、余裕ができUターン就活を希望する学生も増えるのではないかと考えます。
兵庫県	兵庫県	神戸市外国語大学	知る機会	地元企業に限らず大手企業も含めた合同説明会を実施することで、地元企業に興味がない学生も巻き込む。
兵庫県	大阪府	大阪経済大学	知る機会	地元企業の合同説明会を都市で開催する機会を増やしてほしい(地元に戻らないと参加できないのはスケジュール調整などのハードルが高く、志望を諦めてしまうから)
兵庫県	兵庫県	大阪成蹊大学	知る機会	地元で合同説明会をやるのではなく、都市で都道府県ごとに分けた合同説明会など良いと思う。
兵庫県	滋賀県	大阪大谷大学	知る機会	生活においては不自由無く暮らせる設備、施設が整っている。工場のある企業の多くが、バスの路線に近い点はかなり魅力的だが、地元企業のPRが充分でないため、地元に住んでいても詳しく知らないということが多い。ショッピングモール等で、イベントを開催して、パネル等の展示を通して認知を図るのはいかがでしょうか。
兵庫県	兵庫県	関西外国語大学	知る機会	もっと地方の良さを伝え、職がなくならないという安心感を学生に伝えていくべきであると思う。
兵庫県	兵庫県	神戸親和女子大学	知る機会	地元就職専用の合同説明会を増やす。合同説明会を知らせるポスターを地元の駅などに展示する。
兵庫県	東京都	早稲田大学	知る機会	WEB説明会などで今いる場所以外の企業の、生の情報を得る機会が多くあれば、変わると思います。時間を限定するのではなく、いつでも見れる説明会を始める企業が多くあればいいと思います。
兵庫県	兵庫県	流通科学大学	知る機会	他の地域とは異なる、地元で暮らす上でのメリットを就職サイトなどで特集して掲載する。
兵庫県	兵庫県	神戸山手大学	知る機会	働きやすい環境作りや地元のことを知ってもらうための自己PRを考える。また、若手の社員に興味を持ってもらえるような制度などあれば良いと思いました。
兵庫県	兵庫県	関西福祉大学	知る機会	地元の魅力を伝える。地元に残れるような働ける場所を増やし、就職先として候補に入れてもらえるよう啓発活動を行う
兵庫県	兵庫県	京都先端科学大学	知る機会	何かが有名でどんなやり甲斐があるのかを具体的に宣伝すれば、興味がない人でも来るかも知れません。
兵庫県	兵庫県	甲南大学	知る機会	地方の合同説明会などは大手に目が行きがちなので、地元の中小企業限定のセミナーを開催する。
兵庫県	兵庫県	流通科学大学	知る機会	地元の企業を集めた合同企業説明会は効果的であると思う。実際に私の地域でも開催され、初めは興味がなかったけど、やはり馴染みのある地元の企業を知れるキッカケになると思い、参加したこともあります。
兵庫県	兵庫県	奈良県立大学	知る機会	地元企業のみを取り上げている合同企業説明会がほしい。自分の家の周りには企業は無いが、少し大きい駅まで行けばあるから、中心地を主にして、開いてほしい。
兵庫県	兵庫県	神戸学院大学	知る機会	おしゃれな街として有名なのだから、それをもっと前面に出していく。マンネリ化しないようにする。美味しいものも多くあることを発信する。地元特集や、観光案内などを通じて発信する。
兵庫県	兵庫県	神戸女子大学	金銭的支援	住める場所を増やす。電車や公共交通機関が少ない、最終の時間が早すぎるため、有料の駐車場を〇〇市民は安く借りられるなど、使いやすいサービスがあると嬉しい。
兵庫県	兵庫県	甲南女子大学	金銭的支援	給料を増やせばいいと思う。福利厚生を改善する。地方は総合職でも初任給20万なくて東京の企業と比べると福利厚生も悪い。ある程度知名度のある雇用先も少ない。
兵庫県	兵庫県	近畿大学	金銭的支援	住宅を用意してくれたり、新居に欠かせないものを用意してくれたら行きたくなる。あとその周りにショッピングモールなど生活にかかせないものがあること。将来結婚するとして、子供の手当てが豊富である地域
兵庫県	神奈川県	湘南工科大学	金銭的支援	東京の物価がもっと上がれば生活が苦しくなって、または地元の景気がよくなり給料が良くなれば地元へ帰る人も増えると思う。
兵庫県	兵庫県	流通科学大学	金銭的支援	安定と給料を都心の大手と一緒にする。学生は、未来に対して不安を持っている。安定が保証されていると、安心して暮らせる事ができる。生きることで精一杯だから。
兵庫県	大阪府	大阪大学	金銭的支援	上の選択肢にありましたが、地方就職の特別なメリット(なんらかの補助、手当てがあるなど)があれば考えが変わる可能性はありそうです。
兵庫県	岡山県	岡山大学	金銭的支援	中小企業であったとしても、東京にある大手企業などに匹敵するような福利厚生が整った企業が揃えば、増やすことができると思う。
兵庫県	兵庫県	関西大学	金銭的支援	給料の低さや、職種が絞られてしまうから都市へ出ていく学生が多いと思います。給料が上がらないなら、手当てを充実させるべきだと思います。職種が絞られてしまうなら、様々なことにチャレンジすることができる風土を持った企業があればそこに不満は生まれにくいと思います。
兵庫県	兵庫県	武庫川女子大学	環境	東京や大阪にあるような優良企業、大手企業の支社が地元にある。その子会社やグループ会社でも可。
兵庫県	兵庫県	甲南女子大学	環境	色々な場所で老朽化が激しいので、まずその場所の補整から始める。そして、高齢者が多く、福祉施設が多いので、福利厚生のアピール。
兵庫県	兵庫県	神戸大学	環境	少なくとも妊娠や出産を考えている女性であれば、親元で暮らすメリットは大きいはず。仮に都市部の会社が都市への人口過密や地方の過疎に問題意識を持っているなら、リモートワークの整備を進めてもいいのではないかと。 (住宅補助は都市部で出すより地方で出すほうが圧倒的に家賃は安くなるので、仮に出すならばそのあたりの経費削減になる)
兵庫県	石川県	石川県立大学	環境	リモートワーク、テレワークなど遠隔で都会の会社に勤めているひとが、自然に囲まれた土地(地元)に住むのが良いと思う。または、自然が好きで、例えばキャンプ好きや釣り好きなどにUターン誘致をする。
兵庫県	兵庫県	神戸学院大学	環境	もっと交通機関をもっと増やすべきだと思います。私の地元はバスしかありません。バスの本数も少ないし、値段も高いと思います。そこを改善すれば、地元に戻ってきたいと思う人は増えると思います。
兵庫県	三重県	三重大学	環境	地元に戻りたいと思わせる(地域の良さを感じさせる)ような、地域をあげた催しを継続して開いたり、環境を整えたりすることが必要なのではないかと考えます。
兵庫県	兵庫県	神戸学院大学	環境	地元の人は 都会の人より優先して就職させてあげられるようにすればいいのではないかと考える。都会の人は 色々な企業があり選択肢も豊富にあり 交通機関も多く通うことも可能であるが 田舎に住んでいると 交通機関もバスは1日1から2本であったりするなどほとんどない状態で自家用車で通うにもかなりの距離を通勤しなければならない。また 都会に住むのを反対されてしまった場合 ただでさえ選択肢が少ないにもかかわらず 都会の人に内定枠を取られてしまうのは気が気でない 便利な土地に住んでいるならそちらの方で企業を選んでいただきたいというのが一番の理由である。地元の企業は都会に比べ経営を続けにくいところが実情であるが 地元の人を雇えば 生活に密着している企業ということもあり 愛着や達成感などは都会の人よりも多く感じられるのではないかと考えられるからである。地元の人が地元の企業で働くことにより 地元定住ができるため 少子化は防げないかもしれないが過疎化は阻止できるのではないかと考える

兵庫県	兵庫県	神戸大学	環境	評価の基準をしっかりと設けてリモートワークしている人としていない人に差が出ないようにすれば良いと考えます。
兵庫県	兵庫県	甲南大学	環境	地元の良さを生かした事業を展開できるような大手企業とタイアップして、地元での就職が可能になる様なプロジェクトを行う
奈良県	奈良県	京都女子大学	知る機会	もっとこんな企業があるなどの情報を積極的に載せて、メリットも伝えてくれたら増えると思う
奈良県	奈良県	帝塚山大学	知る機会	地元が魅力的であることを理解してもらうために、何に興味があるかと言うことをアンケート等で集め、興味を持ってもらえるような情報を提供する。地元であっても、地元のことに目を向けない人が多いと思うので、開示することが必要。
奈良県	奈良県	阪南大学	知る機会	まず地元で就職を考えていない人はそもそも視野に入れていないと思うので、その人達にも向けた情報提供が必要だと思う。地元どんな企業があるのか知らないから。給料が低そう。規模が小さそう。というイメージが強いので福利厚生などが整っていたら考える対象になると考えます。
奈良県	和歌山県	京都薬科大学	金銭的支援	給料が都市より良い。忙しくない。自家用車の補助がある。人間関係がよい、適度な距離感。
奈良県	奈良県	帝塚山大学	金銭的支援	地元就職した方に経済的な部分の負担を和らげる。出産などの際のサポート体制を強くする。
奈良県	長崎県	長崎大学	金銭的支援	帰省するのに一定以上の時間・交通費等がかかるケースの人に、経済的な支援があれば、離れた地方に住んでいてもUターン就職しやすいと思う。
奈良県	奈良県	甲南女子大学	環境	時短・在宅勤務を子供の年齢問わず取得可能にする、子供だけでなく、家族やペットにも優しい制度を作る。
奈良県	奈良県	奈良大学	環境	地元では行政が教育にかける予算が少なく、子育て世帯が少ない。これを改善し、子育て世帯が安心して暮らせる地域になれば地元企業で就業する人が増えるのではないかと考える。
奈良県	東京都	東京工業大学	環境	増やす方法はないと思う。あるとすれば志望する企業が地元にもまで展開することしかないかなと思います。
奈良県	奈良県	同志社大学	環境	社風や風土がまだまだ都市に比べれば古い印象を持つ企業が多く、暗い印象を持ってしまうので、制度などを素早く新しいものへと変化させていくべきであると考えます。
奈良県	奈良県	関西外国語大学	環境	より多く、働きたい会社で働けるようになって欲しい。また、希望所属地を叶えて欲しい。地元復興を願ひ、合説により多くの企業に参加して頂きたい。
和歌山県	和歌山県	近畿大学	知る機会	地元を活性化させる為にはその地域で行なっている祭りなどを沢山の人の知ってもらい、また地元スポットもsnsなどを使いPRしていき、多くの人に知ってもらい！私の地域は自然と人が温かいのでそのようなところを推していく！
和歌山県	長野県	信州大学	知る機会	とにかく地元の会社の情報を、早い段階で伝える。また、地元勤めることの利点を伝える。そうすることでもたらされる利益をつたえる
和歌山県	大阪府	桃山学院大学	知る機会	Web説明会を増やしてほしいです。理系だけでなく、文系学生のUターンもサポートする制度がほしいです。
和歌山県	和歌山県	近畿大学	知る機会	地方の企業は知られる機会に乏しいのでまず名前だけでも知る機会を持ってもらう。就職情報サイトでマイページ登録の際、その人が地方だと思うところにチェックをいれてもらい都会の企業を調べているときその企業と同じくらいのスキルが得られて給与や休みなどの福利厚生や採用データをいれたページをユーザーに向けて発信することで地方の企業を知ってもらう。現在も同じようなシステムはあるが都会の誰もが知っているような名前しか出てこないのユーザーが選んだ地方だと思うところと勤めたい業界がマッチしたところをピックアップして見せる！
和歌山県	京都府	大谷大学	知る機会	地元の企業のためのサイトを作り、各大学で説明会を何度も開く。地元企業の良さをアピールしなければいけない。
和歌山県	大阪府	関西外国語大学	知る機会	インターネットを通して企業の良さを伝える。気軽に聞けるWEBセミナー、面接、説明会を開設する。
和歌山県	大阪府	大阪大学	知る機会	都会で開催でもいいので、地方、地域別の説明会を増やして、その地方で働ける会社をイメージさせる。
和歌山県	和歌山県	和歌山大学	環境	田舎とは思えないほどオフィスが開放的できれい、自然を感じられる。テレワークやリモートワーク、時短勤務など働き方に多様性があり、それが当たり前と許容されている環境がある。
鳥取県	広島県	安田女子大学	知る機会	同じ県内でも市が異なると、参加することがためらわれるため、合同説明会を県内の複数か所で行う。交通費の助成制度を導入する。周りに、交通機関の不便さや休日に過ごす場所がないと言っている人がいるため、そのような点で、実際に働いてみてどのように感じるのか、休日にどのような過ごし方をしているのかを知ることができると思う。
島根県	茨城県	流通経済大学	知る機会	地元の就職先、インターン先を地元から出ている人にわかるようにマイナビで地元を登録してる人に積極的に企業をすすめる
島根県	香川県	香川大学	金銭的支援	地元就職した人に対して、Uターン手当を行う。その手当をもらった人はその金額分消費しなければいけない規則を作る。例えば、1ヶ月ごとに手当分の金額を消費して領収書を提出しなければならないとか。このメリットでは地元へ帰ってくる人が増えることと、地元の経済の活性化にも繋がる。
島根県	京都府	同志社大学	環境	徳島県神山町のようなリモートワークの形が増える。また、都市圏に構える大手企業が地域活性化を推進するような事業や支援を行う。
島根県	島根県	島根大学	環境	学生が都市へ流出するのは、地方に企業が少なかったり、働きたいと思える企業がないからだと思うので、地方にも都会と同じような魅力的な企業を誘致する。
島根県	島根県	島根大学	環境	地元で就職したいと思えるような企業がある事が一番かなと思います。どうしても中小企業が多くなってしまう、都会との格差が大きいです。また、地元で就職した際に支援金等が支給されるとポジティブに就活を進める人も増えるのかなと思います。
島根県	山口県	下関市立大学	環境	交通手段を改善していかないと経済は活性化されません。また、夜とても暗くて若者にとって住みやすいとは思いますが、なかなか働きたいとは思えません。
岡山県	岡山県	川崎医療福祉大学	知る機会	積極的にインターンシップを行う。それに伴う情報発信などがあると尚更良い。地元就職をした人だけへの特典があると良いかもしれない。例えば、就活に行く時の交通費無料や、インターンシップで給料が発生するなど。
岡山県	東京都	早稲田大学	知る機会	東京にいると地元の情報が手に入りにくいので、地元から出て行った人にも積極的に働きかけをする（メール、LINE公式サイトなど）

岡山県	福岡県	北九州市立大学	知る機会	自宅外に住んでいる人に対しては、開催地が地元の場合、地元企業の合同説明会や個別説明会を一定の期間内でまとめて開催して欲しい。興味のある企業が多数あっても、自宅外生にとってその都度帰省するのは経済的、時間的にも困難なため。また、Web説明会だと実際の会社の雰囲気を読み取りにくいと感じるため、可能な限り直接伺いたい。交通費や宿泊費の補助などがあるとより地元の企業も見やすい。 地元に住んでいる人に向けては、自宅生向けの先行案内や企業比較セミナーの開催、合同説明会とは異なる他社との違いをはっきりと理解出来るような講座（例 大手保険会社4社の違いを比較など）、加えてセミナーに参加出来ない自宅外生にはWebで配信の措置、社内見学の機会を増やす（→地元に住んでいる人の方がより参加しやすい色々な企業の実態を知る機会も増やす事が出来る）
岡山県	東京都	明治学院大学	知る機会	地方に支社があることをもっとアピールする。地方の地元でも一人暮らしがしたいので、住宅手当が出るようにする。テレワークで東京から地方の企業の仕事ができるようにする。
岡山県	岡山県	倉敷芸術科学大学	知る機会	都市部の企業に比べるとサイトを見ても採用情報が分かりづらい企業も多かったので魅力を伝えるためには採用ページなど自社サイトに力を入れるといいと思います
岡山県	兵庫県	甲南女子大学	知る機会	今回のコロナ対策として行われたWebセミナーや面接をもっと増やすと良いと思います。
岡山県	静岡県	静岡大学	知る機会	地元が田舎のため企業をそもそも知らないで、地元企業をもっとネットでもPRすればいいのではないかと。企業が地元でこのような貢献をしています、といったような住みやすい環境や元氣な街ということをアピールすればいいかもしれない。
岡山県	岡山県	くらしき作陽大学	知る機会	マイナビのサイトに企業の雰囲気などが分かる就活生に向けた動画を載せる。私はマイナビを見ていて見るところは、仕事内容や給料そして企業の雰囲気です。しかし、文字や写真では雰囲気が伝わりづらくどのような会社なのかと分かりにくいのでその年毎の動画があればいいなと思いました。
広島県	広島県	広島大学	知る機会	地方の企業は中小規模のものも多く、大手企業と比べると全国各地で触れ合えるチャンスは非常に少ない。なので、回数は少なくとも、地元以外でも説明会などの採用活動を行ったりWebを利用したりする事で、地元以外に住んでいる人々との接点を作ったらいと思う。
広島県	千葉県	順天堂大学	知る機会	東京の合同説明会にもっと地元企業が参加して欲しい。少ないためには地元の人に比べたら不利な感じる。
広島県	山口県	山口県立大学	知る機会	このアンケートは、地元が地方で、都会の大学に進学し、都会に就職したい意識を持つ就活生向けに作られていますが、地元の都会から地方に進学し、地元の都会に戻ろうとしている学生も多いと思います。そんな学生をいかに地方に残すか、であれば、大学一回生のうちから学生や若者を優遇し、地方の魅力を植え付けておくべきだと思います。
広島県	広島県	広島文教大学	知る機会	近年では、様々な都道府県で地元のPR活動が盛んに行われていると思う。広告としてのPRのみでなく、実際に自分たちが行動に移せるといったような参加型にすることにより、関心が高まり、地元企業に就職することを考える人が増加するのではないかと考える。
広島県	広島県	安田女子大学	知る機会	説明会に行っても働く場所は都内です。とかよく言われるし、アプリで地元と検索しても意外と出てこないし、地元だと思って説明会に行っても、本社は東京なので東京に行くってくださとか言われるので、地元で働けることをしっかりアピールすべき。なんならこっちが質問するまで勤務地は東京だよ？みたいな雰囲気まである。
広島県	広島県	広島大学	知る機会	地元就職の魅力を伝えるコンテンツを作成し、DMで送る。その際には、個人情報に出身地の欄を作り、事前に登録してもらい、その地域の企業の情報も併せて伝えるようにする。
広島県	長崎県	長崎県立大学	知る機会	情報をより得やすい環境。九州などの地方に出た人向けに福岡などでも説明会を開催してほしい。
広島県	大阪府	立命館大学	金銭的支援	Uターン手当といったなんらかの形で補助を作ることによって地元に戻ることに意欲が湧く可能性があると考えます。
広島県	長崎県	長崎大学	金銭的支援	奨学金の返済補助、地元で過程を持ち子どもが生まれた場合に支援を受けることができるなど。
広島県	広島県	比治山大学	金銭的支援	都市部の方が地方よりも給料がいいのは当然なので、医療福祉、または、子育て、住みやすい環境を整える事が大切だと思う。結局、今の若い人たちは便利、給料が良いなどという理由から都市部を選択しており、また都市部に対して一種の憧れみたいな感覚が含まれていると思う。だから、資金的に若者達を魅了する事は難しくとも、それ以外の部分で若者を惹きつける事が大切だと考える。
広島県	広島県	広島修道大学	金銭的支援	特別手当を用意するなど案や、地元企業の説明会を増やしてもっと就職意欲を掻き立てる。
広島県	広島県	県立広島大学	環境	転勤無しを明記する企業を増やす。WEBページなどでは勤務地の欄に転勤ありと書いてあるのに、説明会に行ってみたら希望者のみ海外に行けるだけでほとんどの人は地元で働けていたりする。転勤ありと書いてある時点で説明会も聞かずに選択肢から外してしまうので希望者以外の転勤なしを売りにする企業がもっと増えればと思う。
広島県	大阪府	大阪薬科大学	環境	一時的に地元で就職するが今後都会に転勤や異動で行くことができる選択肢を残しておく。
広島県	広島県	広島経済大学	環境	私の周りの友人達は口を揃えて地方に働く場所がなく、都心に出たり又は都会の方に働きに出る人が多いと言っています。ですので、リモートワークなどを活用し地方で働く場を増やしていくことにより地元で就職する人が増えるのではないかと思います。
広島県	広島県	近畿大学	環境	地元に戻って来やすい環境を作ることです。特に田舎の方で働く場所や、住んでいるところの近くに何もなければ、休みの日などに買い物に出かけたり、遊ぶことが難しくなると思います。遠くまで行かないと何もできないとなると出かける意欲も削がれると思います。都心の方へ皆行きたがるのは設備が充実しているからだと思われるので、遊ぶ場所の提供が必要になってくると思います。
広島県	広島県	広島大学	環境	地元が好きになるようなアイデアが良いと思う。例えば、地元県民の入場料無料の施設を増やすとか。そうすれば、興味なくても行く機会が出来て、結果として地元のことが好きになるかもしれないから。さらにそれがきっかけとなって帰ってきたいとか発展の一助になりたいと思ってくれる人が増えるかもしれない。
広島県	東京都	東京農業大学	環境	Uターンの人への給料が少し上がった、大企業になったからと言って東京に本社を移さないこと。
広島県	広島県	広島修道大学	環境	不便なところが無くなれば増えると思います。私が住んでいる地域はコンパクト型都市であるので買いたいものは一箇所で買えますし、基本なんでも出来るのが魅力的です。交通の便も申し分ないです。このような地域が増えれば増えるのでないでしょうか。
山口県	山口県	広島女学院大学	知る機会	どういった地元にしたいかアピールする。できるだけ長い目でみたときの未来予想図を具体的に知らせるべきだと思う。

山口県	神奈川県	横浜市立大学	知る機会	子供の頃から地元の会社の名前だけでもいいから知る機会を作ると将来の可能性が広がると思う。
山口県	山口県	山口大学	知る機会	都心で地方企業の合同説明会やWeb説明会を開く。インスタのライブなど学生にとって身近なツールを活用して、どこにいても見たり話したりすることのできる説明会を開く。学内のカフェや食堂などで気軽に参加できる小さな説明会や相談会を人材紹介の人などが頻繁に開催する。LINEなど、気軽に企業と連絡が取れるシステムを整える。
山口県	兵庫県	神戸女学院大学	知る機会	山口県のUターン就職を希望していますが、梅田などで行われるUターン者専用合同会社説明会などに来る会社が中小しかなくあまり魅力を感じませんでした。なので地元根付いた企業や大手の企業を知る機会がもう少し欲しいと思いました。また、交通費の助成申請のサイトを見てみましたが内容が非常にわかりにくく苦勞したので、マイナビさんのサイトから各地方の助成サイトへ繋がられるリンクなどがあれば嬉しいなと思いました。
山口県	愛知県	名古屋大学	金銭的支援	将来子供が生まれたときのことを考えて、保育などの制度が整っていると地元就職を考慮する
山口県	愛知県	名古屋大学	金銭的支援	ITだものが必要ないので、税金を安くして誘致するのが良いのかもしれない。新幹線が近ければ、都会に行くこともできるので、誘致先から駅までの距離（直線距離に限らず、バスがよく通っているなども含めて）が近いとなお良い。会社が新幹線によって都会で新しい商品を直接目にする機会を積極的に提供すると（たとえば週一回新幹線のチケットを渡すなど）、普段は良い環境で働きながら、技術を目にするチャンスがあり、それなりに魅力的になる。地方はお金をいっぱい貰っても、人や物が少ないと、そこで生きるモチベーションに直結しない場合がある。人や物に触れる機会を提供してもらいたい。
山口県	山口県	山口県立大学	環境	実現は難しいと思いますが、大学受験の際、県内出身者だけの推薦枠があったのですが、そのような、県内出身の志望者が優遇されるシステムが企業にあると魅力に感じるかと思います。
山口県	岡山県	岡山大学	環境	地元の交通の便が悪いことが、Uターンを避ける理由であるので、交通をもっと便利なものにしてほしい。
徳島県	高知県	高知工科大学	知る機会	地元を好きだと思わせることが大事だと思います。田舎だと特に企業がない、と考えてしまうので、積極的にuターン合同説明会などを開催すべきだと思います。
徳島県	岡山県	岡山大学	知る機会	特筆すべき成果を挙げている地方企業や、他にはない特徴を持つ取り組みをされている地方企業などをまとめた動画をYouTubeで広告し、優秀な人材を惹きつける。
徳島県	愛知県	豊橋技術科学大学	環境	公共交通機関をもっと発展させるべき。地元で大手企業がないため、東京に集中している企業を地方に分散させるのが望ましいと思う。
香川県	香川県	香川大学	知る機会	都道府県もしくは地域限定の就職のためのアプリ、サイトを作り、企業を幅広い知る環境を作る。また、都道府県の企業リストのような本を大学生の実家に送る。
香川県	兵庫県	武庫川女子大学	知る機会	有給インターンシップの開催、通っている大学付近で就職活動ができる、スカウト機能があるサイトからスカウトをかけてほしい
香川県	香川県	香川大学	知る機会	地元企業への就職は、その企業の知名度に大きく左右されると思います。そのため企業商品のCMなどの宣伝は効果が高いと思います。
香川県	奈良県	帝塚山大学	金銭的支援	やはり、子育て支援を充実させたり、Uターン就職での特別手当が出たりすると、希望する人が増えるのではないかと考えます。
香川県	香川県	高松大学	金銭的支援	県外から帰ってくる学生、社会人の方が館内に帰ってくる際のサポート体制を整えると地元就職をする人が増えると考えます。県外にいてもどうしても地元企業の情報が入ってこないため、従来からある地元企業の就職情報を提供するサービスの告知を今以上にする必要があると考えている。また、県外から帰ってくる際、特別な理由で実家を頼ることが出来ない人のために金銭的な意味合いも含めて住居探しをサポートするサービスを始め、地元を出てもいつでも帰ってこれるという安心感を県外に出た人にアピールする方法をとるといいと思う。
愛媛県	愛媛県	愛媛大学	知る機会	どこかの企業の下請けの会社が多くあるイメージなので、あまり入ろうと思える企業なかった。なので、業界研究フェアなどでその会社のどこが誇れるのか具体的に説明（その企業グループの傘下だから以外）すればいいと思う。
愛媛県	東京都	中央大学	知る機会	私が認知していないだけなのかもしれないのですが、東京でも地元の企業がたくさん集まる説明会があればいいなと思っています。
愛媛県	広島県	福山大学	知る機会	地域ごとに使われる生活費などの平均、各会社の年齢別(仕事歴)の給料なども知りたい。そうすれば、生活できるか想像しやすいのかも。
愛媛県	千葉県	千葉大学	知る機会	地元のコミュニティの活動・交流を活発にする。誰でも居心地のいい環境に。自然が豊かで、海が特に綺麗なので、そういった景色の良さを若いうちから知る機会があればいいと思う。
愛媛県	愛媛県	愛媛大学	金銭的支援	Uターンをする人に向けた、費用面などの就活支援制度。大学での〇〇県出身者向けなど、ターゲットを限定した企業説明会
愛媛県	大阪府	関西大学	環境	交通手段を増やしてより地域間の移動をしやすくすればよいと考えます。私の地元である愛媛県には新幹線が開通しておらず、本州、九州との行き来のに辛さを感じています。西日本で広く利用されているICOCAなど交通系カードも、ほとんどの改札に導入されていません。こういった都市部との交通格差を埋めていくことが、若者だけでなく様々な年齢層の人々を引きつけ、地元へのUターン就職に繋がるのではと思います。
愛媛県	愛知県	中京大学	環境	国が法人税を県単位で変える、また省庁を分散させる。そうすることで企業、省庁の東京への一極集中も無くなり、様々な企業が全国に点在するため地元にも有名企業の本社や支社があればUターンを希望する人も増えると思う
愛媛県	徳島県	徳島大学	環境	商業施設を増やすか、公共交通機関を充実させてもらえれば地元でも働きやすくなると思います。
愛媛県	愛媛県	愛媛大学	環境	行政による働きかけ(助成金、補助事業、PR等)や、地域で愛されるイベント(祭りや通年行事等)に企業が積極的に関わっていく方向性が重要ではと考える。
愛媛県	愛媛県	愛媛大学	環境	まずは興味を持ってもらうしかないと思うので、たくさんその地域のPRをするべきだと思う。
愛媛県	大阪府	阪南大学	環境	地元では外出先で度々知り合いに会うのが嫌だったので、娯楽やショッピングセンターなどが増えると人々の目的地が分散され遭遇する確率が減り、あまり周りを気にせずに生活していけるのではないかと考える。
愛媛県	東京都	芝浦工業大学	環境	地元の習慣が合わない人が多いと感じるので、フレックスタイム制を導入したり、自宅就業出来たりする工夫があると緩和される気がします。また、特産物やその地域の物価や住宅費などを具体的に提示することで魅力を感じさせられると考えます。

高知県	香川県	香川大学	知る機会	都会ではweb説明会が頻繁に行われているが、地方はそうではない印象が強い。また説明会自体も少なく、これでは志望する学生は地元付近の学生にとどまり、幅広い層の学生は希望しなくなるとおもう。もっと説明会を頻繁に開催するべきだと思う。また、インターンシップ自体をしないうのも多い。企業側からすれば面倒くさいと思うかもしれないが、本気でいい人材を得ようとするなら、企業側も本気で対応しなければならぬと感じる。地方に行くにつれ、企業からの就職に関する熱意が少ないと感じられる。
高知県	高知県	高知県立大学	金銭的支援	イベントなどに行く際の交通手段が少なかったり費用がかかったりすることが原因で出ていく人が多いように感じるので、交通手段を増やしたり移動の割引キャンペーンなどを行ったりする。
高知県	京都府	京都薬科大学	金銭的支援	一度都会に出てしまうと、なかなか田舎の暮らしに戻ることはできません。しかし、大人になったら帰るつもりの人も多いため、都会からの転職によって給料がもらえる制度のアピールがあればいいと思います。
高知県	兵庫県	甲南女子大学	金銭的支援	賃金や福利厚生を増やす。地域や会社ぐるみでのイベントを増やす。企業をアピールする。
福岡県	東京都	立教大学	知る機会	地元企業の東京での合同説明会をもっと増やしてほしい。地元大手企業は会う機会があったが、中小企業と会う機会が全くなかった。
福岡県	福岡県	中村学園大学	知る機会	地元には働き口があることをもっと知らせる。大学や専門学校などでもっとその地元の子が周知できるようにポスターを作ったり、求人情報を出したりする。奨学金の補助制度や家賃補助などの取り組みをして、地元で働くメリットを知ってもらう。
福岡県	東京都	一橋大学	知る機会	子供のころから企業のことを知る機会があれば、なじみの企業となりUターンする学生も増えると思う
福岡県	福岡県	九州産業大学	知る機会	就活に関して4年制大学における1年生はそれほどの興味関心がない人が多いと思う。そこで地元の企業の情報を早い段階でそのターゲットに向ける。そうすることで4年生になる前に多くの情報を持っている企業を選ぶ可能性は上がるのではないかと思います。
福岡県	福岡県	中村学園大学	知る機会	地元の大学の学内説明会や、合同説明会などに積極的に参加し、認知度をあげる。インターンシップや説明会などは、地元でも本社にこだわらず交通手段が多い集まりやすいところで行う。
福岡県	神奈川県	東京大学	知る機会	進学先の土地で3年ほど過ごすとそのでの暮らしや人間関係が出来てしまう人が大半であり、地元に戻って生活をするさまが想像できないのが、Uターン含む地元就職を考えない人が多い一つの要因に思える。東京や大阪、名古屋などの都会に進学し地方で就職した人の体験談などが地方就職のサイトなどで複数紹介されていると、地方就職でも人生有りなのではないかと思える人が増えるのではないかと。
福岡県	福岡県	久留米大学	知る機会	地元企業の詳細を知るきっかけを作る。地元企業の業界職種を幅広く提示し、様々な分野の求人をおすすめる。
福岡県	大阪府	大阪大学	知る機会	都心部において、地元の企業がたくさん集まる合同説明会を開催したら良いとおもいます。
福岡県	大分県	大分大学	知る機会	地元に戻ってくるメリットを与えたいと思います。簡単な例で言うと、その地元の市町村からお金が寄付されたりとか、手当でがでたりとかがあれば地元就職も増えると思います。
福岡県	福岡県	九州産業大学	知る機会	地元の企業が業界別に集まって、説明会をすれば人が集まると思う。福岡は郷土愛が強い人が多く、いい企業があり出来れば地元で働きたいという人が多いと思う。なのでその人が自分が働きたいと思うような企業と会う機会を一度で回れたら自分にマッチする企業に沢山出会えると思う。
福岡県	東京都	日本獣医生命科学大学	知る機会	地方ごとに分かれて地元就職をしたOB・OGの方とお話する機会があれば良いと思います。
福岡県	千葉県	日本大学	知る機会	説明会などをWebで行うようにして抵抗をなくし、面接などの会場を主要都市に固めるなどして誰にでも受けやすいようにする
福岡県	福岡県	西南学院大学	金銭的支援	福利厚生の充実。都市志向の学生は、給料や休日、福利厚生などを重視していることが多いと思う（大企業を目指しているため）。そのようななか大企業と同程度の福利厚生を用意すれば地元の企業も、都市志向の学生の比較対象になれるかもしれない。また、評価制度も重要。年功序列でなく、実力主義の評価制度のほうが、都市志向・大企業志向の学生に振り向かれるのではと。
福岡県	福岡県	福岡大学	金銭的支援	住宅手当や通勤手当、子育て支援を充実するなどを東京のに会社と同等以上の条件を提供するべき。
福岡県	福岡県	九州共立大学	金銭的支援	引越し金や住宅補助など金銭的に支援があると戻りたいと思う。引越しの荷物などの整理や職場環境の慣れなどで疲労困憊すると思うので、引越しから3ヶ月間は外食割引又無料(上限あり)制度などがあれば引越しも嫌にならないと思う。
福岡県	大阪府	関西大学	金銭的支援	地元企業に就職すれば補助金が出るようなシステムがあれば地方こ人口減少を抑えられると思う。
福岡県	大分県	大分大学	金銭的支援	交通費支給、最寄駅からの送迎有り、開催時間が午後から、出身地が地元の場合の優遇、他地域での説明会・選考会開催、など。
福岡県	福岡県	九州大学	金銭的支援	地元就職をした人に、行政が家賃補助をする。/支店や工場でもいいので、地方にも企業誘致をする。/テレワークの推進
福岡県	福岡県	福岡女学院大学	金銭的支援	引越し費用を負担や補助をしてくれたり、交通費の負担や補助をしてくれるなど、金銭面での助けはとても必要だと思います。
福岡県	福岡県	福岡大学	環境	リモートワーク推奨で、どこでも働けるようになるのであれば、企業に縛られなくていいので地元にも目が向くと思う。
福岡県	福岡県	福岡工業大学	環境	地元には縛られていると新しい発見や刺激がないので、会社として他者と関わる機会を作れば良いと思う
福岡県	福岡県	九州工業大学	環境	最先端で働きたいとなれば、どうしても大手企業の本社が集まる東京になる。分散すれば、地元企業で働こうと思う人が増えると思う。
福岡県	青森県	弘前大学	環境	地方では、東京でしかない仕事に就きたいために上京する人も多い。そういった職種で、地元で働けるようになれば地元就職を希望する人が一定数増えるのではないかと。
福岡県	福岡県	九州工業大学	環境	地方支社も、本社と同じくらいのレベルの案件に取り組めると知れば、地元で就職したいと思うかもしれない。
福岡県	福岡県	九州大学	環境	転職がない、少ない企業を増やす。地域活性化に貢献しているところであれば、それを強調する
福岡県	福岡県	西南学院大学	環境	まずは地元を拠点とした企業を誘致するために、スタートアップ企業の支援に力を入れる。また、学生に向けて中小企業も含め地元企業のPRをさらにしていくべき。
福岡県	熊本県	熊本大学	環境	具体的な案は思いつきませんが、採用の際に、「地元枠」のようなものがあつたらいいのではないかと、思います。表向きにそのような枠を設定するのは難しいと思うので、裏でもいいと思います。

福岡県	福岡県	福岡大学	環境	もっと多くの方が利用できる商業施設や他の県とは違う遊び場だったり、買い物できる場所などを取り入れることによって人が増えると思う。新しく出来たマークイズは、交通の便が不便だから初めの方は右肩上がりだったのが、今ではお客さんが少なくなつて右肩下がりだから、そのような商業施設を建設する場合は、交通の便のことも踏まえて建てることで変わらと思う。また、今でも福岡県はご飯が美味しくて、人は温かいし、多くの方が何不自由なく過ごせている反面、飲酒運転は減らないし、飲み屋街などこもあって不安な人もいると思うから、どんどん飲酒運転撲滅しようとか福岡県を活性化させていこうという意見を持つ人が増えない限り、この状況は変わらないと思う。少しでも多くの方が今しか出来ないことを今すぐやることで、もっと福岡県の魅力が他県の人に伝わってさらに良くなると思う。
福岡県	兵庫県	関西学院大学	環境	鉄道や路線をもっと活性化または、料金を安くして車などがなくても通勤できるようにするべき。
佐賀県	広島県	広島大学	知る機会	地元の企業を知る機会を増やすイベントの開催、そのイベントの知名度を大学を通して上げることが必要だと思います。
佐賀県	海外	長崎大学	知る機会	社風を見ているので、社風の良さをしっかりアピールしてほしい。インターンの積極的募集・受け入れをしてほしい。就活情報をより広範囲に発信してほしい
佐賀県	神奈川県	東京農業大学	知る機会	都会に進学してる人に対して、わざわざ地元に戻らなくても就活が出来るようになれば良いと思う。
佐賀県	佐賀県	西南学院大学	環境	福岡は郷土愛が強いので現時点で地元就職希望が多い。佐賀はもっと企業の支店、支社数を増やさなければならぬと思う。
佐賀県	神奈川県	明治大学	環境	地域活性化が必要だと思います。地方は交通の便が悪かったり、ショッピングモールも悪かったりするし、友達も職場の人がほとんどになってしまうから。
長崎県	長崎県	長崎大学	知る機会	私の出身地は大阪府で、今は長崎で生活しています。以前から出身地である大阪、あるいは関西圏の会社の就職を考えていました。しかし九州で行われる合同説明会やインターン、ナビサイトのイベントは全て九州地方が本社の会社で、大阪や東京が本社の会社はわざわざ現地まで行く必要があったり、交通費宿泊費等が高くなかなか参加できませんでした。地方大学に住んでおり、就職は東京や大阪といった首都圏が地元の方もいると思うので、そういう方向きのイベントを開催してほしいです。
長崎県	長崎県	長崎県立大学	金銭的支援	完全週休2日制や基本給を各都道府県の平均を上回るものだと、地元で働いた方が仕事とプライベートを充実させられると思ってもらえると思う。
長崎県	兵庫県	神戸学院大学	金銭的支援	Uターン就職した人には、なにかしら得がないとUターン就職の割合は増えないのではないかと考える。現在でも、奨学金が一部免除になるなどがあるが一部ではなく半分免除にする、一人暮らしの人には家賃手当をする など目に見えた援助があれば希望する人は増えるのではないかと考える。
長崎県	佐賀県	佐賀大学	金銭的支援	地方の活性化が必須。生活する上で娯楽となるようなものがある街に住みたいと感じる。また街並みがきれいだと住みたくなる。あとは収入が多いこと。
長崎県	長崎県	長崎県立大学	環境	交通手段が本当に少ないので、交通手段がふえれば、若者ももっと地元にしゅうかつしたいと思うようになるかもしれない。
長崎県	長崎県	長崎総合科学大学	環境	地方が都会並みに交通の便がよくなり、クレカ決済などのシステムが普及し、東京の人間が地方に来て最低限不便なく暮らせること
長崎県	長崎県	長崎純心大学	環境	私は、接客業こそが、地元の企業を発展させていく仕事になると思います。多くの観光客が訪れる場合、接客業を通して、地元の良さを伝えていけるから。
長崎県	愛知県	愛知県立芸術大学	環境	地元大学と企業がもっと提携したりすればいいと思うけど、まずそれぐらいじゃ無理かなと思う。そもそもわたしの地元はデイサービスばかりが増えていきます。その様子を見る限り、特に年に1、二回程度しか帰省しない私には、早急の雇用問題は福祉サービスの人員にあるように思えてしまいます。完全な後期高齢化社会のディストピアのようになっていて、私、ここで何ができるの？という気持ちになります。特に私は企業、会社への就職を希望していますが、美術を勉強してきたので、それを活かせるアートシーンやエンターテイメント産業が活発でない地域にはそもそも帰ることができないと思います。
長崎県	福岡県	福岡大学	環境	私の実家は五島列島という小さな島です。そのため地元就職というのは厳しいと思います。やはり、小さい島では自分の学びたいことやスキルを学ぶには不便すぎます。しかし、本土と簡単に行き来できる手段を作れば地元就職は増えると思います。
長崎県	長崎県	長崎総合科学大学	環境	現在地元企業で就活をしているが自分がやりたい職種が少なく、なにより等しいので新たなビジネスモデル、新たな企業を設立して欲しい
長崎県	山口県	山口大学	環境	私の地元には、福利厚生施設は多いものの、若者が楽しめる施設が少ないと感じます。プライベートも仕事も両立したいと感じる人がUターン就職を希望する傾向にあると思うので、プライベートを充実させるためのレジャー施設やショッピング施設を増やすことで、希望者は増えていくと思います。また、通勤用の交通手段も限られているため、より交通の便が良ければ希望者を増やせるのではないかと感じます。
長崎県	長崎県	長崎大学	環境	古い体質の企業、成長性を感じられない企業が多いように思われる。若い人が成長できて、新鮮な雰囲気職場環境をもっと作ってほしい。
熊本県	大阪府	大阪学院大学	知る機会	地元でなく県外などでもスムーズに就職活動ができるシステムや窓口などがもっとあればいいと思う。
熊本県	熊本県	長崎大学	知る機会	地元の魅力ある企業を増やすことや、他県の学生が地元の企業を知る機会を得られる合同説明会などを開催する。
熊本県	神奈川県	専修大学	知る機会	自分自身の場合地元に戻れる距離ではないので、地元に住んでも情報を得る機会がもっと多いと良いと思います。
熊本県	熊本県	東海大学	知る機会	地元で就職を希望する人を増やすには地元の良さをアピールして、就職する人が就職しやすい環境作りをすればいいんじゃないかと思います。私の地元は熊本で、九州ではまあまあ規模が大きい県だと思っていますが、周りの人たちが住んでいると熊本よりも福岡の都市部に就職を希望してる人の割合が多い感じがします。福岡は熊本と比べると公共交通機関やいろんな施設が整っており住みやすい環境になっていると思います。でも、熊本の方が自然は豊かで食べ物も美味しいし、水道水も美味しいです。公共交通機関は田舎だと不便なこともあるけれど、自家用車を持っている人が大半だからそこまで不便はしません。挙げてみると、地元で生活するには申し分無いと思います。このようににアピールして興味を持たせて、職場の雰囲気をインターンシップ等で知ってもらえれば地元就職を希望する人が増えるんじゃないかと思いました。
熊本県	熊本県	熊本大学	知る機会	地元に戻ってくる人が増えるよう、説明会などを増やす。また、奨学金や住居手当など金銭的にもサポートする。
熊本県	神奈川県	東洋英和女学院大学	知る機会	地元の大学には合同説明会などの情報は行っているけれど都市の大学に行っている人には情報が全く入っていないから、会社ごとに地方勤務がある所は合わせてWebで紹介する。そして、合説の予定なども各都道府県の情報を見つけられるようなサイトを設ける。
熊本県	福岡県	西南学院大学	知る機会	地元の良さ(環境・風土、経済・人生設計等)を全面にアピールしつつ、地元企業を特集した情報誌を多くの大学に設置しておくこと。また、その地元出身の学生向けにDM便で情報誌を送ること。

熊本県	福岡県	九州大学	金銭的支援	都会に比べて給料が低く、優秀な大学生は基本的にプライドが高いためそのような企業を志望しない。したがって、企業的には厳しいと思うが給料をあげるしかないと考える。
熊本県	長崎県	長崎国際大学	金銭的支援	・Uターンすることで奨学金の返済を援助して貰えたりすると嬉しいと思う。・地元の人 が地元就職することで企業や、その地域が活性化し、就職した人が実際どのように 貢献しているのか知れる機会があると良いと思う。・他の県(近郊の県)でも説明会を もっと積極的に開催すると良いと思う。
熊本県	神奈川県	明治学院大学	金銭的支援	Uターン先が遠い人の為にも就職活動が始まった際に、一部交通費を負担すると人が集 まりやすいと感じます。少しでも負担してくれると企業に対しての好感度も上がる し、良いと思います。
熊本県	山口県	山口大学	環境	希望業界、希望会社の支社ができる。またはテレワーク、リモートワークが進まない と難しい
熊本県	福岡県	福岡大学	環境	私の地元は、高齢化がかなり進んでおり、子供が少ないので学校廃校が進んでいま す。なので、地元で働くとなると福祉施設が主となってきます。そこで、これから伸 びる企業、安定企業を立地することで、もっと就職者が増えるのではないかといいま す。生活に関しては、何も問題なく住みやすいので、若者が希望する職種にめをむけ たらいいと考えます。
熊本県	熊本県	長崎大学	環境	フレキシブルに働く場所や内容を希望により対応できる企業の支社が地元にてできる。 都会に出たくなったら出れる環境があれば先ずは地元で就職してからでいいと考える 人が多そう
大分県	千葉県	大正大学	知る機会	Uターン希望者はweb面接などを行っていただければ交通費や移動の時間短縮につなが り、都市と地元両方で就活している人も地元企業の志望度が上がるのではないだろう か。
大分県	長崎県	長崎大学	知る機会	地元を離れた大学にいと、そもそも地元企業を知る機会が少ないので機会を増やす ことから始める。
大分県	兵庫県	武庫川女子大学	知る機会	地元の魅力を発信できるSNSを作る。交通費など出してくれたら、いろんな企業に行け る。
大分県	大分県	立命館アジア太平洋大学	知る機会	地域に根付いた有名な企業(地銀やスーパーなど)であれば、インターンや説明会であ る程度人を集めることができると思うが、その他の中小企業では厳しいと思う。オン キャンパスリクルーティングの利用や、大学の合同説明会やパンフレットの輸送など で、まずは学生の目にその企業の名前が入ることが大切なのではないだろうか。
大分県	佐賀県	佐賀大学	知る機会	スカウトのような求人を増やすことで、自分が地元で必要とされているんだと感じ ることができ就職のきっかけにつながると思います。地域の強みを発信する(ストレス がないこと、家賃が安いこと、直接的に地元を救えるというやりがいがあること)
大分県	福岡県	近畿大学	金銭的支援	地元での就職したい学生に対してのサービスをさらに増やすと希望する人も必然的に増 加すると思う。
大分県	大分県	大分大学	環境	企業の本社が東京に集中しすぎているため創業者の出身地等に本拠点をおいて、日本 を支えるような会社であって欲しい。そうすることによって、地元の活性化やブラン ド力というものが生まれると考えている
宮崎県	宮崎県	宮崎国際大学	知る機会	大学で企業説明があると、知らなかった企業に出会えることもあるためその企業を希 望する人が増えると思います。
宮崎県	大分県	日本文理大学	知る機会	まずどんな職種があるのかをアピールすること。でも田舎だとよくあるブラック企業 が多いから協力しないところも多いんだと思う。だから大きめの企業が主催の地域密 着型のインターンを開催するのがいいと思う
宮崎県	鹿児島県	鹿児島大学	知る機会	地元で生活する上で役立つ情報や、都市部で生活するよりもどれだけ安いか伝えると 良いと思う。
宮崎県	東京都	上智大学	知る機会	選考会を他の都市(特に東京、大阪など)で開く、もしくはWeb選考は有効だと思う。 私自身、地元の企業についての知識が全くなかったので、出身地側から就活生に対し ての情報提供が必要だと感じる。実際にUターン就職をした社員がどうしてその決断を したのか、都市に出て行った就活生が最も興味を持つ点だと思う。そのため、実際 にUターン就職をした社会人から話を聞けるような説明会や座談会は大変興味深いと、 私自身感じる。
宮崎県	東京都	武蔵野美術大学	金銭的支援	地元比べ都市部のほうが働く環境が整っているのは当然だと思いますが、希望する 職種の確保や給与を都市部と同じ水準にしたら地方で働きたい方も増えると思いま す。特に、新卒ではなくてもフリーランスの方で場所にこだわっていない方は地方に 住みたい方が多い印象を受けます。
宮崎県	福岡県	福岡女学院大学	環境	私の地元は交通機関が全く機能しておらず、自家用車が必ず必要なのでバスや電車、 新幹線などが発達すれば皆利用するし地元で就活したい学生も増えると思います。ま た、奨学金返済の免除や住居地費用のサポートなど、お金の負担を減らすことも良い と思います。
宮崎県	熊本県	熊本大学	環境	企業の本社や支店を都市部以外にも置く。企業を増やすことでやりたい仕事を見つけ やすい。
鹿児島県	福岡県	福岡女学院大学	知る機会	地元優良企業について知れるようにWebセミナーを行ったり、インターンシップを行っ たり、学内セミナーを行う必要があると考える。そうすれば、少しは知名度が上がる と考える。
鹿児島県	大阪府	追手門学院大学	知る機会	地元にある企業をそもそも知らないという人が多いため、まずイベントの参加回数を 増やす、snsアカウントの作成、YouTube等あらゆる媒体を通じてどのような企業があ るか、どのような街なのかをアピールするなど
鹿児島県	鹿児島県	鹿児島大学	知る機会	結婚などでも帰りやすいように転職者を積極的に受け入れる企業などを紹介するサー ビス。
鹿児島県	兵庫県	神戸市外国語大学	知る機会	・地元企業を知る機会を増やす 一例えばアプリであれば、出身高校を登録させ、出身高校がある都道府県を地元と し、その学生宛に地元企業の説明会などの情報を送る 一都市の大型イベントに地元企業が出展する ・私は勤務地にこだわりがないので、そもそも「地元企業」というアプローチでは響 かない、見に行かない。 ・Uターン就職したくないというよりは魅力的な地元企業を知らないこと、帰省してま でいきたいと思うほど魅力が伝わらないことや、日程が合わないことが問題でUター ン就職を考えていない。特に本選考に関しては現地で選考が進む場合かなりの出費とな るのでなおさら候補に入れづらい。web化は避けられないかも？
鹿児島県	長崎県	長崎大学	金銭的支援	地元就職すれば、助成金が交付されるなどの施策をつくる。地方企業はPR不足だと感 じるので、魅力が伝わるようにPRを充実させる。
鹿児島県	鹿児島県	鹿児島大学	金銭的支援	交通網の発達、給料の向上、ライブや展覧会等のイベントの開催や増加、都心へ行く ための交通費の補助
鹿児島県	東京都	首都大学東京	環境	交通の利便性が改善されると良いと思う。東京など都市部に進学すると、自動車運転 の機会がなく、地方の地元での暮らしに不安がある。

鹿児島県	山口県	下関市立大学	環境	JRの在来線が停車駅を増やしたり、本数を増やしたり、路盤改良して速達性が増すほか、路面電車が市中あらゆる所にまで延伸してくれば、商業施設や交通アクセスもよくなり、住みたい街ランキングの上位にくい込むのではないかと？そうすれば地元で就活したい人が増えると思う。
鹿児島県	神奈川県	女子美術大学	環境	店舗を都会や栄えてる県のみならず、地方にも展開するべきだと思います。そこに地域限定職やエリア職の制度も作るとUターン希望が出やすいのかと思います。
沖縄県	沖縄県	沖縄キリスト教学院大学	知る機会	地元の働きやすさとかを他の県とか比べたりとかCMとかであたたかみがあって、地元に戻ってきたくなるようなのを映像として出す。
沖縄県	愛知県	愛知学院大学	知る機会	地元企業の情報を得る機会が少ないように感じるため、Webを利用した説明会や特集、広告などで、目に情報が入るきっかけが増えるといいのかもしれないと思います。
沖縄県	沖縄県	琉球大学	知る機会	地元の企業が集まる合同説明会は大切だと思います。コロナが落ち着いたらまた開催していただけると助かります。また、大学で開催される就活講座等で業界マップのようなものを、各都道府県別に作っていただけると助かります。地域別ですと、どうしても都会に偏るのでほとんど参考になりません。地元の企業のことを全く知らないため、県外へ目を向ける学生もいると思います。
沖縄県	沖縄県	琉球大学	知る機会	複数の地元企業の方が毎年夏頃学校に来て、2・3年生をターゲットに仕事のプレゼン会を行う。また来てくれた学生に後日社内見学ツアーと、座談会を行う。仕事のプレゼン会を行う際は人数を限定し、抽選で何か当たるプレゼント企画をする。
沖縄県	東京都	亜細亜大学	知る機会	都道府県別のWEB説明会又は都心での説明会を行なっている企業をまとめたサイトを見たいです。また、地方と都心での給料や生活費の平均相場を比較したいです。
沖縄県	千葉県	和洋女子大学	金銭的支援	地元では給料が低かったり、理系の方が働けるような企業が少ないため、支社を増やしたり、県外大学出身者に補助が出ると主にUターンで地元就職をする人が増えるとか考えられる。県外大学に進学した人は奨学金を取ってる人が多いため、奨学金返済の対応策を取ると増えると考えた。
沖縄県	沖縄県	沖縄国際大学	金銭的支援	給料の差をつけない。住宅手当を地元の人にも与える。就職説明会で、地元の貢献率などを説明し、県外の人と差をつけた募集をする。
沖縄県	沖縄県	琉球大学	環境	沖縄県は観光業に力を入れており、観光産業は発達しているが、理系向けの業種は少ないように感じる。よって本気で理系就職したい人は、県外に出なければならない。就職活動においても同様であるが、県外での活動、就職には金銭がかかるため、理系業務ができる場所（研究所など）を沖縄にも設立することにより、理系人材も県内での地元就職を希望する人が増加するのではないかと。
海外	東京都	東京学芸大学	金銭的支援	地方の企業の待遇やUターンしてくる学生への支援があれば惹かれると感じる。例えば引越越し支援や都会に負けない賃金など。また、夏の採用などがあればもっと就職活動しやすいと考える。

2021年卒マイナビ大学生 Uターン・地元就職に関する調査
(30)あなたの地元で、地元(Uターン含む)就職を希望する人を増やすためのアイデア【自由記入】
※学生の記入した回答をそのまま掲載

自由記述全2,026件のうち、40文字以上の記述753件を抜粋して記載。
学生の記述は大きく以下3つの分類に分けられた。

- 知る機会: 330件(全件: 700件)
合同企業説明会／WEB説明会・WEBセミナー／他、PR施策など
- 金銭的支援: 185件(全件: 687件)
給料／交通費支給／住宅手当／奨学金／福利厚生充実 など
- 働く環境・交通環境など”環境”: 238件(全件: 639件)
テレワーク・リモートワーク／交通の便 など

卒業高校 都道府県	現住所 都道府県	進学先大学	分類	あなたの地元で、地元（Uターン含む）就職を希望する人を増やすためのアイデア
北海道	北海道	函館大学	知る機会	地元企業について知る機会を増やす。地元で大きな合同説明会を開き、説明会をやることを周知するように努める。合同説明会を開いても、大学のキャリアセンターに伝わらなければ人が集まらないから。私の大学のキャリアセンターは全然動いてくれないため、自力で探すしかない。就活サイトに登録することでしか情報を得ることができないから、合同説明会の回数を増やすか、合同説明会を開催することが広く宣伝してほしい。
北海道	北海道	北海商科大学	知る機会	地元出身の就活生に対して、郵便やメールなどで地元にある会社の情報を提供してもらうと地元会社を調べてみようと考えるのでそれで興味を引く可能性があるので地元就職を希望する人が増えてくると思います。
北海道	埼玉県	東洋大学	知る機会	北海道が地元のため、道内を移動するだけでも交通費がかかります。そのため、WEBセミナーや出張説明会なども行い、できる限り広範囲の人に企業の情報を届けることが大切だと思います。
北海道	岩手県	岩手大学	知る機会	説明会から面接などの選考を全て行う。そして、内定後直接会う機会を設ける。または最終面接は交通費支給。
北海道	神奈川県	青山学院大学	知る機会	まず情報が集めづらく、交通費などの懸念点がある。よってその地元の合同説明会をWebで行うべき。
北海道	北海道	札幌大谷大学	知る機会	選考に進むために、企業説明会を必須にしている企業はweb説明会などを積極的に取り入れてほしい。また、東京での就活を目指していたので、コロナの騒動が収まるまで、今年の就活時期を遅らせるもしくは二次募集などをかけることを検討してほしい。こらからの5.6月に面接などの日程を組んでいる企業が多いが、現在アルバイトに入っていない学生も多くいると思う。費用を調達するのに時間が必要である。費用を負担してくれる募集はあるが、少しでも元手がなくては始められない。
北海道	東京都	早稲田大学	知る機会	今年は特にコロナウイルスの影響で説明会などが多くキャンセルになりました。そういうときには、WEBなどで積極的に説明会を行なって欲しいと思いました。また、北海道まではとても交通費がかかるので、交通費を少し負担してもらえればもっと多くの人が活動しやすいと思います。
北海道	北海道	釧路公立大学	知る機会	まず、地元について知る必要があると思う。企業よりもまず、その地元の良さを広めるべきだと思う。それからはその地域の企業が集まる合同説明会を都会で開いたり、遠いところからは来づらいため、ウェブの説明会を増やすこと、企業特集として、地元の企業を集めたパンフレットを、学校や自宅に提供したりすることが必要だと思う。
北海道	北海道	北海道大学	金銭的支援	まず、企業が東京や大阪などの大都市に集中している問題を解決する必要がある。そのためには、北海道という土地柄を存分に活かしたアピールをしなければいけない。また、物流面でも北海道は優れていると考えられるので、そういう面もアピールすると良い。顧客の多い都市部に企業が集まると営業等もしやすいと考えられるが、今はWEB会議などオンラインでやりとりできるツールが発達しているため、そのようなツールを活用すればどの土地にいても顧客とのやりとりは可能になると考えている。さらに、地元就職をする人々への支援も手厚くして欲しい。例えば、住宅費支援などの金銭面で。都市部の企業は給与面で非常に地方の企業と差があるため、そこに人が集まらないのだと感じている。さらに、彼（彼女）への待遇もあると非常に助かる（できれば）。
北海道	京都府	立命館大学	金銭的支援	高校生の時期から就職活動について意識させる。その際、地元自治体や地元企業の協力してもらう。そもそも知らなければ選択肢にならないので、将来的に選択肢に入るようにするために行うことに一定の効果があると思う。
北海道	北海道	北海道大学	金銭的支援	難しいが、地方と都市の待遇の差をなるべく少なくすることが必要であると思う。また地元の密な人付き合いも難しいところがあるので新しい企業である方が気が楽である。
北海道	北海道	北海道教育大学	金銭的支援	学歴に見合う待遇で働ける企業が増える。自分の地元は大卒も高卒もほとんど変わらない待遇、そしてその大卒といわゆるFラン卒なので、彼らと同じような待遇で働きたくない
北海道	北海道	北海道大学	金銭的支援	地元就職の際に、住居手当などの引っ越しなどに関わる費用を補填してもらえる制度があると良いと思います。
北海道	神奈川県	東京都立大学	金銭的支援	北海道へ行くにはほとんど飛行機を使わなければならないので、交通費が高い。なので交通費を少しでも援助して貰えると説明会等に行く機会が増えて良いと思う。
北海道	鹿児島県	鹿屋体育大学	環境	リモートワークなどがもっと簡単に行えるような環境になったり、特定の業界が特定の都道府県に集約するのではなく、全国に散らばるようになり、地域だけの合同説明会だけでなく、色々な地域の合同説明会に参加することで、地元から遠く離れた大学に通ってる人からするのいいと思いました。
北海道	北海道	北海道大学	環境	有名大企業が本社を継続的に設けるのであれば、自分も含め地元就職を考えるかもしれない。
北海道	広島県	広島大学	環境	観光業が盛んなので、観光業の働き方が改善されれば給料もよく、人が集まると思われます。
北海道	北海道	北海道大学	環境	東京に様々な企業の本社が集中しすぎているため、地方だとめばしい企業がないように感じてしまう。東京への一極集中を避けてほしい。
北海道	長野県	信州大学	環境	技術系が活躍できる企業の研究所を増やして欲しいです。地元だと選択肢が少なすぎて、就職が難しいかもしれません。
北海道	北海道	札幌大学	環境	地元が北海道で、広い土地のため勤務地も沢山ある企業があると思います。できるだけ、働く人の希望に合わせて勤務地を決めるのが良いと思いますし、転勤を伴わない勤務がベストだと思います。

北海道	宮城県	東北大学	環境	北海道自体、広いのでこの市町村に企業が誘致されても地元からは遠いと思う。交通の便、またはテレワークが大いに推奨されないと私の希望のメーカー職は無料だと考える。
北海道	北海道	北海道大学	環境	道外企業の支社を北海道に置いて、希望がなければ転勤なしにする、またはテレワークを徹底する。
北海道	北海道	藤女子大学	環境	東京ばかりに活躍している企業が集結しているため、もう少し地方にもそのような企業を置けると良いだろう。つまり、地元でも活躍できる場所があるというのはとても大切。
北海道	北海道	北海道大学	環境	地元就職を希望する人は、転居を伴う転勤をあまり望んでいないと思うが、北海道だと道内での転勤でも、どうしても転居が必要になることがあるため、希望する人に向けて、もっと範囲を絞ったエリア職のような募集が増えるといいと思う。
北海道	北海道	藤女子大学	環境	結婚後、配偶者の都合に合わせて勤務地を特定できる制度があると助かる。北海道内の転勤は範囲が広すぎて、何も無い田舎に転勤になった時の影響が大きい
北海道	北海道	函館大学	環境	まずは、職種を増やすことだと思います。特に観光地なので観光業が盛んではありますが今のご時世ですから、影響されやすいので偏った職種ばかりではなく幅広く在るべきです。さらに、地元ならではの娯楽施設を増やすことも大切だと思います。何も無いところは魅力を感じないし、仕事がない休みの時に地元で娯楽を楽しめないのは少し残念です。
北海道	北海道	北海道教育大学	環境	テレワーク、リモートワークの推進。それらに伴う知識をもっている人材の配置、もしくは人材育成
北海道	北海道	北星学園大学	環境	私の住む北海道では、人口や自然のバランスがとても良く非常に住みやすい地域だが、東京に比べて劣っているところといえば物流、人の移動のし辛さ、情報の遅さです。情報の遅さに関して言えば、5Gなどの新技術などにより改善されつつあるが、物流や人の移動のし辛さは問題で、北海道の地下鉄・バス運賃は東京などと比べて非常に高く、もっと交通インフラを整備することや、移動のための手当てなどが必要なのではないでしょうか。手軽な移動環境が整えば、北海道の自然豊かな環境は武器になり、UターンだけでなくIターンも増え、より北海道の経済は豊かになるのではないのでしょうか。
北海道	北海道	東京農業大学	環境	企業自体が少ないので、アドバイスも何もない。東京一極集中を失くして、企業が地方に分散するか、自身の地元で起業するしかないと思う。希望する人を増やすことは、地元が好きと思えるような街づくりから始める必要があって、私達がアドバイスできる立場にはないと感じる。
青森県	千葉県	和洋女子大学	知る機会	私は東北出身で現在関東の大学に通っていますが、あまりにも東北地方の企業の情報が少なすぎます。CMで放送したり、就職サイトのHPで大きく掲げる(地方の良いところも詳しく載せる)などしてくれないと都心に出ている学生は地方の良さが分からないと思います。
青森県	宮城県	仙台白百合女子大学	知る機会	希望する企業が同じ日もしくは、連日に説明会等を行うことで、金銭面でも予定を立てる上でかなり参加しやすくなると思う。
青森県	北海道	札幌市立大学	知る機会	説明会の会場をイベント会場で行うことも効率的で良いとは思いますが、その企業の特徴や雰囲気がかかるような場所で開催すべきだと思う。例えばハウスメーカーなら、モデルハウスやショールームで行うなど。
青森県	青森県	青森公立大学	金銭的支援	給料を上げる。企業情報をもっと拡散させる。企業情報がアバウト過ぎて具体的な事(仕事内容等)がわからない点が多いから、そこを改善して学生に興味を持ってもらう。企業の認知度を上げる。
青森県	宮城県	東北医科薬科大学	環境	メーカーや商社の支社などがが増えないと大学で学んだことを活かせる企業がないと言っても過言ではない。また、地元の友人とは仲が良いがその友人と娯楽を楽しむような場所もない。大学でそこそこ都会に住んでいるため、不便でやりたいことも出来ず息抜きをするような娯楽施設もない、給与も高くない、このような現状では地元就職するのは難しいと思う。私自身地元は嫌いではないし、たまに帰ると安心する場所ではあるが、たまに帰るから良いのであって、都会で経験できることや得られることは地元の何倍もあると思う。都会の方が色々な面で刺激を受け、自分のキャリアアップに繋がる経験ができる、地元ではそれが出来ない。地方は家賃が安いので、そこに重きをおいている学生は地方就職でも良いと考えていると思う。現在地元就職を希望している人は地元への愛があり、地元でやりたいことができる人、または職種に特にこだわっていない人が多いと思う。理系で研究をしている人、院卒の人はその道に進みたいと考える人が多いので、そのような人たちが活躍できる場がもっと多くなると、給与も都会と同等の額もらえること、また地元自体が活性化することが求められると思う。
岩手県	岩手県	盛岡大学	知る機会	もっと地元企業にマイナビ等ナビサイトの活用を促すべきである。今の学生はマイナビ等ナビサイトをメインに活用して就職活動をしているにも関わらず、地元の企業ほどマイナビ等のサイトよりも地元の団体主催のイベントに力を入れている企業が多いと感じた。地元のマイナビ等のナビサイト主催の合同説明会でアリーナに行った際、ブースがアリーナの4分の1以下でしか開催されておらずがっかりし、その時は仙台や関東の活気に影響を受け、地元での一般企業の就職は考えられなかった。これはマイナビ等ナビサイト側にも問題があると感じる。今の学生はマイナビ等ナビサイトをメインに使っているということを企業に強く訴えるべきである。
岩手県	秋田県	秋田大学	知る機会	地元の特色あるような仕事はマイナビなどの就活応援する企業に登録してないように思える。職人などに憧れる人は少なくないと思うので、そういう職種でも職場体験や見学など積極的に関わられる機会があると良いと思う。
岩手県	岩手県	岩手大学	知る機会	地元企業を知る機会がなかなかないので、地元企業が集まる合同企業説明会を学内で開催して欲しい。
岩手県	山形県	東北公益文科大学	知る機会	・高校の時までに地元で活躍する若者と話す機会をたくさん設ける。(実際に私は山形県の実行委員としてこの活動を山形県庄内地域でしております。) ・地方自治体で各種奨学金返済補助等の助成金制度がありますが、その種類や上限額を上げる。
岩手県	宮城県	東北大学	金銭的支援	地元でそのまま就職する女子を増やすならやはり子育て支援の充実かなと思います。Uターンを増やすなら職自体が希望するものでないと戻るまではしないだろうと思うので、工場ばかりでなく研究所など都市部に多いものが多少増えればと思います。
岩手県	岩手県	岩手大学	金銭的支援	私の地元は田舎で給料も比較的安めの設定なので、福利厚生などを充実させて生活しやすい環境を整える方が大事だと思う。
岩手県	新潟県	新潟大学	環境	自分の地元は広いが使われていない土地が多過ぎる。工場なり研究機関を設置すればもっと人を呼び込めると思う。
岩手県	岩手県	岩手大学	環境	大手企業のグループ会社や支社があると、地元へ貢献したい人が就職しやすくなると思います。

岩手県	岩手県	岩手大学	環境	安定した雇用や収入、子供が生まれた時にも確実に子育てできる環境があること。働くものが片親だけであっても十分に家族が生活出来る収入は地方は特に地縁や血縁重視である傾向のため、人の繋がりを作りやすい環境作りは新規参入や一度土地を出たものにとっては就職の足がかりになったり、帰ってきやすかったりするのではないかなと思う。
宮城県	宮城県	東北福祉大学	知る機会	各地域毎に合同企業説明会を開催する。自分の地元では職がなかなか見つからず、合同企業説明会を開催して欲しいと切に感じたため。
宮城県	宮城県	東北工業大学	知る機会	地元で働くメリットやイメージをわかりやすくすることが一番大切だと考えます。地元より都市部で働く方がイメージがものすごくよい（特に親世代）為どうかそのイメージを払拭していけることが大切。
宮城県	宮城県	宮城学院女子大学	金銭的支援	車支給や車購入の補助金など地方に合わせた必需品のサポート。また、テレワークの推奨を勧める。1日デスクワーク多いところはペーパーレスを推し進めながら対応。但し、アナログ派であったり、ペーパーレスの導入が難しい場合はその限りではない。
宮城県	北海道	酪農学園大学	金銭的支援	給与がいいか、待遇がよくなると増えると思います。何か目立つことがやりたいや大企業につきたい人は地方で働くにしては少し不利な気がします。
宮城県	神奈川県	専修大学	金銭的支援	なによりもまず給料を上げることだと思う。いくら生活にかかる費用が少ないと言っても低すぎる
宮城県	岩手県	岩手大学	金銭的支援	社宅制度や家賃補助制度を設ける。または給料を上げる。地元は車が必要となってくるため、家賃に加え車にかかる費用を払うとなると生活が苦しくなりそうだから。
宮城県	宮城県	東北学院大学	金銭的支援	福利厚生をもっと充実させて、田舎というイメージを払拭出来れば、就職希望の人が増加すると思います。
宮城県	宮城県	東北学院大学	金銭的支援	給料が安い。給料を上げるべき。地元就職(新卒以外)した人に対して減税や奨学金肩代わりなどであると嬉しい。どこで働くにしても税金が高すぎる。生きるために働いているのになぜこんなにも搾取されないといけなのかな。働いても働いても貯金ができない。
宮城県	新潟県	新潟大学	環境	人口現象を逆にとり、手当等を出して港付近の土地を空け、コンビナートを形成して製造業の工場や研究所及び各種発電所等を誘致する。観光資源として温泉を利用するだけでなく、クリーンエネルギー源として利用し、地熱発電所を誘致する。
宮城県	東京都	一橋大学	環境	単純に産業を興して下さい。恐らく求職者の数に対して相応の給料が貰える民間企業が余りにも少なすぎると思います。
宮城県	東京都	電気通信大学	環境	メーカーの研究、事業所を誘致する。それだけで全てが解決すると思います。これは、強く主張していきたいです。
宮城県	宮城県	東北学院大学	環境	大企業は大半が首都圏に集中しているため経済都市と主要都市、工業都市など海外と同じ都市計画をしたほうがいい。
宮城県	宮城県	東北生活文化大学	環境	生活はしやすいが、働きたい企業が少なく、どこにいくのも不便なので、就職は地元にして、住むところは限定しないと増える可能性はあるとおもいます。
宮城県	岩手県	岩手大学	環境	働ける業種を増やすことが第一だと考える。実際に私は仙台出身だが、地元である仙台で働こうとは思わなかった。理由としては仙台が基本的に支社が多いとしてあり、業務拠点にしている企業が少なく、特に自分の働きたいと思った化学・生物分野における募集が少ないからである。全く募集がない訳ではないが、特に仙台ではこの分野は東北大学が有利であり、一地方大学出身者としては積極的に採用していただけないだろうとも考えているためでもある。
宮城県	佐賀県	佐賀大学	環境	自分が地元から出たい理由としては趣味に関するものを購入したりとイベントに参加したいと考えた時に地元からイベント開催地(主に首都圏)へいどうすることに労力と時間をかけることに苦痛に感じるためです。仕事もきちんとこなしつつ成長しつつ趣味も大事にするためには余計な時間や労力をかけたくないという考えです。その意味では地方でも様々な趣味のコンテンツが地方でも受けられれば少しは自分の気は少しは変わります。
宮城県	宮城県	東北学院大学	環境	私は、地元を活性化させ地元に住みたいと思わせることにより、地元就職を希望する人を増やすことができると考えています。地元を離れて就職する人の多くは、都会への憧れがあるからです。そのため、地元を活性化することで、都会への憧れが薄まり、地元での就職を考えるきっかけになると考えます。
宮城県	宮城県	東北大学	環境	企業誘致を行う。中でも、成長産業であるIT系の企業を誘致する。また、シェアオフィスを建てて、大企業でテレワークをしている人々を呼び込むことも、一つの方法と考える。
宮城県	宮城県	東北学院大学	環境	再開発事業などがもっと活発になり、その地域に大きい仕事があること。地域が活発であること
宮城県	宮城県	東北学院大学	環境	仙台は住みやすい為、大手企業が支社などをたくさん出せば、わざわざ東京に行く人は減ると思う。
宮城県	宮城県	宮城大学	環境	都心の業務をリモートで地元で可能で、さらに勉強会やキャリア相談などを地元でできる。
秋田県	岩手県	岩手大学	金銭的支援	Uターン就職する、もしくはした学生に対して補助金制度など、何かしらの援助が必要であると思う。Uターン就職を希望しない理由の多くは就職先が少ない、賃金が低いということであると思うから。
秋田県	秋田県	秋田県立大学	環境	地元に関わり合い取り組みや若者が活躍できる場所ができる。若者が遊んだり集まったりする場所ができて欲しい。
秋田県	愛知県	名古屋大学	環境	私は特に勤務地にこだわりがなく、かつ志望するメーカーは比較的地方に拠点があることが多いです。しかし私の地元には希望する企業の拠点がないため、それらの企業が研究所などを建設すれば地元就職も前向きに考えます。地元では多くの商業施設(スーパーなど)が潰れていき、何も無い土地が増えてきています。その土地を活用して拠点を作り、かつ中心市街地や駅へのアクセスを良くすればUターンもIターンも増え、経済も活発になるのではないかなと思います。また、地方に住むことで成長機会を失わない取り組みも必要だと思います。海外勤務も希望すれば出来て、かつ都心で行われる研修にも会社負担で参加させてもらえると良いと思います。地元で就職する人は一戸建ての家を買って家族と暮らすケースが都会より多いので、住宅補助などの費用面はもちろん、同じ会社に務める社員の家族間の交流もあると魅力的だと思います。
秋田県	岩手県	富士大学	環境	若者が住みやすい環境を整え、若者を呼び込む。空き家を利用し移住施設を充実させ都市部の人に売り込んでいく。
秋田県	神奈川県	神奈川大学	環境	働く企業の選択肢が少ないので、地元の企業が増えると良い。また、関東で就職活動ができて、地元の支店で働けると地元に戻りやすい。
秋田県	秋田県	秋田大学	環境	幅広い企業が地元で展開する。営業所や窓口としてだけではなく、企画や運営、制作なども行えて、自分も会社の一員として働いている、力となれるような機能をもった支社を置く。
山形県	奈良県	奈良女子大学	知る機会	Uターン向けの情報をもっと大学に伝えるか、高校卒業のとき連絡手段を登録してメールなどとしたほうがよい

山形県	神奈川県	横浜市立大学	環境	研究職が地元でも有れば就職すると思います。研究職は関東、関西に集中しているので、東北にも研究職が有ればいいと思います。
山形県	福島県	福島大学	環境	地方に仕事が少ないというのが印象的でした。やはり東京や都市に比べるとやりたい仕事が少ないと感じたので、もっと各地方にも支店を置いて欲しいなと思いました。あとは、地元就職でも社宅とかあるとありがたいです。地方を元気にしたい！という会社が東京にあることが疑問だったので、そういう会社が地方にもっと出来たら面白い仕事ができそうだなと感じました。
福島県	福島県	福島大学	知る機会	地元の良さを知る機会を増やすために、地元の商店街や企業がイベントを開催して人の良さや自然の良さなどを改めて実感できるものを設ける。
福島県	茨城県	茨城大学	知る機会	大学2年生など、早い段階から地元企業の合同説明会などを実施し、Uターンのイメージが具体的に出来るようにする。
福島県	埼玉県	埼玉大学	知る機会	選考会や説明会を東京やその他都市で行う、お祭りや復興活動など地域貢献できる場を設ける、など。
福島県	宮城県	東北薬科大学	金銭的支援	地元であっても、就職を機に一人暮らしを始めたい学生がいると思います。そういった就活生に対して、実家が近いと社宅や家賃補助が出ないと言われるとどうしても地元から就職先を離してしまうように思います。
福島県	福島県	作新学院大学	金銭的支援	転勤は福島県内であること。Uターン歓迎の企業を増やす。一番思ったことは給料がどうしても全体的に福島は低い。1万円でもいいからあげて欲しい。同じ会社でも福島が関東では全然違う。
福島県	福島県	福島大学	金銭的支援	地元就職をした人に対して、何らかの手当てがあると地元就職を希望する人を増やせると思う。人は自分の住む場所を考える時、どちらかといえば自分に有益な情報やモノがある方を選ぶと考えるから。
福島県	千葉県	千葉大学	環境	やりたい仕事さえあれば働く場所はいつでもいいという考えを持つため単純に地元に残りたくなるような業務を行う会社があればいいと思う。自分は該当しないがいわゆるウェイ系の若者は都会で遊ぶために都会就職を希望するといくくらない考えを持つ人間も一定数存在するためそういう類の人間を引き寄せたいのであれば東京23区内にあるような商業施設等を地元にも増やせばいいと思う。
福島県	福島県	郡山女子大学	環境	地元の発展と新幹線を値下げして東京まで行きやすくする。趣味があっても休日にもそれを楽しめないのが地方のデメリットの為遊びに行きやすくすれば多少変わるはず。
福島県	福島県	福島大学	環境	地元で就職するにも転勤があると地元に行けるのか地元に住めるのか不安になるのでその辺をはっきり記載していただけるといいと思います。
福島県	千葉県	千葉大学	環境	リモートワークの推奨。企業の勤務地の中でも地方で働く人への給与を増やす(地方税)
福島県	千葉県	法政大学	環境	リモートワークはマストであると思います。僕は将来プロスポーツチームの経営や・地元者限定の合同説明会、インターンシップを行う・地元就職をすることで地元都道府県から手当てがもらえる・情報を充実させる・地元都道府県の子育て支援、育児休暇に関する制度を充実させる・支店や研究所ができる・地元がより好きになる・引越しや住居の費用負担をしてもらえる・奨学金の返済補助・税金免除・海外事業を行っている企業を増やす
茨城県	茨城県	東京国際大学	知る機会	圧倒的に情報の発信量が少ない気がする。積極的に就職サイトに広告を出すといいと思う。
茨城県	茨城県	女子栄養大学	知る機会	地元就職のメリットを広める為に、地元就職した人と地元就職してない人のどちらも聴けるように、説明会などで人を選べばいいのではないかと思います。
茨城県	茨城県	帝京大学	知る機会	合同説明会やセミナーを増やしたり、大学に通っていないながらも時間に囚われないよう時間を設定したり、気軽に参加できるようにする。一日限定開催ではなく、5日ほど開催する。
茨城県	千葉県	東京女子大学	知る機会	地元にある企業の募集のチラシなど、何かしらで地元の企業について知れる機会があったら増えると思います。自分が行きたい企業で調べるとほとんど東京になってしまっているので、千葉県の家の近くにどんな企業があるのか教えもらえたら、もう少し地元就職について考えたかもしれないです。
茨城県	茨城県	茨城キリスト教大学	知る機会	マイナビ等で開催する合同説明会などがあれば積極的に参加してみたかったです。ナビに載せられない会社は、地元にかくさんあると思うので。
茨城県	茨城県	法政大学	金銭的支援	奨学金の補助がされれば地元就職を希望する人が増えるのではないのでしょうか。また、地方と都市の生活の違いが映像等でわかれば就職場所の考え方が変わるのではないのでしょうか。
茨城県	茨城県	中央学院大学	環境	地元で就職する意欲を向上させる為には、東京からのアクセスをよくすること、また都市化を無くすために、地元企業を分散させることが重要だと考えます。
茨城県	千葉県	東洋大学	環境	新しくできたショッピングモールを活性化させ街全体の活性化に繋げて、街の認知度をあげる
茨城県	茨城県	筑波大学	環境	交通の便を良くすること。都市と比べた空気の綺麗さ、自然の良さ、地方だからこそアクティビティに社員の方が親しむ様子など伝える。メディアで取り上げられるくらい先進的な取り組みで企業や地域の魅力を増やす。子育て支援などへの投資。
茨城県	茨城県	常磐大学	環境	車が必要ない環境、公共交通機関の充実が必要だと思う。また、40年(定年まで)ほど公共交通機関が確保される保証も必要だと考える。自分も公共交通機関が十分にある(マイカー・免許がなくても生活できる環境)ならば、地元でも就職を考えた。
茨城県	茨城県	茨城大学	環境	私は、転勤がない(ずっと地元で働くことができる)企業に絞って就職活動をしており、周りにも同じような考えの友達も多かったため、そのような企業が集まった合同企業説明会があれば良いのではないかと思います。
茨城県	茨城県	跡見学園女子大学	環境	東京のようにオシャレなカフェやお店、流行りのお店が増える。車社会のままで良いからNYのような街並みになる。
茨城県	千葉県	千葉大学	環境	交通手段が、自家用車を持っていないと生活に不便をきたすことが多いので、交通網の発達には重要だと思います。
茨城県	宮城県	東北大学	環境	東京就職する友達が多い中、地方に住むと周りに旧友がいなくなるのが嫌だから、都心に住みたいと思っている。新幹線や飛行機など時間がかからない移動手段の交通費がもっと安くなれば、その心配はなくなると思う。
茨城県	埼玉県	日本大学	環境	テレビ局が唯一関東でないので作っていただけで嬉しいです笑 個人的にですが…法律の問題などとても難しいというかほぼ無理なのは分かっているため、それぐらいがないと地元には帰らないと思います。
茨城県	茨城県	茨城キリスト教大学	環境	生活の利便性や、地元での就業者のプライベートの過ごし方などを取り上げた雑誌などで伝える
茨城県	東京都	日本大学	環境	地元だと出会いがないイメージがあるので、企業同士の街コンや出会いの交流などのイベントが開催されているような地元だったら就職希望の方も増えると思う。(東京や都市の方がやはり出会いが多そうなイメージがあります。東京や都市から地元就職を希望じゃない人は結婚が出来なさそうというイメージを地元に対して持っていそうです。特に女子学生。)
茨城県	茨城県	茨城大学	環境	茨城県には、大きな企業がないので、大きな会社ができれば地元就職を希望する人が増えると思う。

茨城県	茨城県	青山学院大学	環境	地元ならではの人間関係や、家族経営企業が減ると良いと思う。地元で就職すると世間体が狭いため、仕事がつらい。また、都会と違って高齢化が進んでいる場所であるとビジネスの幅が劇的に狭まってしまうためその点も改善できれば良いと思う。本末転倒ではあるが、そういった社会問題などを解決するにはまず、東京で様々な経験をする必要があると思う。
栃木県	神奈川県	駒澤大学	知る機会	地方にある企業の情報をもっと発信できればいいと思う。自ら情報収集しないと、調べきれないところもある。地方でも有料企業は多くあるため。
栃木県	栃木県	慶應義塾大学	知る機会	東京よりも生活費が安く、通勤時間が短いところが強みなので、ライフワークバランスを売りにするために企業の取り組みを宣伝することで人を増やせるのではないかと考える。または、地域貢献ができる点で地元の就職を考える人が多いように感じるの
栃木県	神奈川県	駒澤大学	知る機会	で、地元民に対するイベントを催すなどをすればいいのではないと思う。そもそも情報入手するのが困難であると思います。また、今のイメージですと、地方は賃金が安くスキルが身につかない印象をどうしても持ってしまいます。なので、意欲、向上心がある方が都会就職を希望される確率が高いのだと、個人的に思います。
栃木県	東京都	駒沢女子大学	金銭的支援	奨学金を借りていた人に対し、Uターンした人には奨学金の返金額を少し免除することなど。
栃木県	栃木県	白鷗大学	環境	経済的な規模が小さく、物流も乏しく感じる。東京とまでは言わないがせめて埼玉南部レベルの都市が出来れば自ずと地元就職者が増えると思う
栃木県	群馬県	群馬県立女子大学	環境	リモートワークを増やすことによって、場所にとらわれずに自分がやりたいと思える仕事ができる可能性があると思います。
栃木県	東京都	東京理科大学	環境	地元で働くことが出来る有名企業を増やす。特に働く場所が全国に散らばっているのではなく、できるだけまとまっている方がよいと思う。地元
栃木県	東京都	昭和女子大学	環境	に勤務地がある企業に就職しても全国転勤が頻繁にあると生活基盤を築きにくいと感じるため。
群馬県	東京都	法政大学	知る機会	東京に住みたい人向けにリモートワークが取り入れられ、月に1度くらい地元に出向く程度であれば地元
群馬県	新潟県	新潟県立大学	知る機会	に就職する人も増えると思います。私は東京（か大阪）で都市開発をしたいという明確な目的を持って就職活動に臨んでいるため、どうしても地元企業への就職活動
群馬県	群馬県	群馬県立女子大学	知る機会	を考えることができないことは前提にあることを述べておきます。その上で解決案を示したいと思います。私は、地元企業はそもそも都心の企業と異なり、採用活動を始め
群馬県	神奈川県	駒沢女子大学	知る機会	るタイミングが遅いと感じています。たいいていの都心企業は、夏から業界研究を目的としたインターンシップや、働くことのイメージを上げるようなセミナーなどを開催する
群馬県	群馬県	群馬県立女子大学	知る機会	など、（それはある意味で広報部の戦略なのかもしれないけど）早くから学生へのアプローチを始めている感覚にあります。一方で、私の地元の企業からはまったくア
群馬県	神奈川県	東京工業大学	金銭的支援	プローチが無い上、特に魅力的なインターンシップ等も春先まで実施していないのではないかと感じています。それでは地元企業に興味を持つきっかけにもならないこと
群馬県	群馬県	高崎経済大学	金銭的支援	に加え、選択肢として魅力的な学生が感じるのは難しいのではないのでしょうか？広報部の戦略でもなんでも構いませんが、早いうちから学生にアプローチしたりしな
群馬県	群馬県	学習院女子大学	金銭的支援	ければ？と感じています。お盆前に合わせて実施するとか、何らかやり方はあるはずで
群馬県	群馬県	高崎経済大学	金銭的支援	す。東京から、地元企業にも期待しています。
群馬県	群馬県	上武大学	環境	地元から遠い大学に進学した場合、移動する時間と手間が非常にかかるためwebセミナーを積極的に取り入れていくことが重要であると考え
群馬県	群馬県	群馬大学	環境	ます。地域活性化に繋がる活動を積極的に取り入れること。例えば地元の祭りへの参加、会社主催の親子で参加できるイベントの開催など。小規模でも常に身近に感じられるようなイベントの開催。
埼玉県	埼玉県	聖徳大学	知る機会	筆記試験や適性検査を受ける会場が少ないと地元
埼玉県	埼玉県	明星大学	知る機会	に就職する友達から聞いた事があるので、その会場を増やしたり、車で結構時間のかかる場所の企業もあるので会社説明会に行かなくても会社情報を分かりやすく掲載する
埼玉県	埼玉県	日本大学	知る機会	など。地元の企業が集まった合同説明会等の場で、地元で働くメリットを強く伝えていくべきだと思います。理由は、私は元々地元で働く意
埼玉県	埼玉県	法政大学	知る機会	志を持っていましたが、地元で働く良さを紹介してくださる企業様がいらっしや
埼玉県	埼玉県	東京未来大学	知る機会	って更に地元で働きたいと思うようになったからです。他の都道府県に比べて物価が安いけれど給与の平均額が高いという利点は

埼玉県	埼玉県	成城大学	知る機会	1月とかに合説を地元で開催する方がいいと思う。今回3月に合説があり、コロナの影響で開催されなかったので早めの行動が必要だと思います。その方が人を増やせると思う。
埼玉県	東京都	慶應義塾大学	知る機会	都内や府内の大学で積極的に説明会を開く。また、Webセミナーを日時限定・人数限定ではなくいつでも見られるものにする。
埼玉県	埼玉県	大妻女子大学	知る機会	県ごとの説明会ではなく、県内でも南部、北部など区分けをして説明会を行う。県ごとの説明会だと、同じ県内と言っても交通の便が悪くて行けない方面があるから。
埼玉県	埼玉県	学習院大学	知る機会	説明会でできなきゃエントリーできない会社はもっと柔軟性を持つべき。OBOG訪問のweb開催を行う企業が少なく残念です。
埼玉県	京都府	京都女子大学	知る機会	真夏日には最高気温で上位にあたる熊谷駅から2つ目の駅が私の地元である吹上駅（埼玉）です。 駅から飲食店、教育機関、遊び場がほど良い距離にあり、利便性においては文句なしだと思います。 子育てをするのにも適した環境だと言えるでしょう。ただ、地域活性化や就職活動のイベントにおいて、宣伝不足であるような気がしてなりません。 電子広告など目立つツールを用いてアピールすることが必要不可欠です。 現在、私自身は京都で過ごしておりますが、学校の掲示板やアプリを活用するも、埼玉県の企業情報が少ない中で主体的な行動が求められています。 情報を得られるか得られないか、また、情報提供される時期によって行動パターンは変わります。
埼玉県	埼玉県	女子栄養大学	知る機会	吹上駅の階段部分にイベントや大学の広告が掲載されていたりしますが、それだけでは足りません。 小さくはありますがイルミネーションが駅前にあるので、そこが一番注目される部分ではないでしょうか。 写真撮影の邪魔にならない程度の位置に電子広告を人の目線上に設置するのがいいと思います。 将来的に留まるうえでのメリットとともに、企業の宣伝をするのがベストであると考えます。
埼玉県	埼玉県	立教大学	知る機会	東京都カイヤハッセン伝のような情報誌や新聞の発行。本社だけでなく、勤務地が地元にある企業を紹介して欲しい。
埼玉県	埼玉県	京都大学	金銭的支援	ベッドタウンであるため、地元で就職するのは考えにくい。ほとんど地元感覚である都内で仕事を選ぶ方が選択肢がある。地元では農家が多いため、事業では流行りのオーガニックを売りにしたマーケティングなどを若者が担うなどが考えられる。そのためには、まず地元の若者に地元の農作の良さを知らせるためのコンテンツが必要なのではないか。
埼玉県	埼玉県	拓殖大学	金銭的支援	地元が関東で、関西の大学に行っているパターンもあるので、必ずしも地元が地方とは限りません。地方では、働きたい職種がない、同じ職種でも都市部の方が給与が高いなどがあるので、どの地域でも同じ仕事、同じ水準の給与であれば地元（Uターン含む）就職を希望する人は増えるかもしれません。
埼玉県	埼玉県	神戸薬科大学	金銭的支援	賞金を上げる。都心に出なくとも不自由なく暮らせる、また娯楽施設を増やして楽しめる環境を増やす
埼玉県	埼玉県	埼玉大学	金銭的支援	最低賃金が安くビジネスの中心地からも離れているので、どうしても給与が低くなりがちである。なので、福利厚生などで金銭的な負担（奨学金、社会保険等）を軽くする制度があると選択肢として良いと思う。
埼玉県	兵庫県	明治大学	金銭的支援	奨学金などの手当てより、プラス住宅を提供したりなど都市ではないプラスな部分が要ると思う。
埼玉県	埼玉県	日本大学	金銭的支援	自治体からの手当てであったり、福利厚生面で今後快適に過ごすことができる魅力的な特典があることが必要であると考えます。
埼玉県	東京都	星薬科大学	金銭的支援	地元就職をする際に、お祝い金などの助成金を出したり、または空き家を利用してその物件を格安で提供するなどの助けがあると地元就職増加を期待できる。
埼玉県	埼玉県	東京理科大学	金銭的支援	大手の薬局の店舗が地元にないので、出店が増えたら考えたい。地元への交通費を全額負担してくれるインターンなどがあったら参加を考えたかもしれない。 給料アップ、家賃補助などの金銭面での補助。そもそも経験者歓迎の企業が多く、新卒を取ってないところが多かったりするので、新卒を育てられるような企業を目指すこと。学部学科で選別して採用するのではなく、全学部全学科で応募を出す。情報発信が弱い傾向にあるから広告を上手く使う。1ターンをしようとしている学生に対して、先輩社員が地元での生活をどのようにしているのかを詳しく伝える。1ターンをした学生のコラムを企業ごとにではなく、地域ごとにたくさんだす。地方でしかできない部活動やサークル活動を行っている企業を探している人に対して、探している部活動やサークルを行っているかで検索できるようにする。長く勤めようとしていない人たちに対して、リゾートなどに行くような感じの旅・就活のような雇用形態を作ってしまった、特設ページを開設する(例：旬なりリゾート就活)。キャリアアップの手段を充実させる。地方の魅力的な企業や就職先があっても、移動費の面から躊躇することが多いので、行政や国がバックアップすることも必要であると思う。1ターンをする学生に対して、自動車免許の補助を出したり、車を無償or低価格で貸し出せるようにする。
埼玉県	埼玉県	東洋大学	金銭的支援	東京で有名な店を地元にも出店して、東京に行かなくても地元でプライベートを充実させることが出来るようにすれば、増えると思います。 それと、地元で就職すれば地元の様々な店で使えるクーポン券など、地元限定の特典を残るには、そこでしか受けられないサービス、そこにしかない喜びが大切だと考えました。
埼玉県	埼玉県	女子栄養大学	金銭的支援	社宅制度があるといいと思います。アクセスが悪く、車社会なので補助があるといいと思います。
埼玉県	埼玉県	東洋大学	金銭的支援	福利厚生の充実。住宅手当や休暇制度の充実。仕事への熱量が、あるかどうか、地方の企業の方が成長や利益工場への熱量が少ない気がする。
埼玉県	埼玉県	青山学院大学	金銭的支援	大手企業の誘致。賞金の上昇。地元特産品を大手に売り込み、魅力ある地域をつくっていくこと。
埼玉県	埼玉県	武蔵野大学	金銭的支援	福利厚生は現状、どの企業も大差はないと考えています。それ以外で就職希望者にとってプラスになることを提供出来ると、個人的には志望度が高まると考えています。
埼玉県	埼玉県	大東文化大学	金銭的支援	地元で働くことで何か補償があるなどの待遇があれば地元で働きたくなる。また既にその補償があるならばもっとみんなに知ってもらえるようにSNSなど何か手段を使って、広めることに力を入れたら希望する人が増えるのではないかと思います。

埼玉県	埼玉県	文京学院大学	金銭的支援	私の地元には、ビル街のようなビジネスエリアが特に無いため“地元を就職する場と考えるよりも学生時代のアルバイトをする場”というイメージがあります。そこから都内(東京)に憧れや魅力を感じる人が多いと思います。少なくとも私はその中の1人です。もし、地元就職を考えるきっかけを作るなら何か魅力に感じる物が必要だと考えます。(地元貢献に対してのインセンティブなど)
埼玉県	埼玉県	獨協大学	金銭的支援	給料を直接増やすのは難しい話だと思うので、福利厚生を充実させたり、地元から志望した人には手当てをだしたりする。
埼玉県	埼玉県	共立女子大学	金銭的支援	事務職の給料を総合職くらい上げる。生活に関する補助金を出す。学園都市ならぬ企業都市みたいなものを作る
埼玉県	埼玉県	大妻女子大学	環境	交通網を改善して都市部からアクセスしやすくするなど、利便性を高めて企業の誘致を図る。
埼玉県	埼玉県	多摩美術大学	環境	東京に全ての技術や新しい情報が集まっているような感じがするのを、何処にいても同じ情報や技術が得られる環境を作る。在宅勤務などの働き方が出来るようにして、地元に住みたい人を増やす。
埼玉県	東京都	明治大学	環境	農業をもっと快適にする！植物工場や大規模農場をつくって、植物をつくってくださっている方々の地位を高めたいです！！
千葉県	千葉県	学習院大学	知る機会	若者にもっと責任感や、若者が「自分を地元は必要としている」という意識を与えることができれば、地元就職する人が増えると思います。また、私の地元はインフラが整備されていて、若者も楽しめるような施設や設備を持つ都市であり、住むのが楽し、引っ越したくないなと感じます。もっと地方を地元を持つ人は、都会に出たい思いを持った人が多いと感じるので、やはり地元で買い物や施設の融合する都市であることで、地元就職を希望する人が増えるのではないかと感じます。
千葉県	千葉県	法政大学	知る機会	地方企業のみを掲載した大手就活ナビサイトによるアプリ。地方企業情報だけに特化したサービスをあまりの知れていない企業が提供していても興味が湧かないが、マイナビなど大手が提供しているとなれば興味が湧く人は多いと感じる
千葉県	千葉県	千葉工業大学	知る機会	地元となると規模も小さくあまり稼げないイメージが強いと思うので、企業のイメージをあげる活動をするべきだと思う。
千葉県	東京都	跡見学園女子大学	知る機会	もっと合同説明会に参加して会社の存在をアピールして、インターンなどを受け入れて地方ならではの人の優しさなんかを伝えることがいいと思う。
千葉県	千葉県	帝京平成大学	知る機会	小学校や中学校などの時期に地元の企業と連携したイベントを開催するなど、地域との繋がりをもちことで興味につながるのではないかと思います。
千葉県	千葉県	拓殖大学	知る機会	例えば、バザーや運動会にて企業PRを兼ねて屋台や催し物を行う等
千葉県	千葉県	東邦大学	知る機会	就活イベントでの情報提供。ポスター掲示。地元企業に特化したサイト。絞り込み検索ができるとう良い。
千葉県	千葉県	東邦大学	知る機会	福利厚生やお給料面やしごとのやりがいなどをインタビュー形式で展開するなど身近に感じてもらえるようなものが必要だと考えました。
千葉県	千葉県	東邦大学	知る機会	まず、地元が就職希望者を募っていることを宣伝するイベントをやる。そしてその理由を説明して欲しい。
千葉県	千葉県	東邦大学	知る機会	地元どんな企業があるのか知らないから、もっと地元で就職したい人向けの説明会をやったら良いと思う。就職ナビ等で地元企業の情報をもっと検索しやすければ良いと思う。(私は職種的に実家から通える企業はなかったため、あまり検索しませんでした。)
千葉県	埼玉県	実践女子大学	知る機会	自分の地元である埼玉には、自動車工場や自動車販売の仕事、信用金庫や銀行などの金融機関での仕事が多いように思います。国家資格(医療系や美容師など)の必要な求人も多い気がします。それ以外の新卒向けの求人は少ないです。そのため、特別な資格を持たない新卒の学生にとっては、情報を仕入れて就活をすることが大変です。しかし、学生に知られていない隠れた優良企業数も、実はもっとあると思うので、それらについて積極的に東京や埼玉の学生に発信する機会を設けてみてはいいかかでしょうか。
千葉県	千葉県	学習院大学	知る機会	・マイナビに掲載する際県名と市町村、地区名を強調する。・マップから検索できる機能をつける
千葉県	千葉県	東京情報大学	知る機会	自分が就きたいと思える企業の選択肢を増やすには、きちんと情報が入ってくるのが重要であると考えるので、地元の企業求人情報が詳しく掲載されたWebサイトや説明会などを1つ2つではなく、複数用意するのが一番効果があると思います。
千葉県	千葉県	千葉大学	金銭的支援	暮らしやすさを充実させる。まずは少し観光化して、注目浴びたらそのお金で養育費、店舗などの検討をする。
千葉県	千葉県	駒澤大学	金銭的支援	地元で働きたくなるようなキャンペーンを実施する。例えば、地元で就職することで住宅費を安くする。
千葉県	福島県	東日本国際大学	金銭的支援	地元愛がある人が得をする福利厚生などサポートや待遇があると希望する人も増えると思う。
千葉県	埼玉県	獨協大学	金銭的支援	税金の免除。自家用車に関わる費用を企業が負担する。地元に戻って就職するとお祝い金もらえる
千葉県	千葉県	法政大学	金銭的支援	衣食住関連で得をするようなサービスがあれば地元企業に就職してもいいと考える人が増えると思う。
千葉県	千葉県	日本大学	金銭的支援	まず、地元の企業に就職した際に享受・利用することができる手当やサービスを拡充する。学校を通して・SNSを通して・企業説明会を通してなど、あらゆる方法を駆使して宣伝する。実際に利用してもらってフィードバックを受け更に改善していく。
千葉県	千葉県	開智国際大学	金銭的支援	ジムなどの健康を維持する施設の割引だけでなく、子供ができた時のサポートが充実すればいいと思います。また、デパートやアミューズメント施設がもっと立てば僕の地元ももっと働く人が増えると思います。
千葉県	千葉県	千葉大学	環境	自然豊かで、都内へのアクセスもよく、空港もあるため住みやすい街であることをPRする。
千葉県	千葉県	立教大学	環境	地元といっても、大手企業の本社もたくさんあり、都会と言っても過言ではないので、就職希望者は多いと思います。千葉の人間は千葉に貢献したいという地元愛が強いと感じます。千葉でない人にも、千葉のよさをもっと知ってもらいたいと思いますが、地方から移って来て、千葉に住んでいる人は、あまり千葉を好きではない人が多い印象です。千葉県をもっと魅力的なところにするところからスタートする必要があると思います。
千葉県	千葉県	大妻女子大学	環境	Uターンで地域で働くとしても、都会との関わりがどこかであれば地方で働くことへの疎外感は減少し前向きに考えられるのではないかと。
千葉県	千葉県	神田外語大学	環境	観光客が集まるような大きな売りになるものが発見できれば魅力に感じて集まると思います。
東京都	東京都	東京大学	知る機会	地元が東京のため、むしろ地方への就職を奨励した方が良くと思われる。地方の自然豊かな場所で働く魅力を発信するなど。
東京都	東京都	昭和大学	知る機会	東京の人は冷たい、温かさが無い、忙しそうというイメージが多いと思うので、ウェブセミナーや合同企業説明会でコソコソとオフィスの明るい雰囲気や福利厚生の充実度を訴えてもらえると良いと思う。

東京都	東京都	日本大学	知る機会	地元の特産や地域をってもらうことも大切で、セミナーのときに食品の土産を渡すのも一つの手かと思います。
東京都	東京都	明治大学	知る機会	大学と地方公共団体、民間企業の連携が必要ではないか。例えば、大学側が1・2年生の長期休みなど、学生にとって時間とりやすい時期に、地元開催のインターンシップへの参加を募る。そして、インターンシップ自体に単位付与などのインセンティブがなされれば、学生にとっても参加しやすいのではないだろうか。また、宿泊費に補助が出ればだいぶ行きやすくなり、地域の活性化・地元就職が増えると考え
東京都	東京都	東洋学園大学	知る機会	地元に対する愛情を芽生えさせるために、平日頃から地域での活動を積極的に行っていく。そのために、地域活動で人との縁を大切にしたり、地域に対して気に入るよう
東京都	東京都	学習院大学	知る機会	にメリットを与えてあげることが地元就職を増やす結果に繋がると考える。また、地元就職を嫌う方に対して記述式のアンケートを求め、嫌っている理由をきちんと知ることで解決への糸口を見つける。さらに、高齢化が進んでいるため、今を生きる人たちへの経済的、精神的な支援を行うなど、住みやすい「まちづくり」を行う。
東京都	東京都	東洋大学	知る機会	大学生は基本的にUターンについて情報不足。Uターンの方が、都心よりも好条件の仕事があることをアピール出来れば、もっと増えると思う。
東京都	東京都	学習院大学	知る機会	情報が伝わってくるまでにタイムラグが出てきてしまうと思うので、フレッシュな情報を得るために、県ごとの情報収集ができるサイトやアプリなどがあったら良いのではないかと思います。
東京都	東京都	実践女子大学	知る機会	小学校や中学校の時点で地元の企業と関わる機会がもっと増えれば(私の地元の中学校ではチャレンジザドリームといって一定期間興味のある幼稚園やコンビニ等地元にある企業で仕事を教わり実際に働くということを体験する期間があります)で知ること
東京都	静岡県	東海大学	知る機会	まず地元の良さを再認識してもらうことが一番だと思います。そのためには地元ならでわの祭りやイベントを積極的に開催したり、PRすることが必要だと思います。また、その地元が運営しているTwitterなど呼びかけられるのもありだと思います。
東京都	東京都	実践女子大学	知る機会	地元でどう育ったかや、良さを振り返って貰うことから始めるべきだと思います。これは当たり前なことだと思うけれど、当たり前ことが出来ていない人は本当に多いと思います。どうこの地元で親に育てられて貰い、友達と過ごし、成長したい方
東京都	神奈川県	明治学院大学	知る機会	を振り返る時間を設ければきっと、地元が恋しくなる時間が増えます。私の上京してきた友達を見ていると、よりそう思います。地元は本当ににもないし不便と言いつつも、親との連絡を大事にしたりたまに実家の事をふと思い出したかのような発言を
東京都	神奈川県	明治学院大学	知る機会	してたり、頑張って東京に染まろうと必死なのが見え見えな時があります。その姿を見ていると、東京には東京の良さもあるけれど、よっぽどその子の地元が輝かしく私には見えます。そんな素敵な地元のことを振り返れば、少しでも帰ろうかなとか考
東京都	神奈川県	明治学院大学	知る機会	え方は変わるはず。友達が離れるのが寂しいので私は何も言いませんが、この質問を受けて、すみません、地元が東京なので、東京に来させるアイディアではなく、東京に上京している人が地元
東京都	神奈川県	明治学院大学	知る機会	に就職を希望するアイディアが咄嗟に浮かびましたので書かせていただきました。
東京都	神奈川県	明治学院大学	知る機会	地元の名前で検索して、地元の企業一覧が出てきたら見つけやすいので増えると思う。今は都道府県別でしか、条件付けができないので探しにくい。また、会社の最寄り駅なども書いてあると良いと思う。
東京都	神奈川県	東洋大学	知る機会	私の地元は東京の島です。少子高齢化に伴い若い人はどんどん出て行き、帰ってきてもらえない状況はあまりありません。就活生にもっと地元の会社などがアピールするべきだと思います。大学でも島嶼求人
東京都	東京都	東洋大学	知る機会	は見たことがありません。また面接などもウェブでやれば船、飛行機を使わなくて済みます。
東京都	東京都	東洋大学	知る機会	求人情報をもっと出してほしい。大手の就職支援サイトでは掲載されない情報を知りたい。
東京都	東京都	東洋大学	知る機会	地方には就農している世帯も多いので、農家の民泊といったイベントを自治体でも企画してみると良いと思う。
東京都	東京都	東洋大学	知る機会	インターンなどの交通費支給とかがもっとしつかりすれば、多少遠くの企業でも見てみたいと思います。
東京都	東京都	東洋大学	知る機会	Uターン就職であれば、支援金など多少少なからずお金が出れば気持ちが変わるのではないかと。地元での事業拡大や福利厚生の充実、働きたいと思う会社の制度や体制がある、もしくはもっと地元を
東京都	東京都	東洋大学	知る機会	を元気づけられればその気も変わるのではないかと。もっと地元企業の採用活動が活発であり、福利厚生がしっかりしていないと希望する人は少ないと思うからそこ
東京都	東京都	東洋大学	知る機会	から何とかしたいです。私も出来れば地元企業がいいけど福利厚生が悪かったり、残業が多くて割りに合わなかったり等。その地元企業の代わり
東京都	東京都	東洋大学	知る機会	に貴社が会社説明会を担当したりするサービスがあればもっと目を向ける人が増えると思います。
東京都	東京都	東洋大学	知る機会	地元で働くことで、自分を含む家族へのメリットを示してもらうこと。地元
東京都	東京都	東洋大学	知る機会	にありながらも、全国における知名度や社会貢献度を高めていただくといいか
東京都	東京都	東洋大学	知る機会	と思います。私の地元は有名な観光地なので、観光名所を売りにして、かつ地元勤務の方への割引などの福利厚生を提供すれば良い
東京都	東京都	東洋大学	知る機会	と思います。地方(地元)を希望する人にサポートとして、補助金などがあると助かる。自然など都市にないものを売りにすると魅力的に感じます。
東京都	東京都	東洋大学	知る機会	家族と過ごす時間を増やすための有給を作る。地方企業だからこそ地域に密着したイベントを開催しそれを記事として取り上げPRする。
東京都	東京都	東洋大学	知る機会	東京にも劣らず、有名企業やその有名企業の支部がたくさんあったり商業施設なども豊富にしたら希望する人も増えるのではないかと。また手当てなども出すなど。
東京都	東京都	東洋大学	知る機会	実家に住んでいる分の家賃補助分のお金を生活補助金として支給する企業があればいいか
東京都	東京都	東洋大学	知る機会	と思います。「ふるさと福利厚生制度(仮名)」(大都市除く)のような、地方出身者が地元で働く事で、メリットを感じられるような、特設の福利厚生を設置する。そうすることで、他県からの人々と比べてお得感を感じさせられ、地元就職の動機となり得るから。
東京都	東京都	東洋大学	知る機会	大企業の本社や省庁を地方都市へ移転させる。地方勤務者の賃金、待遇を上げる。地元大学校の採用枠を設ける。
東京都	東京都	東洋大学	知る機会	地元の駅は、各駅停車でしか止まらないのと乗り換えてくる人からすると不便なので、急行が止まるようになれば良いと思う。また大学が多いので、大学生のあまり電車に
東京都	東京都	東洋大学	知る機会	に乗らない時間帯に通勤できるフレックス製だと良いと思う。東京に近いので、リモートワークなどが進めばある程度会社に近くて、家賃が東京の
東京都	東京都	東洋大学	知る機会	オフィス街ほど高くないことがメリットになると考える。子供のうちから人との繋がりを大切に思えるような環境であることが大切である
東京都	東京都	東洋大学	知る機会	と考えます。どこで就職するか、よりどの企業に就職するかが大事だと思う。現状の問題点は、大手企業の多くが都内に本社を構えていること。その結果として東京で就職したい人が
東京都	東京都	東洋大学	知る機会	多い気もする。地元就職=中小企業みたいなイメージを払拭できれば良い気がします。

東京都	東京都	日本獣医生命科学大学	環境	私は東京出身なので、特別なことをしなくても東京での就職希望の人は多いと思います。強いて言うなら研究所を東京に増やすと、Uターンを希望する人が増えると思います
東京都	東京都	明治大学	環境	テレワークを増やすなどの、働き方の種類を増やすことであったり、企業の柔軟な姿勢が求められると思います。
東京都	東京都	東京農業大学	環境	東京に住んでいるので、詳しくは分かりませんが、働きやすい環境であったり、会社の方から車を支給してくれたら、少しは増えるのではないかな、と思います。
東京都	東京都	東洋大学	環境	より多くの職種や魅力的な会社を増やして、地元で就職できるようにしたり、支援を行うなど。
東京都	東京都	法政大学	環境	地元地域自体の活性化。単身上京し就職することに勝る利点を生み出す(福利厚生など)。
東京都	埼玉県	学習院大学	環境	地域への貢献を一つの目的としている企業であれば、地元(その都道府県)に住んでいる期間が〇年以上の人は第一次選考免除といったような、採用選考内での優遇があれば、就活生としては応募しやすいと思いました。
東京都	東京都	明治大学	環境	各市区町村で、若者が地元を好きになるようなPR、イベントを行う。(お祭りや花火大会など)
東京都	東京都	慶應義塾大学	環境	今後地元に住居したいと思えるような手厚い福祉・行政サービス。 場所ではなく、企業で決めているので、地方でも企業が実績を上げればその地に行くと思う
東京都	千葉県	中央大学	環境	地元の活性化が目に見えるようなシステムを作ったり、地元での交友関係などが仕事に影響したりする仕組みが備わっていれば、地元での縁を有効活用する人が増えると思います。
東京都	山形県	山形大学	環境	・都市部との交通の便がよくなる・地元の経済が活性化する・若者視点での地元の魅力を増やす
東京都	東京都	日本大学	環境	テレワークやどこでも働ける環境が今より整えばもっと、地元に残る人も多くなると思う。
東京都	東京都	文京学院大学	環境	私は地元が東京で渋谷も近いので交通の便を気にする方だったら地元から働きたいという人が多いと思います。現に私の友人もほぼ地元を出たくないと言っていたので、交通の便を整えたり落ち着くカフェなどの魅力が溢れる街にすれば自然と出たくなくなると思います。
東京都	東京都	筑波大学	環境	地元は東京の23区なので元々地域内で就職を希望する人は多いです。ただ、地方が地元であれば、そこに魅力(若い社会人が暮らしやすい、面白い施設がある等)を増やすことで就職を希望する人も増えると思います。
東京都	神奈川県	関東学院大学	環境	シンプルに都市を増やすまたは、広くすることが大切だと思います。都市の範囲が広がれば広いほど密集地帯が薄まり広がっていき、密集都市が多少良くなると感じます。また、大手企業、会社などを都市から少し離れたところに置くことでそこに人が集まるのではないかと思います。
東京都	東京都	玉川大学	環境	家族が住みやすい街への配慮があるというアピールをする。例えば、公園が多かったりスーパーがすぐ近くにあるなど。将来的に住みやすい事を重視すれば人が増えると思う。
神奈川県	神奈川県	慶應義塾大学	知る機会	地元が横浜市ですが、みなとみらいにオフィスのある企業に魅力を感じるので、それらのまとまった合同説明会などがあればいいと思います。
神奈川県	神奈川県	明星大学	知る機会	地元企業を知る機会が欲しいので、合同説明会だけでなくWEB会社説明会など、気軽に知れる機会が欲しいです。
神奈川県	神奈川県	東洋大学	知る機会	地元ならではの働き方や社会貢献度を伝えることができる、職業体験の場を増やす。職業体験を行うことで、地元で働く人々の話を直接伺う機会になると感じるため。
神奈川県	神奈川県	成城大学	知る機会	地元企業についての具体的な詳しい情報、メリットデメリットや実際に就職した人の情報が無いというか目につかなすぎるので、例えば神奈川西部なら西部の地元企業で新卒募集企業まとめた紙などを該当する学生のいる家に郵送するなど。
神奈川県	神奈川県	東京都市大学	知る機会	地元に関心を持って働きたいと思えない人の場合は、地元の生活環境改善・経済発展・暮らしの質に貢献できるなら、働きたいと思えるのではないかと考え、そこをPRしてみる。
神奈川県	神奈川県	津田塾大学	知る機会	個人的に満員電車で乗らずに済むことが1番のメリットであると考えているので、メリットをかき集めて就活生に訴えてみるのもいいアイデアだと思います。
神奈川県	神奈川県	東京工芸大学	知る機会	地元ならではのメリット、例えばレジャースポットの割引や支援などが増えると就職したくなると思う。あまり地元企業を知る機会が少ないため、もっとイベントがあれば良いと思う。
神奈川県	神奈川県	神奈川大学	知る機会	値段的に手頃な住居を用意するなどの住みやすさを全面にアピールすることで魅力を感じ、地元での就職を希望する人が増えると思います。
神奈川県	神奈川県	鎌倉女子大学	知る機会	就活をしてみても、自分の住んでいる県にこんな会社があったのかとなるが多かったので、地域密着型の企業なら、幼稚園や小学校など子どもの頃から企業のことを知って慣れ親しむ機会があると、地元就職に対してここで働きたいと意欲が湧いたり、良いイメージがつくのではないかと思います。
神奈川県	神奈川県	法政大学	知る機会	中学の先輩等の身近な人から勧誘を受ける。祭りの運営等の地域に根づいた仕事ができるようにする
神奈川県	神奈川県	芝浦工業大学	知る機会	WEB説明会での地元企業(支社)と東京在住企業(本社)との討論会やディスカッションを配信することが面白いと思います。 なぜなら、私のイメージだと東京で働きたい人は地元企業に興味を持っていないと思うからです。対比させることでそれぞれのメリット、デメリットが明らかになり、魅力を感じる人が居るかもしれないからです。実際にそれぞれで働いている人の言葉を同時に聞くことで説得力が多いかと思えます。 例えば、東京だから地元より給料が安いと言うわけではなく、やっている仕事の違いから差は生まれるみないなことはアピールした方がいいと思います。 地方活性化を頑張ってください。応援しています。
神奈川県	神奈川県	鎌倉女子大学	知る機会	まずどんな企業があるのかが把握出来ていないため、情報が自動的に入ってくるような機会があれば興味も湧くと思う。例えばマイナビからあなたの地元のこんな企業からスカウトされる、など
神奈川県	神奈川県	明治大学	知る機会	Web説明会など直接地元に行かずとも参加できる催しを増やす。地方自治体と協力してUターン・Iターン支援事業を行う(貸与型奨学金の免除・減免補助や住宅の補助など)。
神奈川県	神奈川県	東海大学	知る機会	小さな町なので、自営の人しか町に残らないイメージがあります。まず、情報が少ないので知らせることから始めることだと思います。
神奈川県	神奈川県	法政大学	知る機会	実家からかかる通勤時間ごとに新卒採用を行っている企業を調べることが出来るしくみ、テレワークを行っている地方企業の紹介など

神奈川県	神奈川県	神奈川大学	知る機会	今回のようにコロナウイルスによって合同説明会というものほとんどなくなっていますが、その代わりにwebセミナーが開催されています。合同説明会に行き、情報を集める予定だった就活生が、webセミナーの予約が満員で観れないという実態があります。実際に私もそうです。1日の開催だけでなく、複数日程での開催にすることで、このような問題がなくなると思います。
神奈川県	神奈川県	日本女子大学	知る機会	地元の会社を知る機会や環境を小さい頃から作り、憧れを持つような、身近な存在であるということ意識してもらおう。
神奈川県	兵庫県	神戸大学	知る機会	私の地元は交通機関が発展していますが、そうでない地方では自家用車と運転免許がない限り移動が不便だと思います。そのため地方企業はwebセミナーなどを用い積極的に採用活動をされればいいと感じます。同時に地方で働く魅力や地方で働くキャリアプランなども紹介されると希望者が増えていくと思います。先輩社員などが発信していくことも重要だと思います。
神奈川県	神奈川県	相模女子大学	知る機会	地元で採用を積極的に行う企業の情報が少なすぎる。もう少し知れる機会がたくさんあるといいと思う。(チラシ、ワークショップなど)
神奈川県	神奈川県	法政大学	知る機会	地元の魅力と地元の良さをこの時代だからこそSNSで発信し、より多くの人知ってもらう事が1番早い手段ではないかと考えています。
神奈川県	神奈川県	鎌倉女子大学	知る機会	地元就職による説明会を行ってほしいです。新聞の広告等でも情報が収集できたら良いと感じます。
神奈川県	神奈川県	立正大学	知る機会	Uターンの就活イベントをもっと積極的に行う。ナビサイトでは見つけにくい優良企業の参加も多くなる。
神奈川県	神奈川県	多摩大学	知る機会	もっとwebでの説明会を増やすことで交通費もかからず何回も足を運ぶ必要がないのいいと思います。
神奈川県	神奈川県	放送大学	知る機会	企業と市区町層の連携してアピールが必要だと思う。現状大手のアピールリョクにまわっている。
神奈川県	神奈川県	東京女子大学	知る機会	実際に地元就職した方の経歴や生活スケジュールなどを公開する(家賃や交通の便など)。東京に勤めるよりもメリットが多いことをアピールし、それにマッチする学生を見つける。どこの地元の人もアクセスしやすいような場所で合道説明会を行う。
神奈川県	神奈川県	都留文科大学	金銭的支援	地方の賃金・情報・流通格差が無くなれば、首都圏以外の地方でもUターン・Iターンが増えると思う。
神奈川県	東京都	白百合女子大学	金銭的支援	私の地元は東京なので、特に増やすために何かをした方がいいとは思いません。ですが、もし私が地方出身の場合、特に人数が少ない地元に住んでる場合、Uターン就職できたらふるさと納税の返礼品のような、地元の特産品を定期的に送るなどすればいいと思いました。やはり、特典がついていると希望する人は多少なりとも増えると思います。
神奈川県	神奈川県	日本大学	金銭的支援	私は、自宅から通いたいという思いが強いので、なんともいえないのですが、その他に地元割など、何かサービスがあると、嬉しいです。
神奈川県	神奈川県	法政大学	金銭的支援	東京のような、有名な企業を集める。補助金で暮らしを支える。地元就職すると、地元の人々に還元される制度(子供たちのスポーツを支援するなど)を作る
神奈川県	神奈川県	日本大学	金銭的支援	交通費の全額支給や住宅取得支援があれば、地方に住み地方でも東京でも勤めることはよいと思う。地方に職種や仕事内容が東京並みにあれば地方でも困らないと思う。
神奈川県	神奈川県	学習院大学	金銭的支援	企業の本社を東京以外に置く。地元就職した人には地元から奨励金が出るようにする。地元就職した人に企業が特別賞与を出す。結婚資金や子供の養育費を地元や企業が補助する。
神奈川県	神奈川県	駒澤大学	金銭的支援	地元出身者限定で福利厚生をさらに充実させることです。地元出身者は実家に暮らす割合が多いことを生かし、親孝行するための有給休暇制度や地元従業員の手当を充実させれば、地元出身者にとって働く上で安定性が確保され、地元就職を希望する人が増えるのではないのでしょうか。
神奈川県	神奈川県	法政大学	金銭的支援	家賃を下げるのが一番早い話だと思います。他にも、子育てのしやすさをうたったり、行政として生活しやすさに力を入れていると、もっと増えるのではないかと思います。
神奈川県	青森県	北里大学	金銭的支援	交通費や日程など地元が遠いと問題点があるため、交通費支給や日程を幅広くするなどする。
神奈川県	神奈川県	横浜国立大学	金銭的支援	結婚した人に対しての支援をする事で結婚する人が増え、家族と協力するメリットに目を向けやすくなる。
神奈川県	神奈川県	関東学院大学	金銭的支援	就職先の地元に住んでいる人は、住宅手当や給料もあがるという大胆な仕組みがあれば、地元就職を希望する人がとても増えると思います。やりすぎだと思うぐらいがちょうどいいのではないかと思います。そのくらい周りには地元就職を希望してる人は少ないです。しかし、移動はしたくないという人が多いため、そう言った点で、地元に住んてもらう理由で住宅手当があれば離れないのではないかと考えました。
神奈川県	神奈川県	日本大学	金銭的支援	○地方に貢献すればインセンティブが入る。○地方で定期的な人との出会いの場がある(実質合コンのような)。○定期的に東京に行ける交通費が支給される。○住宅補助が手厚い。○地元の特産品が定期便のような形で送られてくる。
神奈川県	神奈川県	駒澤大学	金銭的支援	もっとそういったイベントを開くのと交通費を経費で落としてくれるなら考えてもいいかもしれない。交通費がネックでどうしても都市部で探してしまう
神奈川県	兵庫県	関西学院大学	金銭的支援	近年、女性の社会進出が進められているという状況を鑑みて地元、独自の福利厚生面でサポートをしてくれる制度を設ける事でUターン制度を利用する人が多くなると思う。
神奈川県	神奈川県	関東学院大学	環境	地元貢献できて、移動時間も少ない分自分の時間もしっかりと作れることをアピールする。
神奈川県	神奈川県	上智大学	環境	オフィスワークをテレワークに切り替えれば、東京の会社に勤務している場合であっても、世界中のどこでも勤務できるのではないかな。
神奈川県	神奈川県	横浜国立大学	環境	首都圏なので地元就職している人は既に一定数いると思うが、今以上に増やすのであれば大企業の本社や研究所などを県内に誘致することなどが挙げられると思う。
神奈川県	神奈川県	明治大学	環境	私は都心に近いところに住んでいるので、Uターン就職には該当しませんが、友人でUターンを考えている人には「やはり地元の友達がいるところで働きたい」「両親が心配」「地方創生に関わりたいたい」という声がありました。その一方、地方に戻りたくないという人は「東京に友達が住んでいるから」「都会に慣れてしまったので地元に戻って生活できない」「東京で働きたいと考えて東京の大学に来たから」という声もありました。しかし、そう言っている人も地方創生には興味がある、と話しており、地方創生に興味があるが東京から離れるのが嫌、という結論に至ったといえます。なので、そのような人には東京と地方をつなぐ役割が適任なのではないかと思っています。東京で働きたいと言いながら地元の友達、両親にも会いたいということなのであれば、「頻繁に地元に出張、または地方の視点に定期的に配属される東京の企業(主な勤務は東京)」または「東京の企業だが勤務地は地方にもあり、頻繁に東京への出張がある(主な勤務は地元)」のような形で、どちらにも訪れる機会があるのが理想だと思います。どちらかに勤務地が固定されると、決めきれないという人も多いようです。

神奈川県	広島県	広島大学	環境	満員電車を改善し、通勤ストレスを軽減すれば地元で就職したい人が増えるのではないかと思います。企業の数や規模では、比較的魅力的なので、改善は必要ないかと思
神奈川県	神奈川県	明治学院大学	環境	都会と同じように交通の利便性を増やしたら、都会の雰囲気よりも自然の雰囲気が好きな人は地元就職が増えると思う。
神奈川県	神奈川県	明治大学	環境	現在住んでいる場所からあまり離れずに就職ができるようにする。福利厚生の実を
神奈川県	神奈川県	相模女子大学	環境	私の友人は保育士や栄養士を希望する人が多く、地元には子供や高齢者が多いのでそういった施設を増やすと共に新卒者採用枠を拡げていくべきだと考える。
神奈川県	神奈川県	東京理科大学	環境	もっとテレワークを増やし、通勤時間をなくすことで満員電車に乗らなくてもよくなるため地方でも働きやすくなると思う
神奈川県	神奈川県	フェリス学院大学	環境	地元の人以外を都会の人だからと排斥しないような意識的な環境づくりが必要だと思
神奈川県	神奈川県	帝京大学	環境	仕事を増やし、魅力的なオフィスを作る。ABWなどを取り入れている。大企業の本社
神奈川県	神奈川県	立教大学	環境	地元愛のようなものがあまり地域住民に根付いていないので、若者、特に中学生以上の人が地元を好きになれるようなイベントを開くなどして欲しい。都会でベッドタウ
神奈川県	神奈川県	産業能率大学	環境	東京ほどゴチャゴチャしていないことを売りにする。特に厚木市は自然も豊かです交通の便も良い。高速道路も近くに沢山あるので、生活には困らないはず。また、優良
神奈川県	神奈川県	東京農業大学	環境	地元が神奈川県でUターン等はあまりないと思いますが、その分東京とどの程度違いがあるか伝わりにくいとも思います。特産などがもっとあるといいなと思いました。
新潟県	新潟県	新潟大学	知る機会	義務教育において、各地域の企業と経済について概要を学ぶことで、各々がより地元
新潟県	石川県	金沢学院大学	知る機会	もっと地元の事をPRすべきだと思う。まだ全国には知られていない地元ならではの情
新潟県	山形県	山形大学	知る機会	地元での就職を有利にするシステムがあったら良いと思う。（地元枠を作ってもら
新潟県	新潟県	新潟国際情報大学	知る機会	地元は特に有名企業ぐらいいし認知されていないため、中小企業がもっとアピールす
新潟県	東京都	亜細亜大学	知る機会	都市の方が選択できる企業の幅が広く多いイメージがあり、そのために都市を選択し
新潟県	新潟県	長岡技術科学大学	知る機会	・地元の教育補助を充実させる・都市部で、地元の企業説明会を開催する・地元の企
新潟県	新潟県	新潟大学	知る機会	学校推薦や学内ガイダンスを増やす。地域別のイベントを開催する。交通費補助、完
新潟県	新潟県	新潟経営大学	金銭的支援	地元から離れて進学した人は帰省するにも説明会に参加するにも交通費が結構かかる。だから企業ができれば交通費を何割か負担したり、地方の企業でも地元だけ
新潟県	山形県	山形大学	金銭的支援	Uターン就職をした人に向けてアパート補助金制度を作る。地元が好きでUターンした
新潟県	埼玉県	東京農業大学	金銭的支援	私の地元は専門学校の人がたくさん地元で働くので大卒の人は好んで就職しようとは思
新潟県	新潟県	新潟県立大学	環境	都市部の大手企業、優良企業を地方へ分散させることです。都市部への就職を希望する
新潟県	新潟県	新潟大学	環境	就職先や職種が少なく偏りがあるので、リモートワークが当たり前になれば地元を出
新潟県	神奈川県	神奈川大学	環境	住む地域、勤務地にこだわることなくリモートワークが可能となる働き方ができれば
新潟県	新潟県	新潟薬科大学	環境	そこにくらす魅力をアピールすることが重要だと思います。メリットがないとこない
新潟県	東京都	国士舘大学	環境	観光地を発展させたり、経済が活発になったりして、地元に多くの人が目に触れる機
新潟県	新潟県	新潟県立大学	環境	実際に新潟でメーカー希望で就活をしていて感じたのは、理系の割合、男性の割合が
新潟県	新潟県	新潟大学	環境	私の地元は、公共交通網が貧弱で各家庭に車が一台ないと生活することができない。
新潟県	東京都	東京大学	環境	自然環境とかの風土をプロモーションするよりもまず先に、人間関係のしがらみを無く

新潟県	神奈川県	法政大学	環境	若者にとって、仕事と趣味の両立は大切なものであると考えます。つまり、その地域で経済的な発展と、文化的な発展がバランスよく行われていることが理想だと思います。地方だと関東近郊に比べて、遊ぶ場所が少なかったり、つまらない生活がイメージされるように感じます。既存の資源のPRでも良いですし、新しい開発でも良いです。広告の仕方に課題がありだと感じます。
新潟県	神奈川県	神奈川大学	環境	私はライブイベントに行くのが好きでSSAや横浜アリーナ、幕張メッセに通える都市に住み、働きたいと思っています。そのため地元の近くにも会場が大きいライブホールができたり、都市のライブ会場に費用が少なく、移動時間も速い交通機関があれば地元に戻ってもいいかなと思いました。
新潟県	新潟県	新潟青陵大学	環境	私の地元は、風情ある街並みや歴史のある建築物などが有名なため、若者の街というよりは高齢者向けの観光地が多いような気がする。したがって、地元就職者を増やすためには、若者をターゲットとした施設を作るべきだと思う。
山梨県	山梨県	山梨学院大学	知る機会	東京ビックサイトなどで行われる大きな就職活動イベントで「山梨県枠」など枠を作り、その県の複数の企業は参加しなければならないというルールを作って開催する。
山梨県	山梨県	拓殖大学	知る機会	事業内容を大々的に宣伝して、中小企業がどのような物をどのような仕事にしているのかを伝える。年功序列制度をなくす。会社の建物の外観を綺麗にする。(毎日のモチベーションのために外観や内装にこだわるべきだと思います。)
山梨県	東京都	東京家政大学	知る機会	web説明会や、セミナーがもっと増えれば良いと思います。また、合同説明会に県別でグループ分けされた説明会があったらいいと思います。
山梨県	神奈川県	桜美林大学	金銭的支援	余っている会社の土地を、規定の年数以上働いてた社員はその土地を安く買える制度。その費用は、ローンを組んで会社に払う。そうすることで、マイホームを望んでいる人が地方でマイホームを建てられ、ローンを組むことで土地を買った後も離職の心配もないのではないかなと思う。
山梨県	山梨県	山梨学院大学	金銭的支援	Uターン者を対象とした学費免除などといった制度があればこれから先他県の大学に行って戻ってくる人が増えて行くのではないかなと思う。
山梨県	愛知県	至学館大学	金銭的支援	福利厚生や人が暖かい町だともっと全国に知ってもらうために、何か流行になるものを発信する。
山梨県	東京都	お茶の水女子大学	環境	平日は地元で働き、休日はわざわざ東京に遊びに行くという友人の話から、エンタメ面を充実させる必要があると感じています。
山梨県	山梨県	山梨学院大学	環境	会社の仕事内容や理念にとらわれず、何事にも挑戦したり革命を起こしている企業があると良いと思う。
山梨県	山梨県	山梨県立大学	環境	伝統に囚われすぎない、新しい事業やサービスができる企業をつくる。また、企業のことを知る機会を増やすことが大事だと考える。
長野県	長野県	公立諏訪東京理科大学	知る機会	地元でしか実現しない、自然や暮らしやすさなどをアピール。実際に地元で就職している方からのメッセージ
長野県	岩手県	岩手大学	知る機会	・行きたい業種がないと思っていても事務所があったりすることがあるので、エリア採用を行っている企業はぜひUターン説明会にも来ていただきたいです。 ・地方出身の学生は別の地方大学へ行くことも多いので、東京などで開催されるUターン説明会に行くのもかなりお金や時間がかかります。私はそれもあり、Uターンの就職活動をあまりプラスに捉えていません。説明会だけでもWeb化を進めていただければ、就活生の視野に入ってくるかと思います。 ・これは場所にもよりますが、地元の合同説明会の案内ページを覗いたり県主催の説明会に参加したりしても、文系向けの職種か工学系の職種が多くそれ以外の分野の窓口が狭いように感じます。小さい企業では就活のWeb化も難しいかもしれませんが、合同説明会を利用するなどしていただければ就活生の目につきやすいと思います。
長野県	東京都	中央大学	知る機会	将来を生きる上で都会の生活と比較して地元の暮らしがより魅力的であることをPRすべき。東京には全国から人が集まり、就職先はたくさんあるが、地元の企業は全国からその県に就職するような状況はない。そのため、そこで生まれ育った人がUターンをして、その地域を活性化させるしかない。
長野県	大阪府	関西大学	知る機会	もっと地元企業の合同セミナーなどを行う。地元企業が地元で面接を行う際、交通費を負担してもらおう。
長野県	愛媛県	愛媛大学	知る機会	実際にUターンした人や、地方へUターンした人へのインタビュー特集があるといいと思う。とくにUターンは、その地域の人気がついていなかったような魅力を感じていたり、他者からの新鮮な視点を持っていそうなので、お話は聞く価値がかなりあると思う。
長野県	神奈川県	北里大学	金銭的支援	車を出勤に使うひとが多いので、車を買う時に手当金などがすこしでも出ると通いやすいと思う。
長野県	長野県	日本大学	金銭的支援	地元で就職すると地方の自治体から給付金があり、地元就職の為にかかる引越し代などを補助してくれる制度。
長野県	富山県	富山大学	環境	地域ごとにその地にあった業界があるのは当たり前であると思うが、働きたいと思える業界が何かしらの形で地元にもできる
長野県	岐阜県	岐阜女子大学	環境	交通の便を良くする。特に、バスが無く、自家用車がなければ買い物や病院などが遠いため不自由なことが多い。企業が少ないため就職して地元に入ってくる人が少ない。自然豊かで綺麗な水や空気を利用した工場や企業はあるが少ない。
岐阜県	岐阜県	釧路公立大学	知る機会	あまり大学の所在地に縛られず日本全国の企業の説明会が大学や大学近辺の施設で参加できるようになると業界・企業研究に役立ち、地方の優良企業を知るきっかけともなるので地元就職を希望する人を増やすことになると考えます。実際、私の通う大学では所在地の地元企業や都市部の企業の説明会は充実していましたがその他地方の企業について知る機会がありませんでした。
岐阜県	岐阜県	金城学院大学	知る機会	地元企業の合同説明会が地元の会場であれば良いと思う。地方だと中小企業が多く、大手も参加する大きな合同説明会だと会える機会がとても少なく感じる。新聞などで掲載されているときもあるが、多く企業の集まる合同説明会の方が、学生にとっても一度にたくさんの企業と会うことが可能となり、企業にとっても自社を多くの人に知ってもらう意味で良いのではないかなと思う。
岐阜県	岐阜県	岐阜大学	知る機会	小学校から高校までの教育の中で、地元の社会に貢献しているような企業であったり、地元根差した企業の紹介をする機会があれば興味が生まれる可能性もあると思います。また、学校の実習という形で、興味のある地元企業の仕事を体験する機会ももっと増えていけば、就職の選択肢として地元の企業も含まれるようになると思います。小さい頃からの接点が増えれば増えるほど、地元企業への就職を希望する人も増えると思います。また、周りの大人達が生き生きと働いて生活している姿を見ることで地元への就職に意欲を持つ学生も多くなると思います。
岐阜県	岐阜県	下関市立大学	知る機会	地元の企業を知る場を設けること。大学に入ってからでなく、高校までにもっと多くの人が知っていることが大切だと思う。

岐阜県	岐阜県	名古屋工業大学	知る機会	大学生に知ってもらうことも大切ではあるが、高校生にも岐阜の企業の紹介する機会を増やしたほうがいいと思います。大学に入り、さあ就活するぞ！と思ったときによっぽど地元愛が強い限り、地元で就職することは難しいと思われます。地元愛を学生に根付かせるためには、長い目で若いうちから地元企業を紹介する機会を作っていくべき。
岐阜県	岐阜県	岐阜大学	知る機会	まず地域の良さを知ること。そして自分の地域の課題を見つめ、私たちが貢献できることは何かを考える頭を身につけるためのセミナーを行うこと。
岐阜県	岐阜県	名古屋工業大学	知る機会	地元の企業の合同説明会を開く。例えば東海の人間なら、愛知の数多くの企業に目があったしまい、地元の企業を知る機会が少ないと思う。地元にも優良企業があるということを説明会を開いて伝える。また、都会の企業でも自分の地元で働く場所があるかもしれないから、しっかりと企業側もアピールする。
岐阜県	愛知県	愛知淑徳大学	知る機会	地域活性化で企業が参加するイベントを増やすといいと思う。地元の魅力が改めて分かり、就職したくなるのではないかと考える。あとは給料や手当てが多少良くなると良いと思う。
岐阜県	大阪府	関西学院大学	知る機会	地元企業が地元の発展に貢献している、もしくは地元企業自体が活力があることをアピールすべき
岐阜県	徳島県	徳島大学	知る機会	地元から離れて大学に通っている人にも地元の就職情報が届くようにする。そのために、大学のキャリアセンターに地元（大学の所在地）以外の情報も提供してもらえるようにすると良いと思う。
岐阜県	三重県	三重大学	知る機会	業種別に全国にどんな会社があるか知れるようなマップを作成し、視覚的に調べやすくする。（地図のピン留めのようなもの） その土地の自然や公共交通機関、住む場所の参考になる。
岐阜県	神奈川県	東海大学	金銭的支援	奨学金の制度を充実させる。例えば、地元を離れて進学しても地元で就職すれば、返還不要など。
岐阜県	岐阜県	愛知大学	金銭的支援	地元で就職される方に対して住居の手配や補助、生活の仕方を具体的に説明することで地方へ行く抵抗が少なくなると思う
岐阜県	滋賀県	滋賀大学	金銭的支援	地元就職の人には入社時に謝礼金のようなものを渡す。中学生高校生時からもっと地元の企業を知る機会を作る
岐阜県	千葉県	明海大学	金銭的支援	地元に戻るまでに時間とお金がかかるため、ウェブ上で説明会や面接を行えとたすかる。また、奨学金の肩代わりや、Uターン就職する事で補助が出ればありがたい。
岐阜県	岐阜県	名古屋大学	金銭的支援	都会までの公共交通機関の整備によって地方と都会の距離を短くする。地方における土地及び住宅購入の補助制度の拡充。地方のみの税金優遇策の実施などにより地方での買い物需要と仕事の供給を増やす。観光業の発展によって地方における仕事を増やす
岐阜県	滋賀県	立命館大学	環境	魅力的な企業や大きな企業の本社が、東京都、大阪になどに密集しているから、首都である必要のない企業の本社が地方に流れるようにして欲しい。
静岡県	京都府	立命館大学	知る機会	他の企業に負けないような特徴を知ってもらう、技術の導入や情報の処理など最新の技術や情報、社会の動きに敏感な経営を行う
静岡県	秋田県	秋田大学	知る機会	分野ごと（化学や電気など）に地元企業がまとめられていれば、企業研究を行いやすくなると思う。
静岡県	山梨県	山梨大学	知る機会	学内の合同企業説明会は地元の企業と触れる良い機会になりました。私は就職活動をするまで地元の企業に関して全く知らず学内の説明会で初めて知った企業が多かったです。説明会の中でとても親切に私の話を聞いて下さり、その中でその技術であれば会社で活かせるかも知れないということを教えて下さり、将来私が企業で働くイメージが具体的に掴むことができました。
静岡県	静岡県	愛知淑徳大学	知る機会	交通費支給（新幹線代も含む）の、ISや会社説明会があれば、地元就職のきっかけ作りになると思います。
静岡県	静岡県	静岡大学	知る機会	WEBを利用した説明会の機会が増えれば、より希望しやすいと思います。遠方に進学していると、地元や都心で開催される説明会になかなか参加できません。また、企業の紹介を積極的にすべきだと思います。地元の企業は見落としがちなので、知るきっかけが大切だと思います。
静岡県	山梨県	都留文科大学	知る機会	Web説明会を早い段階で行う。交通費補助または面接回数をwebなども駆使して減らす（面接などで毎度帰省すると交通費がかかるため。また学業や首都圏での就活との日程調整が難しいため）
静岡県	愛知県	名古屋文理大学	知る機会	WEB説明会があるのと無いのでは、Uターンの人にとって計画を立てやすいかどうか決まるためぜひ開催して欲しい
静岡県	静岡県	常葉大学	知る機会	もっと企業を合同説明会で出展すべきだと思います。3年の3月ギリギリに今まで話を聞いた事がない、興味のある会社が多く、全部の会社の説明を聞けるわけではないので、もっと早めに、いろんな企業の説明を聞きたい。
静岡県	静岡県	静岡文化芸術大学	知る機会	その地元で働くことの良さをアピールしたり、アクセスが悪い人に向けてWebでの説明会などを積極的に実施する。
静岡県	愛知県	名古屋外国語大学	知る機会	インターンや会社説明会の機会を多く設けてさまざまな業界の会社が学生とコミュニケーションできるといいと思う。参加する企業の数が多ければ多いほど多くの学生が興味を持って参加するようになると思う。地元の企業について学生がもっと知ること地元就職を希望する人が増えると考えます。
静岡県	愛知県	東海学園大学	知る機会	私自身もUターンの合同企業説明会にて情報を得たため、そのような機会が多いと人が増えると思います。
静岡県	神奈川県	東京電機大学	金銭的支援	奨学金肩代わり。給与の向上。地域活性化。交通インフラの整備。情報を得やすい様に改善される（展示会など。現在は都心で開催される頻度が多い様に感じる。）
静岡県	静岡県	常葉大学	金銭的支援	新卒採用に対する費用を今の三倍くらいに増やす。就活生は、もちろん学生であるから、お金を利用しないと戻ってこない。その他にも、福利厚生面でもっとお金をかけ、働きやすい環境を作るべきだと思う。
静岡県	静岡県	常葉大学	金銭的支援	住宅補助などの福利厚生を充実させることができれば地元就職を希望する人が増えると思います。また、初任給やボーナス、昇給などの労働条件を好条件にすることも地元就職につながると思います。
静岡県	島根県	島根大学	金銭的支援	給料を全国統一にする。地元の人には手当をつける。テレワークやドレスコードフリーを積極的に取り組む。
静岡県	愛知県	中京大学	金銭的支援	交通機関があまり発達していない場所であれば、自動車を購入するときのお金を一部負担などの制度があると嬉しい。
静岡県	長野県	公立諏訪東京理科大学	金銭的支援	Uターンを希望する方はどの方も説明会やインターンシップのための交通費がネックになることがあります。そのため、Uターン希望者の方には出来るだけ企業の方から交通費を出してもらえると会社の説明会に行きやすく興味が湧きやすくなり、Uターンを希望する方が増えると思います。

静岡県	愛知県	名古屋外国語大学	金銭的支援	交通費を援助。就活をして働いたとしても大学院への進学を可能としたり、今後の未来へと活躍できる制度をもうけその土地ならではの魅力を研究テーマや事例を通して伝える。合同説明会を土日または長期休暇中に行い、帰省中に参加しやすい制度をもうけ、他の地方から来た人に対し、ノベルティーを充実させる。各企業のインターンシップが、平日に開催されていることが多く、学業中心で動いている学生にとっては参加しにくい休日に参加しやすい環境がほしい。
静岡県	静岡県	静岡大学	金銭的支援	東京でなくても、魅力的な会社が多くなってくればいい。住む環境は、都会よりずっと良いと思うので、買い物だったり働きやすさだったりというところで都市部に劣るところが少なくなれば増えると思う。または、単純に地元就職したらお金がもらえるなど。
静岡県	静岡県	静岡理工科大学	金銭的支援	都会に比べ福祉厚生などの面を全面的に出しそこをアピールするべきだと考える。給与の面では圧倒的に負けてる為そこ以外の面をもっとアピールし都会とのメリットデメリットをはっきり載せる必要がある。
静岡県	神奈川県	神奈川大学	金銭的支援	多少の賃金格差はしょうがないとは思いますが、でしたらもう少し福利厚生での差を見せつけるべきだと思います。都会並みに賃金があると同じ業種の会社で悩んだ時最後はその辺が判断材料になるからです。
静岡県	大分県	立命館アジア太平洋大学	金銭的支援	地方となると車の所持が必然となるが、そこに対するサポート（免許取得や車両購入）を手厚く行うと学生にとってはメリットである。又、借り上げ社宅を完備して頂くなどの対応をしてもらえると考えやすくなる。
静岡県	静岡県	静岡県立大学	環境	企業の支店設置を誘致し、地元支店を増やす。なぜなら、地元は好きだが、自分の希望する職種は、都会に多いため。
静岡県	群馬県	高崎経済大学	環境	新幹線通勤やMaaSを取り入れた出勤スタイル。選考をwebや他県で積極的に行う。選考のための交通費を出す。
静岡県	兵庫県	関西学院大学	環境	交通の便を良くする。わたしの地元静岡県は、新幹線の車庫があるにも関わらずのぞみ1号がいつも止まりません。ひかりでも、1時間に1本しか止まりません。そしてバスが高くて時間通りでない。これは地元のバス会社が独占企業であるからというのが挙げられます。それが全ての原因ではありませんが、大きな強みにはなるのではないかと考えています。
静岡県	愛知県	名古屋女子大学	環境	転勤なし(地元で長く働ける環境があると嬉しいため)交通費あり・車通勤可(車保有者が多く、生活の一部として車があるため)など
静岡県	静岡県	静岡産業大学	環境	他県の学生に対し、地元の学生および、地元出身の学生を優先的に積極的に採用すると、表や数字を使い、明記して頂ければ嬉しいです。または、選考を少なくする、選考難易度を下げるなど、特典の様なものがあれば嬉しいです。
静岡県	神奈川県	鎌倉女子大学	環境	交通の便の改善(電車を通してほしい)。若い人が増えてほしい。奨学金の返済を肩代わり。働きやすい環境
静岡県	静岡県	常葉大学	環境	地元が住みやすい都市であれば、自然と人が増えると思うので、住みやすい都市づくりをしていくことが大事
静岡県	東京都	聖心女子大学	環境	事務職、研究職が地元では主なため、マスコミ系とかIT系の進出求む。元々人口は勝手に増えているので、スーパーマーケット以外の職の見つけにくさ。
愛知県	愛知県	中京大学	知る機会	本社が他都道府県でも「エリア限定職」がある企業を集めた合説開催やパンフレットなどを作る。
愛知県	愛知県	三重大学	知る機会	情報を発信しなければ伝わらないので、積極的に大学に出向いて宣伝をする。自発性を尊重し、何か参加型のイベントを組む。
愛知県	愛知県	名古屋大学	知る機会	自分は地元(名古屋)に優良企業があるからたまたまUターンになっただけで、もし地元が田舎で大した就職先が無ければ地元就職はしません。そのため、一般的な地方への就職を意味する地元就職をしてほしいなら、福利厚生、安定性のある企業が学生向けの広報活動をしてもらわないと目にも止まりません。そのため、マイナビのオファーやリスティング広告等で企業側からアピールしてくれたら視野に入れると思います。ただ、調べればその会社の良さ、悪さはすぐ分かるので相当自分に合っていると思える良い企業でなければ就職したい、とまではいきません
愛知県	愛知県	桜花学園大学	知る機会	実際私の大学では県外就職を希望する学生が多くいるため、Webセミナーやイベントなどを通してさらに地元企業が積極的にアピールする機会などを増やすと良いと思います。
愛知県	京都府	京都大学	知る機会	地元高校からどこの都道府県に多く進学しているかを調査し、進学率の高い都道府県にて就職説明会の開催、また、高校同窓会の会報に企業広告を掲載するといった活動をすれば、目にとまりやすくなると思う。地元に戻るタイミングでもある成人式で地元企業も協賛でイベント開催、成人に配られる記念品でアピールするといった取り組みはどうだろうか。
愛知県	愛知県	椙山女学園大学	知る機会	図書館などが人が集まりやすいところに、掲示板などで新卒求人情報を公開して欲しいです。合同説明会だとその日に行かなければ情報が得られませんが、掲示板なら都合の良い時に自ら情報を得に行けるからです。
愛知県	愛知県	愛知淑徳大学	知る機会	地元就職希望者を選考の際に優遇する。一次選考免除や選考地方開催。社員を地方に迎えた広報活動。
愛知県	愛知県	名城大学	知る機会	地元で働くことで仕事とプライベートの両立ができるというメリットをしっかりと伝えることが必要だと考える。
愛知県	奈良県	奈良女子大学	知る機会	愛知県内の中小企業は愛知県内だけで企業説明会をやる人が多いです。そのため、大阪、東京、福岡、北海道などの大きな地区だけで良いと思うので、県外でも企業説明会を開くと良いと思います。また、地元就職者向けに情報を積極的に提供するネットワークを作ることで、情報の少ない県外の人でも県内の人と同じだけの情報を得られるようにすると良いと思います。
愛知県	愛知県	大同大学	知る機会	地方でも都会と同じレベルの教育(学校の分校)を設立、地元自治体主催のセミナーを都市部と同等程度に開催する(現状では、都市部のセミナーのほうが参加企業数が圧倒的に多く、地方に選択肢がない)
愛知県	愛知県	南山大学	知る機会	地元の企業の情報を詳しく知る事ができる機会を増やす。また、その機会があることを知る手段を広く発信する。
愛知県	愛知県	椙山女学園大学	知る機会	就職説明会が東京と大阪にあり、名古屋がないことがあるので、もっと名古屋に説明会などを増やすと地元での就職を希望する人も増えるのではないかと思います。
愛知県	愛知県	愛知淑徳大学	知る機会	本社が愛知にあるだけではなく、支店や支社が地元にあるだけで、就職先としての候補となります。面接や説明会をさまざまな地域で行うことで、参加しやすくなると思います。エリア総合職などを積極的にアピールすると地元就職を考えている人には有効なのではと思います。
愛知県	愛知県	名古屋工業大学	知る機会	地元企業が集まり、合同説明会をすべき。また、愛知県は地元の大学との関わりが強いので、推薦制度や、ジョブマッチングなどの制度等を強く推すべき。
愛知県	愛知県	金城学院大学	知る機会	就職してからの会社展望や福利厚生を知る機会である合同説明会や単独の説明会をいろんな場所で行う。
愛知県	愛知県	岐阜聖徳学園大学	知る機会	一次産業のイメージが強いので、どんな業界・業種の企業があるのかまとめているWEBページを作成する。

愛知県	東京都	帝京大学	知る機会	面接はwebをたくさん取り入れたほうが良いと思います。現に説明会やインターン、面接なので交通費がかかっています。現段階でも6万円は超えています。なので、少しでも交通費や時間の削減ができれば良いと考えます。
愛知県	石川県	北陸大学	知る機会	やはり、地元の企業を知るインターンシップは大学の授業を受けながらだと授業を休むしがなく、気軽に帰れないので、夏休み春休みに集中してしまいます。そして、みんな同じ考えなので抽選から外れてしまうことも多いです。Uターン学生用の枠を取っておいでもらえたら、インターンシップに参加できてより会社を知り、地元就職を希望する人は増えるのではないのでしょうか。
愛知県	愛知県	椙山女学園大学	知る機会	webセミナーを増やすことで、より気楽に参加出来、実際に学生がその場に足を運ばなくても企業の魅力を知ることができる。
愛知県	滋賀県	京都大学	知る機会	夏休み等を利用しての長期ワーキングホリデー（給料あり、住み込み可）の増加、およびその広報の充実。また、ワーキングホリデーそのものの周知
愛知県	石川県	石川県立大学	知る機会	地元には探せば優良な企業があると思うので、就活生に見つけられるように促せば良いと思う。例えば、合同企業説明会へ出展し、そこで会社説明だけでなくちょっとしたワークなどを開催し、他社と違うブースを作れば少しは関心を持つと思う。
愛知県	岐阜県	岐阜大学	知る機会	就職活動で最も大切なことは情報だと思います。しっかりと芯を持っている人は少なく、ほとんどの人がどうしようかな悩んでいると思います。「地元こんな会社があったんだ」等知ることその後が大きく変わると考えられるため、まずは知ること情報を掴むことが大切だと思います。結論アイデアとしては情報をたくさん提供することが必要だと思います。
愛知県	京都府	同志社大学	知る機会	就職活動関連のサイトに地元企業の特集ページを充実させることが有効であると考えます。私の地元である愛知県は大手企業、または大手企業のグループ会社が数多くあります。企業グループごとに情報を掲載することで情報収集が容易になり、地元就職を希望する人を増やすことにつながると考えます。また、グループ企業ごとの事業内容の違いをまとめているサイトがあれば、企業選択の際、就活生の助けになると思います。
愛知県	愛知県	愛知大学	知る機会	愛知県はもともと地元就職が多いですが、その宣伝のために、大学での地元就職推奨フェア(セミナーとか、インターンシップ特集)が多いかなと感じます。
愛知県	愛知県	椙山女学園大学	知る機会	地元就職のメリットを取り上げて欲しいです。興味がない人にも合同説明会に出展し、積極的に呼びかけ、知ってもらう機会を作る。私自身実際興味の無い職種も合同説明会でたまたま知って、選考を受けてみることもあったから。
愛知県	愛知県	名城大学	知る機会	自動車業界を志望している私にとってトヨタが県内にあるのはとても魅力的です。そこで愛知県の自動車業界を志望している就活生に限って言えることですが、トヨタ系の企業のみが参加するような合同説明会が開催されれば、自動車業界を志望する身としては地元で就職したいという思いが強くなると思います。現在、トヨタ系の企業に就職したいという思いが強くなるような機会や催しはあまりなく、どこでもいいから自動車業界に携わりたいと考えている就活生は少なくないです。折角トヨタが愛知県にあるのならそのような機会があっても良いのかなと思います。
愛知県	大阪府	大阪市立大学	知る機会	地元企業の人手不足など現状を知ってもらう機会を増やす、都市の大学で地元の特化した就活イベントを増やす
愛知県	愛知県	星城大学	知る機会	地域の良さをもっとアピールし、知ってもらう。各企業の押しが弱いから、もっとアピールする。
愛知県	愛知県	愛知大学	知る機会	市や商工会議所などが力を入れて、合同企業説明会をやるべき。そうしたら絶対行くのに。大学が県内でも片道2時間かかるところだから、そっちの地方の企業の情報しかわからない
愛知県	愛知県	愛知学院大学	知る機会	地元に戻る期間を設け、その期間で地元で多くの説明会をし、知ってもらい地元就職しやすい雰囲気を作る
愛知県	愛知県	中部大学	知る機会	・地元企業を紹介した動画を作成して就職活動前の学生に見せる・地元就職の良さを訴えかける
愛知県	愛知県	名古屋学院大学	知る機会	地元で優良企業を増やしたり、就職を考える前の中学高校で地元の素晴らしい企業や活躍している企業を紹介するような機会、地元で就職することによって得られるメリットなどを授業などで行うと良いと思う。
愛知県	石川県	金沢大学	知る機会	Web セミナー、Web面接を積極的に使うことで遠方に住んでいる学生でも地元の企業をより知る、希望ことが可能になるのため、インターネットをより使ってほしい。
愛知県	愛知県	愛知工業大学	知る機会	トヨタグループで合同企業説明会を開催すること。私の地元は自動車産業に強く、ほとんどの企業がトヨタの自動車産業に関連するものである。よってトヨタ主催で合同企業説明会を開催することでトヨタグループの安定感、繋がりアピールし、自動車産業を県そのものの強みとして打ち出すことで、トヨタのブランドカラーに惹き寄せられ地元就職を考える人が増えるのではないかと考える。そして、最近台頭してきているWEB合同説明会も行い、地元だけでなく、県外に行った人にもUターン就職を考えてもらう機会を提供する。
愛知県	京都府	京都先端科学大学	知る機会	Uターン生向けの説明会で、通常のインターンより長めの時間で多くの内容を知れる方がUターン生にとってはとても有効な説明会、インターンとなると感じます。1回が短いと複数回参加することになり、交通費がかさんだり、日程調整が難しくなる場合があると感じました。
愛知県	愛知県	中京大学	知る機会	大学での企業説明会を行い、その大学を卒業し働いているOBに説明会をしていただく事で、身近に感じ、入ってみようかなと思える。
愛知県	千葉県	法政大学	金銭的支援	地元を盛り上げるため、その地域にある会社が協力し合い、イベントをしたり、売り上げを伸ばすような、注目される取り組みをするべきだと考える。
愛知県	愛知県	名古屋外国語大学	金銭的支援	結局は地方との賃金格差が問題なのだから、行政が働きかけたりしてその差を縮めていけばいいのでは？
愛知県	愛知県	名古屋外国語大学	金銭的支援	給料やキャリアアップなどの強みがないから、それらを改善できれば地元で就活する学生が増えると思う。
愛知県	愛知県	名古屋市立大学	金銭的支援	都会の方が給金が高いことが多いため、その調整。また、リモートワークといえど全く会社に行かなくていい訳では無いため、交通の便を良くすること。会社に行くだけでお金や時間が大量に取られてしまうのはメンタルにくる。また、実家があっても社宅や賃貸を使える制度があると良いと感じる。社会に出て一人暮らしをしたい、家族に毎日文句を言われるのがいやだという人もいるため。近くに住んでいるため、何かあったらすぐ駆けつけることが出来、でも普段は1人でゆったり暮らせるというのが1番精神的にゆとりがでけると思う。
愛知県	愛知県	愛知学院大学	金銭的支援	地元就職であっても通勤手当の他に住宅手当があればいいと思います。一人暮らしをしたい人や同じ県内でも通うのは少し遠い場合に住宅手当があれば勤務地に地元で働く人が増えるのではないかと思います。自分自身行きたい会社を見つけたが、自宅から通うのには距離が遠く、住宅手当は県外の営業所に行く場合のみであり、勤務地によってその会社をあきらめるという選択になりました。一人暮らしをしたい人は、地元を離れることが多いため、地元就職であっても住宅手当があれば地元就職を希望する人が触れるのではないかと感じます。

愛知県	愛知県	金城学院大学	金銭的支援	実家からの就職の方の採用が盛んなため、一人暮らしでも採用があることのアピールと、車社会のため車の維持費の補助制度、大学から名古屋の方が多いのでその方たちの獲得のため尾張地方・三河地方の地理特性として全国的にも三河地方知多半島の地価物価の安さと名古屋や県外へのアクセスが意外に良いことがあることなど生活のしやすさについてをアピールすること、また初年度は名古屋勤務など。
愛知県	愛知県	愛知大学	金銭的支援	1. 給料と待遇を都都市と同じ基準にすること 2. 保守的な風土を無くすこと 3. 会社近辺に娯楽施設や子育て施設を充実させること
愛知県	富山県	富山大学	金銭的支援	鉄道、地下鉄、バス等の発達や自家用車購入の支援策、どうしても金銭的に自家用車の購入が厳しいことが大きな要因と挙げられるため。
愛知県	愛知県	金城学院大学	金銭的支援	地元住宅支援金制度。実家を離れ一人暮らしを経験したいと考える学生も多い。そのため地元が近くても住宅手当が出る制度がよい。地域のよさを企業側がアピール。都心に行かずとも、この地域だからできることを企業がアピールするとよい。
愛知県	愛知県	南山大学	金銭的支援	採用に優遇を付けたり、インターンに参加すると交通費や弁当が手当てされる。そのようなきっかけを作り、説明会などに参加しやすくし、様々な情報を得ていく中で徐々に志望度を上げていく。
愛知県	愛知県	名古屋外国語大学	金銭的支援	Uターン就活生の交通費支給や実際地元就職された先輩からのアドバイスをいただけたら分かりやすい
愛知県	京都府	同志社大学	金銭的支援	愛知県に關してですが、名古屋以外の市町村だと公共交通機関が整っておらず、車社会なので、免許取得や車の所有に關して補助がでたらいいかもしれません。
愛知県	千葉県	神田外語大学	金銭的支援	わたしは愛知から東京へ進学のため、上京し、就職も東京や東京付近の県で考えています。やはり一人暮らしをしてみても、自立や新しい環境で過ごすことによって成長できたと感じています。地元で就職となるとやはり自宅からの通勤が望ましいと感じますが正直一人暮らしに慣れてしまい、実家に戻るという選択肢がない人もわたしを含め、いると思います。そのため、もし地元で就職するのであれば一人暮らしできるように住宅手当などの待遇があればいいと考えています。
愛知県	愛知県	金城学院大学	金銭的支援	給与アップや、福利厚生充実(産休育休手当やより働きやすい時短勤務、介護手当、アニバーサリー休暇など)があるとよいと思います。
愛知県	愛知県	愛知学院大学	金銭的支援	・経済を活性化させる・全国にある事業所がある場合異動なし・給与水準を上げる・マイホームを買う際や土地などの税金を下げる・自分の周りの友人なども皆んな地元に残るなどなど
愛知県	愛知県	南山大学	金銭的支援	現代は、働くこととプライベートの両方大事にする人が多く感じる。なので、会社の規模が小さくても基本的な福利厚生くらいは整えておく。休日日数、有給も十分にとる。働きやすい会社になるだけでも志望する学生が多くなるはずであると思う。
愛知県	愛知県	金城学院大学	金銭的支援	地方手当などがあるとその手当の発生する地方を選ぶ人が増えるのではないかと考えました。
愛知県	愛知県	愛知県立大学	環境	私は広告業界のエンジニアを目指しているため、広告業界のエンジニアが活躍できるような企業が地方においても発展して欲しい。東京本社で地方に営業所などはあるが、エンジニア職は東京で働くことが多いと感じている。
愛知県	愛知県	名城大学	環境	地方のテレビ局がキー局の番組をもっと放送する。ジャニーズの番組は愛知県では全然放送されません。
愛知県	愛知県	名古屋市立大学	環境	交通手段が便利だといい。商業施設のような買い物ができる場所が近くに欲しい。電車＋徒歩30分圏内で何でも済ませると良い
愛知県	愛知県	愛知県立大学	環境	地元で就職で転勤なしを希望する場合、どうしても総合職が難しくなることが多いため、総合職の中でもエリア限定ができるとありがたい。またエリア限定と全国転勤型でも業務内容が変わらないとより良い。
愛知県	愛知県	愛知大学	環境	地元学生を優遇すると明記すると記載があれば、地元企業の選考に参加する学生が増え、最終的に地元企業に就職を希望する学生が増えると思います。
愛知県	愛知県	中部大学	環境	公共交通機関の値段がもう少し下がれば、定期を使って通勤する人が増えるかもしれない。
愛知県	愛知県	愛知淑徳大学	環境	地元密着の小売の企業がもっと増えれば良いのになと思っています。物作りの盛んな地域だからこそ、それを売る企業も地域に密着した存在であるべきだと感じています。私も、就職活動をするにあたって、最初に感じたことは、自分の地元の小売の企業が少ないということです。そう思っている人は自分だけではないと思っています。その為のノウハウを学ぶ為に、現在就職活動で他企業の選考を受けています。
愛知県	愛知県	愛知淑徳大学	環境	都会でしかできない仕事が地方でもすることができるようになったら、少し増えるかなと思います。
愛知県	愛知県	南山大学	環境	自家用車を持っていることが前提だったりするので、駅近に立地していれば増えるのではないのでしょうか。
愛知県	愛知県	愛知工業大学	環境	地元での就職先での選考が有利になる枠を作ればいいんじゃないかと思う。(1、2枠ぐらい)
愛知県	愛知県	名古屋学芸大学	環境	それか、社員に説明受けることで、少し免除されるやつみたいに、地元就職で少し免除されるというのがあったらいいなと思った。
愛知県	愛知県	愛知工業大学	環境	会社の中に施設をたくさん作り、都会のように便利にすると地元ならではの不便さが解消されるのではと思います。
愛知県	愛知県	長浜バイオ大学	環境	私が地元に住たくない理由は芸能人の追っかけがしにくいからなので、芸能人のイベントをいっぱいやってくれればいいと思います。
愛知県	愛知県	大同大学	環境	トヨタ系列でない、名古屋支社がある企業が少ないので、名古屋支社や、研究所があれば良いと思います。
愛知県	愛知県	大同大学	環境	都市の魅力(ライブの開催の都市が近い、好きなものの専門店が沢山あるなど)が就活生に満遍なく伝わる
愛知県	愛知県	大同大学	環境	地方に出ていく大きな原因として、私が住んでいる地域はコンビニに行くにも歩いては行けない田舎なので、地元から出ていく1番の原因は1人1台自動車がないと生活できない環境だからだと思う。そこを改善しない限り不便を感じ東京へ進出する人は減らないと思う。幸いこの地域の人は地元愛が異常に強く高校大学の進学で県内に残った人はほぼ地元での就職を希望している(説明会の質問で異常なほど転勤はないかが問われる)愛知県は名古屋まで簡単に出来る環境があれば住みやすい地域ではあると感じられるので名古屋鉄道の特急が停車する駅の駅前・周辺をもっと発展させ新社会人にも借りやすい環境のアパートを増やせば、名古屋や知多半島の工業地帯を東京に見立てた就職先とベッドタウンの関係が作れると思う。これが実現すれば休日は簡単に親族の元へ帰れて1つの県で完結した環境が出来上がるのではないだろうかと期待する。
三重県	愛知県	南山大学	知る機会	ママカフェやシニアサポートなど、地域活性化の活動を行っている企業の増加及び学生にもその情報が伝わってくことで地元就職を希望する人が増えると思います。
三重県	三重県	愛知大学	知る機会	都市の方が質の高い就活ができる、というイメージがあるのでその払拭が必要だと思います。
三重県	三重県	南山大学	知る機会	もっと中小企業を知る機会を増やす。会社ホームページを充実させて欲しい。まだ去年の採用ページの会社がある。

三重県	三重県	大阪工業大学	知る機会	回数を増やして欲しいのと、学歴で選ばれる企業の方はwebになりますます見える部分しか重視しなくなった。ので、救命処置のようなことをして欲しい
三重県	三重県	愛知淑徳大学	知る機会	地元企業を知る機会がほとんどないので、合同企業説明会などがあればいいのになと思います。
三重県	高知県	高知工科大学	知る機会	地方にもっと支社を建てたりするともっと地元希望が増えると思います。また、地方の会社説明会をWebで配信すれば他の地方や遠方の学生も交通手段や日程に困ることなく、企業のことを知ることができ、地元で就職しやすくなると思います。
三重県	三重県	三重大学	金銭的支援	地元企業が合併して、比較的大きな組織となり、大都市圏ほどではないまでもある一定水準の収入を担保する。
三重県	静岡県	静岡大学	金銭的支援	地元就職した際に、何かしらの報酬や対価があれば地元就職を考えるきっかけにはなると思います。希望するかどうかは別として。
三重県	愛知県	中部大学	金銭的支援	待遇をあげる。具体的には、給与を最低でも東京並みにし、年間休日を120日以上にすること。残業を無くし、実労働時間の短縮。リモートワークなど。これらを東京よりもより推進させる
三重県	三重県	皇學館大学	金銭的支援	個々の企業の生産性を高め、給料を上げる。また、現状維持ではなく新しいことへの取り組みを積極的に行う企業が地方には少ないと思うので、その点を見直していただきたい。
三重県	愛知県	愛知学院大学	金銭的支援	年功序列ではなく、能力で重要な役職に配属され、給料も決まる。また、ダイバーシティのある会社。
三重県	愛知県	藤田医科大学	金銭的支援	お給料がいいところ。暇が潰せるところがたくさんあるといい。趣味のボルダリングやジム施設があるところが増えたら嬉しい
三重県	愛知県	中部大学	環境	工業地帯で賃金の安い外国人の方々を採用しているため全体として働くところが少なく、給料も安い。そのため、給料は安くても地元で住むと両親がいるので地元に住んでいたいと言う人や高校卒業後働いている人以外は積極的に周りの都市(愛知、大阪、京都)などに移り働いている。地元から大阪や愛知といった都市へ行くこうすると、交通費がその都市に住んでいるよりも高くなる(不便なので私鉄などの値段が高い)ので若い方々は全体的に地元から通うこともなく、働いている都市へ移住してしまう傾向があると思う。そのため、より地元企業を増やして給料を上げ、交通も便利にして交通費よりもその働く先の都市にいた方が安いという現状を変えた方がよいと思う。さらに、どちらにせよ地元から都市へは2時間30分以上掛かるので残業をしてしまうと地元の交通機関はもう既に終わってしまっているのて歩いて帰るにしても駅から山を一つ超えないといけなないので帰れなくなってしまう。そのため、テレワークやリモートワークを取り入れたり、交通機関を充実させ、より早い電車が通ればより自分たちが育った地元が大好きな若者たちが地元根付きながら働いてける環境が作れると思う
三重県	愛知県	名古屋工業大学	環境	理系の人が携われるような工場であったり誘致を行う。また、大手と呼ばれる企業であったり、btob等の企業の誘致を行うことで理系の学生が増えると考えています。他には、積極的に出身地の企業についての特集であったり、説明会や企業紹介と言った企業を知る機会を学生や就活生に対してアピールができると知る機会が増えるため、価値観が広がると考えています。
富山県	愛知県	南山大学	知る機会	難しいことかもしれませんが、地元から離れた大学に通う学生全員に強制的に地元の企業の紹介が行われるような機会があると、全く興味がなくても一度でも話を聞けばもしかしたら興味を持つことにつながるかもしれないので、あったらいいと思います。私自身も先入観から地元の企業を選ばずに就活してきたので、強制的に話を聞かなければいけない機会があったならよかったなと思いました。
富山県	兵庫県	神戸大学	知る機会	実際にUターン就職した人の話を聞く場所を積極的に設ける。地元のよさを謙遜せずにPRしていく。
富山県	京都府	同志社大学	知る機会	地元にある大手企業を紹介する。地元の活性化を推奨する。私の住んでいる富山県は住みやすい県と言われていますが若者にとってはつまらない県だと思います。高齢者にフォーカスした政策を取りすぎて私たち若者へのアプローチが疎かになっていいます。若者のための街づくりをもっとして欲しいです。
富山県	千葉県	千葉大学	知る機会	探せば魅力的な企業には出会えるので、もっと企業情報を得やすい環境を整えば良いと思う。
富山県	大阪府	神戸大学	知る機会	設問のひとつにありましたが、結婚したい人が地元にいると、帰ろうかと思うと思います。一見就活とは関係なさそうですが、そういうマッチング要素を取り入れた就活イベントがあると、興味をそそられるし、つながる部分があると思います。
富山県	愛知県	金城学院大学	知る機会	私が地元就職をしない理由は、やはり地元よりも便利であり、安定していると考えてしまうからです。実際にそのような状況ではないことを教えていただく機会があったり、さらにUターンに関する情報をもっと配信していただければ関心が深まるのではないかと思います。
富山県	愛知県	名古屋大学	金銭的支援	地元では共働きの夫婦が多いため、教育・保育制度を充実させれば積極的に希望すると思う。また、家の補償よりも車の補償をしてほしい。
富山県	富山県	高岡法科大学	金銭的支援	自家用車通勤を可能にしてくれ、駐車場などの契約を会社でしてくれる。もしくは、住宅手当を地元就職の人にも当ててほしい。県外からの人には手当があるというところが多い。
富山県	石川県	金沢大学	環境	大企業や急成長企業の地方支店設営を支援する制度を地方自治体が設け、積極的に企業誘致に取り組む。(ex和歌山県白浜市)
富山県	東京都	亜細亜大学	環境	老舗が多いので、若い企業やベンチャー、スタートアップの会社を増やすべき。またそのような企業を知ることがないので、宣伝にも県が力を入れるべき。
富山県	富山県	富山大学	環境	富山は車がないと不便な場所が多いため、公共交通機関の整備、駅前の活性化が求められると思う。また、富山について知らない人に、富山の魅力を知ってもらうため、特産品のPR、またはアニメの聖地としてやっていく。
石川県	富山県	北陸職業能力開発大学校（応用課程）	知る機会	地元に戻る交通費がかなりの負担になるため、ネットなどでもっと情報を受け取れるようにすればいいと思う。
石川県	富山県	富山大学	知る機会	地元で行われる合同企業説明会に参加さえしてもらえればいい企業が見つかって希望する人が増えると思うので、参加を促すようなキャンペーンとかを用意する
石川県	石川県	金沢星稜大学	知る機会	大企業でも地元採用がある事をもっと分かりやすく明記してもらいたい。また、将来的な生活(子育ての環境など)は都会よりも良いと感じる点があるので、そのような魅力を発信して行くといいと思う。
石川県	大阪府	神戸市外国語大学	知る機会	東京、大阪、名古屋などの都市で例えば北陸出身や石川県出身など地域を限定して就活生を集めて交流会の体で地元の企業説明を兼ねてカジュアルに話せる場を作る。離れた都市で就活に励む人たちにとって同じ出身地というだけで親近感や結束感が生まれるので単に交流目的の参加者が募りやすいと思う。漠然と周りに合わせて東京で働きたいと思っている地方出身者は多いので地元企業の情報を得る機会を増やすことで希望する人を増やせると思う。
石川県	石川県	金沢工業大学	金銭的支援	子育てをするさいに何か良くなるようなことのある政策などがあれば、一度地元を出て行った人たちが結婚後や出産後などに戻ってくることが多くなると思う。

石川県	滋賀県	立命館大学	金銭的支援	その地域独自の金銭的補助を出したり、地方でも給料を都会と同じぐらいにしたら地元に戻ってくる人が増えると思います。
石川県	石川県	金沢星稜大学	金銭的支援	・家賃補助や住宅補助の手当を厚くする。・地元だけではなく全国展開し、全国どこでも働ける環境を作る。転勤をしてもいい人とエリア職を希望する人のどちらも働ける環境を作る。・福利厚生を手厚くする。
石川県	奈良県	奈良大学	環境	交通網や街を活性化させ、住みたいと思わせる。例えば、電車の本数や急行列車を増設したり、大きなコンサート会場などを作り、人を集められるようにする。
石川県	東京都	亜細亜大学	環境	観光客が増加しているが、現状維持だと必ず減少すると思われるため、観光業にもっと力を入れるべき
福井県	滋賀県	滋賀大学	知る機会	田舎だと思い込みであまり企業がないと思っている人が多いので、もっと高校などでアピールすると良いと思う。
福井県	石川県	金沢大学	知る機会	さまざまなジャンルの仕事があることを、もっとアピールしたほうがいい。また、都会との生活と比べての良い点と悪い点を挙げて伝える。
福井県	愛知県	名古屋外国語大学	金銭的支援	・交通費の支給・地元に住んでる人以外にも企業の情報が発信出来る様にマイナビなどのナビに登録する・県外でも説明会を行う
福井県	福井県	福井県立大学	環境	テレワークやリモートワークが可能な仕事ならその仕事体系に移行すべきだと思うし、そうでなければ福利厚生などでUターン手当などを出して他企業などと差別化を図ることも重要となってくると考える。
福井県	福井県	福井県立大学	環境	買い物をする場所がもっと増えること。都市にあって地元にはない事業をもつ企業が増えること。
福井県	大阪府	大阪産業大学	環境	街を活性化させる。若者が集まってもらえるようななにかを作ったらいと思う。また交通手段が車しかないので交通の便を良くする。
滋賀県	滋賀県	滋賀県立大学	知る機会	遠くで下宿している人も見られるように、大手ではない会社であっても会社説明会をWEBで行う。
滋賀県	滋賀県	京都産業大学	知る機会	私の場合、メールやDMなどで、自分の地元名を目立つようにプッシュしている案内があれば、目を通すと思います。(滋賀県で募集ではなく、例えばもっと具体的な地元の、市町村で募集している)理由としては、実際に住んでいても地元にはどのような企業があるのかを知らないためです。私の地元はどちらかと言えば田舎ですが、それでも企業の数は多いと聞いたことがあります。そのため大きく自分の地元名が記載されている案内を見ると、好奇心や興味を惹かれ、メールに目を通すと思います。よく地方で合説などが開かれています、興味がない方からすれば、行動力のある人でない限り、なかなか足を運ぶことは無いと思います。そのため、手軽なメールやDMなどを使い、興味のない人にも知ってもらうきっかけを作ることは大切だと思います。
滋賀県	滋賀県	聖泉大学	知る機会	地元就職する利点をまとめ提示していく。なぜ、地元就職がいいのか。なぜ、地元就職の方がいいのか。都会の方が交通機関など便利で働きやすいという理由を越えるようなことを挙げる。
滋賀県	滋賀県	大阪産業大学	金銭的支援	田舎住みの人が都会へ出て就職したいと考える理由の一つとして、給料面があると思います。田舎で就職するとどうしても手取りが少ない。なので、県民だから得するような手当をつけてもらうとか、奨学金や税金を少しでも助けてくれるような制度があれば、わざわざ外に出る必要がないと考える人も出てくると思います。
滋賀県	京都府	同志社大学	金銭的支援	子育て支援制度(フレックスタイム、土日完全休み、子供が病気のときにはすぐ帰ることができる)を充実させることで、ワーママが増えると考えます。
滋賀県	滋賀県	京都橘大学	環境	地方の方で交通の弁がよく、すみやすい場所でもっと人気の企業であつたらユニークな企業が支店を作つたらもっと可能性が広がる気がします
滋賀県	滋賀県	京都造形芸術大学	環境	地方だと希望職種も仕事量も少ない上、追っかけができないので全く考えていませんが、交通手段が今より安く早くなれば考えます
滋賀県	滋賀県	京都文教大学	環境	仕事以外でプライベートなど息抜きやリフレッシュがしっかりできる施設などを作り、そういった魅力があれば、人は集まるのではないかと思います。そうすれば、ワークライフバランスも取りやすくなると想います。
京都府	京都府	京都産業大学	知る機会	例えば、私の地元が京都なので京都が本社の企業だけを集めた企業説明会をしたりすると良いと思います。そうすると、京都で就職したいと考える人がよりスムーズに活動を行えると考えました。また、インターンのための合同説明会を多く開催していたら、学生の視野も広がるし、就職活動に対して早くから意識することができると思います。企業にとっても、インターンに多くの学生が参加希望を出すことは将来的に考えて、デメリットではないと思っています。これからどんどん選考が早まってきて早くから活動したいけどどうすれば良いかわからないと考えている次年度3年生は多いのではないのでしょうか。
京都府	京都府	関西大学	知る機会	私の地元は京都なので地元愛が強い人が多くむしろ地方へ行きたい人は大学進学の際に地方へ行かない限りいないです。加えて地方の大学に行っても就職は京都に帰って来たいという人もいるので、その地元と人々との関係や、公共交通機関が主になると思います。ただ都市に工場は少ないので理系の学生は都市がダメなら地元へ、と考えるので勤務地をメインに出しておくに止まりやすいと思います。
京都府	大阪府	大阪府立大学	知る機会	もっと広く情報を公開すること。地元高校の進学実績がある大学等へのチラシや情報誌、学内セミナーがあればもう少し興味がわくと思う。
京都府	京都府	京都大学	知る機会	地元のどのようなことに貢献できるのか明確にする。観光業であればグローバルに活躍できることを押し出す。
京都府	東京都	国立音楽大学	知る機会	情報が不足していると考えます。その県の企業の情報がわかるwebサイト等があればもっと情報が収集しやすく就活生も興味を持つのではないかと考えます。
京都府	京都府	京都府立大学	知る機会	地元にはどんな企業があつてどのような職種が募集されているのかの情報をまとめて収集できる機会があれば良いと考えます。
京都府	京都府	京都外国語大学	知る機会	京都には有名な大学が多いので、学生の人数も多い。大学のキャリアセンターなどで地元企業についてもっと知る機会がつくられることも大切だと思う。
京都府	京都府	京都府立大学	知る機会	マイナビなどの就活サイトで、細かい市町村等(又は、都道府県内の地域で)の指定をして検索できるとうれしいなと思います。私の場合、京都府出身ですが、京都府北部出身なので、地元の企業が探しにくい。もしくは、地元の企業が登録してないだけかも…？
京都府	京都府	京都光華女子大学	知る機会	地元の新卒を求める企業さんでマイナビのようなサイトを作る。検索がしやすい環境作りがあればありがたいです。
京都府	京都府	京都橘大学	知る機会	マイナビなどの大手が、地方の自治体やジョブカフェなどと提携し、学生が地方の企業を知る機会を増やすと良いのではないのでしょうか。実際私はUターンを希望していますが、手軽に調べづらいつと感じることがあります。そのため、普段使い慣れているマイナビなどの就活支援アプリに、各地方の地元へ根付いた企業を載せた特集を組み、学生に「地元にも就職可能な企業があるんだ」と思わせるところから始めるのが得策と考えます。

京都府	京都府	龍谷大学	知る機会	そもそも地元とはいえ、地元にどのような企業があるのかということすら知らないことが多い。まずはそれを知る機会を設けることが肝要であり、地元企業が協力して広報宣伝するべきではないか。また、選考過程についても、たとえばWEBセミナーの開催や、WEBによる選考の実施など、参加機会を増やすことと参加にかかる負担を減らすことが大切だと考えます。
京都府	京都府	追手門学院大学	知る機会	私は地方に住み、地方で働きたそうといった就活をしています。実体験を元に考えると、企業や業界など仕事面だけのアピールだけでは必ずしも「住みたい」には繋がらないと思います。どれだけ仕事面の情報が充実しても移住する不安は拭い切れないからです。移住込みの地元就職を推進するのであれば、居住面（不動産やその周辺の情報、その地域に関する様々な情報）も付属的に提供していただければ、より地元就職に積極性が生まれるかと思います。その地域限定の合説で、企業説明後にその地域自体の説明会を開催したり、相談スペースがあったりするととても助かります。地元から離れた場所を希望するのであれば、会社説明会などのイベントに参加する度に交通費の負担が大きいです。ならば、いっそその地域でウィークリーマンションやマンズリーマンションを借りて住むことができれば就活の効率も上がる上にお試し移住もでき、一石二鳥です。それらの情報の提供や、不動産と連携した割引システムがあれば本当に嬉しいです。
京都府	京都府	京都工芸繊維大学	知る機会	地元では有名であったり、知る人ぞ知る優良企業の様な会社が私の地元には多いと感じる。しかし、それらの会社との接点があるため志望しようと思えない。なので、地元の大学などでもっとPRするべきだと考える。また、地元ならではの子育て支援や高齢者への支援があればぜひ地元で就職したいと思う。
京都府	東京都	東京農業大学	知る機会	地元の出身地の方はメールを送る。マイナビさんのメールは毎日確認するから、全員ちゃんと見ると思います。むしろ、そういう情報欲しいです。
京都府	京都府	帝塚山大学	知る機会	地元地域密着型（遠距離の転勤が有る・無いで分ける）の企業を集めた合説とインターン説明会を行う事だと思う。
京都府	京都府	京都橘大学	知る機会	地元で就職する人向けの参加しやすいイベント（〇〇フェアみたいな）を開催する。カフェのような感じで個別に気軽に話せたり。あとは、キャリアの方が個別に学生にあってような地元会社を紹介するなど。
京都府	奈良県	立命館大学	金銭的支援	住宅に係る費用と、地元での給与のバランスが、都市部で住宅手当などをもらいながら住むことがあまり変わらないので、そもそもの給与が高いか、地元などで暮らした場合に家賃以外の維持費などにも助成があれば、働きやすく感じるのではないかな。
京都府	滋賀県	京都女子大学	金銭的支援	住居を会社がある近くに限定せず、それぞれの生活しやすい場所で住むことに対してでも住居の手当を出したりすれば、少しは増えるのではないのでしょうか。
京都府	東京都	成城大学	金銭的支援	やはり、希望する職種がある企業（そこそこ規模が大きい）があれば帰りたいと思います。しかし、私のようにマスコミ志望だと東京が主要地域となりますので、Uターン就職は考えません。そんな中で帰りたいような制度を強いて挙げるとすれば、生活支援制度や給付が最も有効だと考えます。将来の生活を考えると育児支援金や介護補助金等があると、帰りたいとなる要因となると考えます。
京都府	静岡県	東海大学	環境	文系大卒の人は京都に居続ける方が生活しやすいと思うが、理系大卒の自分のような人、特に生物系は企業自体が少ない気がする。
京都府	京都府	立命館大学	環境	地元の人があるところにはない仕事があるということを正しく理解する。女性は事務という先入観をもう少し無くす。
京都府	京都府	龍谷大学	環境	地元の強みを作る。治安を良くしたり、地元で留まりたいと思える環境作りを心がける。ゴミ拾い活動など。
京都府	京都府	京都光華女子大学	環境	私の地元は、あまり会社が多くないので地元暮らしよりは離れた地域で志望される方がどうしても多くなってしまうと思います。また、子供や老人が多く、地元で働ける職種が少ないと思います。もし、地元で働ける方を希望する人を増やす方法を出すのであれば、地域に会社を増やすことだと思います。
大阪府	大阪府	大阪市立大学	知る機会	知らないところに企業があることが多く、まずは知ってもらいたいことが大きいと思います。私は化学系の企業を志望しているので、化学系の地元企業がまとまっていれば見やすいです。
大阪府	大阪府	甲南大学	知る機会	Uターン就職とは記載せず、都道府県名を記載すべき。都道府県別のイベントを開催し、今よりもっと多くの企業を集めるべき。
大阪府	兵庫県	立命館大学	知る機会	地元がいいなと感じる瞬間は、同窓会で昔の仲間にあたり母校を訪れたりする時かなと思うので、高校を借りて就職説明会をするなど、「縁」を感じられるような施策は良いかと思う。
大阪府	奈良県	関西大学	知る機会	地元企業の説明会などを増やしたり、マイナビから簡単に検索できるようにすると、より多くの人に情報が届き、希望する人が増加すると思います。
大阪府	大阪府	関西大学	知る機会	InstagramやTwitterを使用している人が殆どなので、就職サイトだけに限らず、SNSで企業が独自に会社の情報公開をすれば興味を沸かす多くのの人に知ってもらえるきっかけになると思う。
大阪府	大阪府	京都外国語大学	知る機会	グローバル社会になってきているので、地方と海外の繋がりを明らかにすることで、外国との繋がりを大切にする就活生は興味を持つと思う。
大阪府	北海道	北海道大学	知る機会	他には、地方創生に興味がある就活生に対して、学校の授業で直接PRすることや、ボランティア団体への広報なども興味関心をそそのポイントかなと考えます。
大阪府	大阪府	関西大学	知る機会	地元企業を知る機会が少ないと感じるので、もっと機会を増やせば就職希望者が増えると思います。OB訪問やインターンシップなどで働くイメージを抱きやすくするとなおいいと思います。
大阪府	大阪府	関西大学	知る機会	大学のキャリアセンターで知ってる人から話を聞いたり、本を読んで知識をつけたリ、セミナーに出席してみよう。
大阪府	大阪府	帝塚山学院大学	知る機会	学生が集まる時に地元企業にインターンシップに行った学生から話を聞き地元企業に就職したい人向けの時間を作る。
大阪府	大阪府	近畿大学	知る機会	地元の企業を知る機会が個人的にも少ないと感じているので、時期に合わせた合同説明会の様なものを開くことや市と連携した地元企業雑誌の様なものを学校で見れるようにすると気付きやすく、知ってみようと思う環境が出来ると考える。また、自分が就きたいと考える業界を調べている時に感じましたが、地元の工務店であったり企業を大手のナビサイトでは分かりづらく見逃してしまうことが多く、人から聞き、このような会社が地元にあったんだと気づく事が多いと感じた。
大阪府	大阪府	摂南大学	知る機会	就活サイトの検索のエリアを選ぶ際に、都道府県を選ぶだけでなく、市町村まで選べるようにする。
大阪府	大阪府	京都女子大学	知る機会	私が就職時に重要視しているのは職種の面白さや魅力であり、地域はあまり重要視していません。ですので、その地域にしかないものをアピールしていき、またそれを広く宣伝することで多くの人から興味は持たれると思います。

大阪府	大阪府	京都造形芸術大学	知る機会	地元就職に興味のない人でも、機会があれば企業自体に興味を持つこともあるし、企業に興味を持てば地元就職を考える人もいると考える。また、交通の弁が悪い程、就職活動が本格的に始まっていない余裕がある時期の学生は自ら負担してまで企業に向こうとは思わないと考える。 機会を増やすという意味で、出来るだけ就活生が余裕のある時期の3年生の夏・秋頃に1日程度のインターンシップを開催すると良いと思う。その際、社員の方の話が聞ける時間だったり、交通手段を配慮して利便性の良い場所での開催だったり、就活生として交通費などの負担が大きくなければ参加しようと思う人は増えると思う。
大阪府	大阪府	追手門学院大学	知る機会	私はアプリケーションのようなお手軽に調べることのできるものが最も効果的だと思っています。おそらくですが、ほとんどの方が地元の企業について詳しくないと思います。ですがそれは当たり前のことで、地元にあるような中小企業の場合、近郊にある高校や大学のための求人になっているはずで、最も就活生の目に止まる可能性の高い合同説明会への出展が資金面の問題から難しい為です。そのような場面であるとき、Webでの求人はとても強力で、求人関係のポータルサイトに登録されていない企業であっても検索ワード次第でヒットすることが多いからです。ですがこのままでは地元求人の活性化にはなりません。そこで、マイナビアプリのような求人アプリで地域検索のしやすい、中小企業限定の求人アプリを作れば就活生の目につきやすいのではと考えています。目につきやすくなるだけでも効果は有るはずですので現代ではかなりの効果があるはずです。
大阪府	大阪府	兵庫県立大学	知る機会	まず就活生は、数え切れないほどの企業がある中で、絞って絞って絞り倒さないと志望する企業をピックアップできません。そのため、まず地元というキーワードで絞った企業の情報を毎週何曜日という形でwebやYouTubeで配信していただければ、無理なく沢山の企業を知っていけると思います。あまり堅苦しくなくその企業の空気が伝わる動画を配信していただけると嬉しいなと就職活動開始初期に思いました。
大阪府	大阪府	大阪経済大学	知る機会	地元や地元の企業のPR的なものももっとあればいいと思う。例えば、合同企業説明会やインターンシップなどの日程や場所を多く設けることがより多くの人を知ってもらえる、興味を持ってもらえるきっかけになると思う。そうすることで、もっと知りたいと自らの行動力にもつながり、就職を希望する人を増やすことに大きな影響を与えることができると思う。
大阪府	大阪府	関西大学	知る機会	Web配信で、登録とかせずいつでも配信を見れるようなものがあれば便利だと思っています。
大阪府	宮崎県	宮崎大学	知る機会	宿泊型インターンシップを開催する。インターンシップで仕事へのイメージをつかみ、宿泊することでその土地での生活を実感し、交通網や利便性などを知ることができる。
大阪府	大阪府	園田学園女子大学	知る機会	【地方創生】という言葉をこれまで以上に大々的にインターンシップやセミナーで使用する。主要駅のみでなく、各地域の駅にポスターを貼る。【地方だからできたこと】を知りたい
大阪府	大阪府	奈良大学	知る機会	地元を愛を持ってもらうために個人の自己実現と地元とのベクトルや脈が合う確率を上げる意識を向ける必要があると思う。積極的に学生と社員が意見交換話ができるラフな環境やイベントプログラムなどを設けてマッチング率が高まればと思う。ただ1回だけの関係ではなくどのように継続させていくかが、課題の1つであるが1人でも多く自分自身から行動できる能動的な人材を増やすまたはその意識を高めてもらうきっかけや場づくりが必要だと考える。
大阪府	大阪府	近畿大学	知る機会	アイデアはシンプルですが、「より自由度の高い就活を」と考えます。私らの世代の特徴として、地元固执している人や、日本での就職を強く願う人は少なく感じています。理由と致しまして、日本経済に対して、良い印象を持つ学生が少ないことが現状として挙げられると考えます。昨今において、政治や企業の対応等から考えても、海外と比べ良い面もあるが、悪い面ばかりが目立ち嫌悪感を抱いている方が多いとかんじます。そうしたことから、対策として、第一歩として、その嫌悪感を払拭することから始めるべきだと考えます。具体的には、いま以上に自由度の高い就職活動を行えるように整備することであると考えます。そのように考えた理由として、まだ企業について、ほとんど知らない状態で就活をしなければいけない事だと考えます。海外では、新卒でなくてはいけないなどという考えは毛頭ないように感じます。ですから、よく吟味することができるよう、インターンシップの期間を長期的にすることであったり、既卒者においても、環境を整えることが先決であると考えます。
大阪府	大阪府	佛教大学	知る機会	地元ならではの良いところを伝える。また、就職する方たちが望むことを簡潔に伝える、伝える場所を明確にしておく、質問できるウェブ等をつくるなど、就職者に対しての対応があることを示し、安心できるようにする。（わたしの地元場合、京都に出るにも大阪に出るにも30分で行けるため、交通の便がよいことや、市の中でも栄えているところと落ち着いたところがあり、好きな方を選ぶようにするなど）
大阪府	大阪府	関西大学	知る機会	認知されていない企業が多く存在しているのが現状。企業側が就活サイトに積極的に掲載し、就活サイトに登録した地元の企業が閲覧できるような仕組みを作ると、学生に認知してもらいやすくなる。
大阪府	大阪府	関西外国語大学	知る機会	私は1人で地元だと寂しいので、そこでみんなで(新入生)集まって研修をそこで行い仲間がいるよってことを共有する等、その地元での就職者が1人にしない。
大阪府	大阪府	京都女子大学	金銭的支援	もしくは地元で就職する人には給料アップ 大手企業の子会社などは、東京しか会社がない場合が多いので、地元にも支社が増えたら、行きたいと思う人が増えそうです。また、地元で就職した人は、国や会社から補助が貰える制度があれば、みんな就職しそうだと思いました。
大阪府	大阪府	近畿大学	金銭的支援	一人暮らしでも家賃を安く済ませられたり、地元の施設の優待があればいいなと思います。
大阪府	奈良県	大阪樟蔭女子大学	金銭的支援	一人暮らしだと家賃や水道代などの光熱費がかかり食費にかかる時間手間もかかるため体を壊してしまうと思う。だから地元で実家から通える距離が妥当である。
大阪府	大阪府	追手門学院大学	金銭的支援	地域活性化を図るために地元就職をする、貢献手当を増やすや、子供の保険料が免除される、扶養手当など、あれば嬉しいので地元に戻ってくる人が増えると思います。
大阪府	大阪府	関西学院大学	金銭的支援	地元で就職したひとに対してなんらかのサービスを提供する。(地元で使える食事券や、全国好きな場所を旅行できる旅行券など)
大阪府	兵庫県	関西大学	金銭的支援	東京で就職した友人の理由の多くが、「実家を離れて一人暮らしをしたい」だったので、地元で就職しても、会社のすぐそばに自宅などを準備すれば良いと思いました。
大阪府	大阪府	桃山学院大学	金銭的支援	その地方に住まわれている方限定にあるオプションをつける。例えばその会社の商品が売られているお店が地元にある場合、社員割があるなど。
大阪府	大阪府	関西外国語大学	金銭的支援	ふるさと納税制度があるので、Uターン就職者にふるさと納税特典みたいなのをつけたら地域貢献しながら特典がもらえるので、働きがいがあると思います。
大阪府	大阪府	奈良県立大学	金銭的支援	社員寮や交通費などの福利厚生がどのように整備されているかをメリットとして考えるので、福利厚生をより充実させることが重要であると考えます。
大阪府	大阪府	神戸女子大学	金銭的支援	より福利厚生を充実させたり、フレックスタイム制を導入して出勤時間や帰宅時間に差をつけ混雑を避ける等

大阪府	大阪府	同志社女子大学	環境	就活生は何かのきっかけで魅力を感じた企業で就職を希望すると思います。そのきっかけを作ると良いと考えました。私の地元は観光客が集まる場所があるため、その場所やその付近の活気を、訪れた方へのサービスや、公共施設に設置する広告などでアピールし、その場所やそこで働く方々の魅力を発信すると良いと考えました。そして、その場所で働く方々に憧れを抱き、「自分もそうなりたい」「自分と一緒に地元を盛り上げたい」と考えるようになれば、地元就職を希望する人が増えるのではないかなと思いました。
大阪府	大阪府	大阪大学	環境	帰ってきたくなるような街作りが必要だと思います。若い人が活躍できる場の設置などが必要です。
大阪府	大阪府	京都産業大学	環境	魅力的なニュータウンや、交通網などを整えたら地元に住みたいと思う人が増えると感じます。
大阪府	大阪府	近畿大学	環境	勤務先が都会と比べて少ないように思えます。そのため、それ以上のメリットを語ることで地方の自治体にUターンする人も増えるのではないのでしょうか。
大阪府	大阪府	大阪芸術大学	環境	地元の都会化が進み、交通の便も良くなれば、働く時間が縛られない。地元の商業施設の割引が貰える。地元企業が普段から、学生との交流を持つ。地域貢献事業を増やす。
大阪府	大阪府	関西大学	環境	私の地元は人が多い、かつ、地方から大学で大阪に来た人たちがそのまま就職するので、何もしないでも人は増えると思います。しかし、人が多すぎて嫌だという人には、通勤電車の対策が効果的だと思います。
大阪府	千葉県	東京理科大学	環境	ダブルワーカーを制度的に可能にすること。週3日大企業にいて週3日自分のやりたいことに近い仕事につきやすくなれば、2拠点生活ならぬ、二足の草鞋生活ができそうかと。
大阪府	大阪府	近畿大学	環境	テレワークやリモートワークが推奨され、場所を問わず働く事ができる働き方ができると地元就職をする人が増えると思います。
大阪府	大阪府	和歌山大学	環境	理系は工場勤務が多いが、都会には工場を作りにくいいため必然的に地方勤務になってしまう。そのため、企業の工事移転を願うことが唯一の方法だと考えている。
大阪府	大阪府	大阪芸術大学	環境	在宅ワークを増やす。在宅で仕事ができるなら地元の人間関係が原因で地元での就職を倦厭する人は多少減ると思う。
大阪府	兵庫県	大阪芸術大学	環境	結局地元には誇れるものがないと働こうとかおもわないので、いかに小さな祭りや行事であっても宣伝し若者に伝わるまで有名になったら少しでも若者の興味をひけるし、人がよってくると思う。結果人も増えるはず。
大阪府	大阪府	関西外国語大学	環境	地元貢献したいと思えるような事業内容や、イベントを行う企業があれば少しは興味を持つと思う。
大阪府	大阪府	関西大学	環境	地元の特色にあった事業を展開する必要があると思います。私の地元は特に特産品等もなくこれといって特徴がないですが特徴作りから始めてそれに関連する事業を作り認知度を上げればいいのかなと思います。認知度が上がれば観光客が増えてそれに伴い新たな事業の始まりなどで活性化し魅力的な街になり人も増え働きたい人の増加に繋がると思います。これは簡単なことではないと思いますが出来ることから始める、まずは動いてみる事が大切なのかなと思います。
兵庫県	和歌山県	近畿大学	知る機会	web面接やweb説明会は距離や金銭の面で考慮されているため、とても就職活動しやすい。
兵庫県	東京都	創価大学	知る機会	東京都心で、地元の就活セミナーの開催数を増やす。また、地元で就職するメリットや地元の魅力を伝える。 私たちは就活の際、大手が目に残りがちです。東京の大学に進学した人も、Uターン就活は時間や金銭面的にデメリットが多いです。地元の中小企業の魅力を伝え、Uターン就活の支援を増やしてほしいです。そうすれば、余裕ができUターン就活を希望する学生も増えるのではないかと考えます。
兵庫県	兵庫県	神戸市外国語大学	知る機会	地元企業に限らず大手企業も含めた合同説明会を実施することで、地元企業に興味がない学生も巻き込む。
兵庫県	大阪府	大阪経済大学	知る機会	地元企業の合同説明会を都市で開催する機会を増やしてほしい(地元に戻らないと参加できないのはスケジュール調整などのハードルが高く、志望を諦めてしまうから)
兵庫県	兵庫県	大阪成蹊大学	知る機会	地元で合同説明会をやるのではなく、都市で都道府県ごとに分けた合同説明会など良いと思う。
兵庫県	滋賀県	大阪大谷大学	知る機会	生活においては不自由無く暮らせる設備、施設が整っている。工場のある企業の多くが、バスの路線に近い点はかなり魅力的だが、地元企業のPRが充分でないため、地元に住んでいても詳しく知らないということが多い。ショッピングモール等で、イベントを開催して、パネル等の展示を通して認知を図るのはいかがでしょうか。
兵庫県	兵庫県	関西外国語大学	知る機会	もっと地方の良さを伝え、職がなくならないという安心感を学生に伝えていくべきであると思う。
兵庫県	兵庫県	神戸親和女子大学	知る機会	地元就職専用の合同説明会を増やす。合同説明会を知らせるポスターを地元の駅などに展示する。
兵庫県	東京都	早稲田大学	知る機会	WEB説明会などで今いる場所以外の企業の、生の情報を得る機会が多くあれば、変わると思います。時間を限定するのではなく、いつでも見れる説明会を始める企業が多くあればいいと思います。
兵庫県	兵庫県	流通科学大学	知る機会	他の地域とは異なる、地元で暮らす上でのメリットを就職サイトなどで特集して掲載する。
兵庫県	兵庫県	神戸山手大学	知る機会	働きやすい環境作りや地元のことを知ってもらうための自己PRを考える。また、若手の社員に興味を持ってもらえるような制度などあれば良いと思いました。
兵庫県	兵庫県	関西福祉大学	知る機会	地元の魅力を伝える。地元に残れるような働ける場所を増やし、就職先として候補に入れてもらえるよう啓発活動を行う
兵庫県	兵庫県	京都先端科学大学	知る機会	何が有名でどんなやり甲斐があるのかを具体的に宣伝すれば、興味がない人でも来るかも知れません。
兵庫県	兵庫県	甲南大学	知る機会	地方の合同説明会などは大手に目が行きがちな為。地元の中小企業限定のセミナーを開催する。
兵庫県	兵庫県	流通科学大学	知る機会	地元の企業を集めた合同企業説明会は効果的であると思う。実際に私の地域でも開催され、初めは興味がなかったけど、やはり馴染みのある地元の企業を知れるキッカケになると思い、参加したこともあります。
兵庫県	兵庫県	奈良県立大学	知る機会	地元企業のみを取り上げている合同企業説明会がほしい。自分の家の周りには企業は無いが、少し大きい駅まで行けばあるから、中心地を主にして、開いてほしい。
兵庫県	兵庫県	神戸学院大学	知る機会	おしゃれな街として有名なのだから、それをもっと前面に出していく。マンネリ化しないようにする。美味しいものも多くあることを発信する。地元特集や、観光案内などを通じて発信する。
兵庫県	兵庫県	神戸女子大学	金銭的支援	住める場所を増やす。電車や公共交通機関が少ない、最終の時間が早すぎるため、有料の駐車場を〇〇市民は安く借りられるなど、使いやすいサービスがあると嬉しい。
兵庫県	兵庫県	甲南女子大学	金銭的支援	給料を増やせばいいと思う。福利厚生を改善する。地方は総合職でも初任給20万なくて東京の企業と比べると福利厚生も悪い。ある程度知名度のある雇用先も少ない。
兵庫県	兵庫県	近畿大学	金銭的支援	住宅を用意してくれたり、新居に欠かせないものを用意してくれたら行きたくない。あとその周りにショッピングモールなど生活にかかせないものがあること。将来結婚するとして、子供の手当てが豊富である地域

兵庫県	神奈川県	湘南工科大学	金銭的支援	東京の物価がもっと上がれば生活が苦しくなって、または地元の景気がよくなり給料が良くなれば地元へ帰る人も増えると思う。
兵庫県	兵庫県	流通科学大学	金銭的支援	安定と給料を都心の大手と一緒にする。学生は、未来に対して不安を持っている。安定が保証されていると、安心して暮らせる事ができる。生きることで精一杯だから。
兵庫県	大阪府	大阪大学	金銭的支援	上の選択肢にありましたが、地方就職の特別なメリット(なんらかの補助、手当てがあるなど)があれば考えが変わる可能性はありそうです。
兵庫県	岡山県	岡山大学	金銭的支援	中小企業であったとしても、東京にある大手企業などに匹敵するような福利厚生が整った企業が揃えば、増やすことができると思う。
兵庫県	兵庫県	関西大学	金銭的支援	給料の低さや、職種が絞られてしまうから都市へ出ていく学生が多いと思います。給料が上がらないなら、手当てを充実させるべきだと思います。職種が絞られてしまうなら、様々なことにチャレンジすることができる風土を持った企業があればそこに不満は生まれにくいと思います。
兵庫県	兵庫県	武庫川女子大学	環境	東京や大阪にあるような優良企業、大手企業の支社が地元にある。その子会社やグループ会社でも可。
兵庫県	兵庫県	甲南女子大学	環境	色々な場所で老朽化が激しいので、まずその場所の補整から始める。そして、高齢者が多く、福祉施設が多いので、福利厚生のアピール。
兵庫県	兵庫県	神戸大学	環境	少なくとも妊娠や出産を考えている女性であれば、親元で暮らすメリットは大きいはず。仮に都市部の会社が都市への人口過密や地方の過疎に問題意識を持っているなら、リモートワークの整備を進めてもいいのではないかなと思う。(住宅補助は都市部で出すより地方で出すほうが圧倒的に家賃は安くなるので、仮に出すならばそのあたりの経費削減になる)
兵庫県	石川県	石川県立大学	環境	リモートワーク、テレワークなど遠隔で都会の会社に勤めているひとが、自然に囲まれた土地(地元)に住むのが良いと思う。または、自然が好きな人、例えばキャンプ好きや釣り好きなどにUターン誘致をする。
兵庫県	兵庫県	神戸学院大学	環境	もっと交通機関をもっと増やすべきだと思います。私の地元はバスしかありません。バスの本数も少ないし、値段も高いと思います。そこを改善すれば、地元に戻ってきたいと思う人は増えると思います。
兵庫県	三重県	三重大学	環境	地元に戻りたいと思わせる(地域の良さを感じさせる)ような、地域をあげた催しを継続して開いたり、環境を整えたりすることが必要なのではないかと考えます。
兵庫県	兵庫県	神戸学院大学	環境	地元の人は 都会の人より優先して就職させてあげられるようにすればいいのではないかと考える。都会の人は 色々な企業があり選択肢も豊富にあり 交通機関も多く通うことも可能であるが 田舎に住んでいると 交通機関もバスは1日1から2本であったりするなどほとんどない状態で自家用車で通うにもかなりの距離を通勤しなければならない また 都会に住むのを反対されてしまった場合 たでさえ選択肢が少ないにもかかわらず 都会の人に内定枠を取られてしまうのは気が気でない 便利な土地に住んでいるならそちらの方で企業を選んでいただきたいというのが一番の理由である。地元の企業は都会に比べ経営を続けにくいところが実情であるが 地元の人を雇えば 生活に密着している企業ということもあり 愛着や達成感などは都会の人よりも多く感じられるのではないかと考えられるからである。地元の人が地元の企業で働くことにより地元定住ができるため 少子化は防げないかもしれないが過疎化は阻止できるのではないかと考える
兵庫県	兵庫県	神戸大学	環境	評価の基準をしっかりと設けてリモートワークしている人としていない人に差が出ないようにすれば良いと考えます。
兵庫県	兵庫県	甲南大学	環境	地元の良さを生かした事業を展開できるような大手企業とタイアップして、地元での就職が可能になる様なプロジェクトを行う
奈良県	奈良県	京都女子大学	知る機会	もっとこんな企業があるなどの情報を積極的に載せて、メリットも伝えてくれたら増えると思う
奈良県	奈良県	帝塚山大学	知る機会	地元が魅力的であることを理解してもらうために、何に興味があるかと言うことをアンケート等で集め、興味を持ってもらえるような情報を提供する。地元であっても、地元のことにも目を向けない人が多いと思うので、開示することが必要。
奈良県	奈良県	阪南大学	知る機会	まず地元で就職を考えていない人はそもそも視野に入れていないと思うので、その人達にも向けた情報提供が必要だと思う。地元にとんな企業があるのかわからないから。給料が低そう。規模が小さそう。というイメージが強いので福利厚生などが整っていたら考える対象になると考えます。
奈良県	和歌山県	京都薬科大学	金銭的支援	給料が都市より良い。忙しくない。自家用車の補助がある。人間関係がよい、適度な距離感。
奈良県	奈良県	帝塚山大学	金銭的支援	地元就職した方に経済的な部分の負担を和らげる。出産などの際のサポート体制を強くする。
奈良県	長崎県	長崎大学	金銭的支援	帰省するのに一定以上の時間・交通費等がかかるケースの人に、経済的な支援があれば、離れた地方に住んでいてもUターン就職しやすいと思う。
奈良県	奈良県	甲南女子大学	環境	時短・在宅勤務を子供の年齢問わず取得可能にする、子供だけでなく、家族やペットにも優しい制度を作る。
奈良県	奈良県	奈良大学	環境	地元では行政が教育にかける予算が少なく、子育て世帯が少ない。これを改善し、子育て世帯が安心して暮らせる地域になれば地元企業で就業する人が増えるのではないかと考える。
奈良県	東京都	東京工業大学	環境	増やす方法はないと思う。あるとすれば志望する企業が地元にもまで展開することしかないかなと思います。
奈良県	奈良県	同志社大学	環境	社風や風土がまだまだ都市に比べれば古い印象を持つ企業が多く、暗い印象を持ってしまうので、制度などを素早く新しいものへと変化させていくべきであると考えます。
奈良県	奈良県	関西外国語大学	環境	より多く、働きたい会社で働けるようになって欲しい。また、希望所属地を叶えて欲しい。地元復興を願い、合説により多くの企業に参加して頂きたい。
和歌山県	和歌山県	近畿大学	知る機会	地元を活性化させる為にはその地域で行なっている祭りなどを沢山の人の人知ってもらい、また地元スポンサーもsnsなどを使いPRしていき、多くの人に知ってもらい！私の地域は自然と人が温かいのでそのようなところを推していく！
和歌山県	長野県	信州大学	知る機会	とにかく地元の会社の情報を、早い段階で伝える。また、地元勤めることの利点を伝える。そうすることでもたらされる利益をつたえる
和歌山県	大阪府	桃山学院大学	知る機会	Web説明会を増やしてほしいです。理系だけでなく、文系学生のUターンもサポートする制度がほしいです。
和歌山県	和歌山県	近畿大学	知る機会	地方の企業は知られる機会に乏しいのでまず名前だけでも知る機会を持ってもらう。就職情報サイトでマイページ登録の際、その人が地方だと思ふところにチェックをいれてもらい都会の企業を調べているときその企業と同じくらいのスキルが得られて給与や休みなどの福利厚生や採用データをいれたページをユーザーに向けて発信することで地方の企業を知ってもらい。現在も同じようなシステムはあるが都会の誰もが知っているような名前しか出てこないでユーザーが選んだ地方だと思ふところと勤めたい業界がマッチしたところをピックアップして見せる！
和歌山県	京都府	大谷大学	知る機会	地元の企業のためのサイトを作り、各大学で説明会を何度も開く。地元企業の良さをアピールしなければいけない。

和歌山県	大阪府	関西外国語大学	知る機会	インターネットを通して企業の良さを伝える。気軽に聞けるWEBセミナー、面接、説明会を開催する。
和歌山県	大阪府	大阪大学	知る機会	都会で開催でもいいので、地方、地域別の説明会を増やして、その地方で働ける会社をイメージさせる。
和歌山県	和歌山県	和歌山大学	環境	田舎とは思えないほどオフィスが開放的できれい、自然を感じられる。テレワークやリモートワーク、時短勤務など働き方に多様性があり、それが当たり前と許容されている環境がある。
鳥取県	広島県	安田女子大学	知る機会	同じ県内でも市が異なると、参加することがためらわれるため、合同説明会を県内の複数か所で行う。交通費の助成制度を導入する。周りに、交通機関の不便さや休日に過ごす場所がないと言っている人がいるため、そのような点で、実際に働いてみてどのように感じるのか、休日にどのような過ごし方をしているのかを知ることができると思う。
島根県	茨城県	流通経済大学	知る機会	地元の就職先、インターンを地元から出ている人にわかるようにマイナビで地元を登録している人に積極的に企業をすすめる
島根県	香川県	香川大学	金銭的支援	地元就職した人に対して、Uターン手当を行う。その手当をもらった人はその金額分消費しなければいけない規則を作る。例えば、1ヶ月ごとに手当分の金額を消費して領収書を提出しなければならないとか。このメリットとしては地元に戻ってくる人が増えることと、地元の経済の活性化にも繋がる。
島根県	京都府	同志社大学	環境	徳島県神山町のようなリモートワークの形が増える。また、都市圏に構える大手企業が地域活性化を推進するような事業や支援を行う。
島根県	島根県	島根大学	環境	学生が都市へ流出するのは、地方に企業が少なかったり、働きたいと思える企業がないからだと思うので、地方にも都会と同じような魅力的な企業を誘致する。
島根県	島根県	島根大学	環境	地元就職したいと思えるような企業がある事が一番かなと思います。どうしても中小企業が多くなってしまい、都会との格差が大きいと感じます。また、地元就職した際に支援金等が支給されるとポジティブに就活を進める人も増えるのかなと思います。
島根県	山口県	下関市立大学	環境	交通手段を改善していかないと経済は活性化されません。また、夜としても暗くて若者にとって住みやすいとは思いますが、なかなか働きたいとは思えません。
岡山県	岡山県	川崎医療福祉大学	知る機会	積極的にインターンシップを行う。それに伴う情報発信などがあると尚更良い。地元就職をした人だけへの特典があると良いかもしれない。例えば、就活に行く時の交通費無料や、インターンシップで給料が発生するなど。
岡山県	東京都	早稲田大学	知る機会	東京にいると地元の情報が手に入りにくいので、地元から出て行った人にも積極的に働きかけをする（メール、LINE公式サイトなど）
岡山県	福岡県	北九州市立大学	知る機会	自宅外に住んでいる人に対しては、開催地が地元の場合、地元企業の合同説明会や個別説明会を一定の期間内でまとめて開催して欲しい。興味のある企業が多数あっても、自宅外生にとってその都度帰省するのは経済的、時間的にも困難なため。また、Web説明会だと実際の会社の雰囲気を読み取りにくいと感じるため、可能な限り直接伺いたい。交通費や宿泊費の補助などがあるとより地元の企業も見やすい。
岡山県	東京都	明治学院大学	知る機会	地元に住んでいる人に向けては、自宅生向けの先行案内や企業比較セミナーの開催、合同説明会とは異なる他社との違いをはっきりと理解出来るような講座（例 大手保険会社4社の違いを比較など）、加えてセミナーに参加出来ない自宅外生にはWebで配信の措置、社内見学の機会を増やす（→地元に住んでいる人の方がより参加しやすい色々な企業の実態を知る機会も増やす事が出来る）
岡山県	岡山県	倉敷芸術科学大学	知る機会	地方に支社があることをもっとアピールする。地方の地元でも一人暮らしがしたいので、住宅手当が出るようにする。テレワークで東京から地方の企業の仕事ができるようにする。
岡山県	兵庫県	甲南女子大学	知る機会	都市部の企業に比べるとサイトを見ても採用情報が分かりづらい企業も多かったのが魅力を伝えるためには採用ページなど自社サイトに力を入れるといいと思います
岡山県	静岡県	静岡大学	知る機会	今回のコロナ対策として行われたWebセミナーや面接をもっと増やすと良いと思います。
岡山県	岡山県	くらしき作陽大学	知る機会	地元が田舎のため企業をそもそも知らないで、地元企業をもっとネットでもPRすればいいのではないかと。企業が地元にもこのような貢献をしています、といったような住みやすい環境や元気な街ということをアピールすればいいかもしれない。
岡山県	岡山県	くらしき作陽大学	知る機会	マイナビのサイトに企業の雰囲気などが分かる就活生に向けた動画を載せる。私はマイナビを見ていて見るところは、仕事内容や給料そして企業の雰囲気です。しかし、文字や写真では雰囲気が伝わりづらくどのような会社なのか分りにくいののでその年毎の動画があればいいなと思いました。
広島県	広島県	広島大学	知る機会	地方の企業は中小規模のものも多く、大手企業と比べると全国各地で触れ合えるチャンスは非常に少ない。なので、回数は少なくても、地元以外でも説明会などの採用活動を行ったりWebを利用したりする事で、地元以外に住んでいる人々との接点を作ったら良いと思う。
広島県	千葉県	順天堂大学	知る機会	東京の合同説明会にもっと地元企業が参加して欲しい。少ないためには地元の人に比べたら不利な感じる。
広島県	山口県	山口県立大学	知る機会	このアンケートは、地元が地方で、都会の大学に進学し、都会に就職したい意識を持つ就活生向けに作られていますが、地元の都会から地方に進学し、地元の都会に戻ろうとしている学生も多いと思います。そんな学生をいかに地方に残すか、であれば、大学一回生のうちから学生や若者を優遇し、地方の魅力を植え付けておくべきだと思います。
広島県	広島県	広島文教大学	知る機会	近年では、様々な都道府県で地元のPR活動が盛んに行われていると思う。広告としてのPRのみでなく、実際に自分たちが行動に移せるといったような参加型にすることにより、関心が高まり、地元企業に就職することを考える人が増加するのではないかと考える。
広島県	広島県	安田女子大学	知る機会	説明会に行っても働く場所は都内です。とかよく言われるし、アプリで地元と検索しても意外と出てこないし、地元だと思って説明会に行っても、本社は東京なので東京に行ってくださいとか言われるので、地元で働けることをしっかりアピールすべき。なんならこっちが質問するまで勤務地は東京だよ？みたいな雰囲気まである。
広島県	広島県	広島大学	知る機会	地元就職の魅力を伝えるコンテンツを作成し、DMで送る。その際には、個人情報に出身地の欄を作り、事前に登録してもらい、その地域の企業の情報も併せて伝えるようにする・
広島県	長崎県	長崎県立大学	知る機会	情報をより得やすい環境。九州などの地方に出た人向けに福岡などでも説明会を開催してほしい。
広島県	大阪府	立命館大学	金銭的支援	Uターン手当といったなんらかの形で補助を作ることによって地元に戻ることに意欲が湧く可能性があると考えます。
広島県	長崎県	長崎大学	金銭的支援	奨学金の返済補助、地元で過程を持ち子どもが生まれた場合に支援を受けることができるなど。

広島県	広島県	比治山大学	金銭的支援	都市部の方が地方よりも給料がいいのは当然なので、医療福祉、または、子育て、住みやすい環境を整える事が大切だと思う。結局、今の若い人たちは便利、給料が良いなどという理由から都市部を選択しており、また都市部に対して一種の憧れみたいな感覚が含まれていると思う。だから、資金的に若者達を魅了する事は難しくとも、それ以外の部分で若者を惹きつける事が大切だと考える。
広島県	広島県	広島修道大学	金銭的支援	特別手当を用意するなど案や、地元企業の説明会を増やしてもっと就職意欲を掻き立てる。
広島県	広島県	県立広島大学	環境	転勤無しを明記する企業を増やす。WEBページなどでは勤務地の欄に転勤ありと書いてあるのに、説明会に行ってみたら希望者のみ海外に行けるだけでほとんどの人は地元で働けていたりする。転勤ありと書いてある時点で説明会も聞かずに選択肢から外してしまうので希望者以外の転勤なしを売りにする企業がもっと増えればと思う。
広島県	大阪府	大阪薬科大学	環境	一時的に地元で就職するが今後都会に転勤や異動で行くことができる選択肢を残しておく。
広島県	広島県	広島経済大学	環境	私の周りの友人達は口を揃えて地方に働く場所がなく、都心に出たり又は都会の方に働きに出る人が多いと言っています。ですので、リモートワークなどを活用し地方で働く場を増やしていくことにより地元で就職する人が増えるのではないかと思います。
広島県	広島県	近畿大学	環境	地元に戻って来やすい環境を作ることです。特に田舎の方で働く場所や、住んでいるところの近くに何もなければ、休みの日などに買い物に出かけたり、遊ぶことが難しくなると思います。遠くまで行かないと何もできないとなると出かける意欲も削がれると思います。都心の方へ皆行きたがるのは設備が充実しているからだと思われるので、遊ぶ場所の提供が必要になってくると思います。
広島県	広島県	広島大学	環境	地元が好きになるようなアイデアが良いと思う。例えば、地元県民の入場料無料の施設を増やすとか。そうすれば、興味なくても行く機会が出来て、結果として地元のことが好きになるかもしれないから。さらにそれがきっかけとなって帰ってきたいとか発展の一助になりたいと思ってくれる人が増えるかもしれない。
広島県	東京都	東京農業大学	環境	Uターンの人の給料が少し上がったたり、大企業になったからと言って東京に本社を移さないこと。
広島県	広島県	広島修道大学	環境	不便なところが無くなれば増えると思います。私が住んでいる地域はコンパクト型都市であるので買いたいものは一箇所で買えますし、基本なんでも出来るのが魅力的です。交通の便も申し分ないです。このような地域が増えれば増えるのでないでしょうか。
山口県	山口県	広島女学院大学	知る機会	どういった地元にしたいかアピールする。できるだけ長い目でみたときの未来予想図を具体的に知らせるべきだと思う。
山口県	神奈川県	横浜市立大学	知る機会	子供の頃から地元の会社の名前だけでもいいから知る機会を作ると将来の可能性が広がると思う。
山口県	山口県	山口大学	知る機会	都心で地方企業の合同説明会やWeb説明会を開く。インスタのライブなど学生にとって身近なツールを活用して、どこにいても見たり話したりすることのできる説明会を開く。学内のカフェや食堂などで気軽に参加できる小さな説明会や相談会を人材紹介の人などが頻繁に開催する。LINEなど、気軽に企業と連絡が取れるシステムを整える。
山口県	兵庫県	神戸女学院大学	知る機会	山口県のUターン就職を希望していますが、梅田などで行われるUターン者専用合同会社説明会などに来る会社が中小しかなくあまり魅力を感じませんでした。なので地元で根付いた企業や大手の企業を知る機会がもう少し欲しいと思いました。また、交通費の助成申請のサイトを見てみましたが内容が非常にわかりにくく苦労したので、マイナビさんのサイトから各地方の助成サイトへ繋がられるリンクなどがあれば嬉しいなと思いました。
山口県	愛知県	名古屋大学	金銭的支援	将来子供が生まれたときのことを考えて、保育などの制度が整っていると地元就職を考慮する
山口県	愛知県	名古屋大学	金銭的支援	ITだとながら必要ないので、税金を安くして誘致するのが良いのかもしれない。新幹線が近ければ、都会に行くこともできるので、誘致先から駅までの距離（直線距離に限らず、バスがよく通っているなども含めて）が近いとなお良い。会社が新幹線によって都会で新しい商品を直接目にする機会を積極的に提供すると（たとえば週一回新幹線のチケットを渡すなど）、普段は良い環境で働きながら、技術を目にするチャンスがあり、それなりに魅力的になる。地方はお金をいっぱい貰っても、人や物が少ないと、そこで生きるモチベーションに直結しない場合がある。人や物に触れる機会を提供してもらいたい。
山口県	山口県	山口県立大学	環境	実現は難しいと思いますが、大学受験の際、県内出身者だけの推薦枠があったのですが、そのような、県内出身の志望者が優遇されるシステムが企業にあると魅力に感じるかと思っています。
山口県	岡山県	岡山大学	環境	地元の交通の便が悪いことが、Uターンを避ける理由であるので、交通をもっと便利なものにしてほしい。
徳島県	高知県	高知工科大学	知る機会	地元を好きだと思わせることが大事だと思います。田舎だと特に企業がない、と考えてしまうので、積極的にUターン合同説明会などを開催すべきだと思います。
徳島県	岡山県	岡山大学	知る機会	特筆すべき成果を挙げている地方企業や、他にはない特徴を持つ取り組みをされている地方企業などをまとめた動画をYouTubeで広告し、優秀な人材を惹きつける。
徳島県	愛知県	豊橋技術科学大学	環境	公共交通機関をもっと発展させるべき。地元で大手企業がないため、東京に集中している企業を地方に分散させるのが望ましいと思う。
香川県	香川県	香川大学	知る機会	都道府県もしくは地域限定の就職のためのアプリ、サイトを作り、企業を幅広い知る環境を作る。また、都道府県の企業リストのような本を大学生の実家に送る。
香川県	兵庫県	武庫川女子大学	知る機会	有給インターンシップの開催、通っている大学付近で就職活動ができる、スカウト機能があるサイトからスカウトをかけてほしい
香川県	香川県	香川大学	知る機会	地元企業への就職は、その企業の知名度に大きく左右されると思います。そのため企業商品のCMなどの宣伝は効果が高いと思います。
香川県	奈良県	帝塚山大学	金銭的支援	やはり、子育て支援を充実させたり、Uターン就職での特別手当が出たりすると、希望する人が増えるのではないかと考えます。
香川県	香川県	高松大学	金銭的支援	県外から帰ってくる学生、社会人の方が館内に帰ってくる際のサポート体制を整えることと地元就職をする人が増えると考え。県外にいてもどうしても地元企業の情報が入ってこないため、従来からある地元企業の就職情報を提供するサービスの告知を今以上にすることが必要だと考えている。また、県外から帰ってくる際、特別な理由で実家を頼ることが出来ない人のために金銭的な意味合いも含めて住居探しをサポートするサービスを始め、地元を出てもいつでも帰ってこれるという安心感を県外に出た人にアピールする方法をとるといいと思う。
愛媛県	愛媛県	愛媛大学	知る機会	どこかの企業の下請けの会社が多くあるイメージなので、あまり入ろうと思える企業がなかった。なので、業界研究フェアなどでその会社のどこが誇れるのか具体的に説明（その企業グループの傘下だから以外）すればいいと思う。
愛媛県	東京都	中央大学	知る機会	私が認知していないだけなのかもしれないのですが、東京でも地元の企業がたくさん集まる説明会があればいいなと思っています。

愛媛県	広島県	福山大学	知る機会	地域ごとに使われる生活費などの平均、各会社の年齢別(仕事歴)の給料なども知りたい。そうすれば、生活できるか想像しやすいのかもしれない。
愛媛県	千葉県	千葉大学	知る機会	地元のコミュニティの活動・交流を活発にする。誰でも居心地のいい環境に。自然が豊かで、海が特に綺麗なので、そういった景色の良さを若いうちから知る機会があればいいと思う。
愛媛県	愛媛県	愛媛大学	金銭的支援	Uターンをする人に向けた、費用面などの就活支援制度。大学での〇〇県出身者向けなど、ターゲットを限定した企業説明会
愛媛県	大阪府	関西大学	環境	交通手段を増やしてより地域間の移動をしやすくすればよいと考えます。私の地元である愛媛県には新幹線が開通しておらず、本州、九州との行き来の辛さを感じています。西日本で広く利用されているICOCAなど交通系カードも、ほとんどの改札に導入されていません。こういった都市部との交通格差を埋めていくことが、若者だけでなく様々な年齢層の人々を引きつけ、地元へのUターン就職に繋がるのではと思います。
愛媛県	愛知県	中京大学	環境	国が法人税を県単位で変える、また省庁を分散させる。そうすることで企業、省庁の東京への一極集中も無くなり、様々な企業が全国に点在するため地元にも有名企業の本社や支社があればUターンを希望する人も増えると思う
愛媛県	徳島県	徳島大学	環境	商業施設を増やすか、公共交通機関を充実させてもらえれば地元でも働きやすくなると思います。
愛媛県	愛媛県	愛媛大学	環境	行政による働きかけ(助成金、補助事業、PR等)や、地域で愛されるイベント(祭りや通年行事等)に企業が積極的に関わっていく方向性が重要ではと考える。
愛媛県	愛媛県	愛媛大学	環境	まずは興味を持ってもらうしかないと思うので、たくさんその地域のPRをするべきだと思う。
愛媛県	大阪府	阪南大学	環境	地元では外出先で度々知り合いに会うのが嫌だったので、娯楽やショッピングセンターなどが増えると人々の目的地が分散され遭遇する確率が減り、あまり周りを気にせずに生活していけるのではないかと思います。
愛媛県	東京都	芝浦工業大学	環境	地元の習慣が合わない人が多いと感じるので、フレックスタイム制を導入したり、自宅就業出来たりする工夫があると緩和される気がします。また、特産物やその地域の物価や住宅費などを具体的に提示することで魅力を感じさせられると考えます。
高知県	香川県	香川大学	知る機会	都会ではweb説明会が頻繁に行われているが、地方はそうではない印象が強い。また説明会自体も少なく、これでは志望する学生は地元付近の学生にとどまり、幅広い層の学生は希望しなくなるとおもう。もっと説明会を頻繁に開催するべきだと思う。また、インターンシップ自体をしないというのも多い。企業側からすれば面倒くさいと思うかもしれないが、本気でいい人材を得ようとするなら、企業側も本気度に対応しなければならぬと感じる。
高知県	高知県	高知県立大学	金銭的支援	地方に行くにつれ、企業からの就職に関する熱意が少ないと感じられる。イベントなどに行く際の交通手段が少なかったり費用がかかったりすることが原因で出ていく人が多いように感じるので、交通手段を増やしたり移動の割引キャンペーンなどを行ったりする。
高知県	京都府	京都薬科大学	金銭的支援	一度都会に出てしまうと、なかなか田舎の暮らしに戻ることはできません。しかし、大人になったら帰るつもりの人も多いため、都会からの転職によって給料がもらえる制度のアピールがあればいいと思います。
高知県	兵庫県	甲南女子大学	金銭的支援	賃金や福利厚生を増やす。地域や会社ぐるみでのイベントを増やす。企業をアピールする。
福岡県	東京都	立教大学	知る機会	地元企業の東京での合同説明会をもっと増やしてほしい。地元大手企業は会う機会があったが、中小企業と会う機会が全くなかった。
福岡県	福岡県	中村学園大学	知る機会	地元には働き口があることをもっと知らせる。大学や専門学校などでもっとその地元の子が周知できるようにポスターを作ったり、求人情報を出したりする。奨学金の補助制度や家賃補助などの取り組みをして、地元で働くメリットを知ってもらう。
福岡県	東京都	一橋大学	知る機会	子供のころから企業のことを知る機会があれば、なじみの企業となりUターンする学生も増えると思う
福岡県	福岡県	九州産業大学	知る機会	就活に関して4年制大学における1年生はそれほどの興味関心がない人が多いと思う。そこで地元の企業の情報を早い段階でそのターゲットに向ける。そうすることで4年生になる前に多くの情報を持っている企業を選ぶ可能性は上がるのではないかと思います。
福岡県	福岡県	中村学園大学	知る機会	地元の大学の学内説明会や、合同説明会などに積極的に参加し、認知度をあげる。インターンシップや説明会などは、地元でも本社にこだわらず交通手段が多い集まりやすいところで行う。
福岡県	神奈川県	東京大学	知る機会	進学先の土地で3年ほど過ごすとそのでの暮らしや人間関係が出来てしまう人が大半であり、地元に戻って生活をするさまが想像できないのが、Uターン含む地元就職を考えない人が多い一つの要因に思える。東京や大阪、名古屋などの都会に進学し地方で就職した人の体験談などが地方就職のサイトなどで複数紹介されていると、地方就職でも人生有りなのではないかと思える人が増えるのではないかと。
福岡県	福岡県	久留米大学	知る機会	地元企業の詳細を知るきっかけを作る。地元企業の業界職種を幅広く提示し、様々な分野の求人をおすすめる。
福岡県	大阪府	大阪大学	知る機会	都心部において、地元の企業がたくさん集まる合同説明会を開催したら良いとおもいます。
福岡県	大分県	大分大学	知る機会	地元に戻ってくるメリットを与えたいと思います。簡単な例で言うと、その地元の市町村からお金が寄付されたりとか、手当でがでたりとかがあれば地元就職も増えると思います。
福岡県	福岡県	九州産業大学	知る機会	地元の企業が業界別に集まって、説明会をすれば人が集まると思う。福岡は郷土愛が強い人が多く、いい企業があり出来れば地元で働きたいという人が多いと思う。なのでその人が自分が働きたいと思うような企業と会う機会を一度で回れたら自分にマッチする企業に沢山出会えると思う。
福岡県	東京都	日本獣医生命科学大学	知る機会	地方ごとに分かれて地元就職をしたOB・OGの方とお話する機会があれば良いと思います。
福岡県	千葉県	日本大学	知る機会	説明会などをWebで行うようにして抵抗をなくし、面接などの会場を主要都市に固めるなどして誰にでも受けやすいようにする
福岡県	福岡県	西南学院大学	金銭的支援	福利厚生の充実。都市志向の学生は、給料や休日、福利厚生などを重視していることが多いと思う(大企業を目指しているため)。そのようななか大企業と同程度の福利厚生を用意すれば地元の企業も、都市志向の学生の比較対象になれるかもしれない。また、評価制度も重要。年功序列でなく、実力主義の評価制度のほうが、都市志向・大企業志向の学生に振り向かれるのではと。
福岡県	福岡県	福岡大学	金銭的支援	住宅手当や通勤手当、子育て支援を充実するなどを東京のに会社と同等以上の条件を提供するべき。
福岡県	福岡県	九州共立大学	金銭的支援	引越し金や住宅補助など金銭的に支援があると戻りたいと思う。引越しの荷物などの整理や職場環境の慣れなどで疲労困憊すると思うので、引越しから3ヶ月間は外食割引又無料(上限あり)制度などがあれば引越しも嫌にならないと思う。

福岡県	大阪府	関西大学	金銭的支援	地元企業に就職すれば補助金が出るようなシステムがあれば地方こ人口減少を抑えられると思う。
福岡県	大分県	大分大学	金銭的支援	交通費支給、最寄駅からの送迎有り、開催時間が午後から、出身地が地元の場合の優遇、他地域での説明会・選考会開催、など。
福岡県	福岡県	九州大学	金銭的支援	地元就職をした人に、行政が家賃補助をする。/支店や工場でもいいので、地方にも企業誘致をする。/テレワークの推進
福岡県	福岡県	福岡女学院大学	金銭的支援	引越し費用を負担や補助をしてくれたり、交通費の負担や補助をしてくれるなど、金銭面での助けはとても必要だと思います。
福岡県	福岡県	福岡大学	環境	リモートワーク推奨で、どこでも働けるようになるのであれば、企業に縛られなくていいので地元にも目が向くと思う。
福岡県	福岡県	福岡工業大学	環境	地元には縛られていると新しい発見や刺激がないので、会社として他者と関わる機会を作れば良いと思う
福岡県	福岡県	九州工業大学	環境	最先端で働きたいとなれば、どうしても大手企業の本社が集まる東京になる。分散すれば、地元企業で働こうと思う人が増えると思う。
福岡県	青森県	弘前大学	環境	地方では、東京でしかない仕事に就きたいために上京する人も多い。そういった職種で、地元で働けるようになれば地元就職を希望する人が一定数増えるのではないかな。
福岡県	福岡県	九州工業大学	環境	地方支社も、本社と同じくらいのレベルの案件に取り組めると知れば、地元で就職したいと思うかもしれない。
福岡県	福岡県	九州大学	環境	転勤がない、少ない企業を増やす。地域活性化に貢献しているところであれば、それを強調する
福岡県	福岡県	西南学院大学	環境	まずは地元を拠点とした企業を誘致するために、スタートアップ企業の支援に力を入れる。また、学生に向けて中小企業も含め地元企業のPRをさらにしていくべき。
福岡県	熊本県	熊本大学	環境	具体的な案は思いつきませんが、採用の際に、「地元枠」のようなものがあつたらいいのではないかな、と思います。表向きにそのような枠を設定するのは難しいと思うので、裏でもいいと思います。
福岡県	福岡県	福岡大学	環境	もっと多くの方が利用できる商業施設や他の県とは違う遊び場だったり、買い物できる場所などを取り入れることによって人が増えると思う。新しく出来たマークイズは、交通の便が不便だから初めの方は右肩上がりだったのが、今ではお客さんが少なくなつて右肩下がりがだから、そのような商業施設を建設する場合は、交通の便のことも踏まえて建てることで変わらと思う。また、今でも福岡県はご飯が美味しくて、人は温かいし、多くの方が何不自由なく過ごせている反面、飲酒運転は減らないし、飲み屋街などもあつて不安な人もいると思うから、どんな飲酒運転撲滅しようとか福岡県を活性化させていこうという意見を持つ人が増えない限り、この状況は変わらないと思う。少しでも多くの方が今しか出来ないことを今すぐやることで、もっと福岡県の魅力が他県の人に伝わってさらに良くなると思う。
福岡県	兵庫県	関西学院大学	環境	鉄道や路線をもっと活性化または、料金を安くして車などがなくても通勤できるようにするべき。
佐賀県	広島県	広島大学	知る機会	地元の企業を知る機会を増やすイベントの開催、そのイベントの知名度を大学を通して上げることが必要だと思います。
佐賀県	海外	長崎大学	知る機会	社風を見ているので、社風の良さをしっかりアピールしてほしい。インターンの積極的募集・受け入れをしてほしい。就活情報をより広範囲に発信してほしい
佐賀県	神奈川県	東京農業大学	知る機会	都会に進学してる人に対して、わざわざ地元に戻らなくても就活が出来るようになれば良いと思う。
佐賀県	佐賀県	西南学院大学	環境	福岡は郷土愛が強いめ現時点で地元就職希望が多い。佐賀はもっと企業の支店、支社数を増やさなければならないと思う。
佐賀県	神奈川県	明治大学	環境	地域活性化が必要だと思います。地方は交通の便が悪かったり、ショッピングモールも悪かったりするし、友達も職場の人がほとんどになってしまうから。
長崎県	長崎県	長崎大学	知る機会	私の出身地は大阪府で、今は長崎で生活しています。以前から出身地である大阪、あるいは関西圏の会社の就職を考えていました。しかし九州で行われる合同説明会やインターン、ナビサイトのイベントは全て九州地方が本社の会社で、大阪や東京が本社の会社はわざわざ現地まで行く必要があつたり、交通費宿泊費等が高くなかなか参加できませんでした。地方大学に住んでおり、就職は東京や大阪といった首都圏が地元の方もいると思うので、そういう方向きのイベントを開催してほしいです。
長崎県	長崎県	長崎県立大学	金銭的支援	完全週休2日制や基本給を各都道府県の平均を上回るものだと、地元で働いた方が仕事とプライベートを充実させられると思ってもらえると思う。
長崎県	兵庫県	神戸学院大学	金銭的支援	Uターン就職した人には、なにかしら得がないとUターン就職の割合は増えないのではないかと考える。現在でも、奨学金が一部免除になるなどがあるが一部ではなく半分免除にする、一人暮らしの人には家賃手当をする など目に見えた援助があれば希望する人は増えるのではないかと考える。
長崎県	佐賀県	佐賀大学	金銭的支援	地方の活性化が必須。生活する上で娯楽となるようなものがある街に住みたいと感じる。また街並みがきれいだと住みたくなる。あとは収入が多いこと。
長崎県	長崎県	長崎県立大学	環境	交通手段が本当に少ないので、交通手段がふえれば、若者ももっと地元にしゅうかつしたいと思うようになるかもしれない。
長崎県	長崎県	長崎総合科学大学	環境	地方が都会並みに交通の便がよくなり、クレカ決済などのシステムが普及し、東京の人間が地方に来て最低限不便なく暮らせること
長崎県	長崎県	長崎純心大学	環境	私は、接客業こそが、地元の企業を発展させていく仕事になると思います。多くの観光客が訪れる場合、接客業を通して、地元の良さを伝えていけるから。
長崎県	愛知県	愛知県立芸術大学	環境	地元大学と企業がもっと提携したりすればいいと思うけど、まずそれぐらいじゃ無理かなと思う。そもそもわたしの地元はデイサービスばかりが増えていきます。その様子を見る限り、特に年に1.二回程度しか帰省しない私には、早急の雇用問題は福祉サービスの人員にあるように思えてしまいます。完全なる後期高齢化社会のデイスピアのようになっていて、私、ここで何が出来るの?という気持ちになります。特に私は企業、会社への就職を希望していますが、美術を勉強してきたので、それを活かせるアートシーンやエンターテイメント産業が活発でない地域にはそもそも帰ることができないなと思います。
長崎県	福岡県	福岡大学	環境	私の実家は五島列島という小さな島です。そのため地元就職というのは厳しいと思います。やはり、小さい島では自分の学びたいことやスキルを学ぶには不便すぎます。しかし、本土と簡単に行き来できる手段を作れば地元就職は増えると思います。
長崎県	長崎県	長崎総合科学大学	環境	現在地元企業で就活をしているが自分がやりたい職種が少なく、ないに等しいので新たなビジネスモデル、新たな企業を設立して欲しい
長崎県	山口県	山口大学	環境	私の地元には、福利厚生施設は多いものの、若者が楽しめる施設が少ないように感じます。プライベートも仕事も両立したいと感じる人がUターン就職を希望する傾向にあると思うので、プライベートを充実させるためのレジャー施設やショッピング施設を増やすことで、希望者は増えていくと思います。また、通勤用の交通手段も限られているため、より交通の便が良ければ希望者を増やせるのではないかと感じます。
長崎県	長崎県	長崎大学	環境	古い体質の企業、成長性を感じられない企業が多いように思われる。若い人が成長できて、新鮮な雰囲気職場環境をもっと作ってほしい。

熊本県	大阪府	大阪学院大学	知る機会	地元でなく県外などでもスムーズに就職活動ができるシステムや窓口などがもっとあればいいと思う。
熊本県	熊本県	長崎大学	知る機会	地元の魅力ある企業を増やすことや、他県の学生が地元の企業を知る機会を得られる合同説明会などを開催する。
熊本県	神奈川県	専修大学	知る機会	自分自身の場合地元簡単に帰れる距離ではないので、地元に住なくても情報を得る機会がもっと多いと良いと思います。
熊本県	熊本県	東海大学	知る機会	地元で就職を希望する人を増やすには地元の良さをアピールして、就職する人が就職しやすい環境作りをすればいいんじゃないかと思えます。私の地元は熊本で、九州ではまあまあ規模が大きい県だと思っていますが、周りの人たちを見ていると熊本よりも福岡の都市部に就職を希望してる人の割合が多い感じがします。福岡は熊本と比べると公共交通機関やいろんな施設が整っており住みやすい環境になっていると思います。でも、熊本の方が自然は豊かで食べ物も美味しいし、水道水も美味しいです。公共交通機関は田舎だと不便なこともあるけれど、自家用車を持っている人が大半だからそこまで不便はしません。挙げてみると、地元で生活するには申し分無いと思います。このようなにアピールして興味を持たせて、職場の雰囲気やインターンシップ等で知ってもらえれば地元就職を希望する人が増えるんじゃないかと思いました。
熊本県	熊本県	熊本大学	知る機会	地元に戻ってくる人が増えるよう、説明会などを増やす。また、奨学金や住居手当など金銭的にもサポートする。
熊本県	神奈川県	東洋英和女学院大学	知る機会	地元の大学には合同説明会などの情報は行っているけれど都市の大学に行っている人には情報が全く入っていないから、会社ごとに地方勤務がある所は合わせてWebで紹介する。そして、合説の予定なども各都道府県の情報を見つけれられるようなサイトを設ける。
熊本県	福岡県	西南学院大学	知る機会	地元の良さ(環境・風土、経済・人生設計等)を全面にアピールしつつ、地元企業を特集した情報誌を多くの大学に設置しておくこと。また、その地元出身の学生向けにDM便で情報誌を送ること。
熊本県	福岡県	九州大学	金銭的支援	都会に比べて給料が低く、優秀な大学生は基本的にプライドが高いためそのような企業を志望しない。したがって、企業的には厳しいと思うが給料をあげるしかないと考ええる。
熊本県	長崎県	長崎国際大学	金銭的支援	・Uターンすることで奨学金の返済を援助して貰えたりすると嬉しいと思う。・地元の人が地元で就職することで企業や、その地域が活性化し、就職した人が実際どのように貢献しているのか知れる機会があると良いと思う。・他の県(近郊の県)でも説明会をもっと積極的に開催すると良いと思う。
熊本県	神奈川県	明治学院大学	金銭的支援	Uターン先が遠い人の為に就職活動が始まった際に、一部交通費を負担すると人が集まりやすいと感じます。少しでも負担してくれると企業に対しての好感度も上がるし、良いと思います。
熊本県	山口県	山口大学	環境	希望業界、希望会社の支社ができる。またはテレワーク、リモートワークが進まないといけない
熊本県	福岡県	福岡大学	環境	私の地元は、高齢化がかなり進んでおり、子供が少ないので学校廃校が進んでいます。なので、地元で働くとなると福祉施設が主となってきます。そこで、これから伸びる企業、安定企業を立地することで、もっと就職者が増えるのではないかと思います。生活に関しては、何も問題なく住みやすいので、若者が希望する職種にめをむけたらいいと考えます。
熊本県	熊本県	長崎大学	環境	フレキシブルに働く場所や内容を希望により対応できる企業の支社が地元でできる。都会に出たくなったら出れる環境があれば先ずは地元で就職してからでいいと考える人が多そう
大分県	千葉県	大正大学	知る機会	Uターン希望者はweb面接などを行っていただければ交通費や移動の時間短縮につながり、都市と地元両方で就活している人も地元企業の志望度が上がるのではないだろうか。
大分県	長崎県	長崎大学	知る機会	地元を離れた大学にいと、そもそも地元企業を知る機会が少ないので機会を増やすことから始める。
大分県	兵庫県	武庫川女子大学	知る機会	地元の魅力を発信できるSNSを作る。交通費など出してくれたら、いろんな企業に行ける。
大分県	大分県	立命館アジア太平洋大学	知る機会	地域に根付いた有名な企業(地銀やスーパーなど)であれば、インターンや説明会である程度人を集めることができると思うが、その他の中小企業では厳しいと思う。オンラインキャンパスリクルーティングの利用や、大学の合同説明会やパンフレットの輸送などで、まずは学生の目にその企業の名前が入ることが大切なのではないだろうか。
大分県	佐賀県	佐賀大学	知る機会	スカウトのような求人を増やすことで、自分が地元で必要とされているんだと感ずることができ就職のきっかけにつながると思えます。地域の強みを発信する(ストレスがないこと、家賃が安いこと、直接的に地元を救えるというやりがいがあること)
大分県	福岡県	近畿大学	金銭的支援	地元での就職したい学生対してのサービスをさらに増やすと希望する人も必然的に増加すると思う。
大分県	大分県	大分大学	環境	企業の本社が東京に集中しすぎているため創業者の出身地等に本拠点をおいて、日本を支えるような会社であって欲しい。そうすることによって、地元の活性化やブランド力というのが生まれると考えている
宮崎県	宮崎県	宮崎国際大学	知る機会	大学で企業説明があると、知らなかった企業に出会えることもあるためその企業を希望する人が増えると思います。
宮崎県	大分県	日本文理大学	知る機会	まずどんな職種があるのかをアピールすること。でも田舎だとよくあるブラック企業が多いから協力しないところも多いんだと思う。だから大きめの企業が主催の地域密着型のインターンを開催するのがいいと思う
宮崎県	鹿児島県	鹿児島大学	知る機会	地元で生活する上で役立つ情報や、都市部で生活するよりもどれだけ安いか伝えられると良いと思う。
宮崎県	東京都	上智大学	知る機会	選考会を他の都市(特に東京、大阪など)で開く、もしくはWeb選考は有効だと思う。私自身、地元の企業についての知識が全くなかったので、出身地側から就活生に対しての情報提供が必要だと感じる。実際にUターン就職をした社員がどうしてその決断をしたのか、都市に出て行った就活生が最も興味を持つ点だと思う。そのため、実際にUターン就職をした社会人から話を聞けるような説明会や座談会は大変興味深いと、私自身感じる。
宮崎県	東京都	武蔵野美術大学	金銭的支援	地元と比べ都市部のほうが働く環境が整っているのは当然だと思いますが、希望する職種の確保や給与を都市部と同じ水準にしたら地方で働きたい方も増えると思います。特に、新卒ではなくてもフリーランスの方で場所にこだわっていない方は地方に住みたい方が多い印象を受けます。
宮崎県	福岡県	福岡女学院大学	環境	私の地元は交通機関が全く機能しておらず、自家用車が必ず必要なのでバスや電車、新幹線などが発達すれば皆利用するし地元で就活したい学生も増えると思います。また、奨学金返済の免除や住居地費用のサポートなど、お金の負担を減らすことも良いと思います。
宮崎県	熊本県	熊本大学	環境	企業の本社や支店を都市部以外にも置く。企業を増やすことでやりたい仕事を見つけやすい。

鹿児島県	福岡県	福岡女学院大学	知る機会	地元優良企業について知れるようにWebセミナーを行ったり、インターンシップを行ったり、学内セミナーを行う必要があると考える。そうすれば、少しは知名度が上がると思う。
鹿児島県	大阪府	追手門学院大学	知る機会	地元にある企業をそもそも知らないという人が多いため、まずイベントの参加回数を増やす、snsアカウントの作成、YouTube等あらゆる媒体を通じてどのような企業があるか、どのような街なのかをアピールするなど
鹿児島県	鹿児島県	鹿児島大学	知る機会	結婚などでも帰りやすいように転職者を積極的に受け入れる企業などを紹介するサービス。
鹿児島県	兵庫県	神戸市外国語大学	知る機会	・地元企業を知る機会を増やす →例えばアプリであれば、出身高校を登録させ、出身高校がある都道府県を地元とし、その学生宛に地元企業の説明会などの情報を送る →都市の大型イベントに地元企業が出展する ・私は勤務地にこだわりがないので、そもそも「地元企業」というアプローチでは響かない、見に行かない。 ・Uターン就職したくないというよりは魅力的な地元企業を知らないこと、帰省してまで行きたいと思うほど魅力が伝わらないことや、日程が合わないことが問題でUターン就職を考えていない。特に本選考に関しては現地で選考が進む場合かなりの出費となるのでなおさら候補に入れづらい。web化は避けられないかも？
鹿児島県	長崎県	長崎大学	金銭的支援	地元就職すれば、助成金が交付されるなどの施策をつくる。地方企業はPR不足だと感じるので、魅力が伝わるようにPRを充実させる。
鹿児島県	鹿児島県	鹿児島大学	金銭的支援	交通網の発達、給料の向上、ライブや展覧会等のイベントの開催や増加、都心へ行くための交通費の補助
鹿児島県	東京都	首都大学東京	環境	交通の利便性が改善されると良いと思う。東京など都市部に進学すると、自動車運転の機会がなく、地方の地元での暮らしに不安がある。
鹿児島県	山口県	下関市立大学	環境	JRの在来線が停車駅を増やしたり、本数を増やしたり、路盤改良して速達性が増すほか、路面電車が市中あらゆる所にまで延伸してくれれば、商業施設や交通アクセスもよくなり、住みたい街ランキングの上位にくい込むのではないかと？そうすれば地元で就活したい人が増えると思う。
鹿児島県	神奈川県	女子美術大学	環境	店舗を都会や栄えてる県のみならず、地方にも展開するべきだと考えます。そこに地域限定職やエリア職の制度も作るとUターン希望が出やすいのかと思います。
沖縄県	沖縄県	沖縄キリスト教学院大学	知る機会	地元の働きやすさとかを他の県とか比べたりとかCMとかであたたかみがあって、地元に戻ってきたくなるようなのを映像として出す。
沖縄県	愛知県	愛知学院大学	知る機会	地元企業の情報を得る機会が少ないように感じるため、Webを利用した説明会や特集、広告などで、目に情報が入るきっかけが増えるといいのかもしれないと思います。
沖縄県	沖縄県	琉球大学	知る機会	地元の企業が集まる合同説明会は大切だと思います。コロナが落ち着いたらまた開催していただけると助かります。また、大学で開催される就活講座等で業界マップのようなものを、各都道府県別に作っていただけると助かります。地域別ですと、どうしても都会に偏るのでほとんど参考になりません。地元の企業のことを全く知らないため、県外へ目を向ける学生もいると思います。
沖縄県	沖縄県	琉球大学	知る機会	複数の地元企業の方が毎年夏頃学校に来て、2・3年生をターゲットに仕事のプレゼン会を行う。また来てくれた学生に後日社内見学ツアーと、座談会を行う。 仕事のプレゼン会を行う際は人数を限定し、抽選で何か当たるプレゼント企画をする。
沖縄県	東京都	亜細亜大学	知る機会	都道府県別のWEB説明会又は都心での説明会を行なっている企業をまとめたサイトを見たいです。また、地方と都心での給料や生活費の平均相場を比較したいです。
沖縄県	千葉県	和洋女子大学	金銭的支援	地元では給料が低かったり、理系の人が働けるような企業が少ないため、支社を増やしたり、県外大学出身者に補助が出ると主にUターンで地元就職をする人が増えるとか考えられる。県外大学に進学した人は奨学金を取ってる人が多いため、奨学金返済の対応策を取ると増えると考えた。
沖縄県	沖縄県	沖縄国際大学	金銭的支援	給料の差をつけない。住宅手当を地元の人にも与える。就職説明会で、地元の貢献率などを説明し、県外の人と差をつけた募集をする。
沖縄県	沖縄県	琉球大学	環境	沖縄県は観光業に力を入れており、観光産業は発達しているが、理系向けの業種は少ないように感じる。よって本気で理系就職したい人は、県外に出なければならない。就職活動においても同様であるが、県外での活動、就職には金銭がかかるため、理系業務ができる場所（研究所など）を沖縄にも設立することにより、理系人材も県内での地元就職を希望する人が増加するのではないかと。
海外	東京都	東京学芸大学	金銭的支援	地方の企業の待遇やUターンしてくる学生への支援があれば惹かれると感じる。例えば引越越し支援や都会に負けない賃金など。 また、夏の採用などがあればもっと就職活動しやすいと考える。